

平成 29 年 10 月 12 日
第 3 回国分寺市障害者施策推進協議会
資料 6

国分寺市
障害福祉に関するアンケート調査
調査結果報告書

平成 29 年 9 月

国 分 寺 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	基本情報	2
2	福祉サービスの利用状況と利用意向について	9
3	福祉サービス利用の満足度について	67
4	その他のサービスについて	80
5	住まいの場について	83
6	日中活動の場・就労について	96
7	外出・移動手段などについて	140
8	災害への備えについて	149
9	相談窓口・相談機関について	158
10	情報の入手について	163
11	ヘルプマークとヘルプカードについて	167
12	障害者差別解消法について	183
13	全体的な施策について	192

I 調査の概要

1 調査の目的

平成 30 年度以降の「国分寺市障害者計画（第 3 次）実施計画・第 5 期国分寺市障害福祉計画・第 1 期国分寺市障害児福祉計画」（平成 30 年度～平成 32 年度）策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

国分寺市在住又は施設等に入所されており、市で援護を実施している障害のある方のうち、3,500 人（身体障害者 約 2,000 人、知的障害者 約 500 人、精神障害者 約 500 人、難病患者 約 500 人）を無作為抽出

3 調査期間

平成 29 年 6 月中旬～8 月上旬

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

配布数	回答数	回答率
3,500 通	1,772 通	50.6%

6 調査結果の表示方法

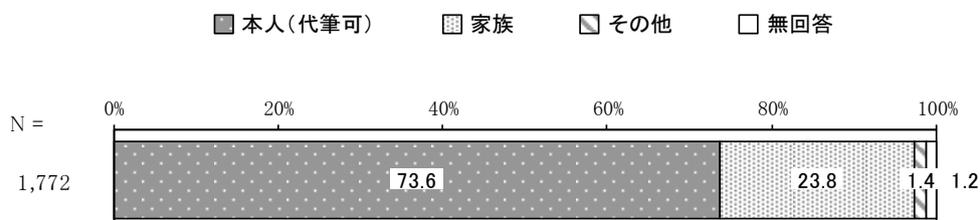
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

II 調査結果

1 基本情報

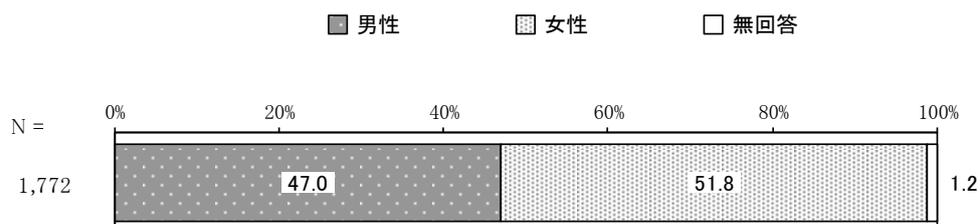
問1 この調査票を記入していただく方はどなたですか。(1つに○)

「本人(代筆可)」の割合が73.6%、「家族」の割合が23.8%となっています。



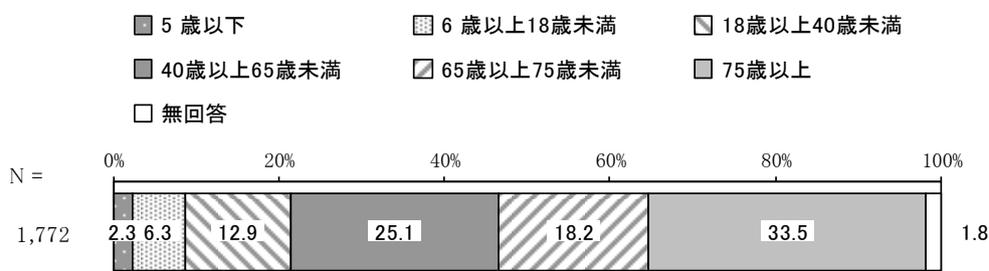
問2 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

「男性」の割合が47.0%、「女性」の割合が51.8%となっています。



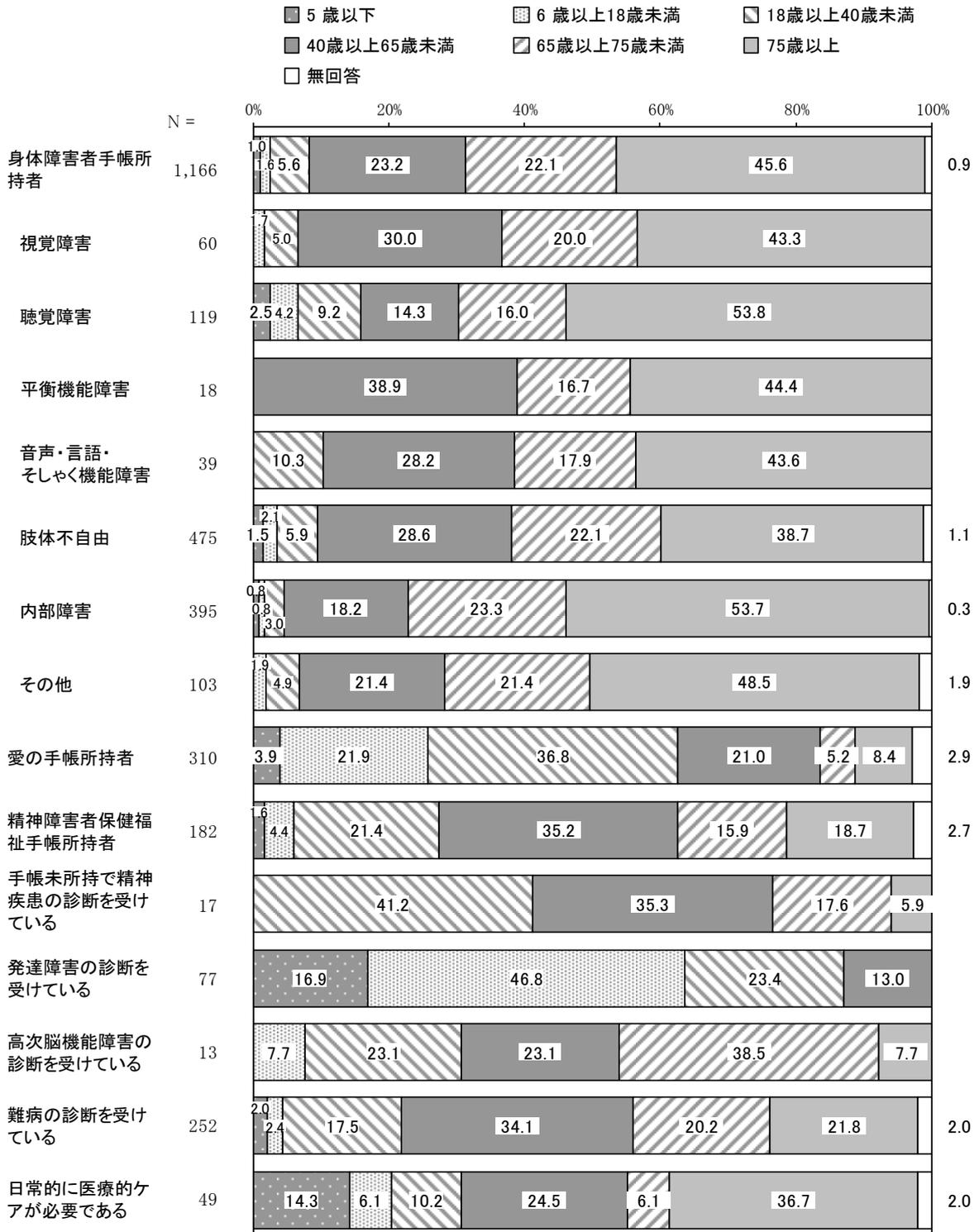
問3 あなたの年齢を教えてください。

「75歳以上」の割合が33.5%と最も高く、次いで「40歳以上65歳未満」の割合が25.1%、「65歳以上75歳未満」の割合が18.2%となっています。



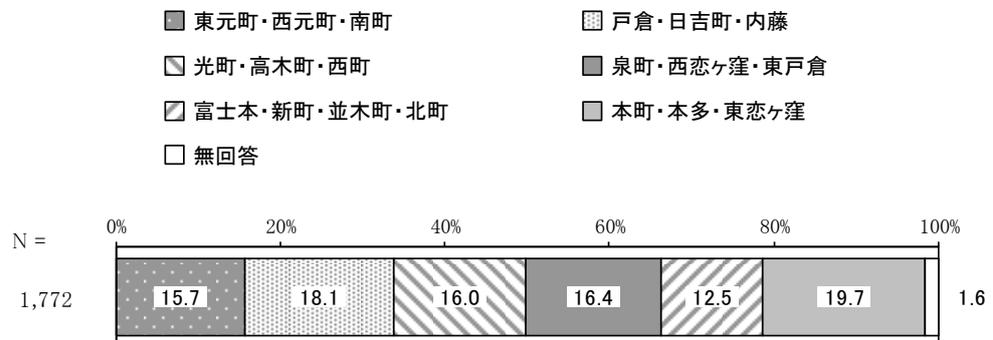
【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、身体障害者手帳所持者で「75歳以上」の割合が高く、特に聴覚障害、内部障害で5割を超えています。また、発達障害の診断を受けている人で「6歳以上18歳未満」の割合が高く、4割を超えています。



問4 あなたのお住まいの地域はどこですか。(1つに○)

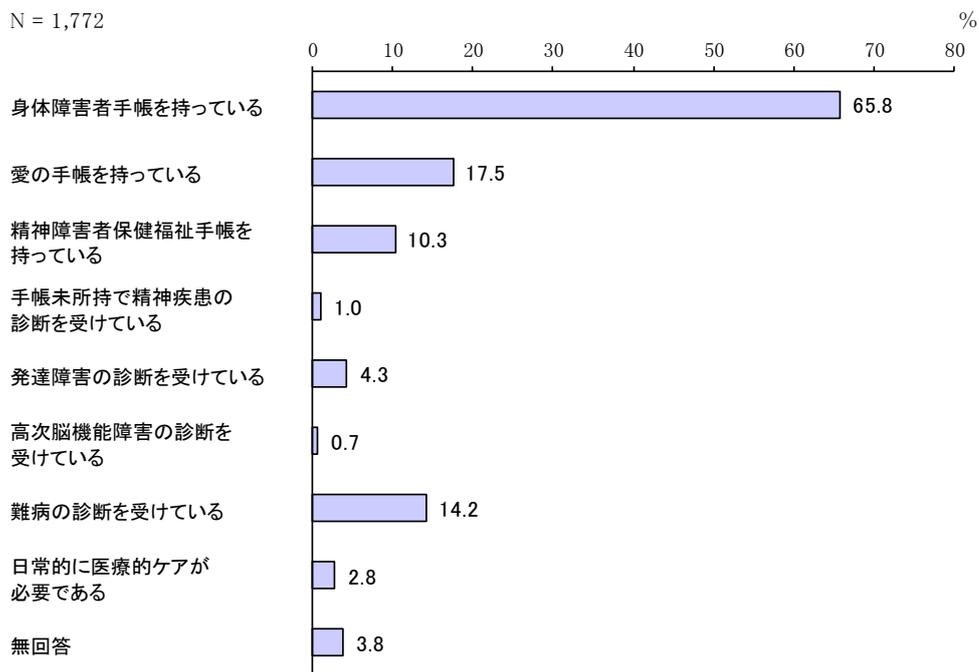
「本町・本多・東恋ヶ窪」の割合が19.7%と最も高く、次いで「戸倉・日吉町・内藤」の割合が18.1%、「泉町・西恋ヶ窪・東戸倉」の割合が16.4%となっています。



問5 あなたがお持ちの障害者手帳または受けている診断名などについておたずねします。あてはまるものすべてに○をつけてください。

①手帳の種類または診断名など

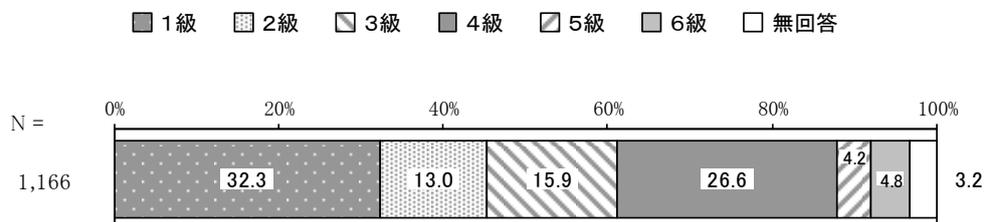
「身体障害者手帳を持っている」の割合が65.8%と最も高く、次いで「愛の手帳を持っている」の割合が17.5%、「難病の診断を受けている」の割合が14.2%となっています。



②身体障害者手帳

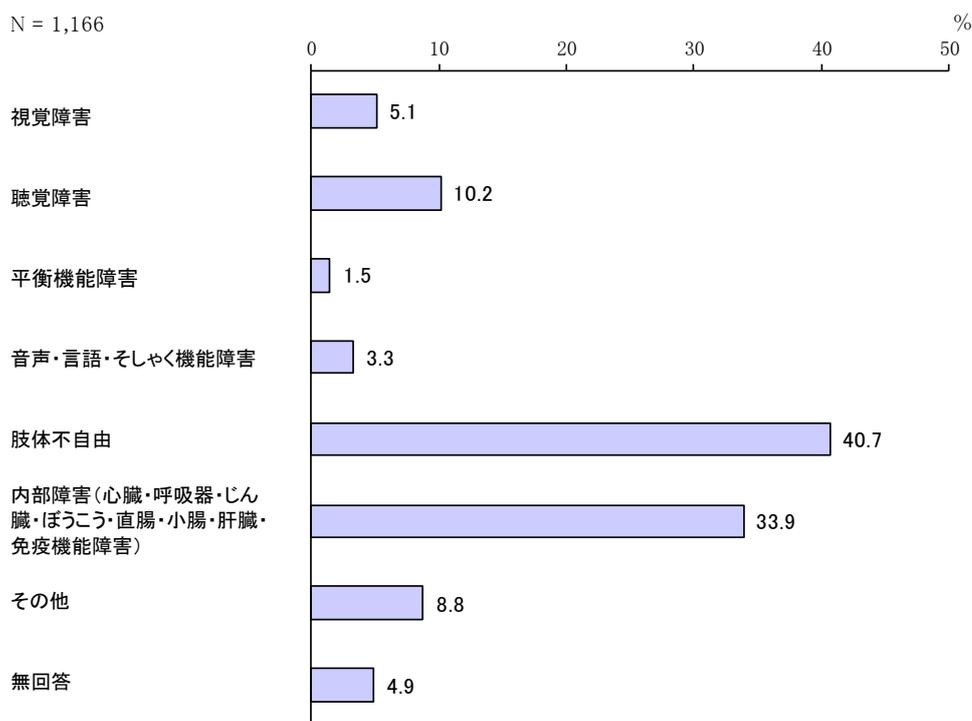
(1)手帳に書いてある障害は何級ですか

「1級」の割合が32.3%と最も高く、次いで「4級」の割合が26.6%、「3級」の割合が15.9%となっています。



(2)どのような障害ですか (該当するものすべて)

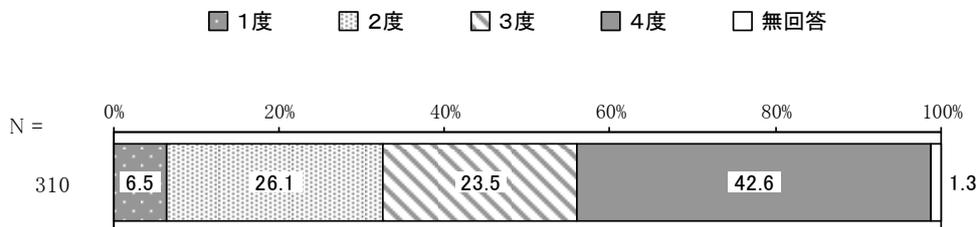
「肢体不自由」の割合が40.7%と最も高く、次いで「内部障害 (心臓・呼吸器・じん臓・ぼうこう・直腸・小腸・肝臓・免疫機能障害)」の割合が33.9%、「聴覚障害」の割合が10.2%となっています。



③愛の手帳

手帳に書いてある障害はどの程度ですか

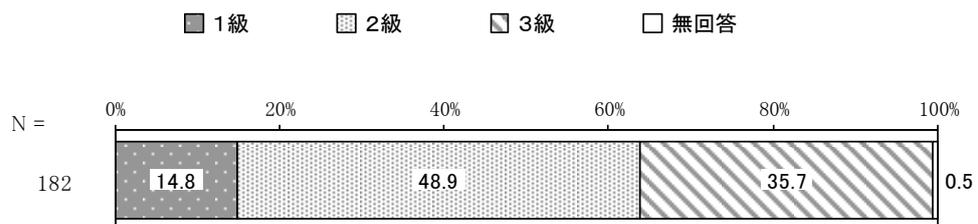
「4度」の割合が42.6%と最も高く、次いで「2度」の割合が26.1%、「3度」の割合が23.5%となっています。



④精神障害者保健福祉手帳

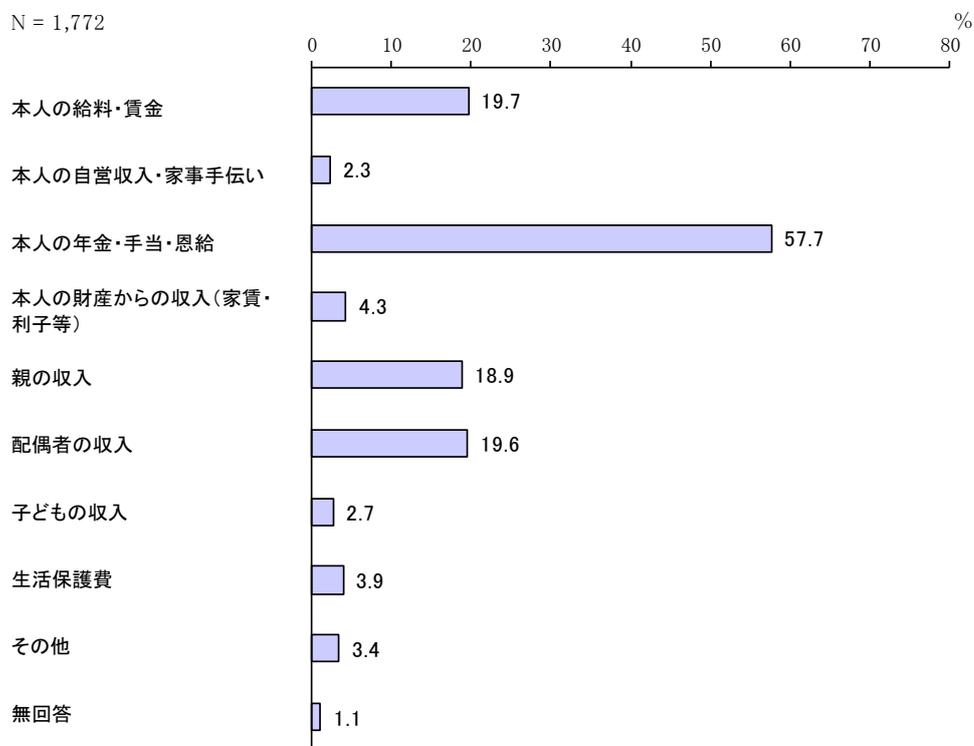
手帳に書いてある障害は何級ですか

「2級」の割合が48.9%と最も高く、次いで「3級」の割合が35.7%、「1級」の割合が14.8%となっています。



問6 あなたが現在の生活をしていくうえでの主な収入は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「本人の年金・手当・恩給」の割合が57.7%と最も高く、次いで「本人の給料・賃金」の割合が19.7%、「配偶者の収入」の割合が19.6%となっています。



【年齢別】

年齢別で見ると、年齢が高くなるにつれ「本人の年金・手当・恩給」の割合が高く、年齢が低くなるにつれ「親の収入」の割合が高くなっています。また、他に比べ、18歳以上40歳未満、40歳以上65歳未満で「本人の給料・賃金」の割合が、40歳以上65歳未満、65歳以上75歳未満で「配偶者の収入」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	本人の給料・賃金	本人の自営収入・家事手伝い	本人の年金・手当・恩給	本人の財産からの収入(家賃・利子等)	親の収入	配偶者の収入	子どもの収入	生活保護費	その他	無回答
18歳未満	152	1.3	—	4.6	—	94.1	2.0	—	2.0	—	0.7
18歳以上40歳未満	228	46.5	1.8	38.2	0.4	53.5	9.6	—	0.9	0.9	0.9
40歳以上65歳未満	445	41.6	2.2	38.9	3.6	13.0	29.4	2.0	6.3	4.0	0.9
65歳以上75歳未満	322	9.3	3.1	76.7	5.9	1.6	26.7	2.8	5.9	3.4	0.3
75歳以上	593	3.7	2.9	82.8	6.4	0.2	17.0	4.9	2.2	4.6	1.5

【障害種別】

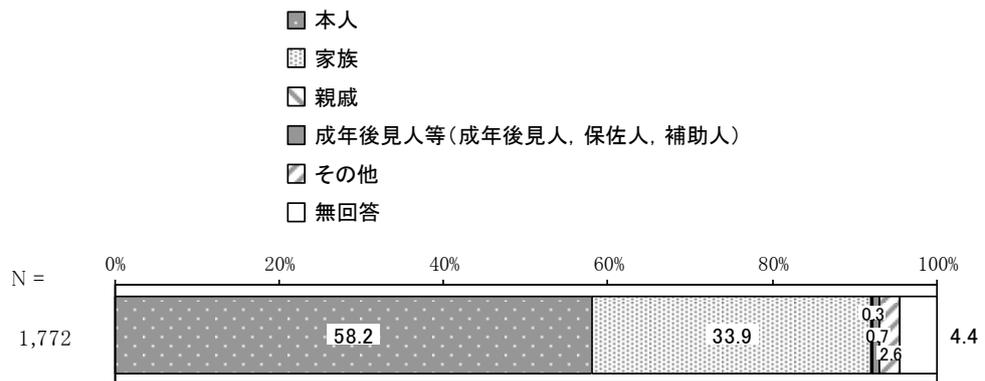
障害種別でみると、他に比べ、発達障害の診断を受けている人で「親の収入」の割合が高く、約9割となっています。また、高次脳機能障害の診断を受けている人で「本人の年金・手当・恩給」の割合が高く、8割台半ばとなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	本人の給料・賃金	本人の自営収入・家事手伝い	恩給 本人の年金・手当・	本人の財産からの収入(家賃・利子等)	親の収入	配偶者の収入	子どもの収入	生活保護費	その他	無回答
身体障害者手帳所持者	1166	17.2	2.9	67.5	5.6	7.4	20.3	3.9	3.6	3.8	1.0
視覚障害	60	23.3	6.7	63.3	5.0	5.0	18.3	8.3	—	3.3	—
聴覚障害	119	22.7	2.5	68.1	6.7	10.9	14.3	3.4	1.7	3.4	0.8
平衡機能障害	18	16.7	—	66.7	11.1	5.6	22.2	—	—	5.6	—
音声・言語・そしゃく機能障害	39	12.8	—	79.5	7.7	10.3	17.9	2.6	2.6	5.1	—
肢体不自由	475	14.7	3.2	67.6	4.6	9.9	22.7	3.8	4.6	3.4	0.6
内部障害	395	17.2	2.8	70.9	7.3	3.5	21.0	3.0	2.5	4.3	1.0
その他	103	16.5	1.9	61.2	2.9	8.7	18.4	7.8	8.7	7.8	—
愛の手帳所持者	310	25.8	1.0	46.5	0.3	57.4	4.5	0.3	2.3	1.3	0.6
精神障害者保健福祉手帳所持者	182	21.4	1.6	52.7	3.8	29.1	18.1	1.1	13.7	4.4	2.2
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	17	17.6	—	52.9	—	47.1	17.6	5.9	5.9	17.6	—
発達障害の診断を受けている	77	14.3	—	16.9	—	88.3	2.6	—	1.3	1.3	—
高次脳機能障害の診断を受けている	13	15.4	—	84.6	—	30.8	30.8	7.7	—	—	—
難病の診断を受けている	252	23.8	3.2	43.3	2.4	12.3	36.9	0.4	1.2	4.8	1.2
日常的に医療的ケアが必要である	49	16.3	—	61.2	4.1	32.7	8.2	—	6.1	4.1	—

問7 あなたの収入を管理しているのはどなたですか。(1つに○)

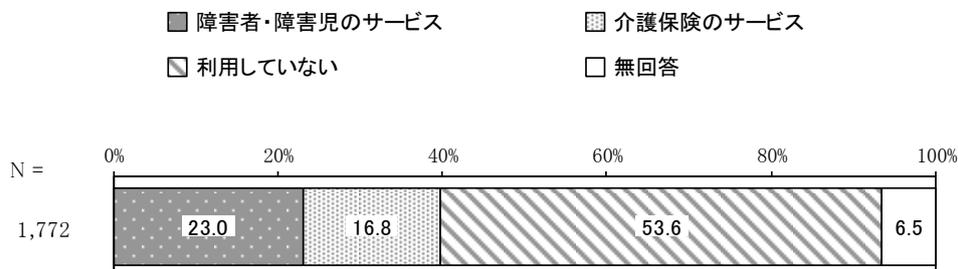
「本人」の割合が58.2%と最も高く、次いで「家族」の割合が33.9%となっています。



2 福祉サービスの利用状況と利用意向について

問8 あなたはどのような福祉サービスを利用していますか。

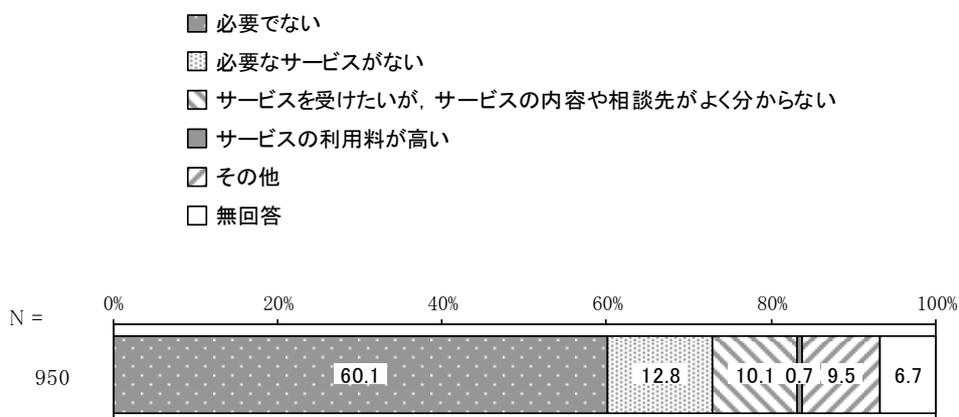
「利用していない」の割合が53.6%と最も高く、次いで「障害者・障害児のサービス」の割合が23.0%、「介護保険のサービス」の割合が16.8%となっています。



◆問9は、問8で「利用していない」と答えた方におたずねします。

問9 福祉サービスを利用していない理由は何ですか。

「必要でない」の割合が60.1%と最も高く、次いで「必要なサービスがない」の割合が12.8%、「サービスを受けたいが、サービスの内容や相談先がよく分からない」の割合が10.1%となっています。



問 10 あなたが、利用しているサービス、また、今後（3年以内に）利用したいと思うサービスについておたずねします。サービスごとに、あてはまるものに○をしてください。

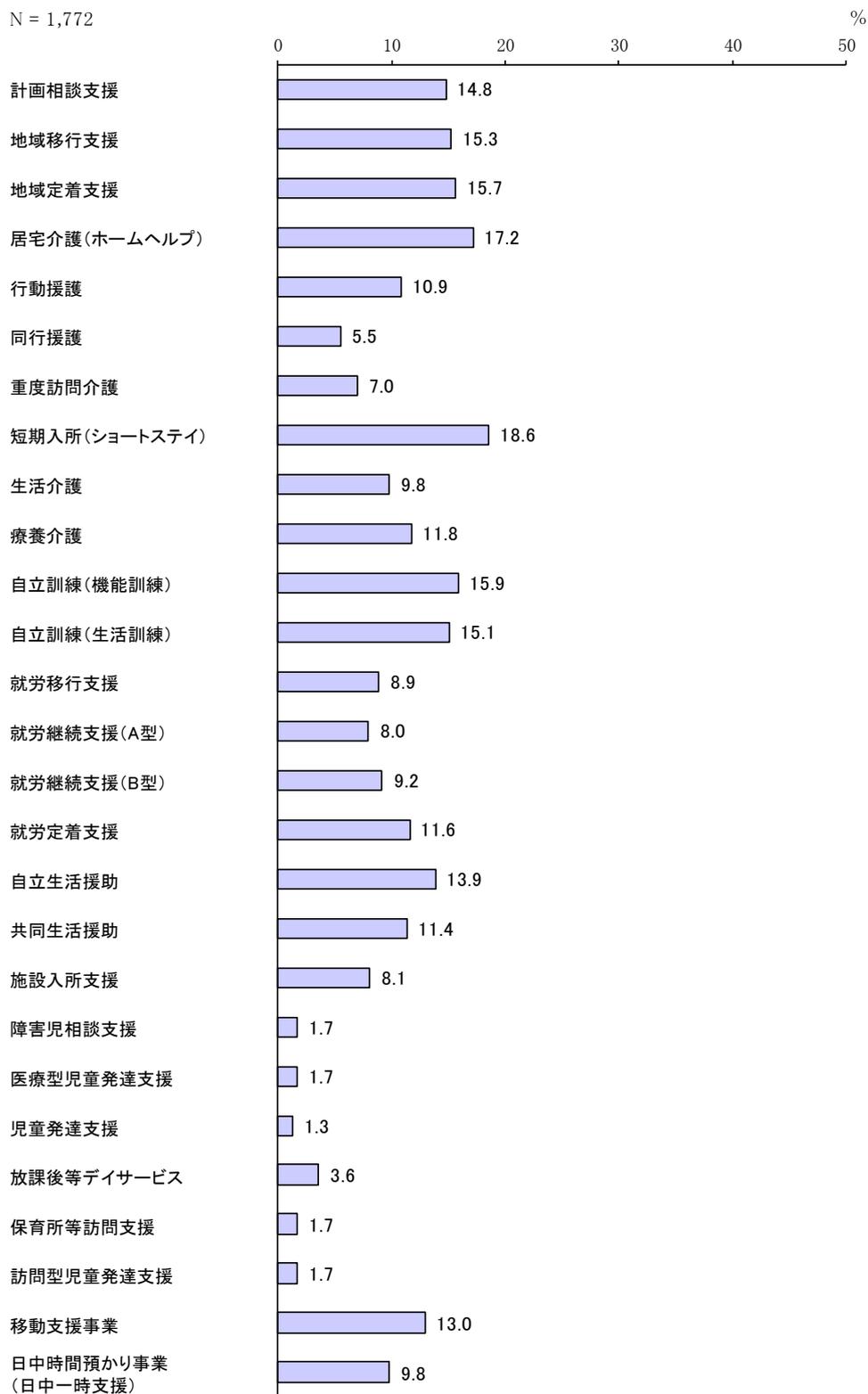
<利用しているサービス>

「計画相談支援」の割合が22.0%と最も高くなっています。



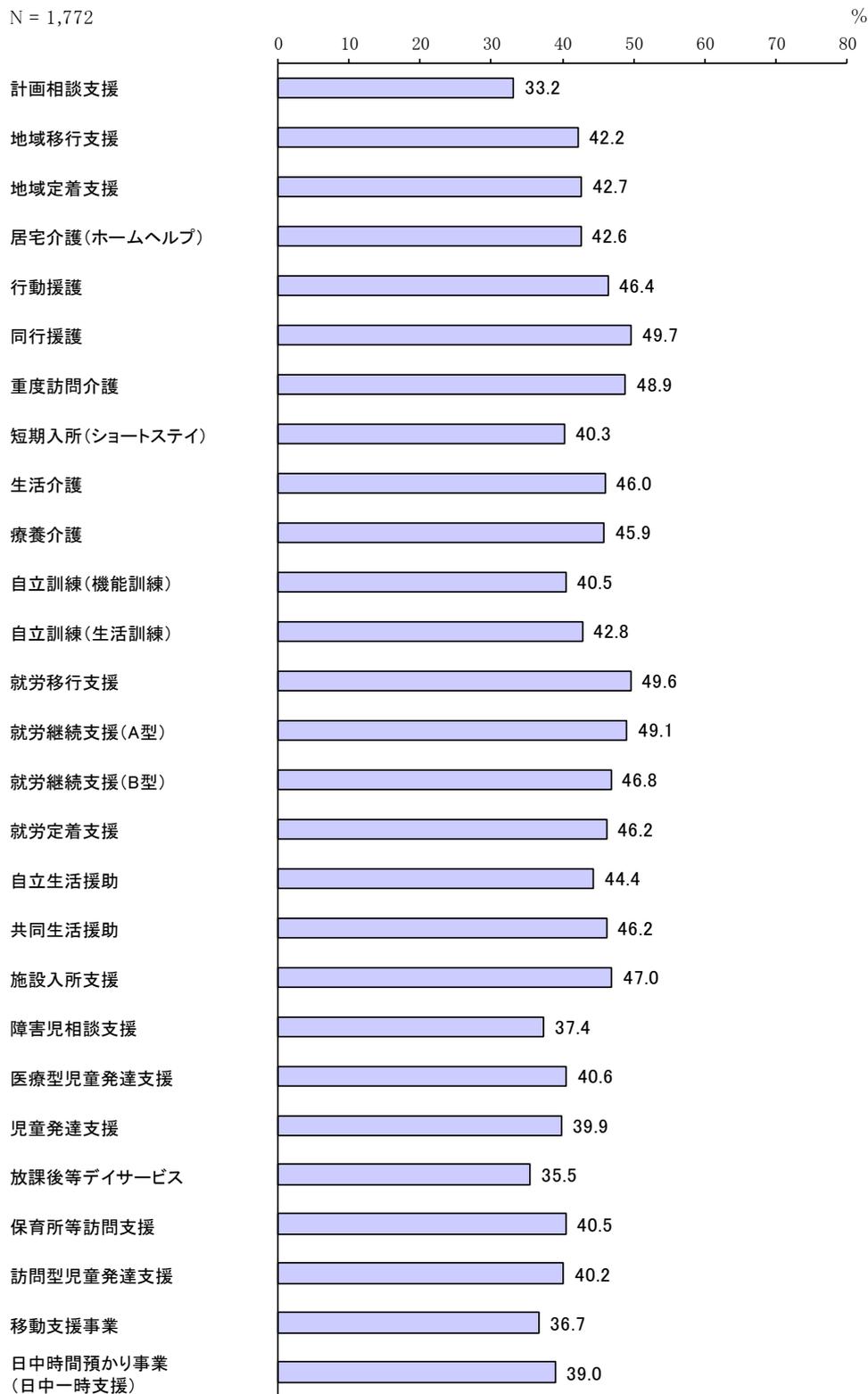
＜今後利用したいサービス＞

「短期入所（ショートステイ）」の割合が 18.6%と最も高く、次いで「居宅介護（ホームヘルプ）」の割合が 17.2%、「自立訓練（機能訓練）」の割合が 15.9%となっています。



＜利用しないサービス＞

「同行援護」の割合が49.7%と最も高く、次いで「就労移行支援」の割合が49.6%、「就労継続支援（A型）」の割合が49.1%となっています。



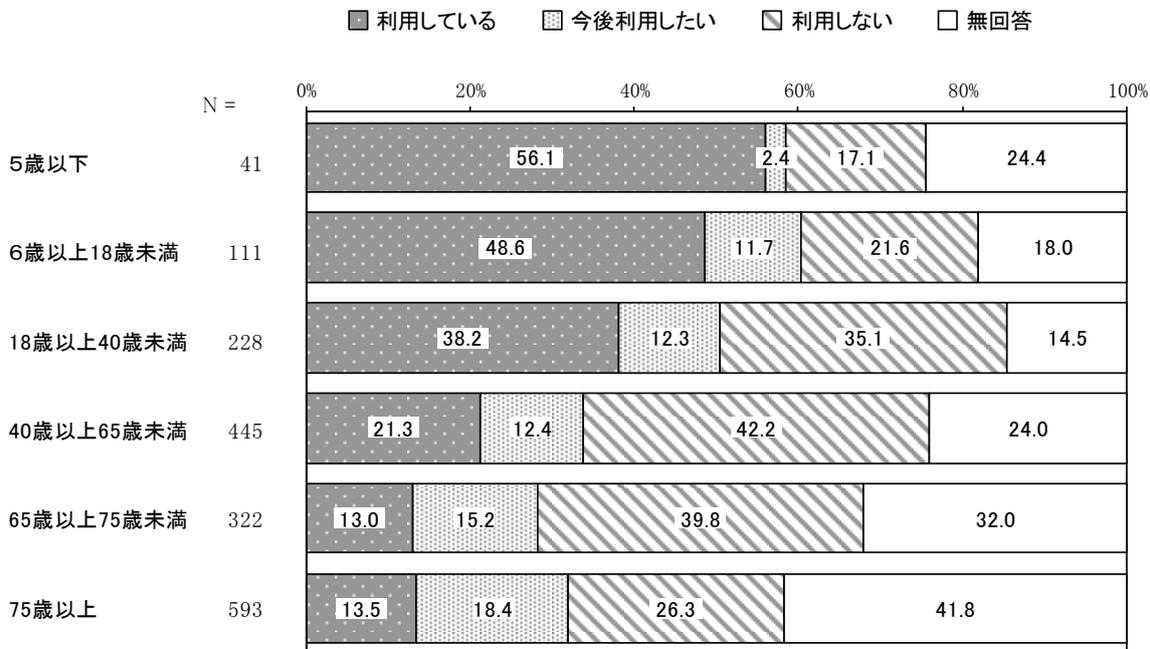
《クロス集計》

＜障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス等＞

①計画相談支援

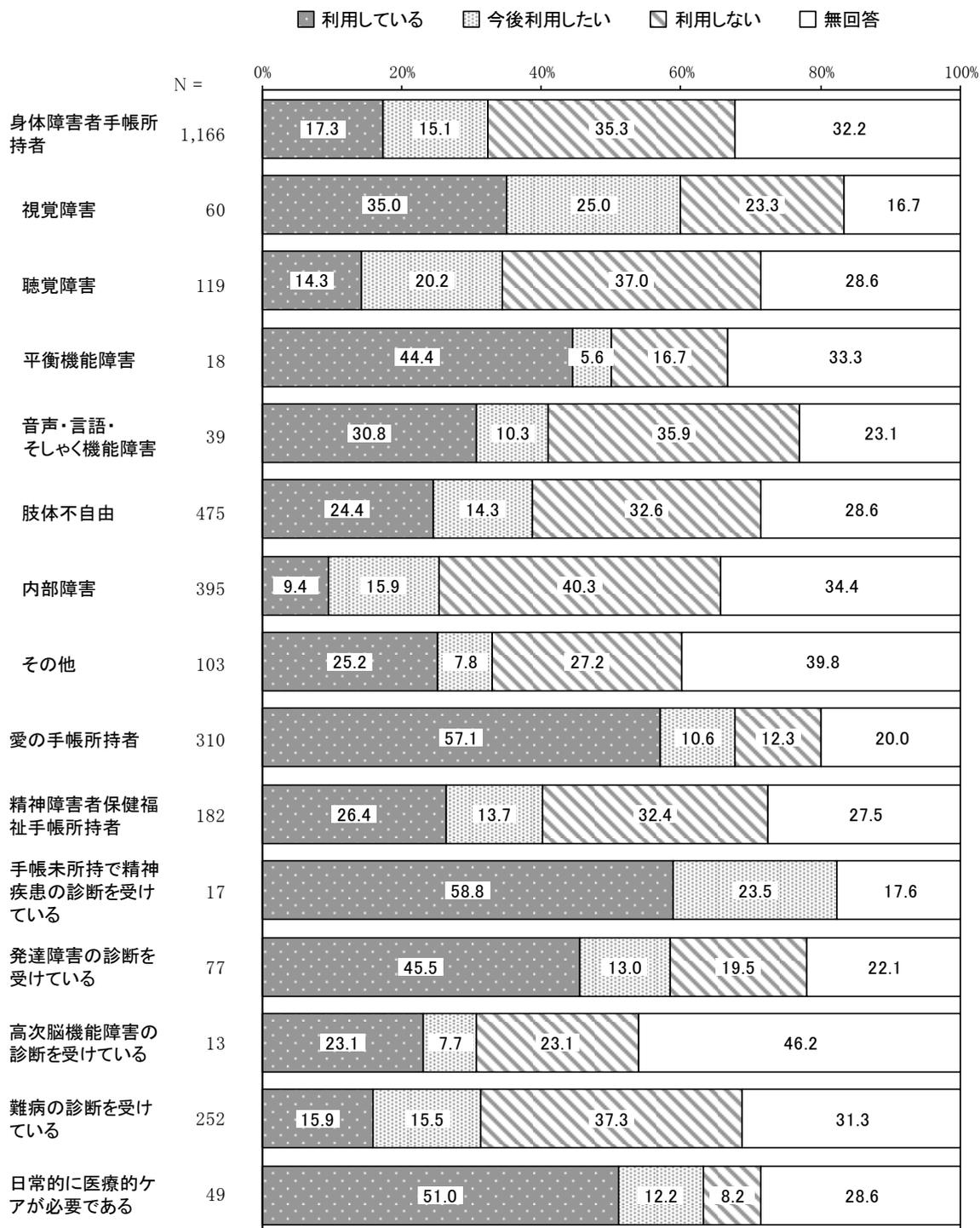
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「利用している」の割合が高くなっており、5歳以下で5割台半ばとなっています。



【障害種別】

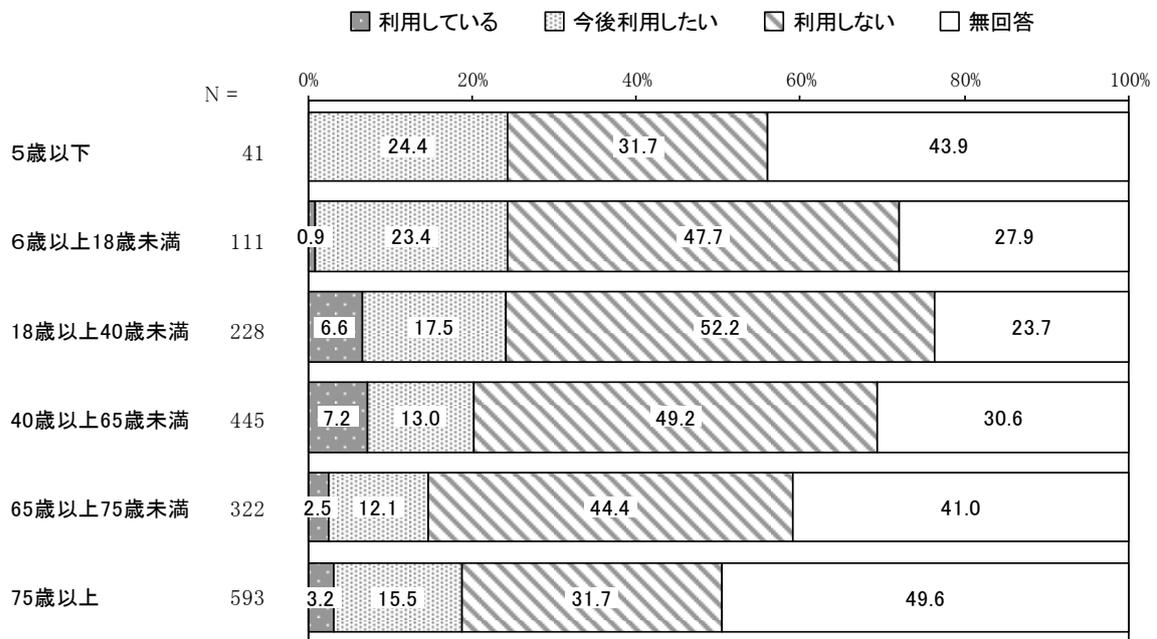
障害種別でみると、他に比べ、手帳未所持で精神疾患の診断を受けている、愛の手帳所持者で「利用している」の割合が高く、約6割となっています。また、視覚障害で「今後利用したい」の割合が高く、2割台半ばとなっています。



② 地域移行支援

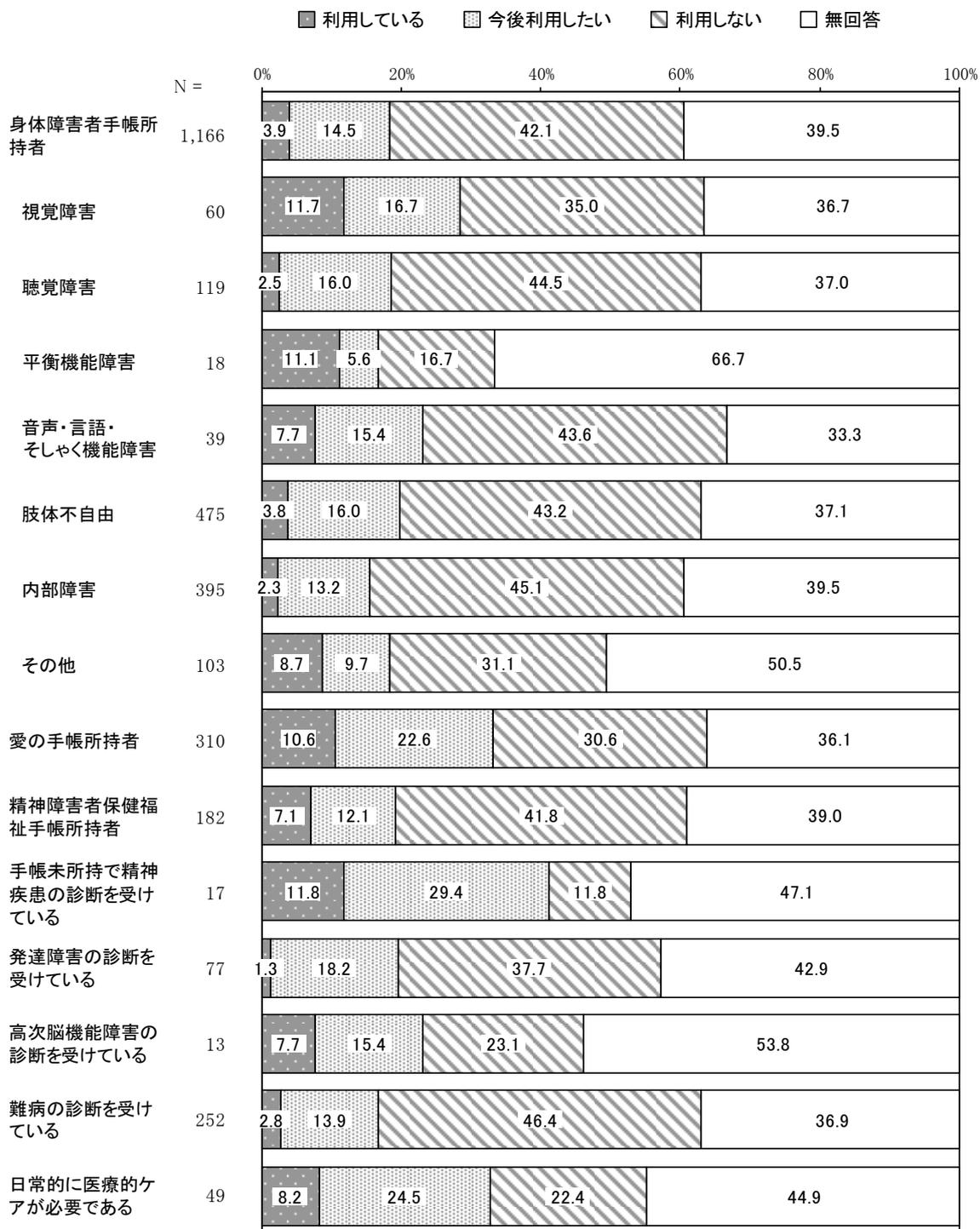
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、5歳以下、6歳以上18歳未満で「今後利用したい」の割合が高く、2割を超えています。



【障害種別】

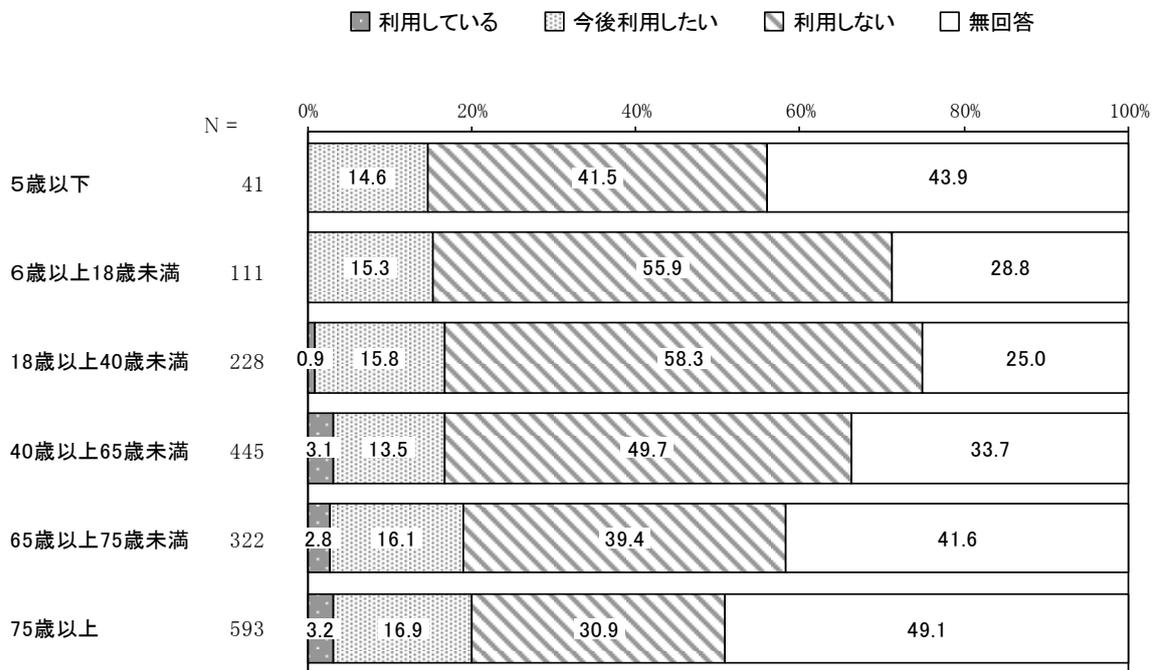
障害種別でみると、他に比べ、手帳未所持で精神疾患の診断を受けている人、日常的に医療的ケアが必要である、愛の手帳所持者で「今後利用したい」の割合が高くなっています。



③ 地域定着支援

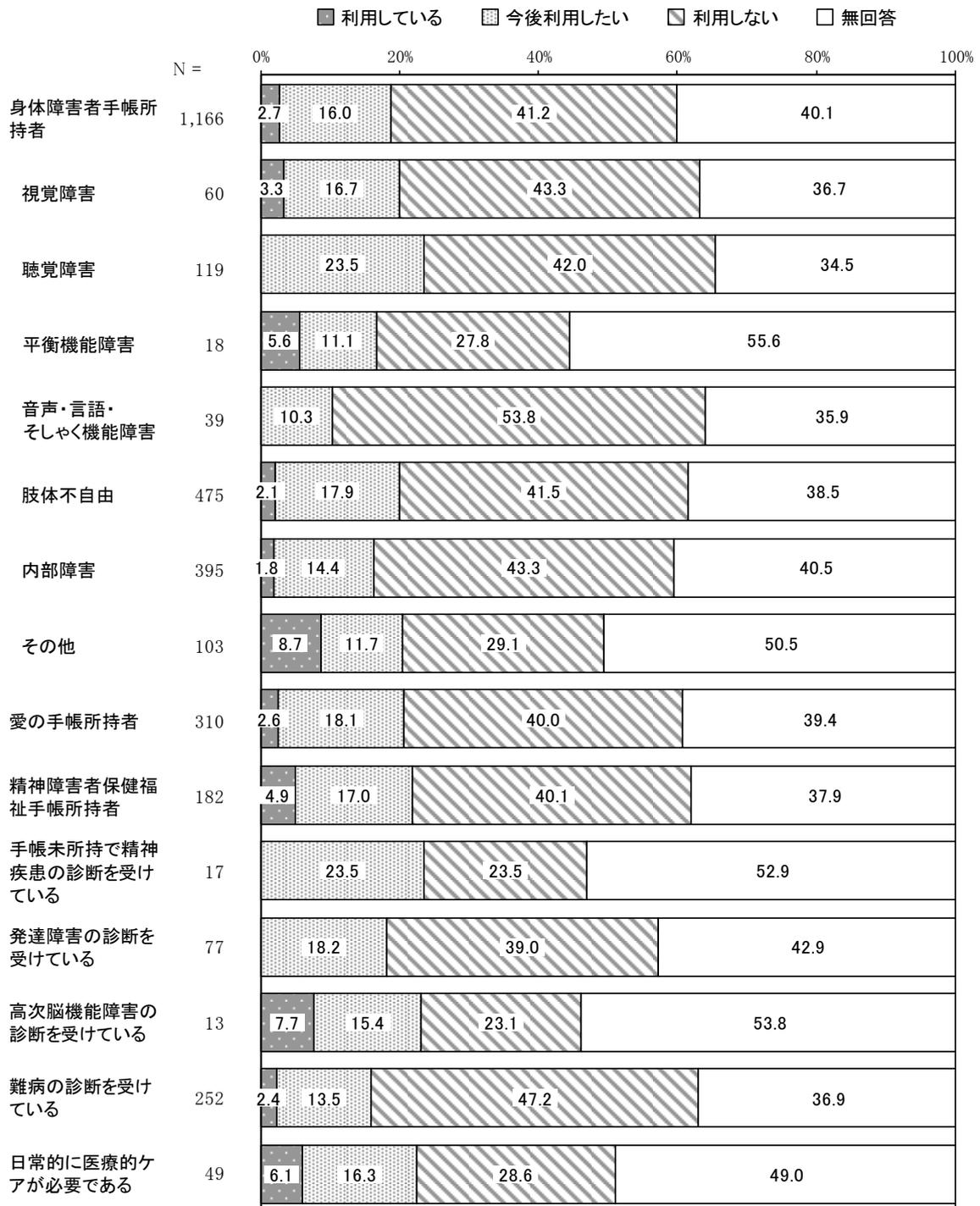
【年齢別】

年齢別でみると、いずれの年代でも「今後利用したい」の割合が1割台となっています。



【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、聴覚障害、手帳未所持で精神疾患の診断を受けている人で「今後利用したい」の割合が高く、2割を超えています。

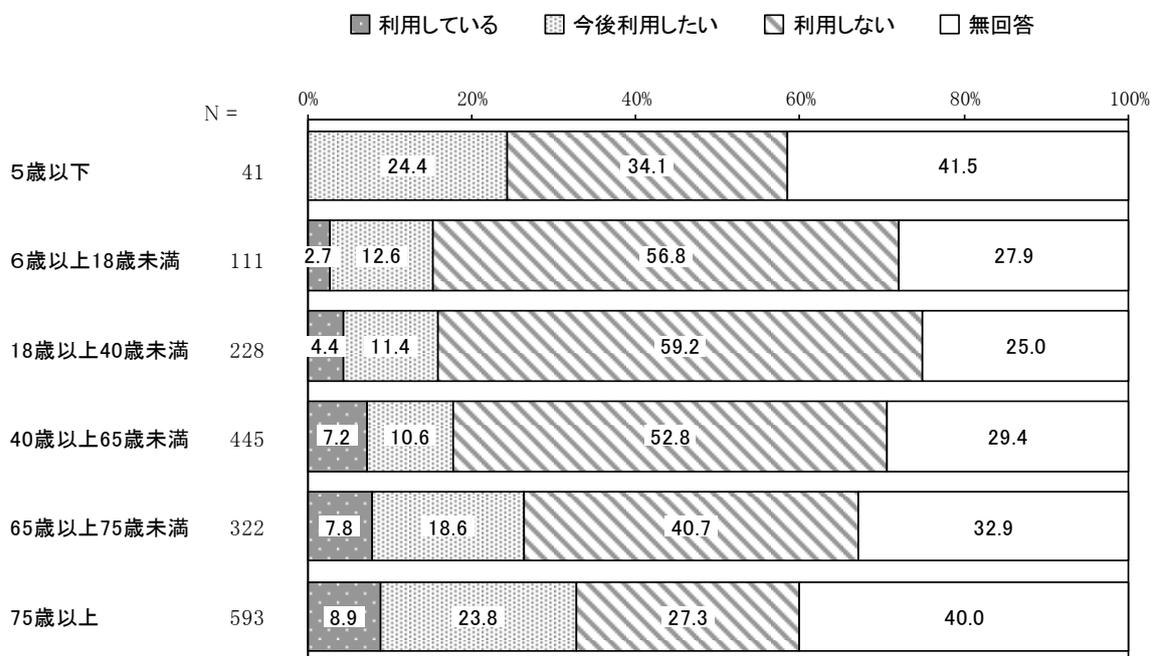


<自宅での暮らしや外出を支援するサービス>

④ 居宅介護（ホームヘルプ）

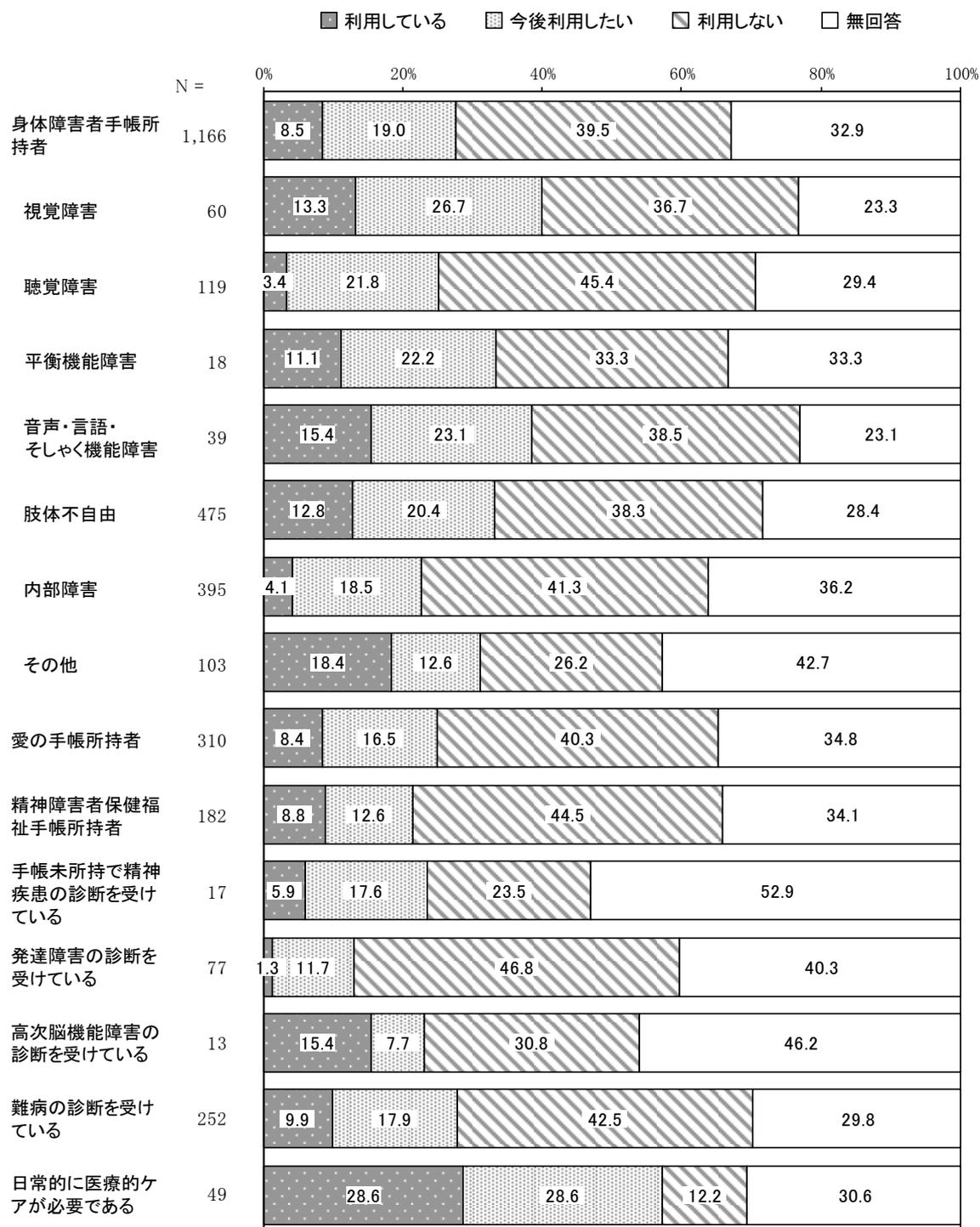
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、5歳以下、75歳以上で「今後利用したい」の割合が高く、2割を超えています。



【障害種別】

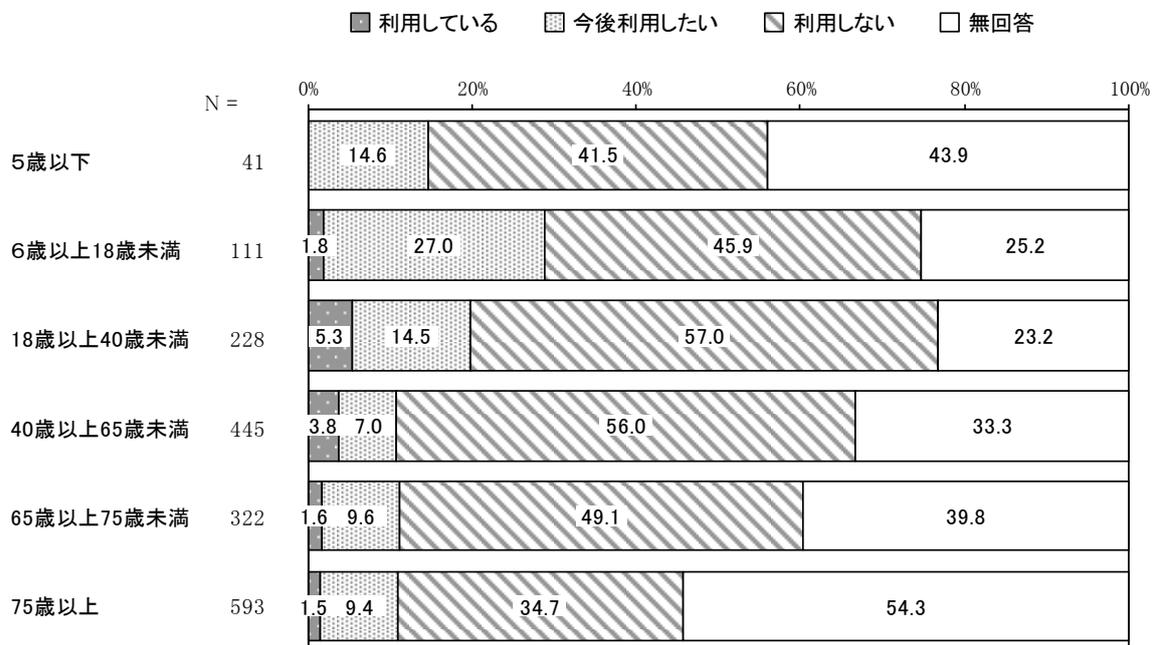
障害種別でみると、他に比べ、日常的に医療的ケアが必要である人で「利用している」の割合とともに、「今後利用したい」の割合が高く、約3割となっています。一方、高次脳機能障害の診断を受けているで「今後利用したい」の割合が低く、1割未満となっています。



⑤ 行動援護

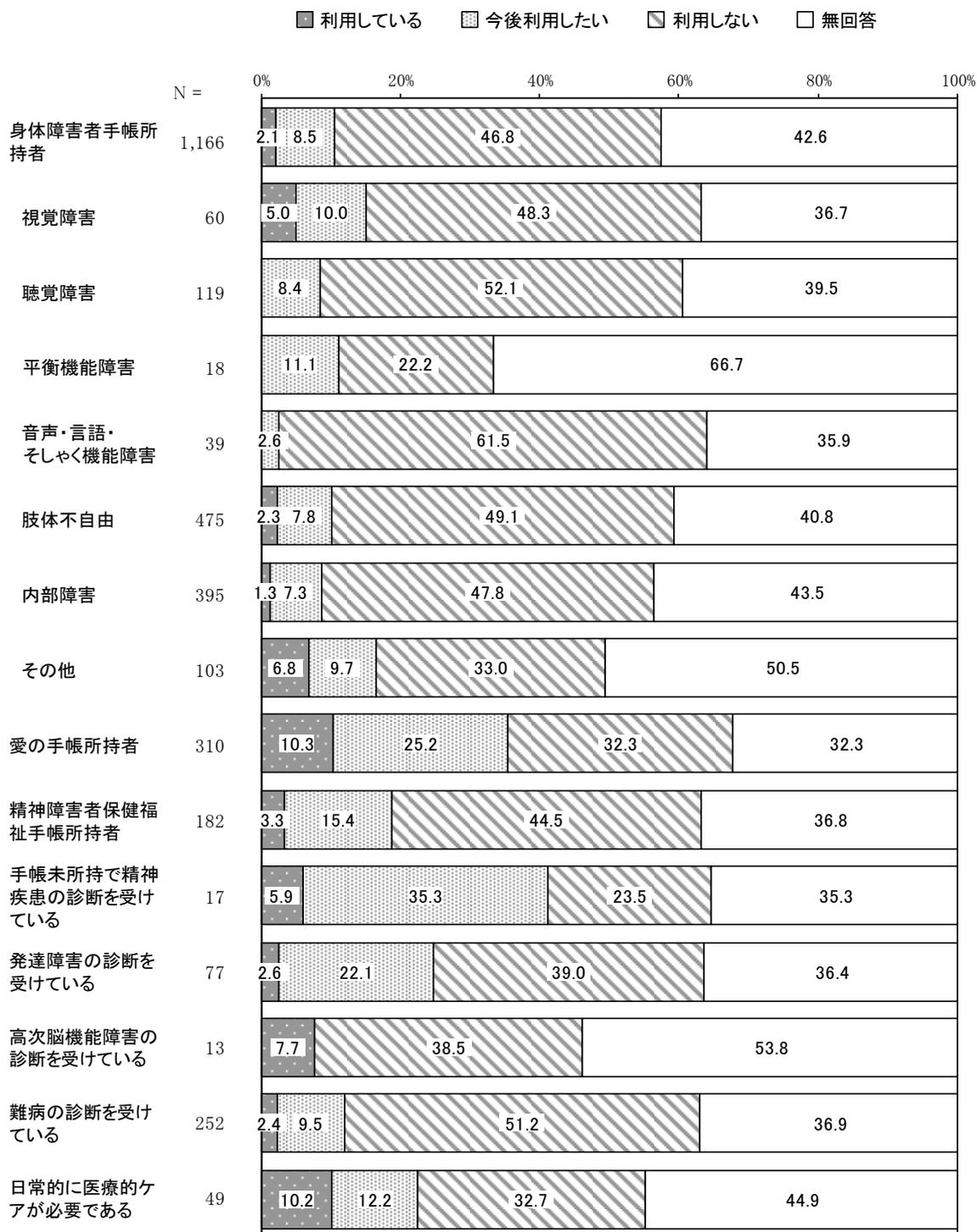
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、6歳以上18歳未満で「今後利用したい」の割合が高く、約3割となっています。



【障害種別】

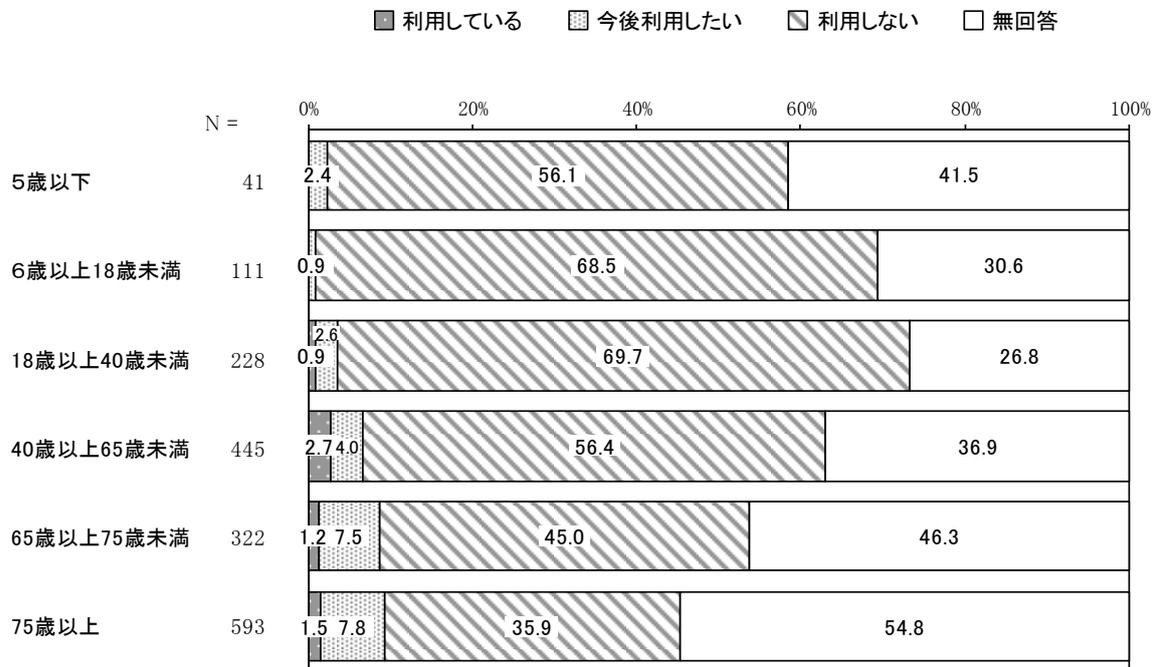
障害種別でみると、他に比べ、手帳未所持で精神疾患の診断を受けている人、愛の手帳所持者で「今後利用したい」の割合が高くなっています。



⑥ 同行援護

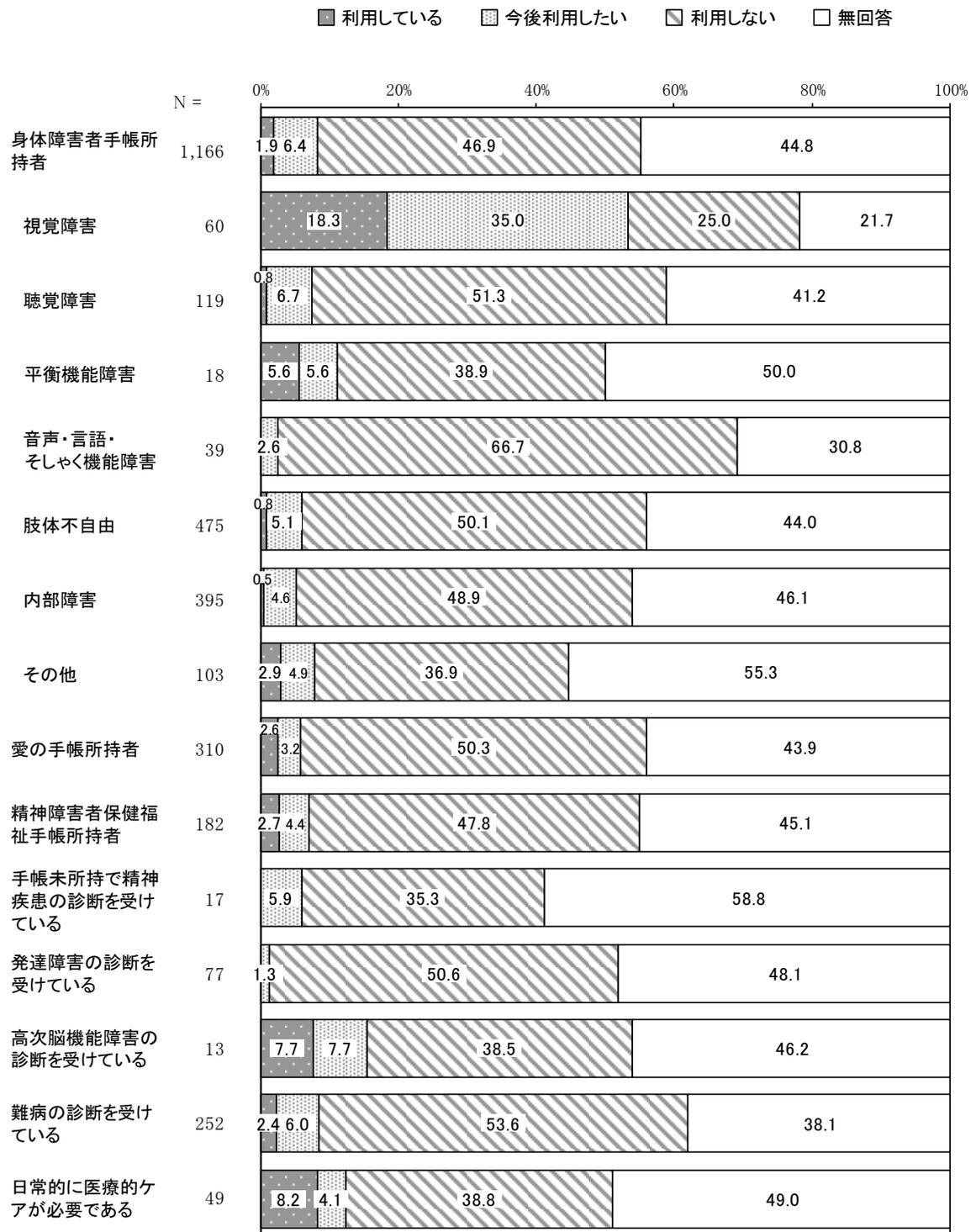
【年齢別】

年齢別でみると、5歳以下を除き、年齢が高くなるにつれ「今後利用したい」の割合が高くなる傾向があります。



【障害種別】

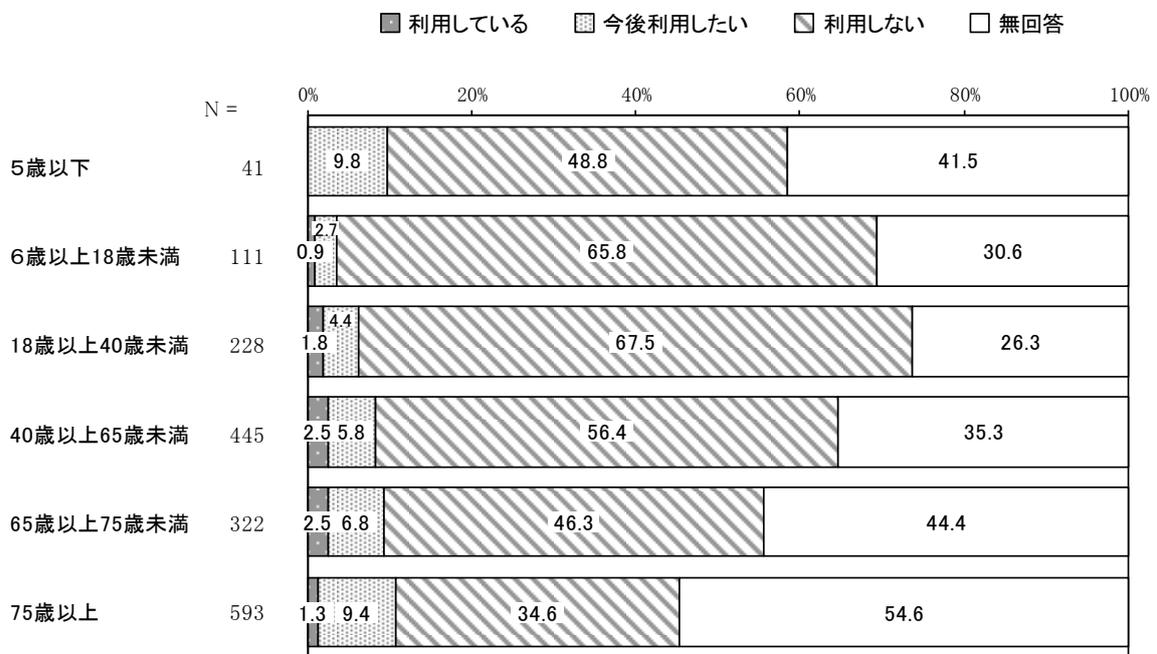
視覚障害の約2割が「利用している」、3割半ばが「今後利用したい」となっています。



⑦ 重度訪問介護

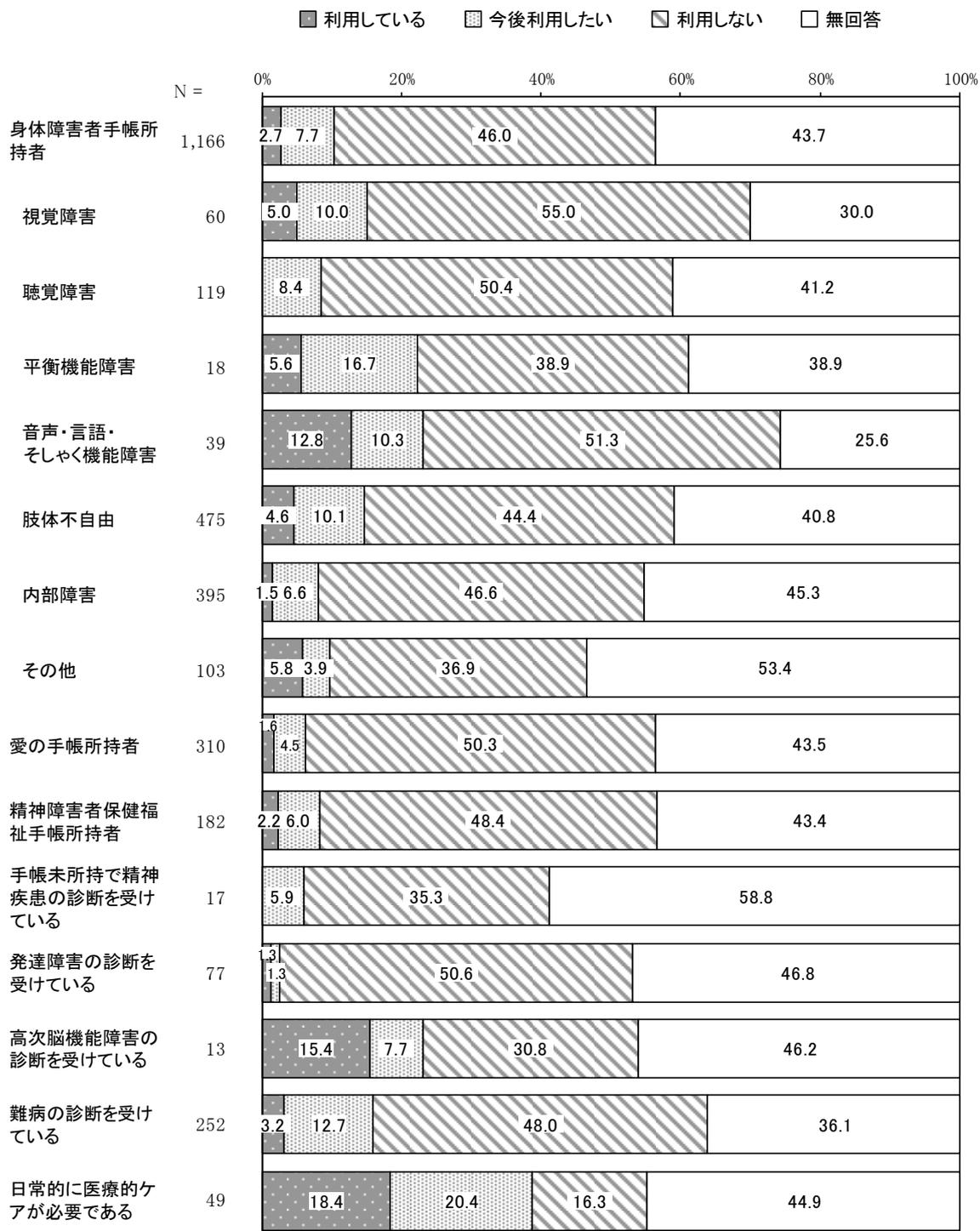
【年齢別】

年齢別でみると、5歳以下を除き、年齢が高くなるにつれ「今後利用したい」の割合が高くなる傾向があります。



【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、日常的に医療的ケアが必要である人で「今後利用したい」の割合が高く、約2割となっています。

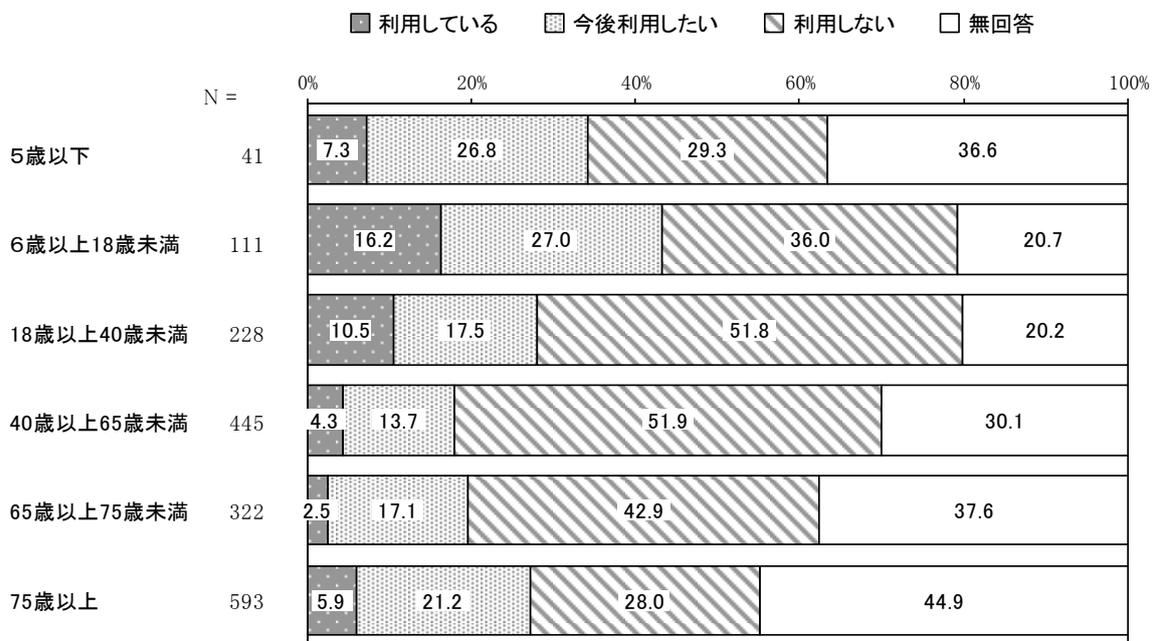


<日中活動，自立や就労を支援するサービス>

⑧ 短期入所（ショートステイ）

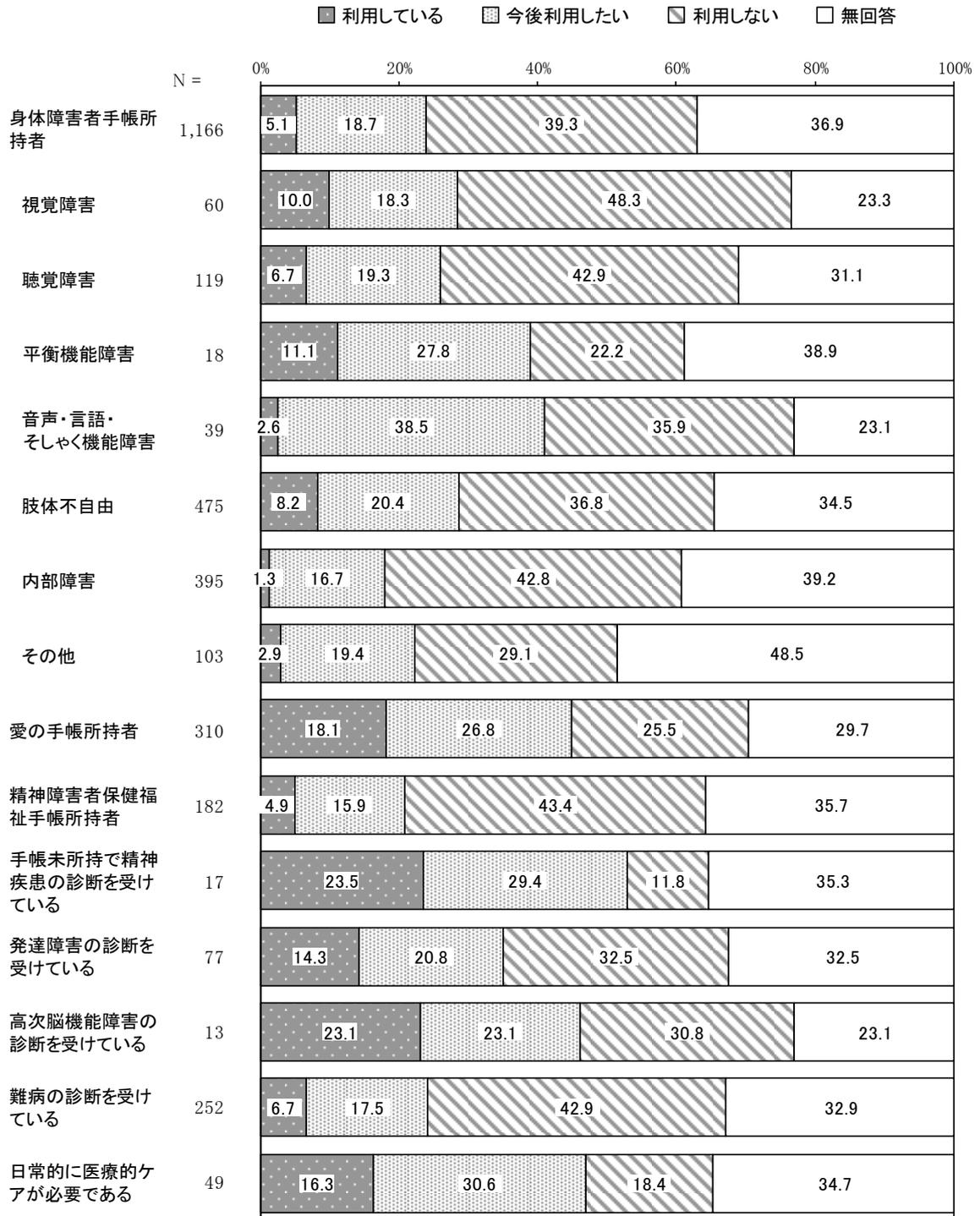
【年齢別】

年齢別で見ると，他に比べ，6歳以上18歳未満で「利用している」の割合が高く，1割台半ばとなっています。また，5歳以下，6歳以上18歳未満で「今後利用したい」の割合が高く，約2割となっています。



【障害種別】

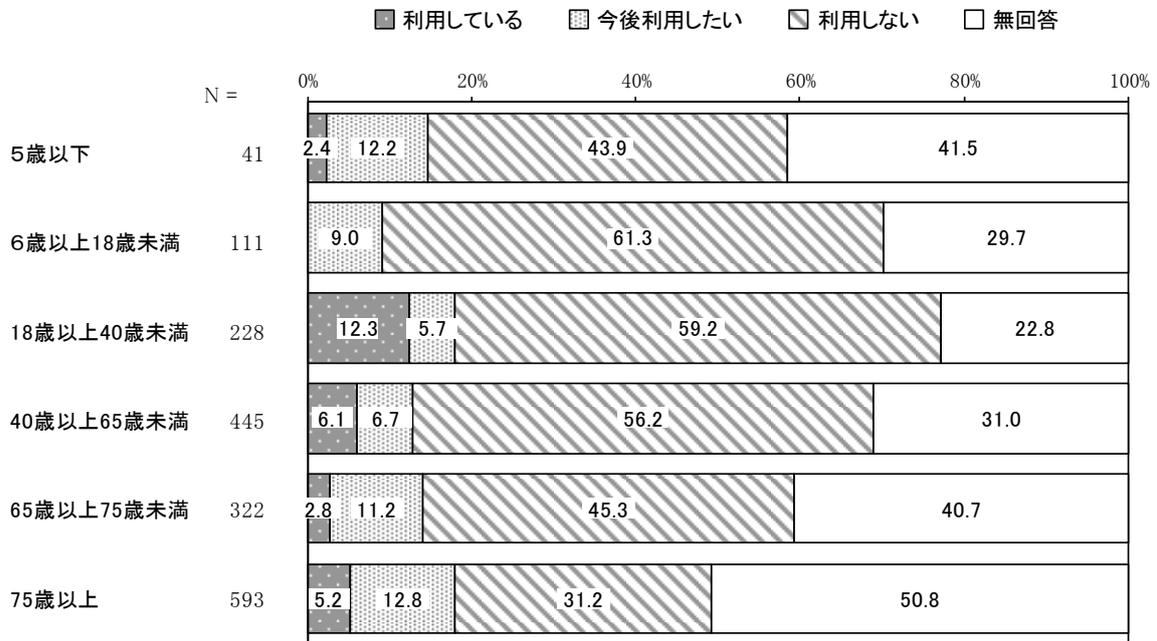
障害種別でみると、他に比べ、愛の手帳所持者、手帳未所持で精神疾患の診断を受けている人、高次脳機能障害の診断を受けている人で「利用している」の割合が高く、約2割となっています。また、音声・言語・そしゃく機能障害で「今後利用したい」の割合が高く、約4割となっています。



⑨ 生活介護

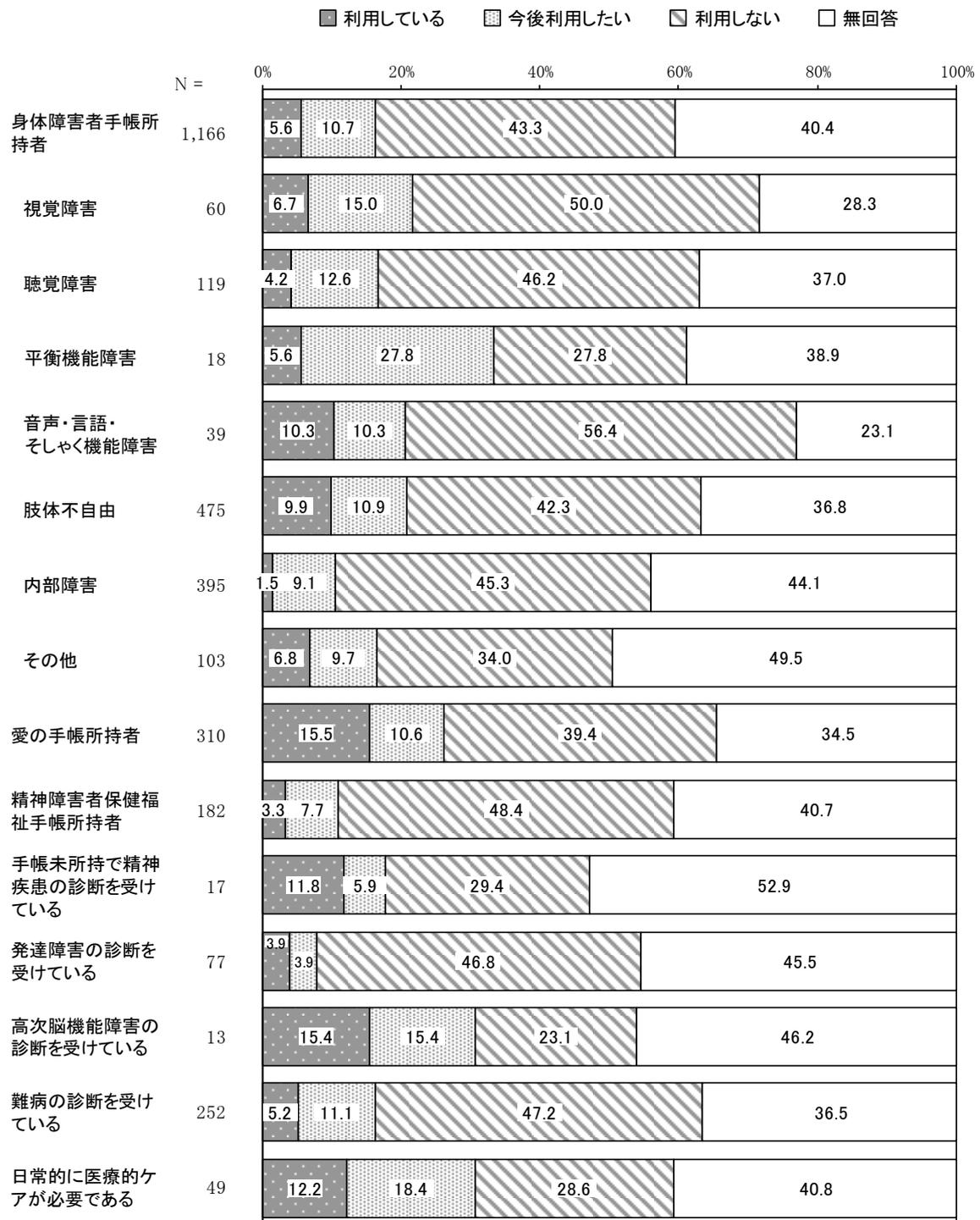
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、6歳以上18歳未満、18歳以上40歳未満、40歳以上65歳未満で「今後利用したい」の割合が低く、1割未満となっています。



【障害種別】

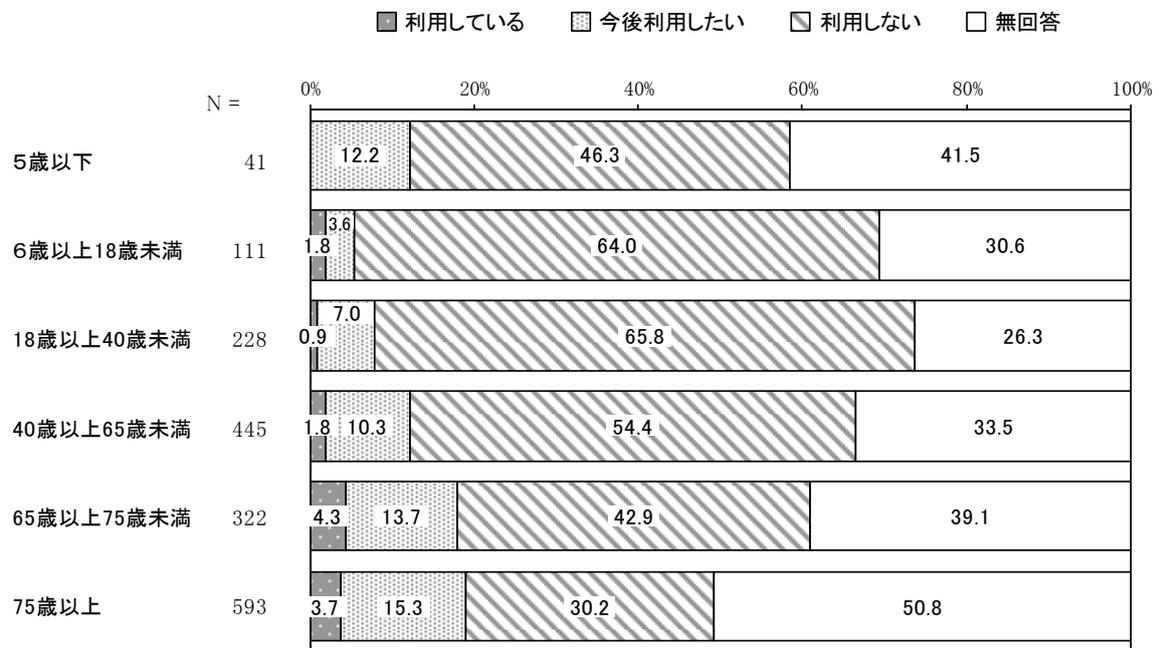
障害種別でみると、他に比べ、愛の手帳所持者、高次脳機能障害の診断を受けている人で「利用している」の割合が高く、1割台半ばとなっています。また、平衡機能障害で「今後利用したい」の割合が高く、約3割となっています。



⑩ 療養介護

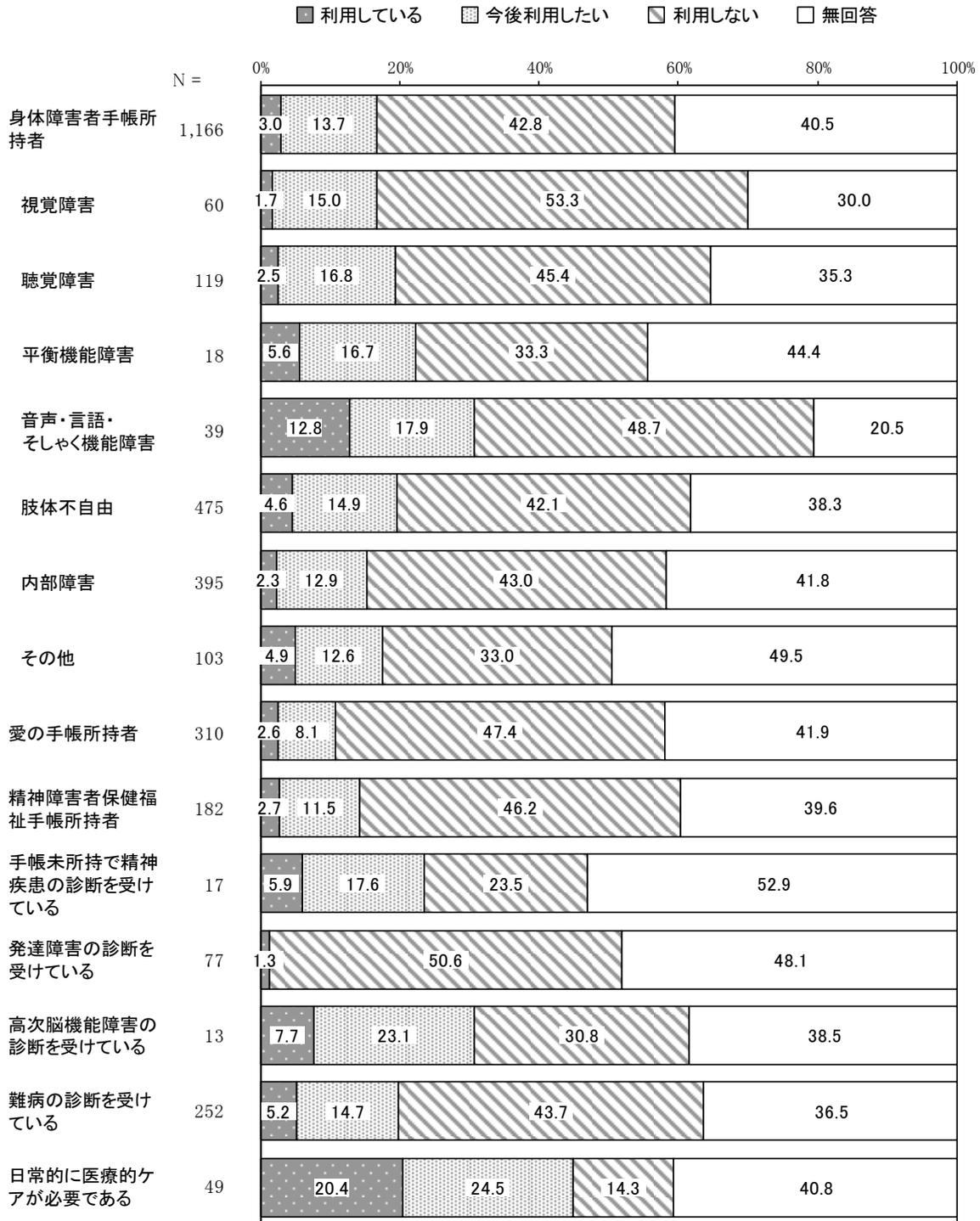
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、75歳以上で「今後利用したい」の割合が高く、1割台半ばとなっています。



【障害種別】

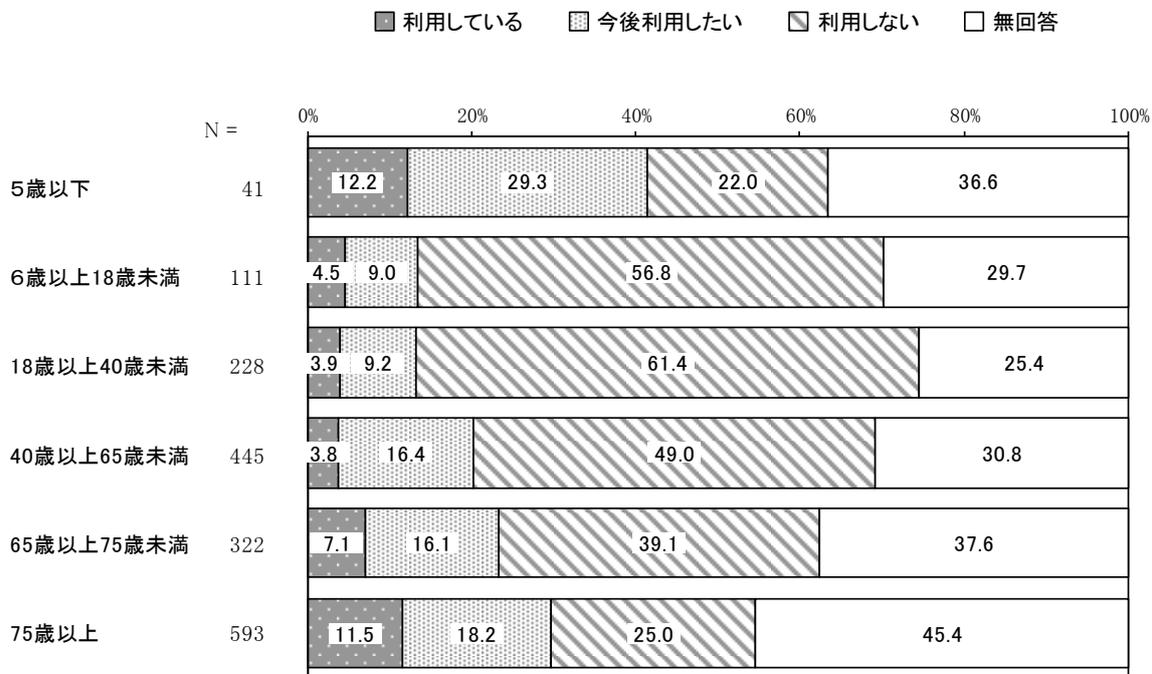
障害種別でみると、他に比べ、日常的に医療的ケアが必要である人で「利用している」の割合が高く、約2割となっています。また、日常的に医療的ケアが必要である人、高次脳機能障害の診断を受けているで「今後利用したい」の割合が高く、2割を超えています。



⑪ 自立訓練（機能訓練）

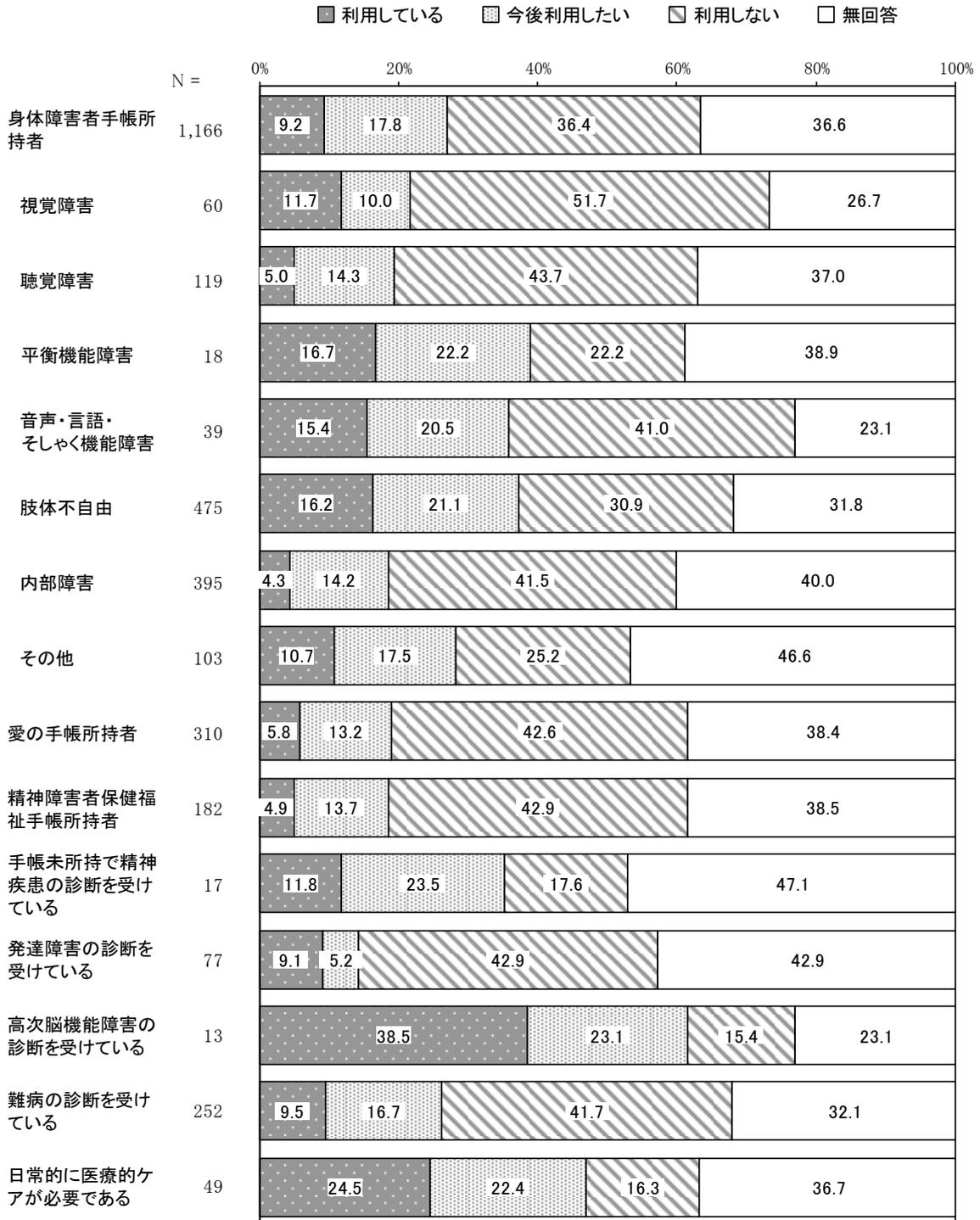
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、5歳以下、75歳以上で「利用している」の割合が高く、約1割と
なっています。また、5歳以下で「今後利用したい」の割合が高く、約3割となっています。



【障害種別】

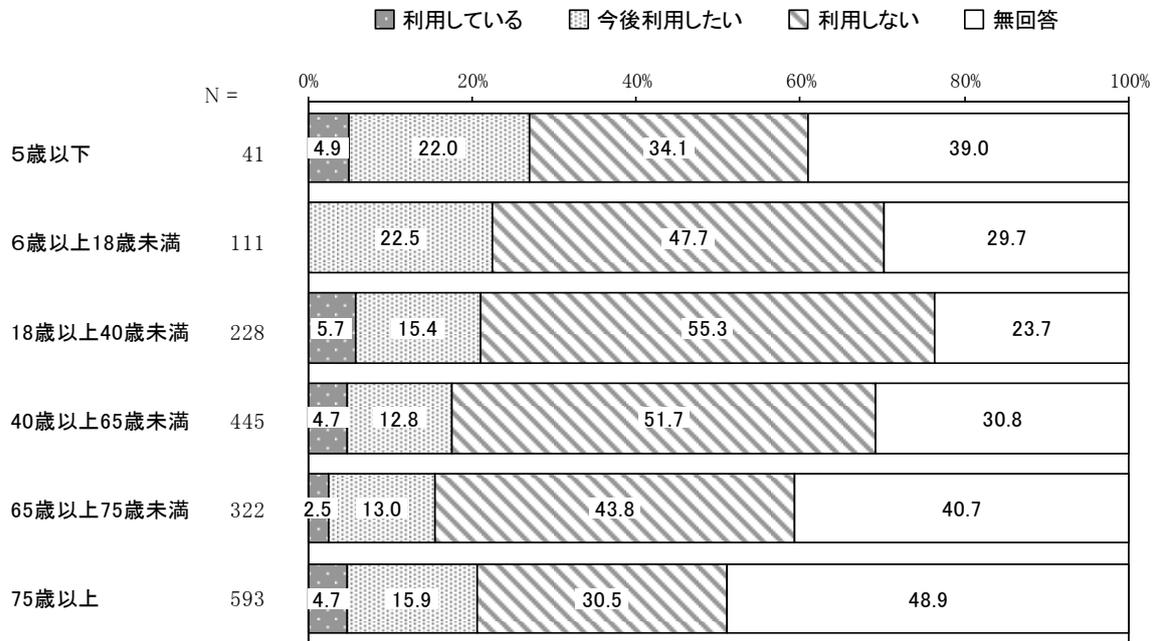
障害種別でみると、他に比べ、高次脳機能障害の診断を受けている人で「利用している」の割合が高く、約4割となっています。また、平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害、肢体不自由、手帳未所持で精神疾患の診断を受けている人、高次脳機能障害の診断を受けている人、日常的に医療的ケアが必要である人で「今後利用したい」の割合が高く、2割を超えています。



⑫ 自立訓練（生活訓練）

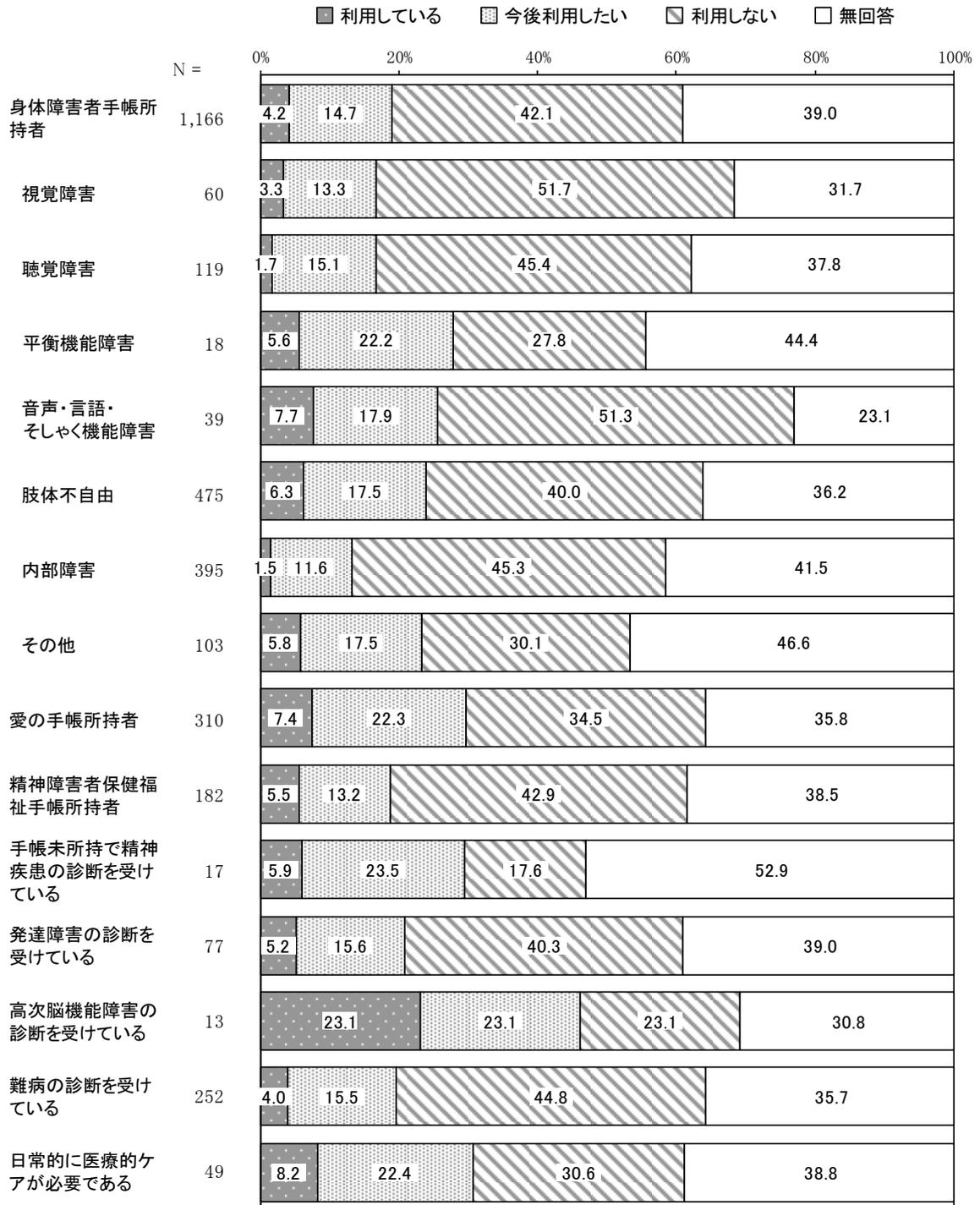
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、5歳以下、6歳以上18歳未満で「今後利用したい」の割合が高く、2割を超えています。



【障害種別】

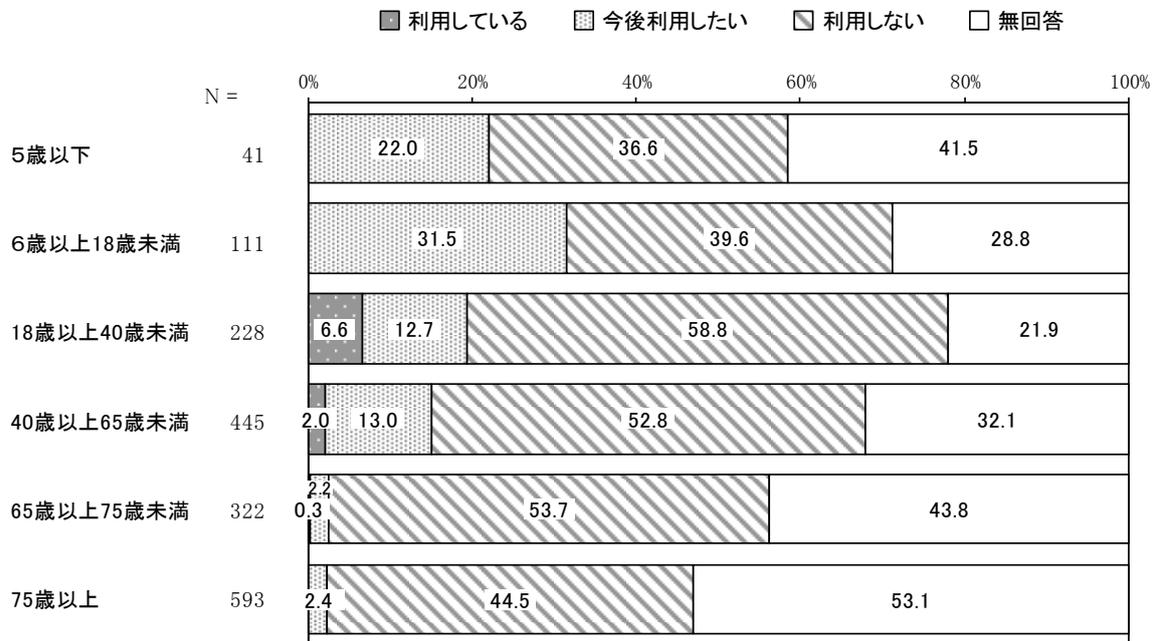
障害種別でみると、他に比べ、高次脳機能障害の診断を受けているで「利用している」の割合が高く、約2割となっています。また、平衡機能障害、愛の手帳所持者、手帳未所持で精神疾患の診断を受けている人、高次脳機能障害の診断を受けている人、日常的に医療的ケアが必要である人で「今後利用したい」の割合が高く、2割を超えています。



⑬ 就労移行支援

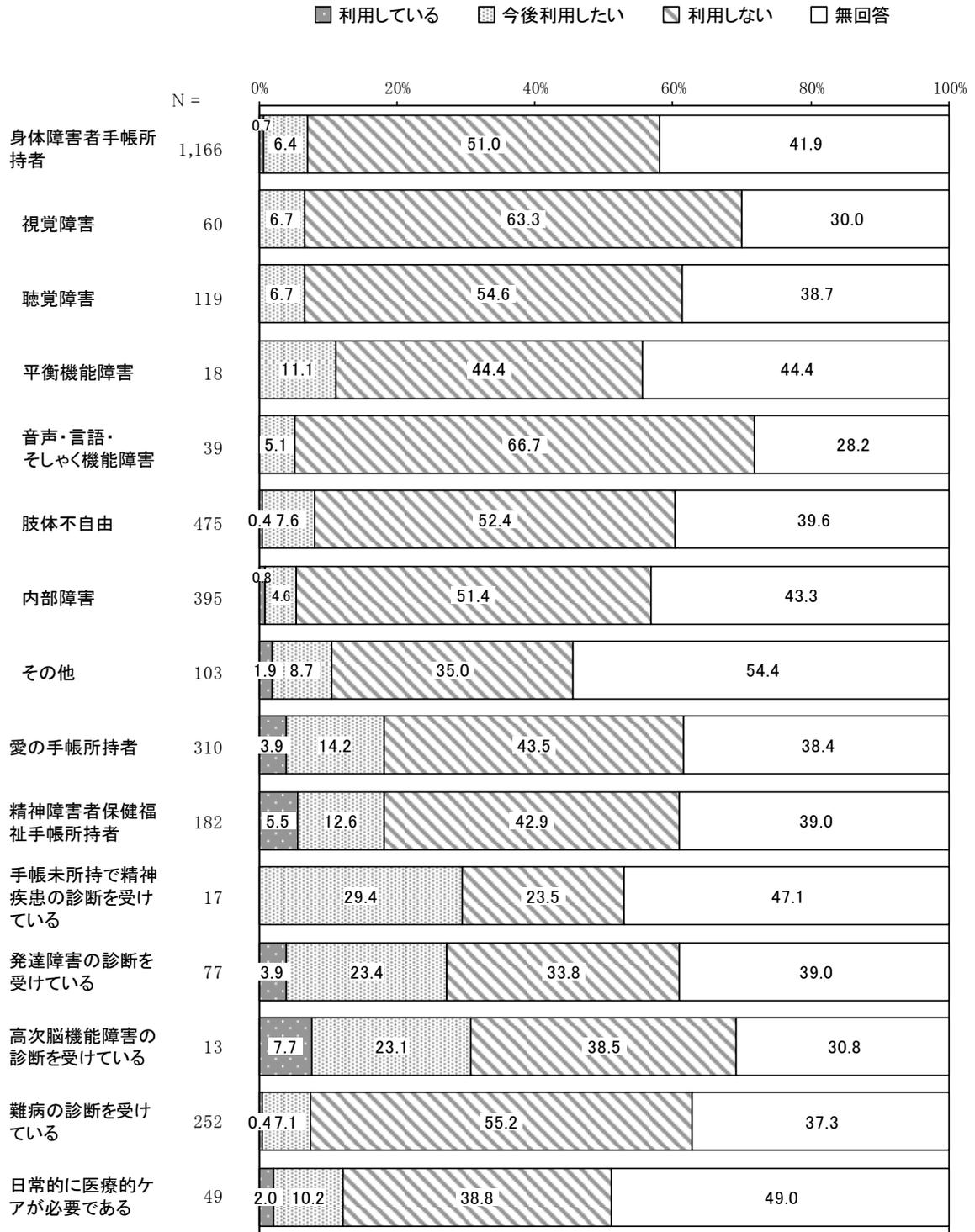
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、6歳以上18歳未満で「今後利用したい」の割合が高く、約3割となっています。



【障害種別】

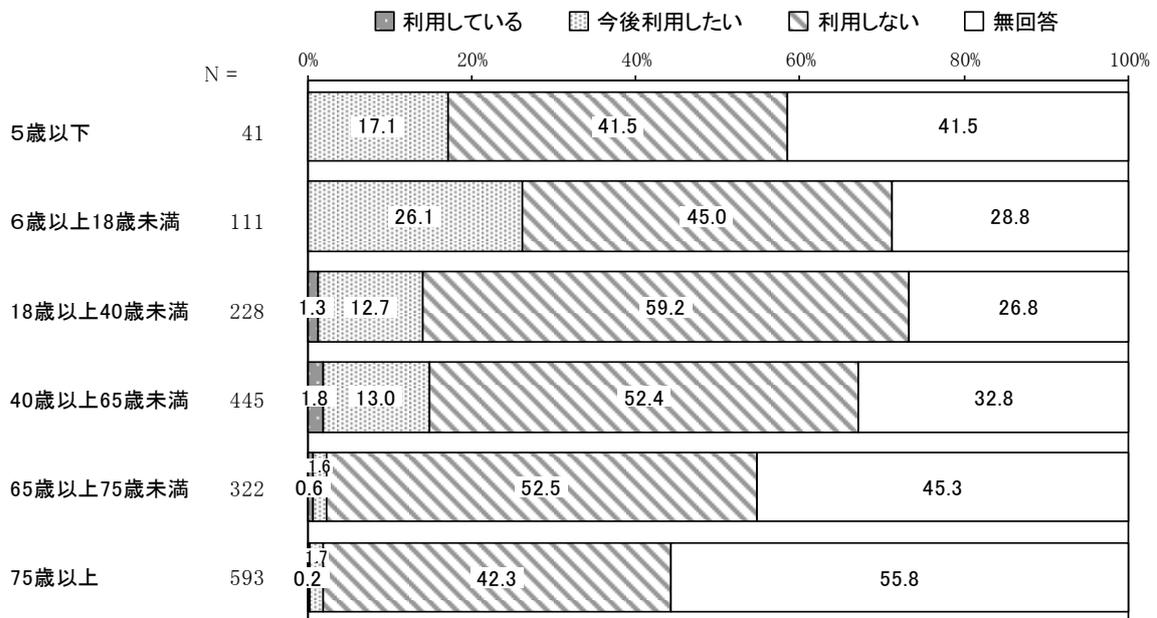
障害種別でみると、他に比べ、愛の手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者、発達障害の診断を受けている人、高次脳機能障害の診断を受けている人が、「利用している」、「今後利用したい」とも高い割合となっています。



⑭ 就労継続支援（A型）

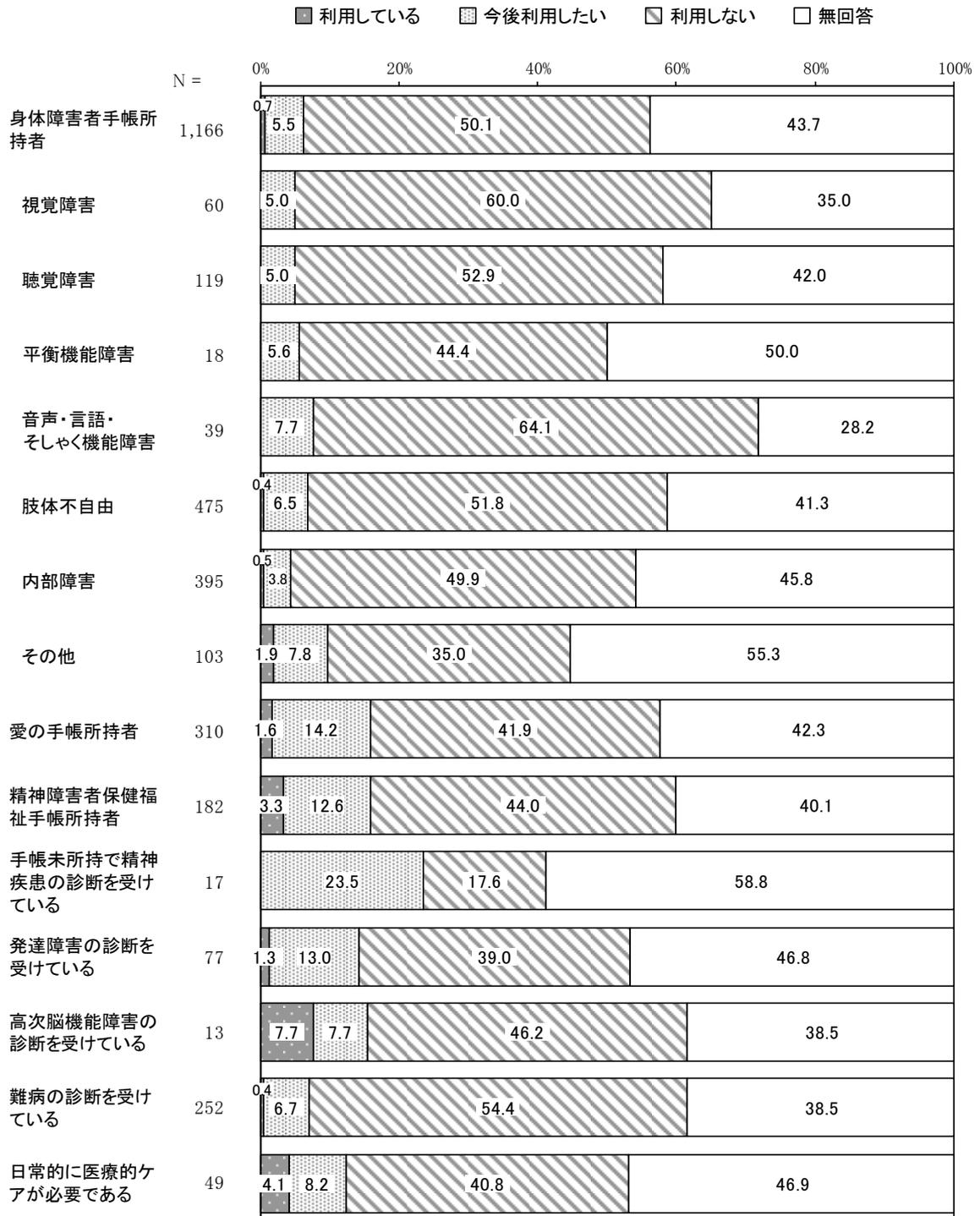
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、6歳以上18歳未満で「今後利用したい」の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、65歳以上75歳未満、75歳以上で「今後利用したい」の割合が低くなっています。



【障害種別】

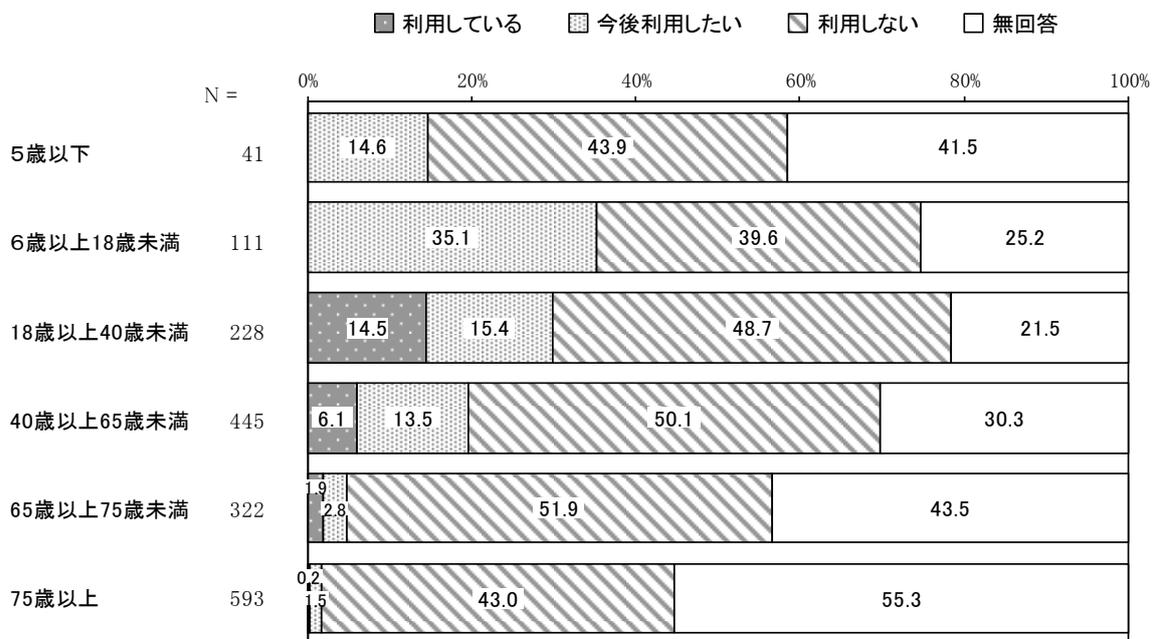
障害種別でみると、他に比べ、手帳未所持で精神疾患の診断を受けている人、愛の手帳所持者で「今後利用したい」の割合が高くなっています。



⑮ 就労継続支援（B型）

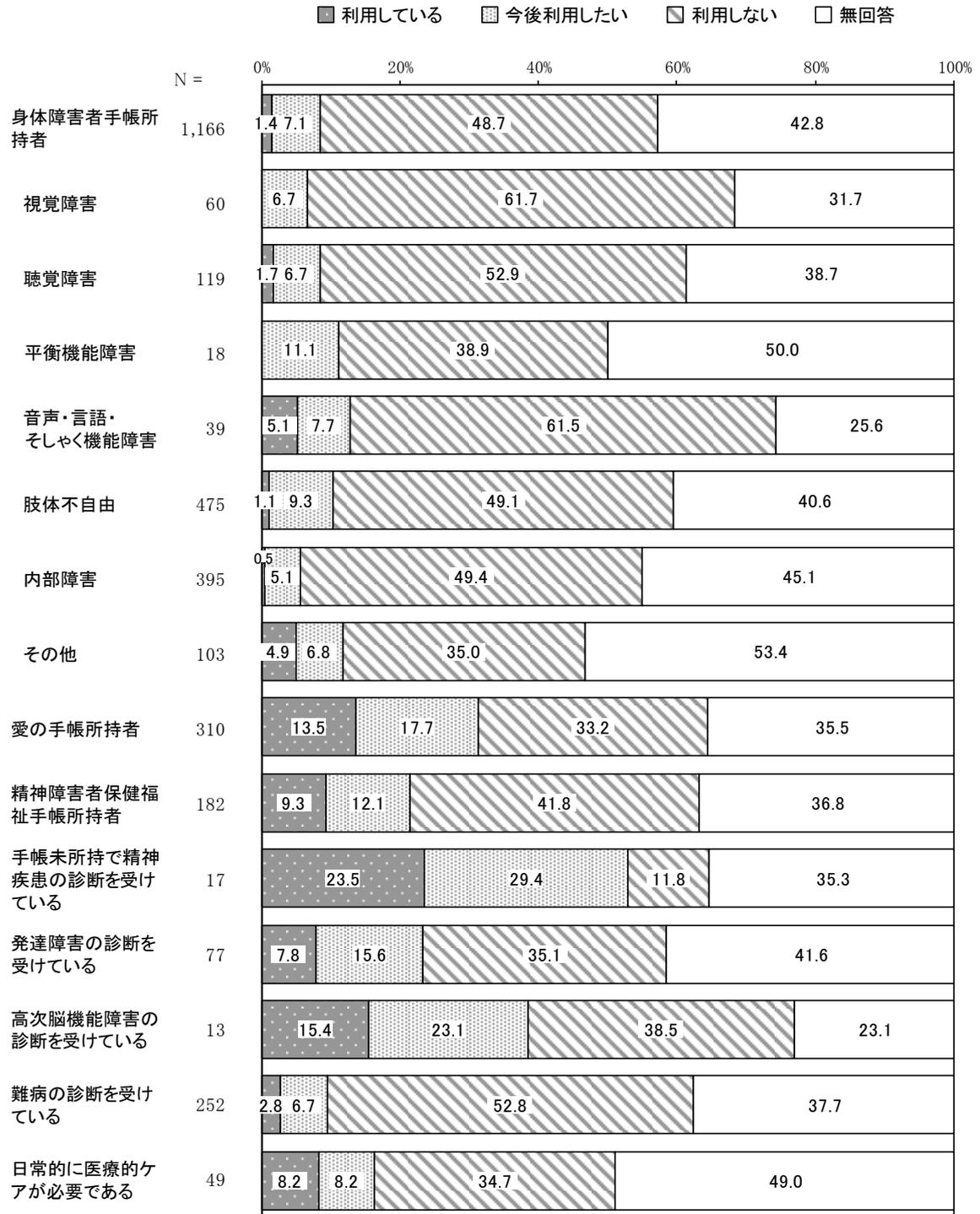
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、18歳以上40歳未満で「利用している」の割合が高く、1割台半ばとなっています。また、6歳以上18歳未満で「今後利用したい」の割合が高く、3割台半ばとなっています。



【障害種別】

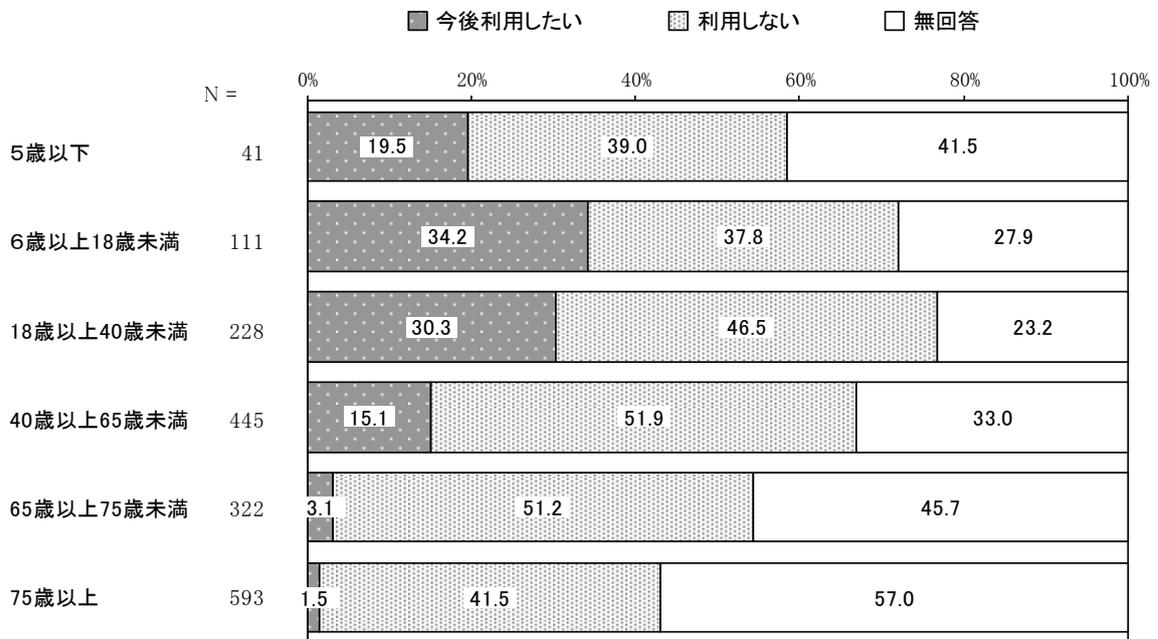
障害種別でみると、他に比べ、手帳未所持で精神疾患の診断を受けている人、高次脳機能障害の診断を受けている人、愛の手帳所持者で「利用している」、及び「今後利用したい」の割合が高くなっています。



⑩ 就労定着支援（平成 30 年度に新設されるサービス）

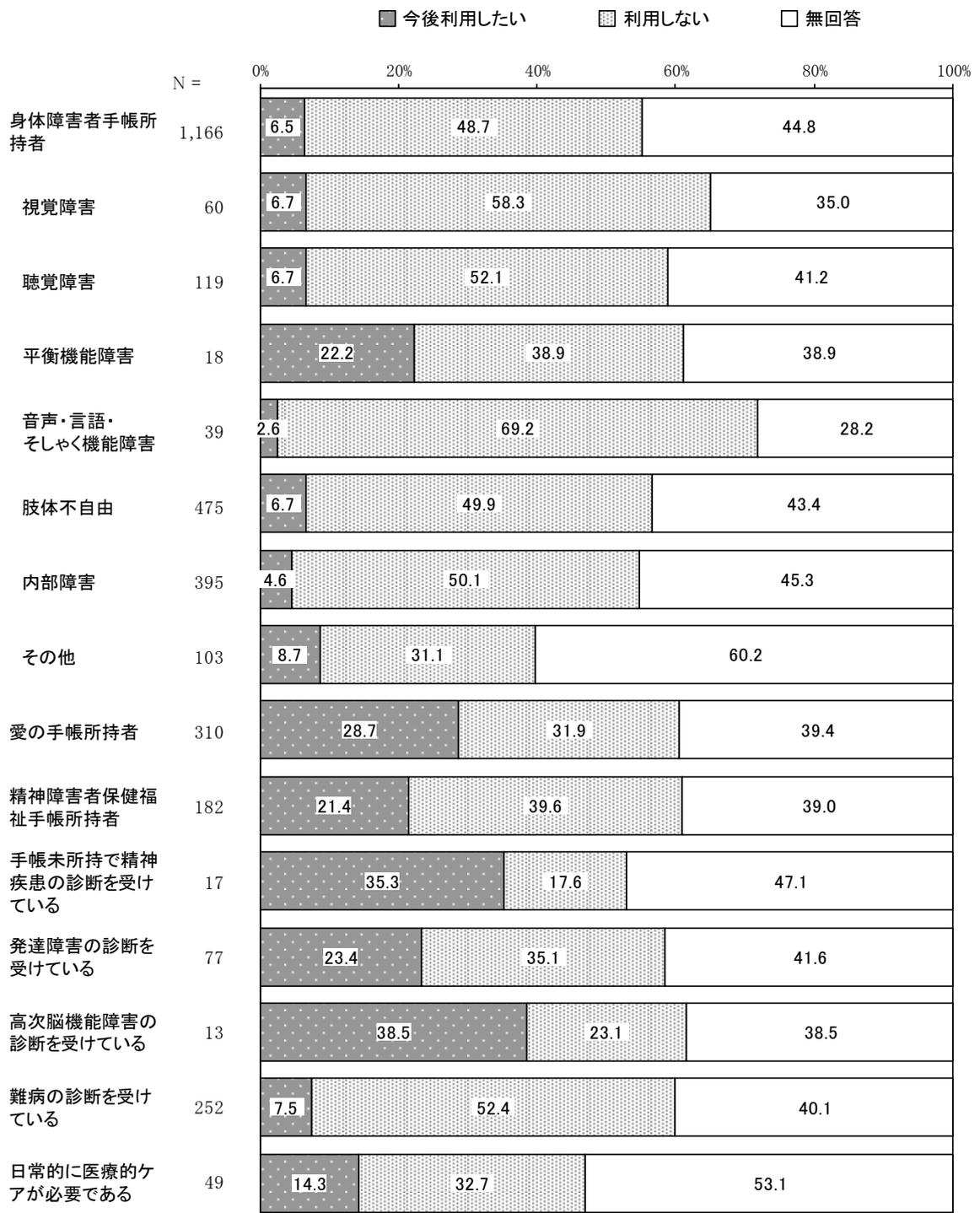
【年齢別】

年齢別でみると、5歳以下を除き、年齢が低くなるにつれ「今後利用したい」の割合が高くなっており、6歳以上18歳未満で3割台半ばとなっています。



【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、高次脳機能障害の診断を受けている人で「今後利用したい」の割合が高く、約4割となっています。

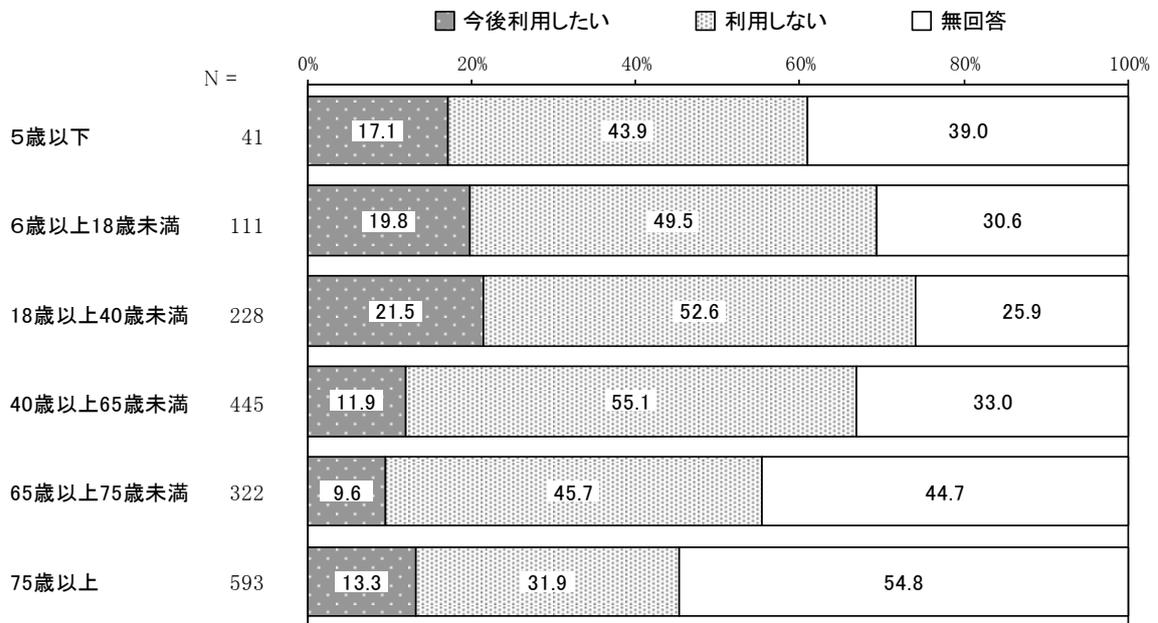


<住まいの場で生活を支援するサービス>

⑰ 自立生活援助（平成 30 年度に新設されるサービス）

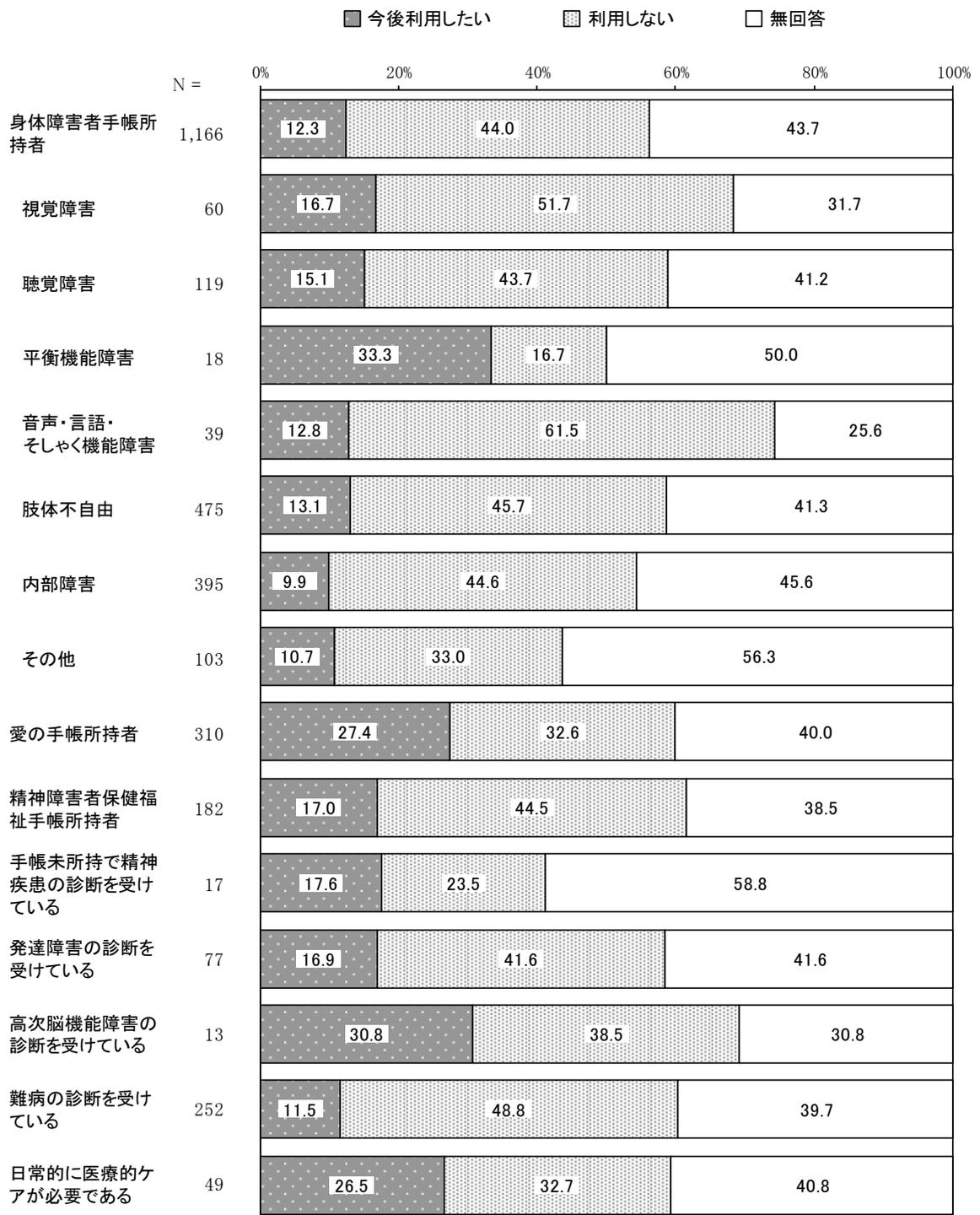
【年齢別】

年齢別でみると，他に比べ，5歳以下，6歳以上18歳未満，18歳以上40歳未満で「今後利用したい」の割合が高く，約2割となっています。



【障害種別】

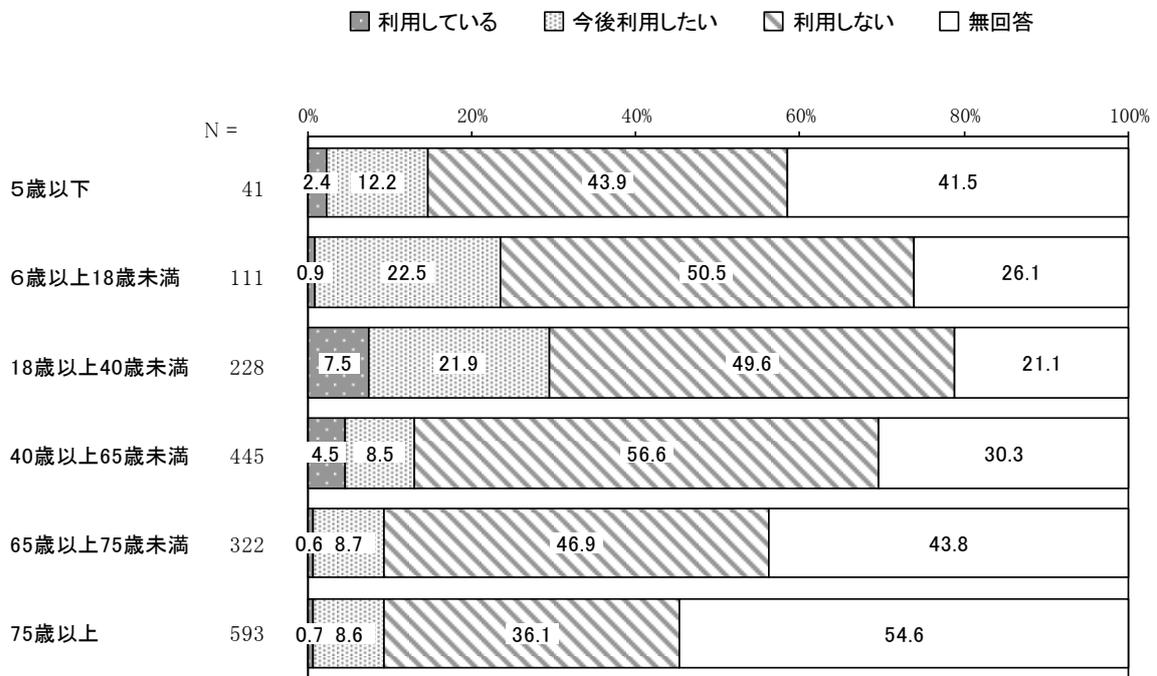
障害種別でみると、他に比べ、平衡機能障害、愛の手帳所持者、高次脳機能障害の診断を受けている人で「今後利用したい」の割合が高く、約3割となっています。



⑩ 共同生活援助（グループホーム）

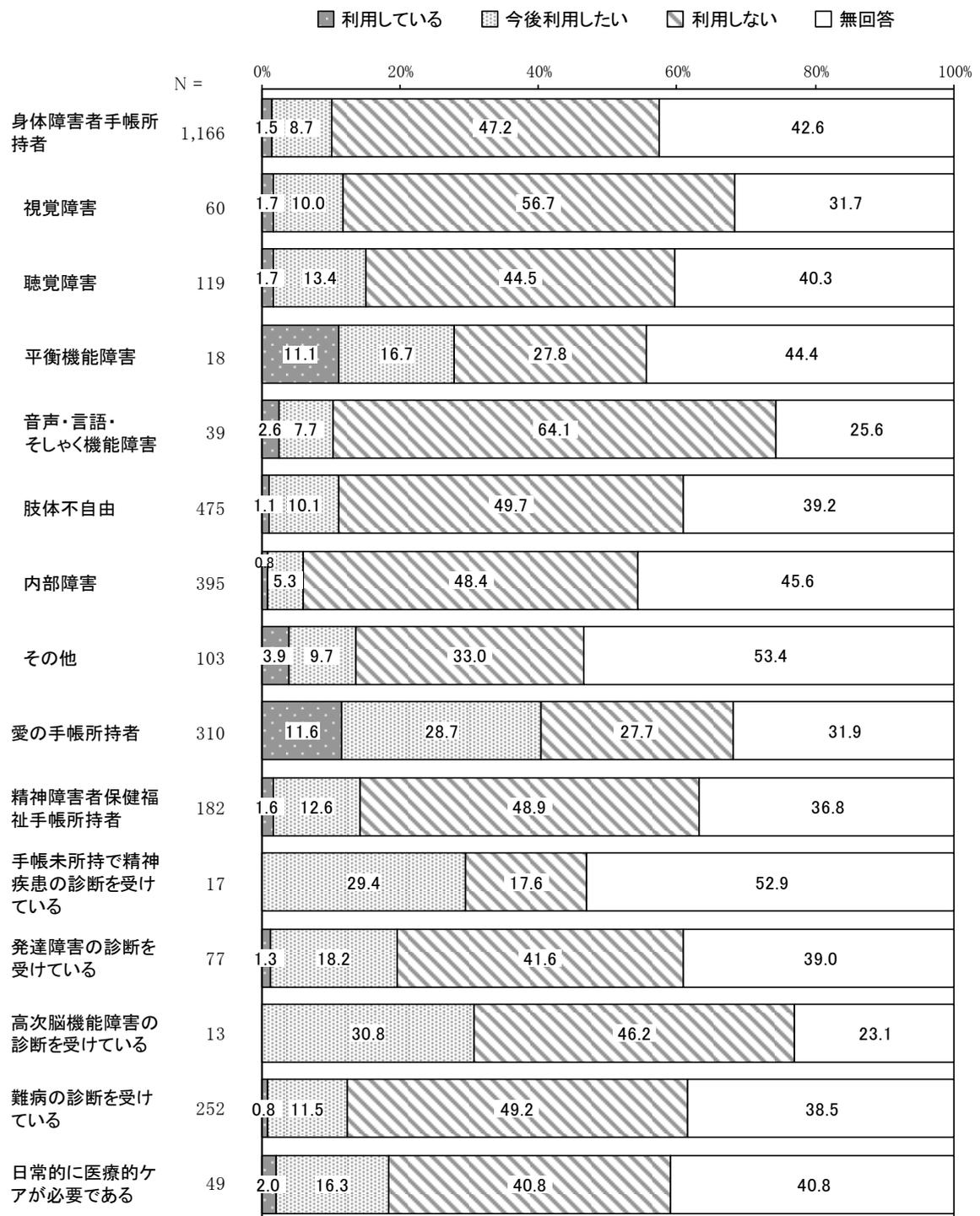
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、6歳以上18歳未満、18歳以上40歳未満で「今後利用したい」の割合が高く、約2割となっています。



【障害種別】

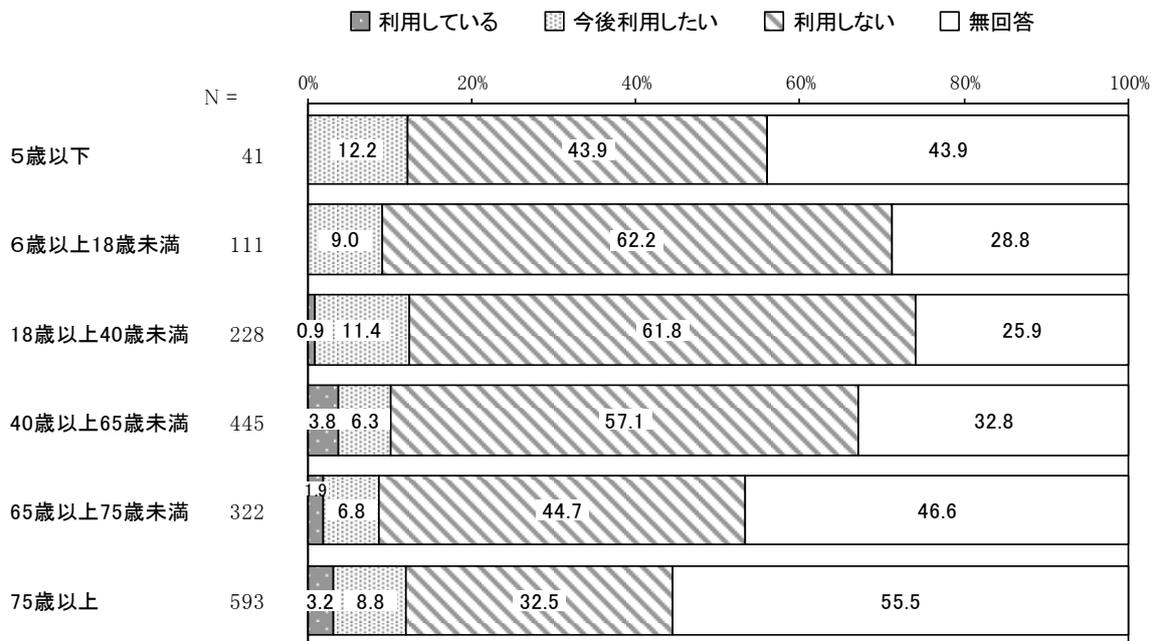
障害種別でみると、他に比べ、愛の手帳所持者、手帳未所持で精神疾患の診断を受けている人、高次脳機能障害の診断を受けている人で「今後利用したい」の割合が高く、約3割となっています。



⑱ 施設入所支援

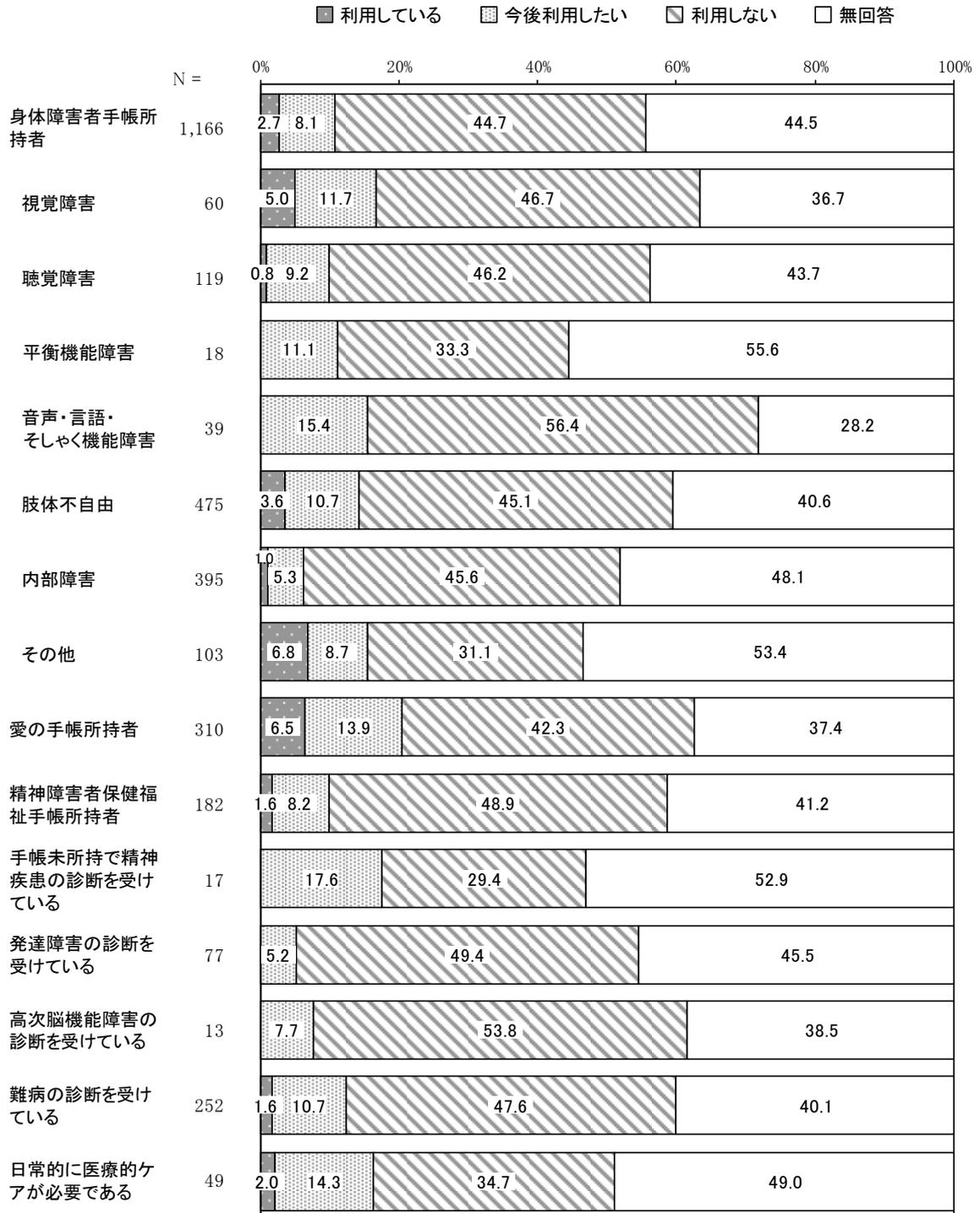
【年齢別】

年齢別で見ると、5歳以下、6歳以上18歳未満、18歳以上40歳未満で「今後利用したい」の割合が高く、約1割となっています。



【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、手帳未所持で精神疾患の診断を受けている人で「今後利用したい」の割合が高く、約2割となっています。

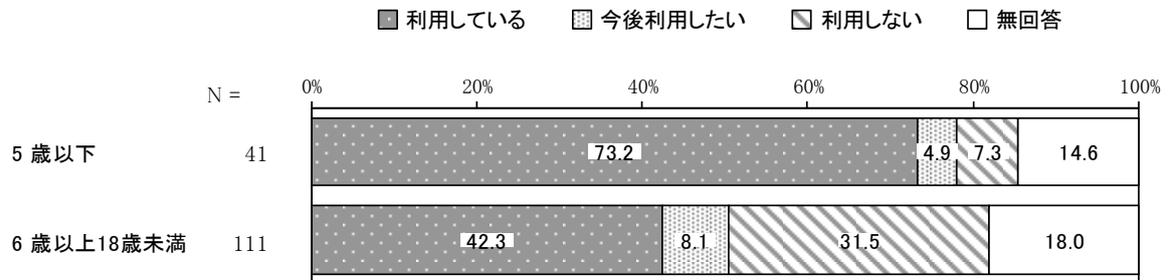


<児童福祉法に基づくサービス>

⑳ 障害児相談支援

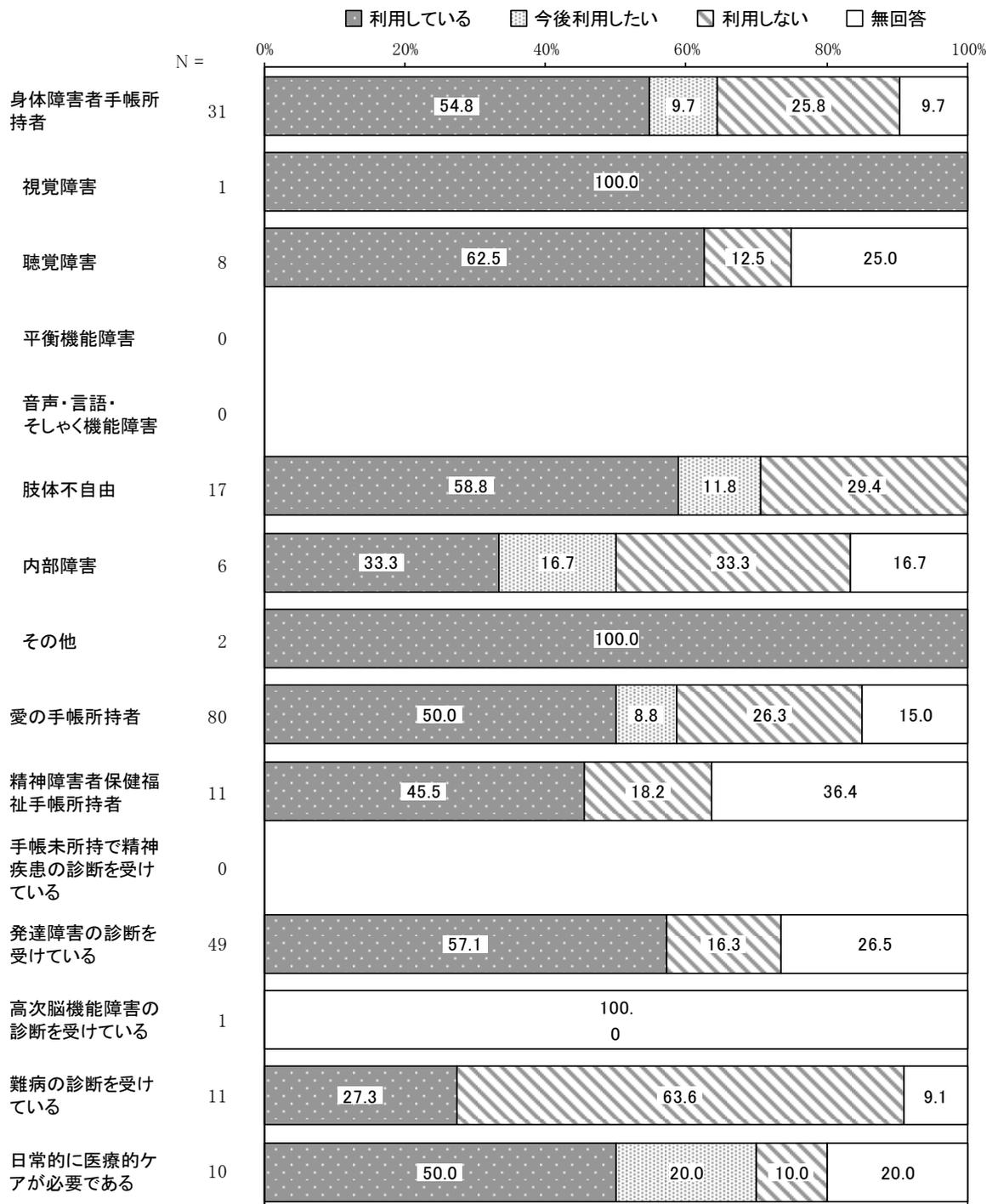
【年齢別】

年齢別で見ると、6歳以上18歳未満に比べ、5歳以下で「利用している」の割合が高く、役7割となっています。また、6歳以上18歳未満で「今後利用したい」の割合が高く、約1割となっています。



【障害種別】

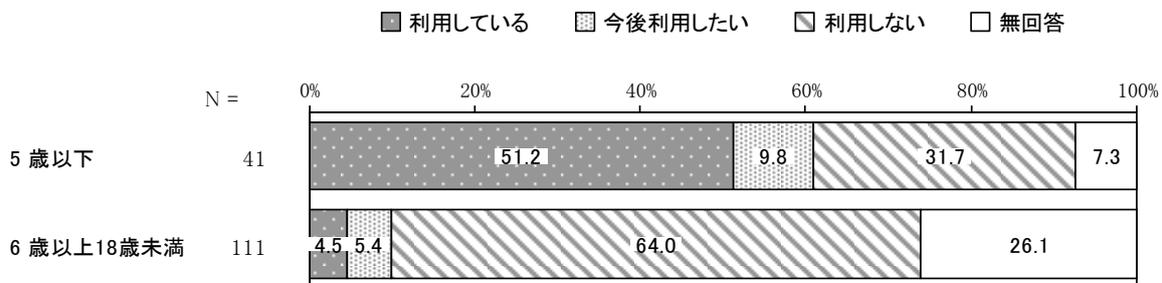
障害種別でみると、身体障害者手帳所持者、愛の手帳所持者で「今後利用したい」の割合は約1割となっています。



②① 医療型児童発達支援

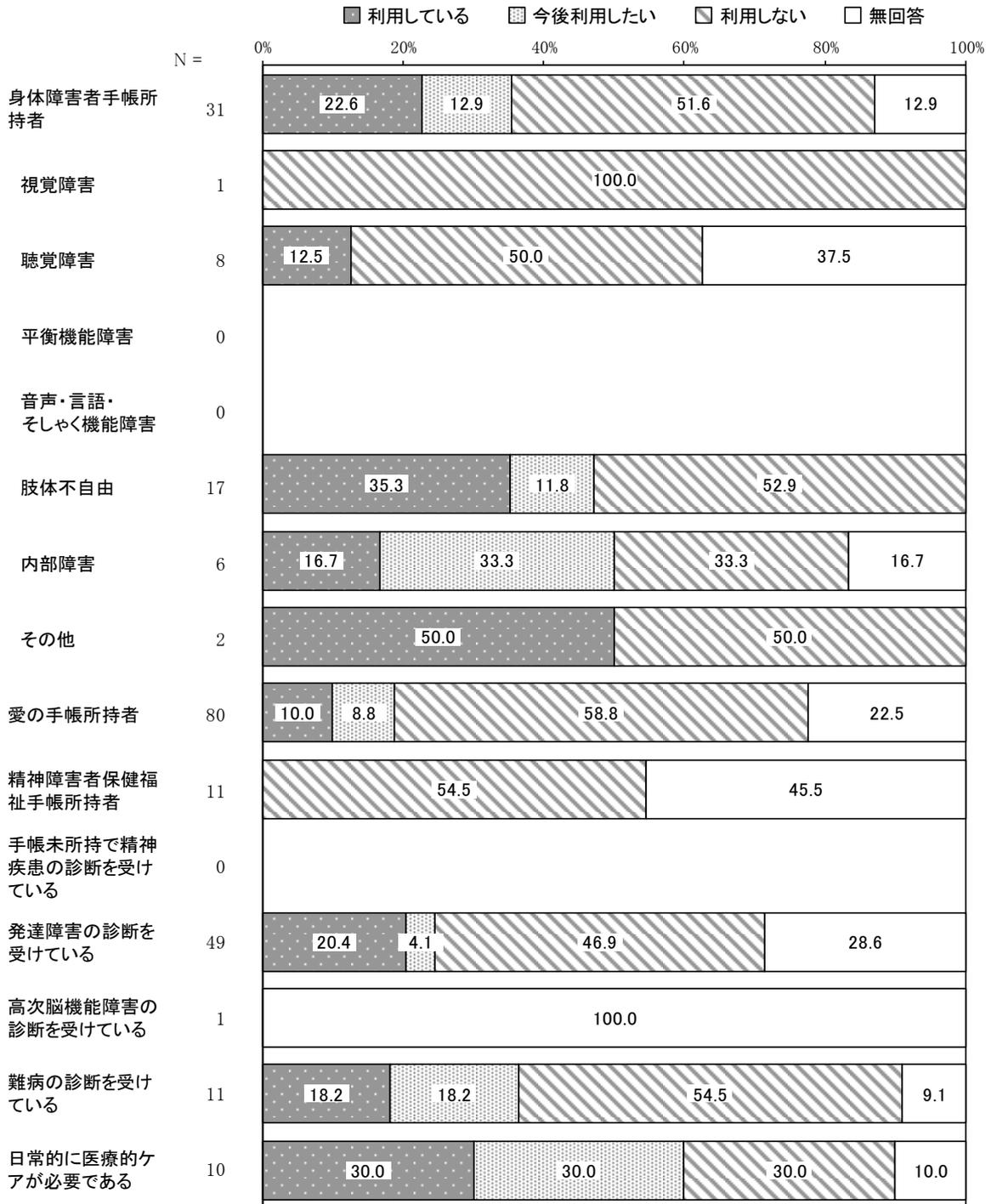
【年齢別】

年齢別で見ると、6歳以上18歳未満に比べ、5歳以下で「利用している」の割合が高く、約5割となっています。また、5歳以下で「今後利用したい」の割合が高く、約1割となっています。



【障害種別】

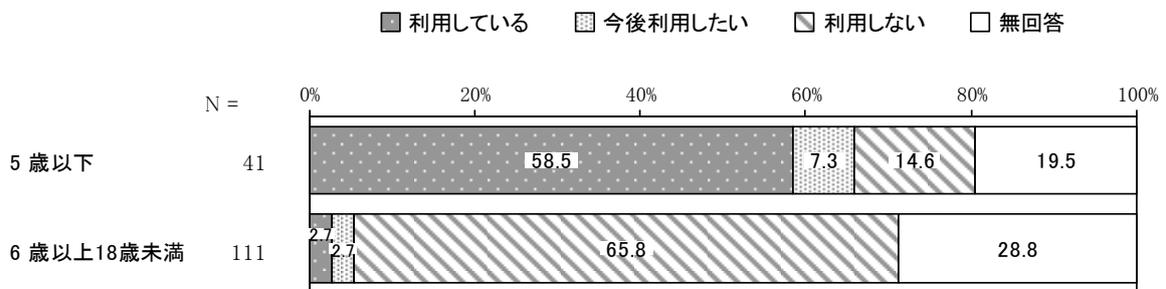
障害種別でみると、他に比べ、肢体不自由で「利用している」の割合が高く3割台半ばとなっています。また、日常的に医療的ケアが必要である人で「今後利用したい」の割合が高く、3割となっています。



② 児童発達支援

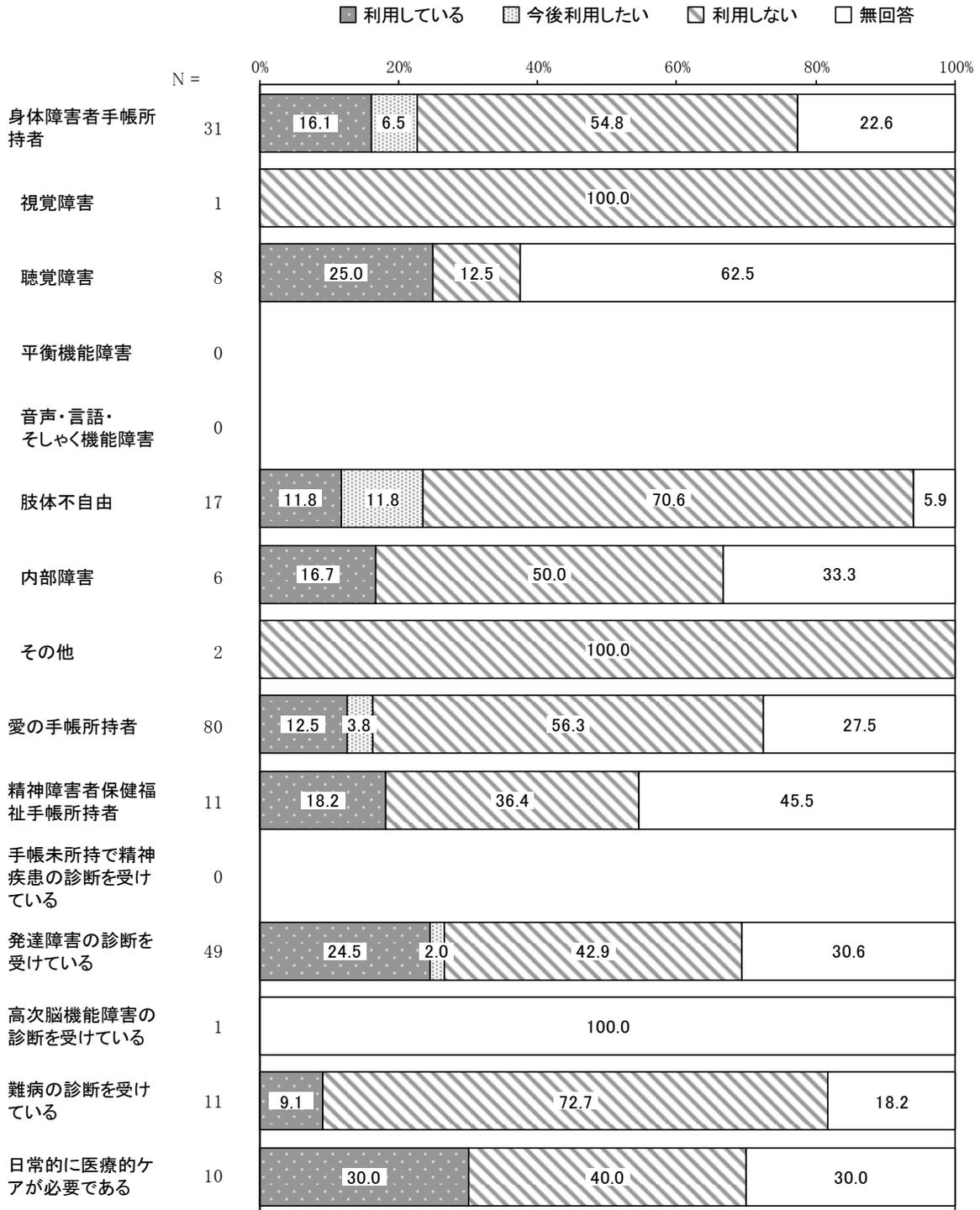
【年齢別】

年齢別で見ると、6歳以上18歳未満に比べ、5歳以下で「利用している」の割合が高く、約6割となっています。また、5歳以下で「今後利用したい」の割合が高く、約1割となっています。



【障害種別】

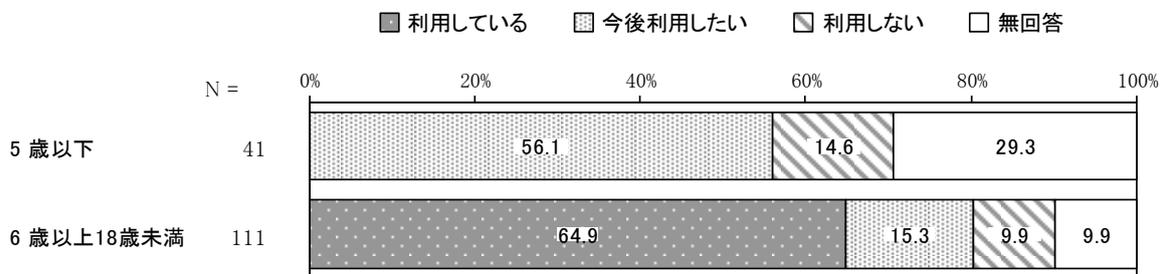
障害種別でみると、他に比べ、日常的に医療的ケアが必要である人で「利用している」の割合が高く、3割となっています。また、肢体不自由で「今後利用したい」の割合が高く、約1割となっています。



⑳ 放課後等デイサービス

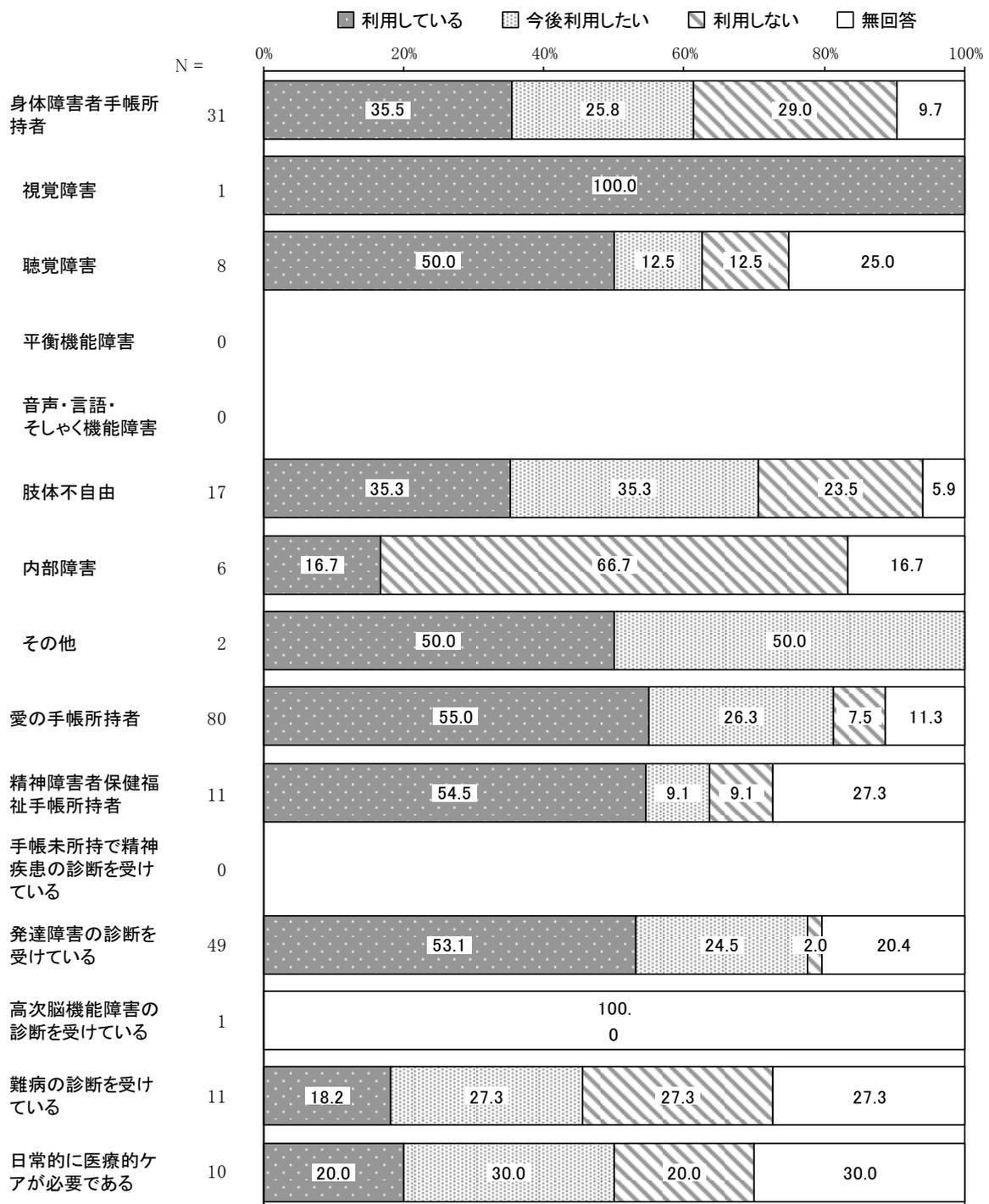
【年齢別】

年齢別でみると、5歳以下で「今後利用したい」の割合は5割台半ばとなっており、6歳以上18歳未満では1割台半ばとなっています。



【障害種別】

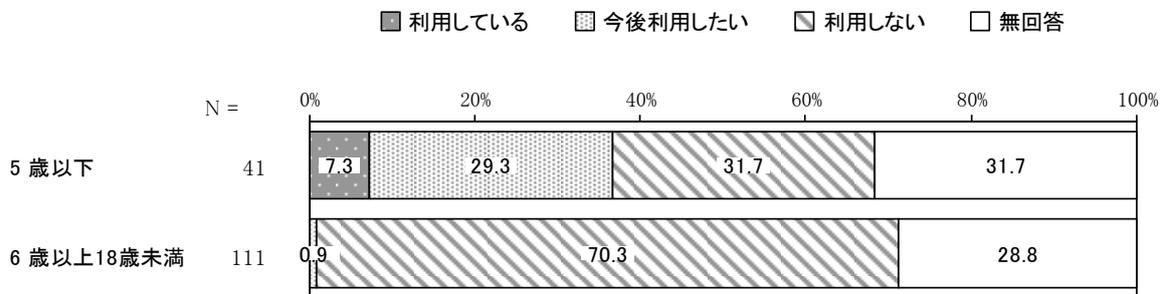
障害種別でみると、身体障害者手帳所持者、愛の手帳所持者、発達障害の診断を受けている人では、「今後利用したい」の割合が2割台半ばとなっています。



④ 保育所等訪問支援

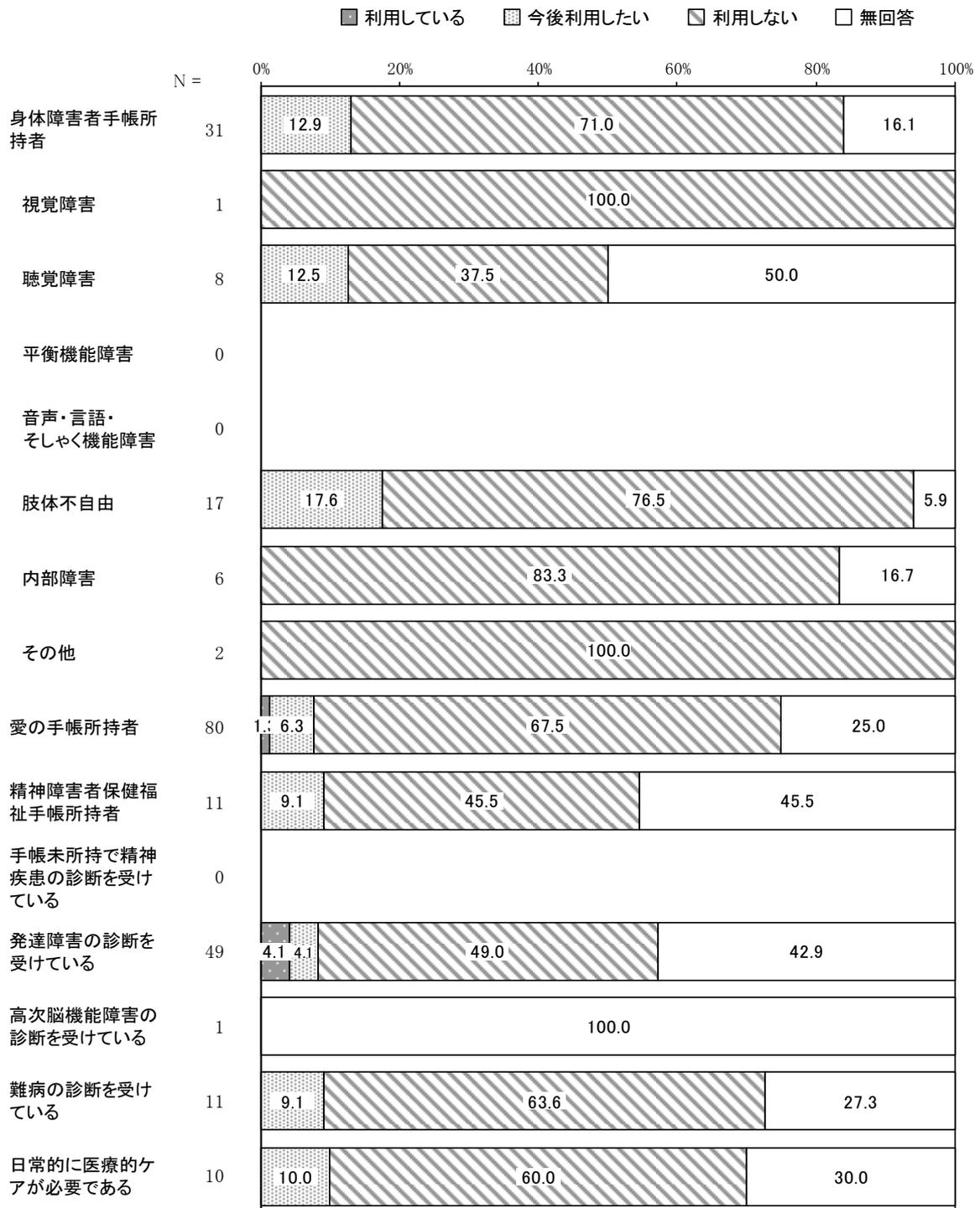
【年齢別】

年齢別で見ると、6歳以上18歳未満に比べ、5歳以下で「今後利用したい」の割合が高く、約3割となっています。



【障害種別】

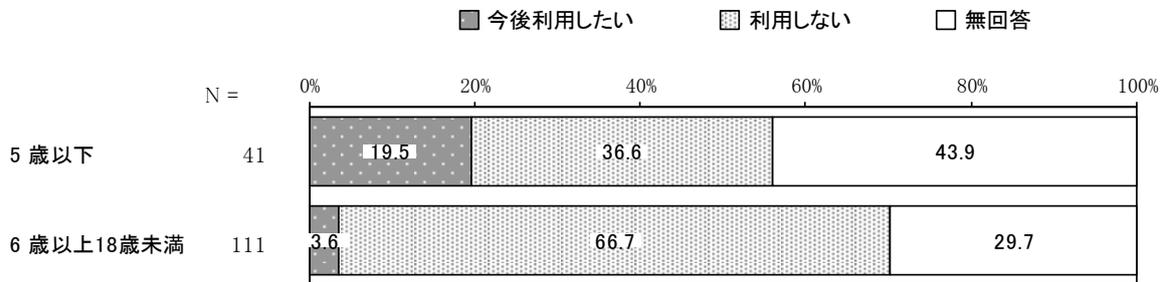
障害種別でみると、他に比べ、肢体不自由で「今後利用したい」の割合が高く、約2割となっています。



⑫ 訪問型児童発達支援（平成 30 年度に新設されるサービス）

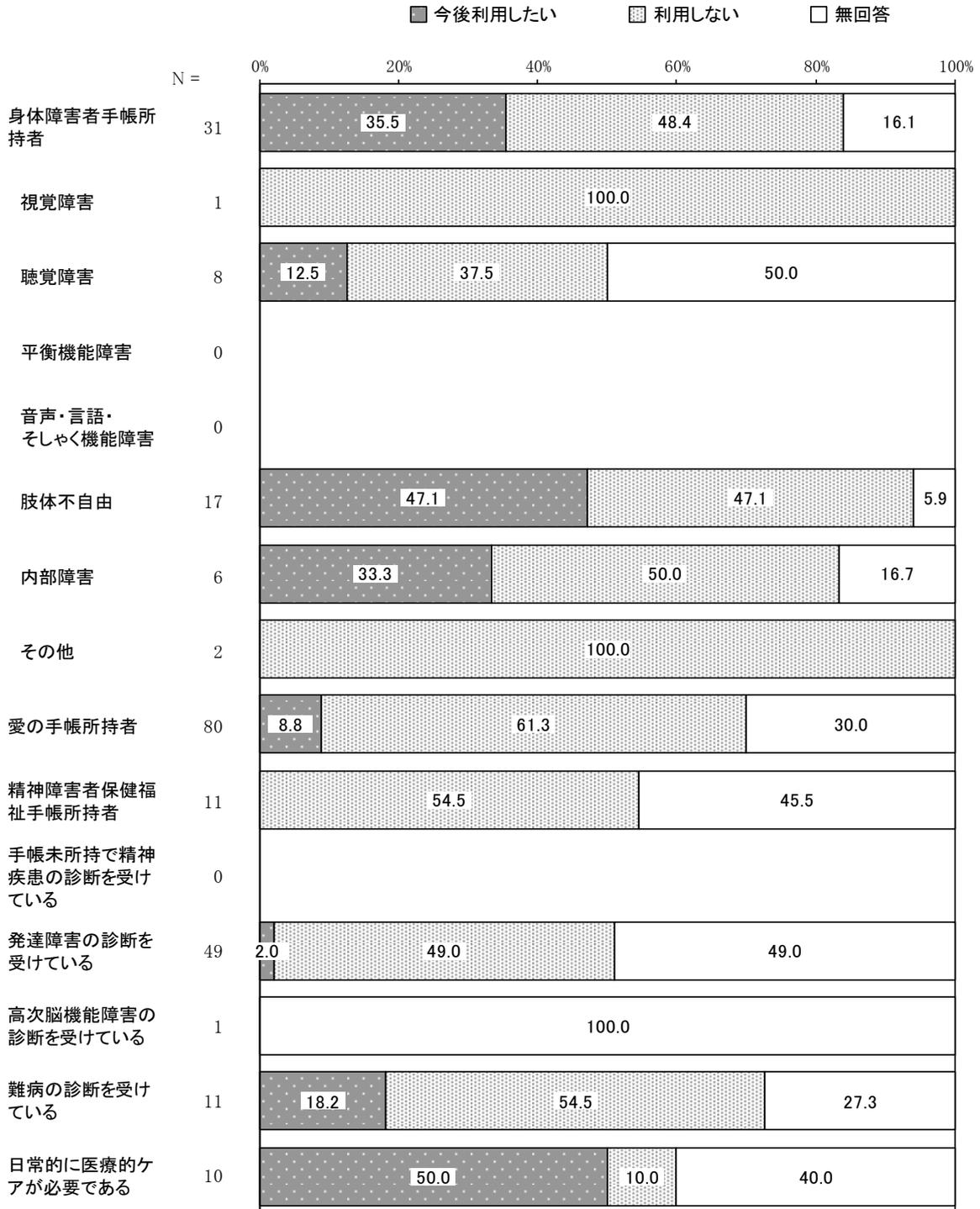
【年齢別】

年齢別でみると、5歳以下では「今後利用したい」の割合が約2割となっています。



【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、肢体不自由，日常的に医療的ケアが必要である人で「今後利用したい」の割合が高く，約5割となっています。

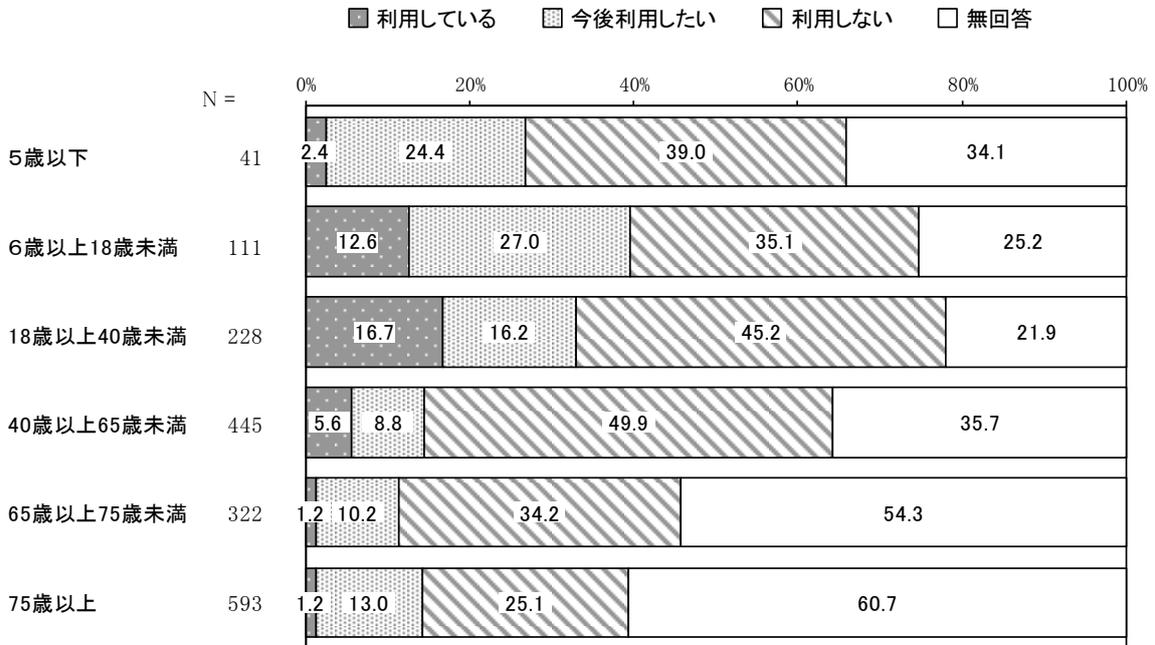


<障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業のサービス>

㊸ 移動支援事業

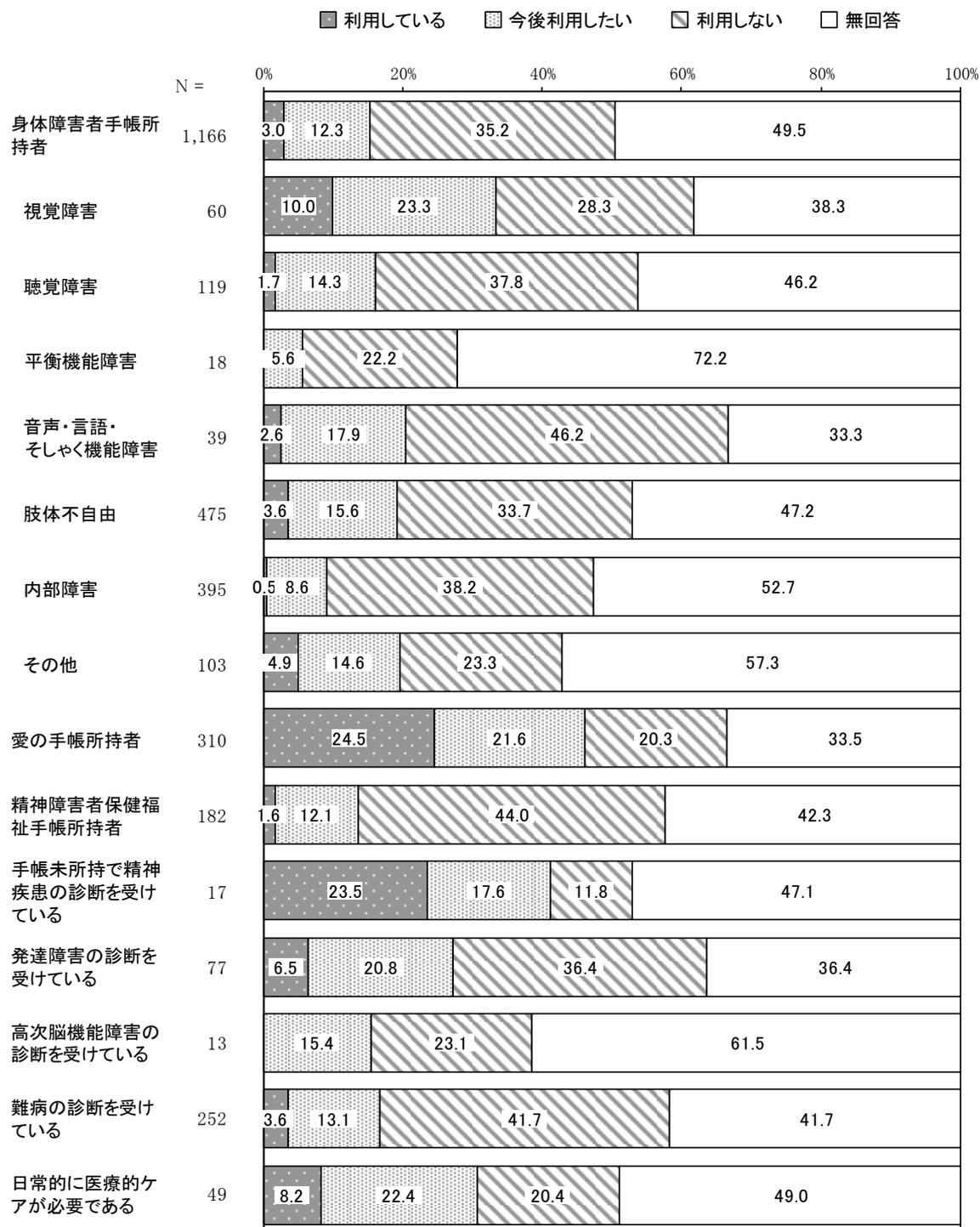
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、18歳以上40歳未満で「利用している」の割合が高く、1割台半ばとなっています。また、6歳以上18歳未満で「今後利用したい」の割合が高く、約3割となっています。



【障害種別】

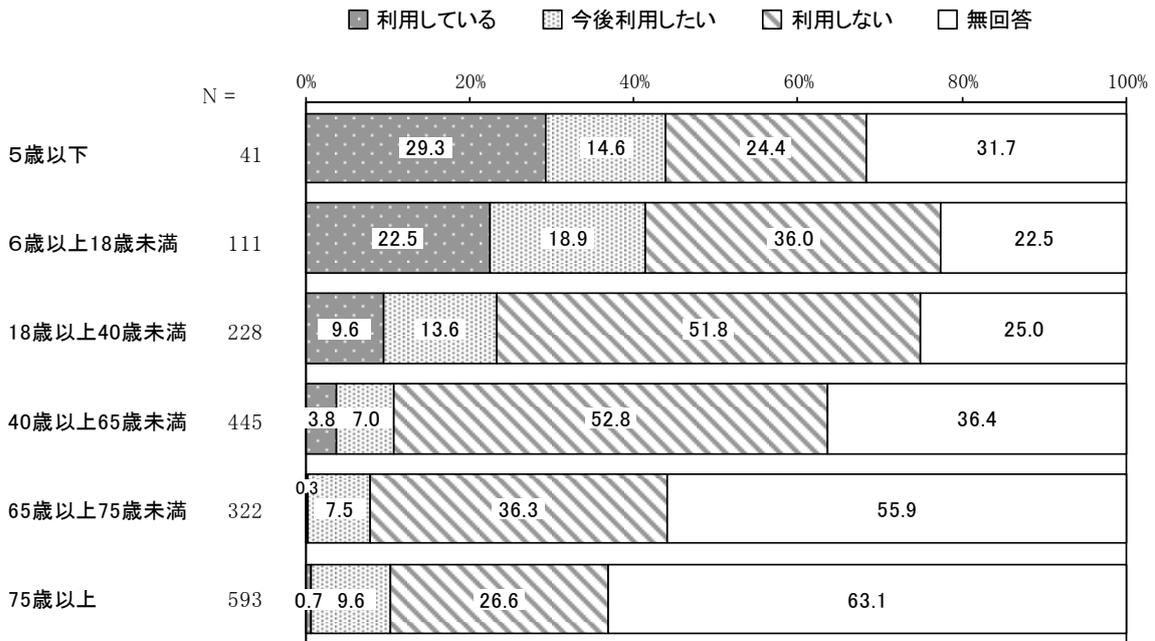
障害種別でみると、他に比べ、愛の手帳所持者で「利用している」の割合が高く、2割を超えています。また、視覚障害、愛の手帳所持者、発達障害の診断を受けている人、日常的に医療的ケアが必要である人で「今後利用したい」の割合が高く、2割を超えています。



⑳ 日中時間預かり事業（日中一時支援）

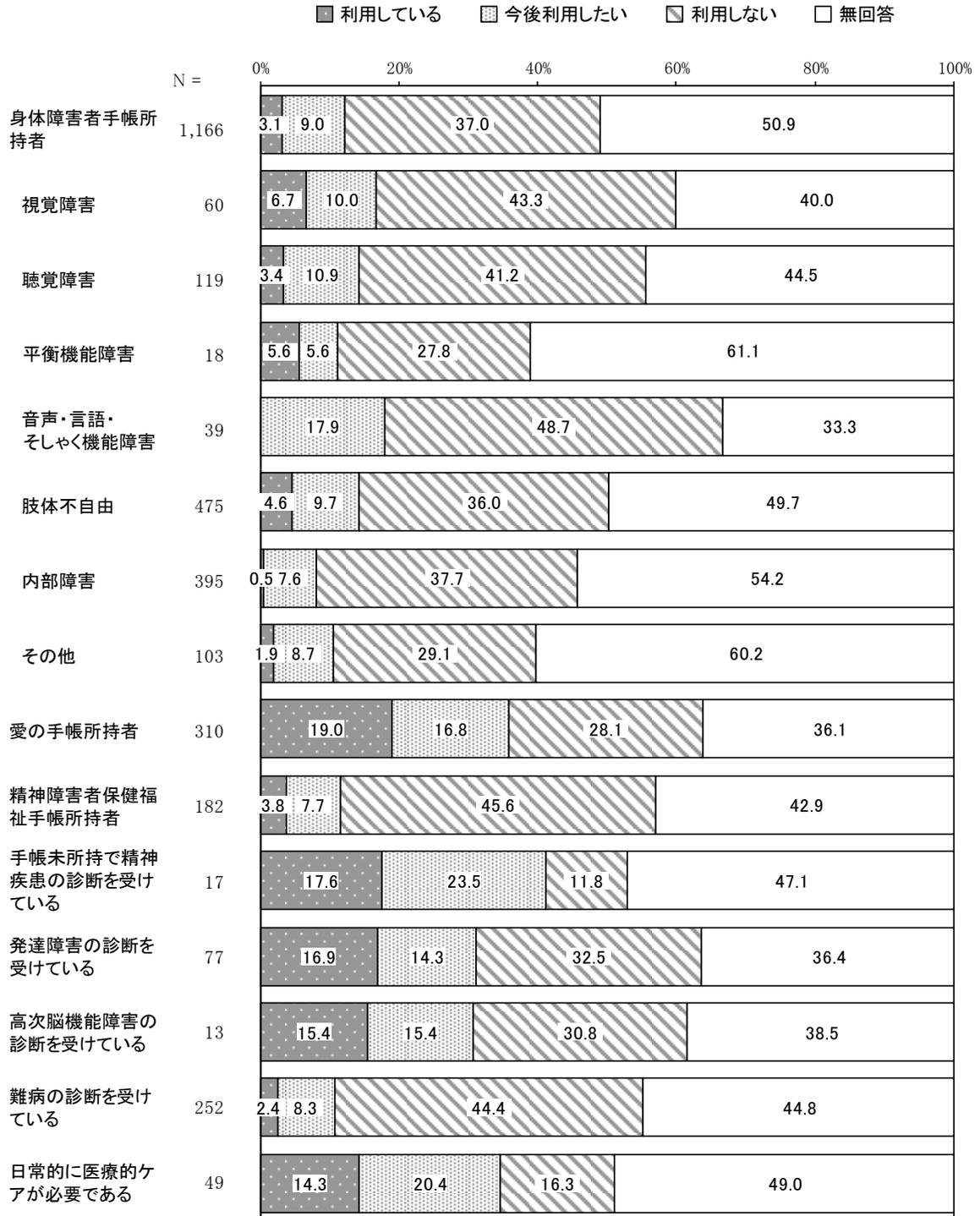
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、5歳以下、6歳以上18歳未満で「利用している」の割合が高く、特に5歳以下で約3割となっています。また、6歳以上18歳未満で「今後利用したい」の割合が高く、約2割となっています。



【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、愛の手帳所持者、手帳未所持で精神疾患の診断を受けている人で「利用している」の割合が高く、約2割となっています。また、音声・言語・そしゃく機能障害、手帳未所持で精神疾患の診断を受けている人、日常的に医療的ケアが必要である人で「今後利用したい」の割合が高くなっています。

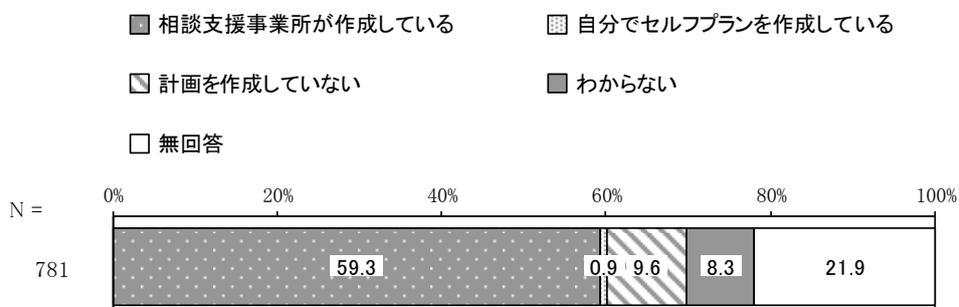


3 福祉サービス利用の満足度について

◆問 10 で「利用している」に○がある方におたずねします。

問 11 サービス等利用計画を作成していますか。(1つに○)

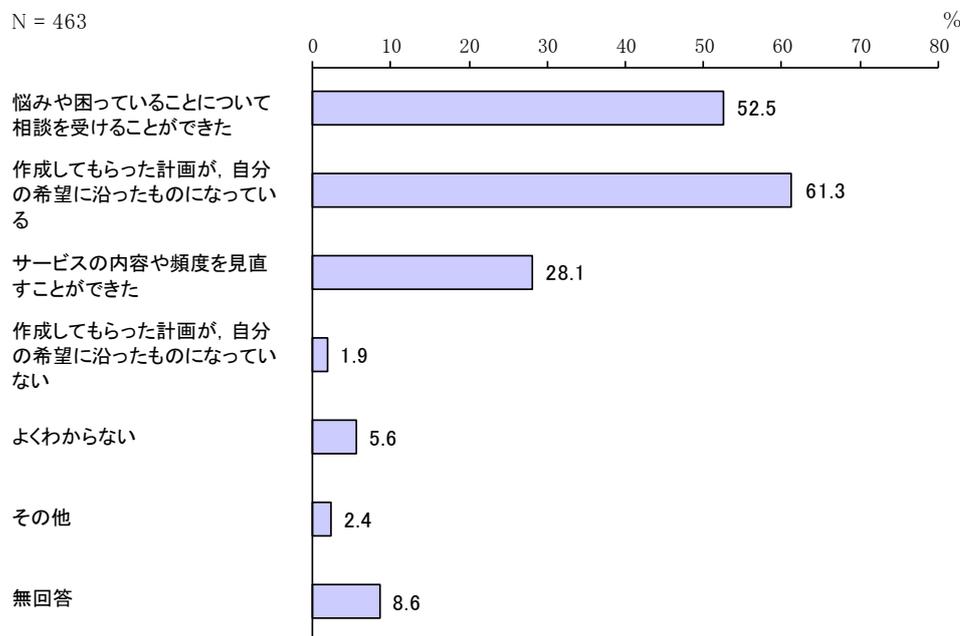
「相談支援事業所が作成している」の割合が 59.3%と最も高くなっています。



◆問 11 で「相談支援事業所が作成している」と答えた方

問 12 サービス等利用計画の作成に関してのご意見をお聞かせください。(あてはまるものに○)

「作成してもらった計画が、自分の希望に沿ったものになっている」の割合が 61.3%と最も高く、次いで「悩みや困っていることについて相談を受けることができた」の割合が 52.5%、「サービスの内容や頻度を見直すことができた」の割合が 28.1%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、5歳以下で「作成してもらった計画が、自分の希望に沿ったものになっている」の割合が高く、8割台半ばとなっています。また、6歳以上18歳未満、18歳以上40歳未満で「悩みや困っていることについて相談を受けることができた」の割合が高く、約6割となっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	悩みや困っていることについて相談を受けることができた	作成してもらった計画が、自分の希望に沿ったものになっている	サービスの内容や頻度を見直すことができた	作成してもらった計画が、自分の希望に沿ったものになっていない	よくわからない	その他	無回答
5歳以下	36	55.6	86.1	25.0	—	2.8	2.8	—
6歳以上18歳未満	78	57.7	70.5	34.6	—	1.3	6.4	2.6
18歳以上40歳未満	86	60.5	61.6	26.7	1.2	10.5	2.3	7.0
40歳以上65歳未満	98	51.0	62.2	25.5	4.1	4.1	—	6.1
65歳以上75歳未満	45	55.6	60.0	31.1	2.2	4.4	2.2	15.6
75歳以上	109	43.1	48.6	27.5	2.8	5.5	1.8	17.4

【障害種別】

障害種別でみると、多くの種別で「悩みや困っていることについて相談を受けることができた」、
「作成してもらった計画が、自分の希望に沿ったものになっている」の割合が高くなっています。

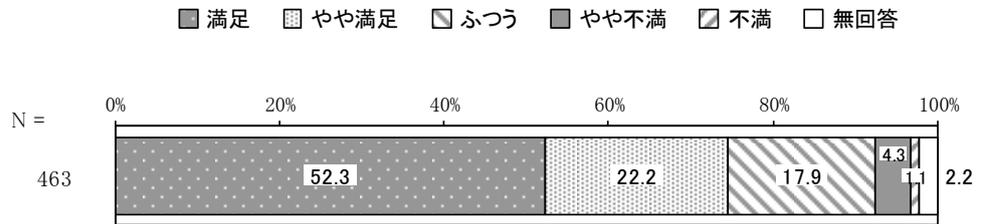
単位：％

区分	有効回答数 (件)	悩みや困っていること について相談を受ける ことができた	作成してもらった計画 が、自分の希望に沿った ものになっている	サービスの内容や頻度 を見直すことができた	作成してもらった計画 が、自分の希望に沿った ものになっていない	よくわからない	その他	無回答
身体障害者手帳所持者	229	54.1	60.3	33.6	2.6	5.2	2.2	11.4
視覚障害	17	47.1	64.7	35.3	—	17.6	11.8	11.8
聴覚障害	19	47.4	73.7	31.6	—	5.3	—	10.5
平衡機能障害	9	22.2	55.6	33.3	11.1	—	—	22.2
音声・言語・ そしゃく機能障害	12	41.7	58.3	50.0	16.7	8.3	—	8.3
肢体不自由	139	61.9	65.5	34.5	2.2	5.8	2.9	7.9
内部障害	38	47.4	50.0	36.8	—	2.6	2.6	18.4
その他	27	48.1	44.4	22.2	11.1	3.7	—	18.5
愛の手帳所持者	189	55.0	60.8	24.3	2.6	6.9	4.8	6.9
精神障害者保健福祉 手帳所持者	52	48.1	59.6	25.0	3.8	11.5	—	11.5
手帳未所持で精神疾患 の診断を受けている	9	77.8	66.7	44.4	—	—	11.1	—
発達障害の診断を 受けている	58	56.9	72.4	34.5	—	1.7	3.4	1.7
高次脳機能障害の 診断を受けている	4	75.0	50.0	75.0	—	—	—	25.0
難病の診断を受けて いる	48	62.5	62.5	39.6	4.2	4.2	2.1	4.2
日常的に医療的ケア が必要である	25	72.0	60.0	52.0	8.0	4.0	8.0	4.0

◆問 11 で「相談支援事業所が作成している」と答えた方

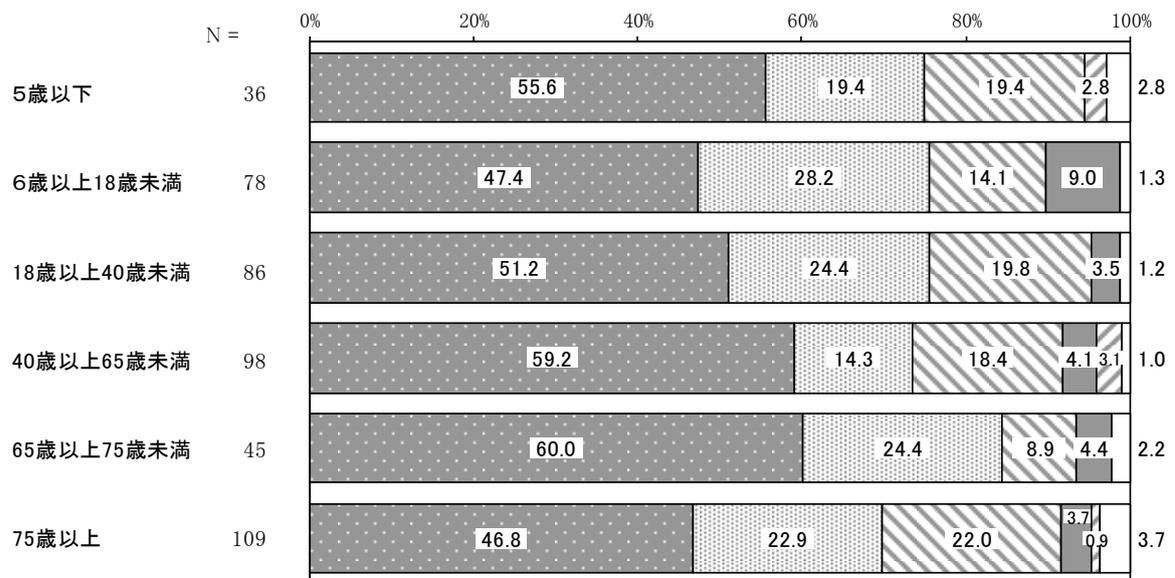
問 13 担当する相談支援専門員の支援には満足していますか。(1 つに○)

「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”の割合が 74.5%、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”の割合が 5.4%となっています。



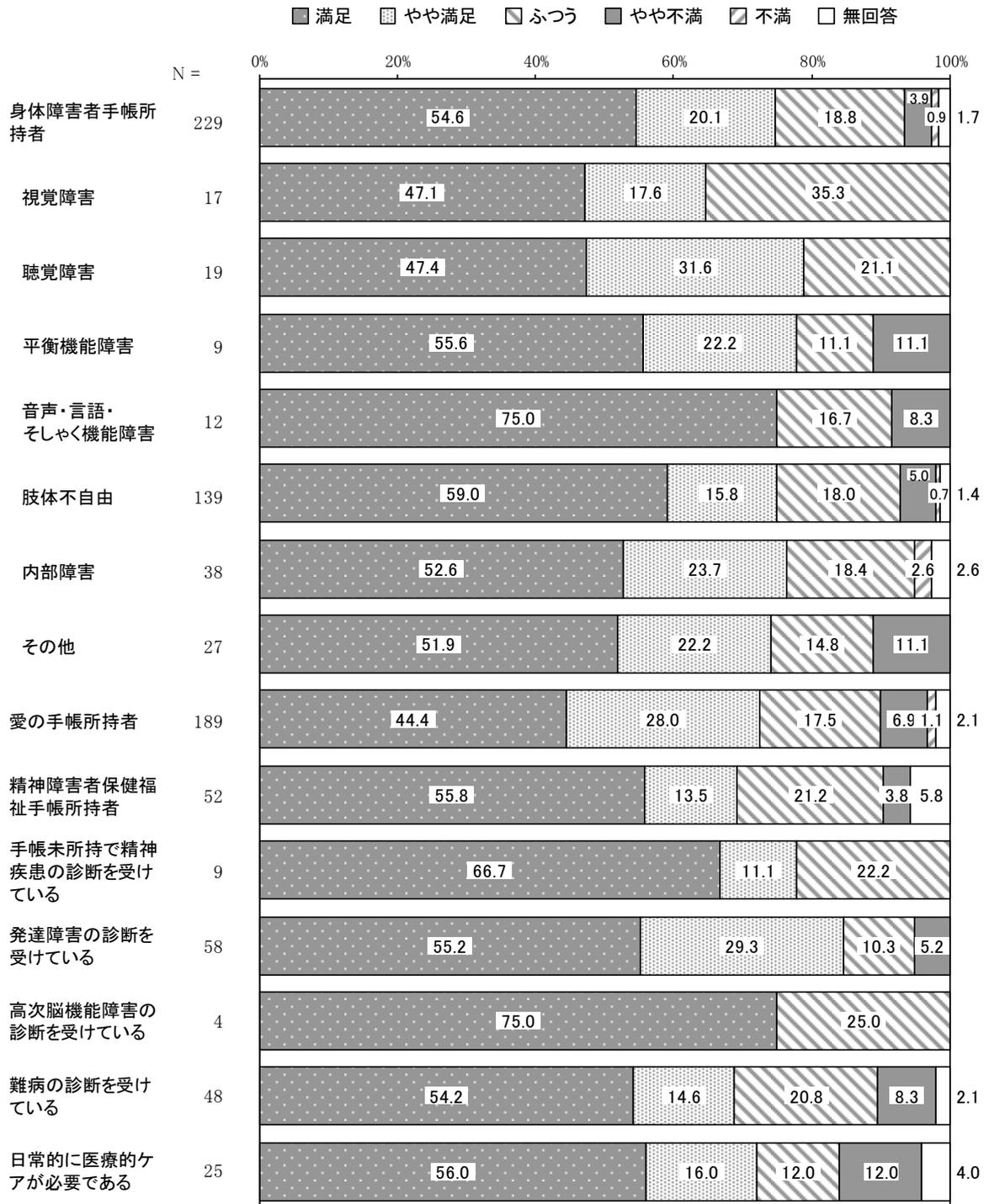
【年齢別】

年齢別でみると、他の年代に比べ、65歳以上75歳未満で“満足”の割合が高く、8割台半ばとなっています。



【障害種別】

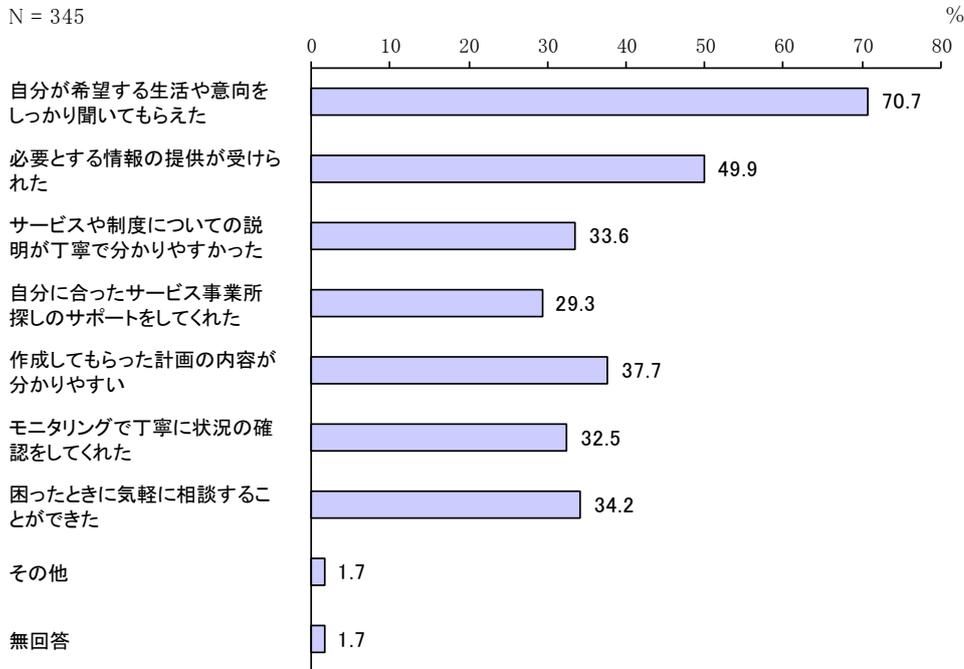
障害種別でみると、他に比べ、発達障害の診断を受けている人で“満足”の割合が高く、8割台半ばとなっています。



◆問 13 で「満足」または「やや満足」と答えた方におたずねします。

問 14 満足の理由について、あてはまるものに○をしてください。

「自分が希望する生活や意向をしっかりと聞いてもらえた」の割合が 70.7%と最も高く、次いで「必要とする情報の提供が受けられた」の割合が 49.9%、「作成してもらった計画の内容が分かりやすい」の割合が 37.7%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「モニタリングで丁寧に状況の確認をしてくれた」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他の年代に比べ、40歳以上65歳未満で「自分が希望する生活や意向をしっかりと聞いてもらえた」の割合が、6歳以上18歳未満で「必要とする情報の提供が受けられた」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	自分が希望する生活や意向をしっかりと聞いてもらえた	必要とする情報の提供が受けられた	サービスや制度についての説明が丁寧で分かりやすかった	自分に合ったサービス事業所探しのサポートをしてくれた	作成してもらった計画の内容が分かりやすい	モニタリングで丁寧に状況の確認をしてくれた	困ったときに気軽に相談することができた	その他	無回答
5歳以下	27	63.0	59.3	48.1	18.5	40.7	48.1	11.1	3.7	—
6歳以上 18歳未満	59	72.9	66.1	35.6	22.0	33.9	44.1	33.9	—	1.7
18歳以上 40歳未満	65	72.3	36.9	23.1	23.1	36.9	46.2	33.8	—	—
40歳以上 65歳未満	72	77.8	48.6	34.7	26.4	44.4	31.9	34.7	2.8	2.8
65歳以上 75歳未満	38	73.7	47.4	36.8	44.7	42.1	26.3	47.4	2.6	2.6
75歳以上	76	64.5	50.0	35.5	40.8	32.9	11.8	38.2	2.6	2.6

【障害種別】

障害種別でみると、ほとんどすべての種別で「自分が希望する生活や意向をしっかりと聞いてもらえた」の割合が高くなっています。また、発達障害の診断を受けている人で「困ったときに気軽に相談することができた」の割合が低く、約2割となっています。

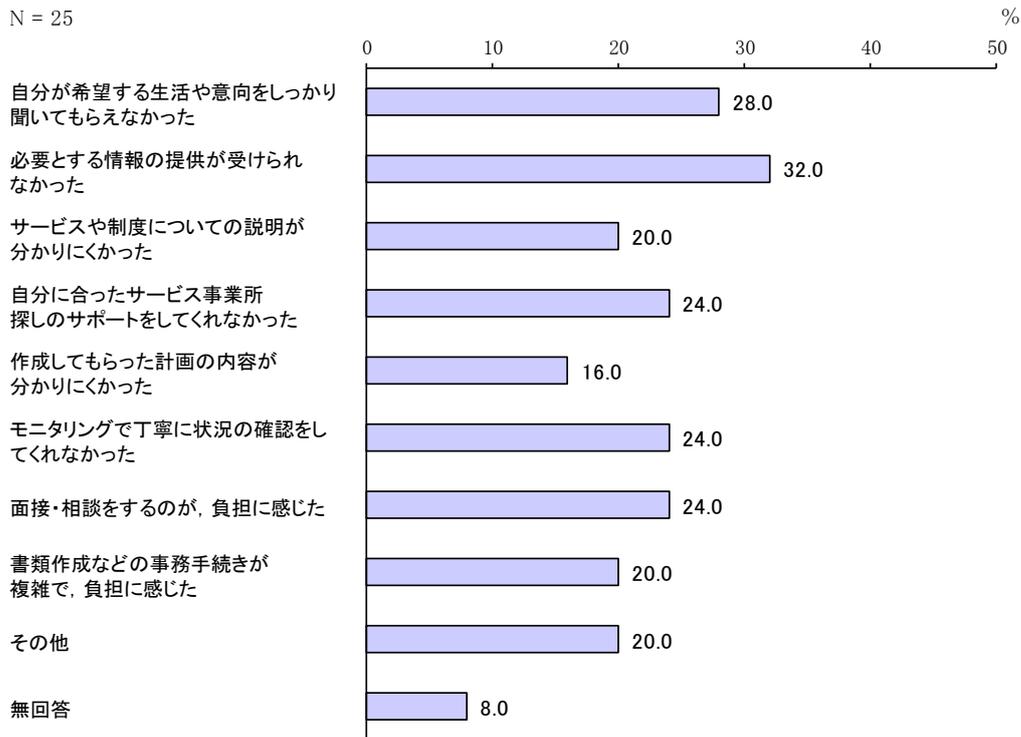
単位：%

区分	有効回答数(件)	自分が希望する生活や意向をしっかりと聞いてもらえた	必要とする情報の提供が受けられた	サービスや制度についての説明が丁寧に分かりやすかった	自分に合ったサービス事業所探しのサポートをしてくれた	作成してもらった計画の内容が分かりやすい	モニタリングで丁寧に状況の確認をしてくれた	困ったときに気軽に相談することができた	その他	無回答
身体障害者手帳所持者	171	72.5	49.1	37.4	36.3	38.6	26.3	38.0	2.3	2.3
視覚障害	11	81.8	63.6	18.2	54.5	36.4	18.2	36.4	—	9.1
聴覚障害	15	86.7	60.0	46.7	33.3	40.0	46.7	40.0	—	6.7
平衡機能障害	7	57.1	57.1	28.6	42.9	28.6	14.3	42.9	14.3	—
音声・言語・そしゃく機能障害	9	88.9	66.7	55.6	55.6	77.8	22.2	77.8	11.1	—
肢体不自由	104	78.8	53.8	37.5	35.6	43.3	27.9	39.4	1.9	1.0
内部障害	29	65.5	37.9	48.3	44.8	37.9	27.6	27.6	6.9	—
その他	20	55.0	30.0	45.0	20.0	30.0	10.0	35.0	—	5.0
愛の手帳所持者	137	70.1	46.7	27.0	20.4	38.0	38.7	27.0	0.7	—
精神障害者保健福祉手帳所持者	36	69.4	33.3	27.8	27.8	44.4	33.3	33.3	2.8	2.8
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	7	85.7	42.9	28.6	42.9	42.9	14.3	57.1	14.3	—
発達障害の診断を受けている	49	71.4	55.1	34.7	14.3	34.7	42.9	18.4	—	2.0
高次脳機能障害の診断を受けている	3	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7	33.3	100.0	—	—
難病の診断を受けている	33	81.8	63.6	45.5	51.5	42.4	30.3	51.5	6.1	—
日常的に医療的ケアが必要である	18	94.4	66.7	50.0	55.6	33.3	55.6	50.0	11.1	—

◆問 13 で「やや不満」または「不満」と答えた方におたずねします。

問 15 不満の理由について、あてはまるものに○をしてください。

「必要とする情報の提供が受けられなかった」の割合が 32.0%と最も高く、次いで「自分が希望する生活や意向をしっかり聞いてもらえなかった」の割合が 28.0%、「自分に合ったサービス事業所探しのサポートをしてくれなかった」、「モニタリングで丁寧に状況の確認をしてくれなかった」、「面接・相談をするのが、負担に感じた」の割合が 24.0%となっています。



問 16 相談支援専門員に望むことなどがあれば、自由にご記入ください。

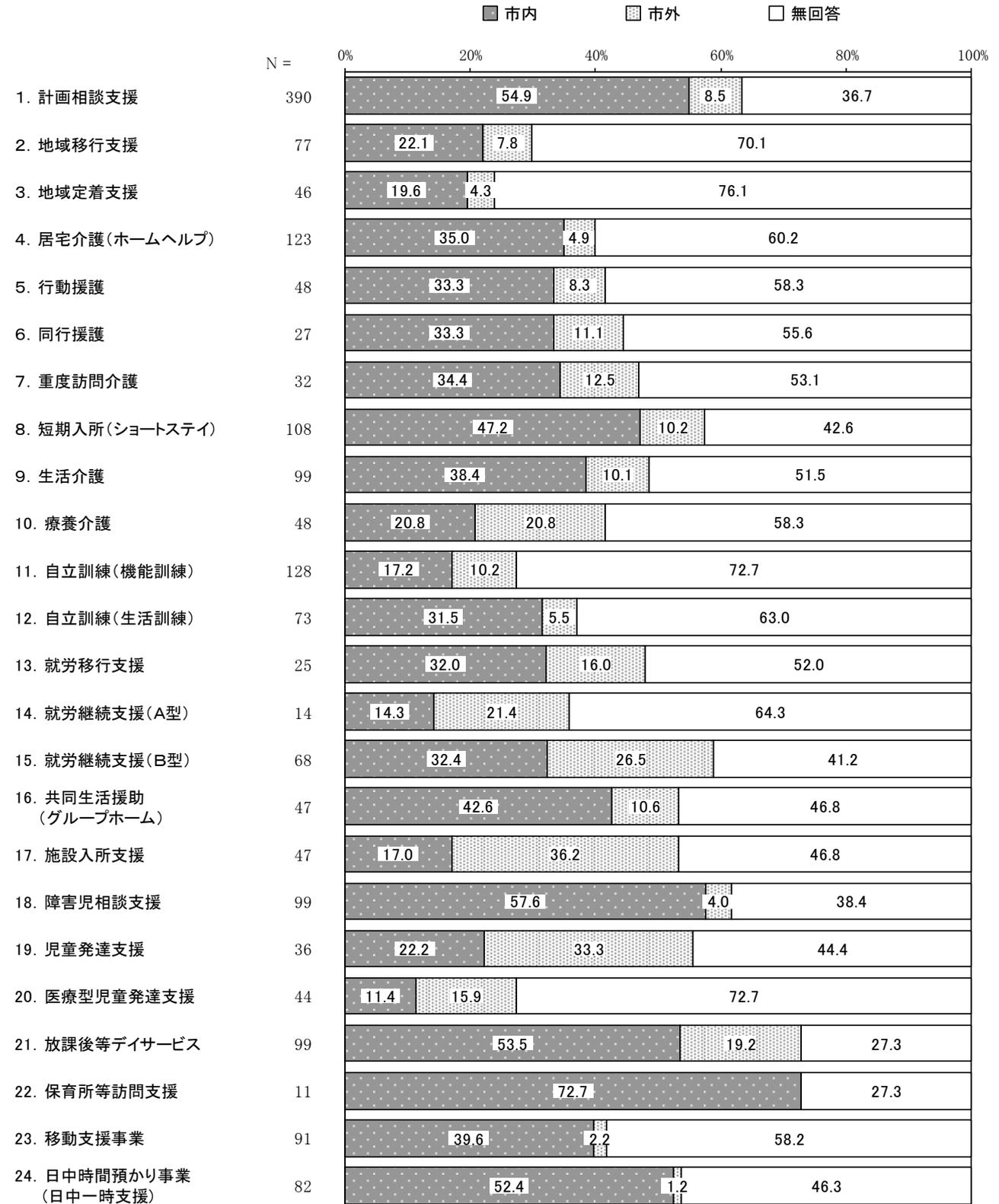
- ・サービス、事業所などの情報を積極的に提供してほしい。(5件)(知的, 精神, 発達)
- ・サービス事業所の情報の共有を事業者同士でしてほしい。(身体, 知的, 難病)
- ・相談支援事業所(相談支援専門員)とサービス提供事業所(グループホームなど)との連携を強化してほしい。(知的)
- ・モニタリングで本人を見て、事業所等に助言や本人の希望を伝えてほしい。(身体, 知的)
- ・福祉の立場から教育機関(学校)へ本人の求める支援について説明や働きかけをしてほしい。学校(教育相談)と福祉の連携を希望する。(知的, 発達)
- ・専門性, 知識。(3件)(身体, 知的, 精神, 難病, 発達)
- ・もっと丁寧に話を聞いてほしい。(モニタリングの実施なども含む。)(2件)
(身体, 知的, 精神, 難病)
- ・はっきり, わかりやすい話をお願いしたい。(身体, 知的, 精神, 医療的ケア)
- ・相談支援専門員により, 支援や対応方法にかなりの差があり, こちらから担当を選ぶことができない。(知的)
- ・相談支援専門員に対する指導, 研修に力を入れてほしい。(身体, 知的, 難病)
- ・相談支援専門員の役割がよくわからずどこまで相談してよいのかがわからない。(知的)
- ・家族がコーディネートしたものをまとめるだけでなく, 客観的な立場でアドバイスがほしい。
(知的)
- ・相談支援専門員1人の担当人数が多すぎるので専門員を増やしてほしい。(5件)
(身体, 知的)
- ・すぐに相談支援専門員が変わり, 継続した相談ができない。バディ制やグループ制で対応可能にしてほしい。(知的, 発達)
- ・計画作成時以外相談できないので, 気軽に相談したい。(発達, 医療的ケア)
- ・少ししか援助が必要でない人にも対応してほしい。(精神)
- ・相談支援専門員は, 当事者や当事者の家族になってもらえると相談しやすい。(発達)

◆問 10 で「利用している」に○をつけた方におたずねします。

問 17 利用しているサービスの事業者の所在地，満足度とその理由についておたずねします。

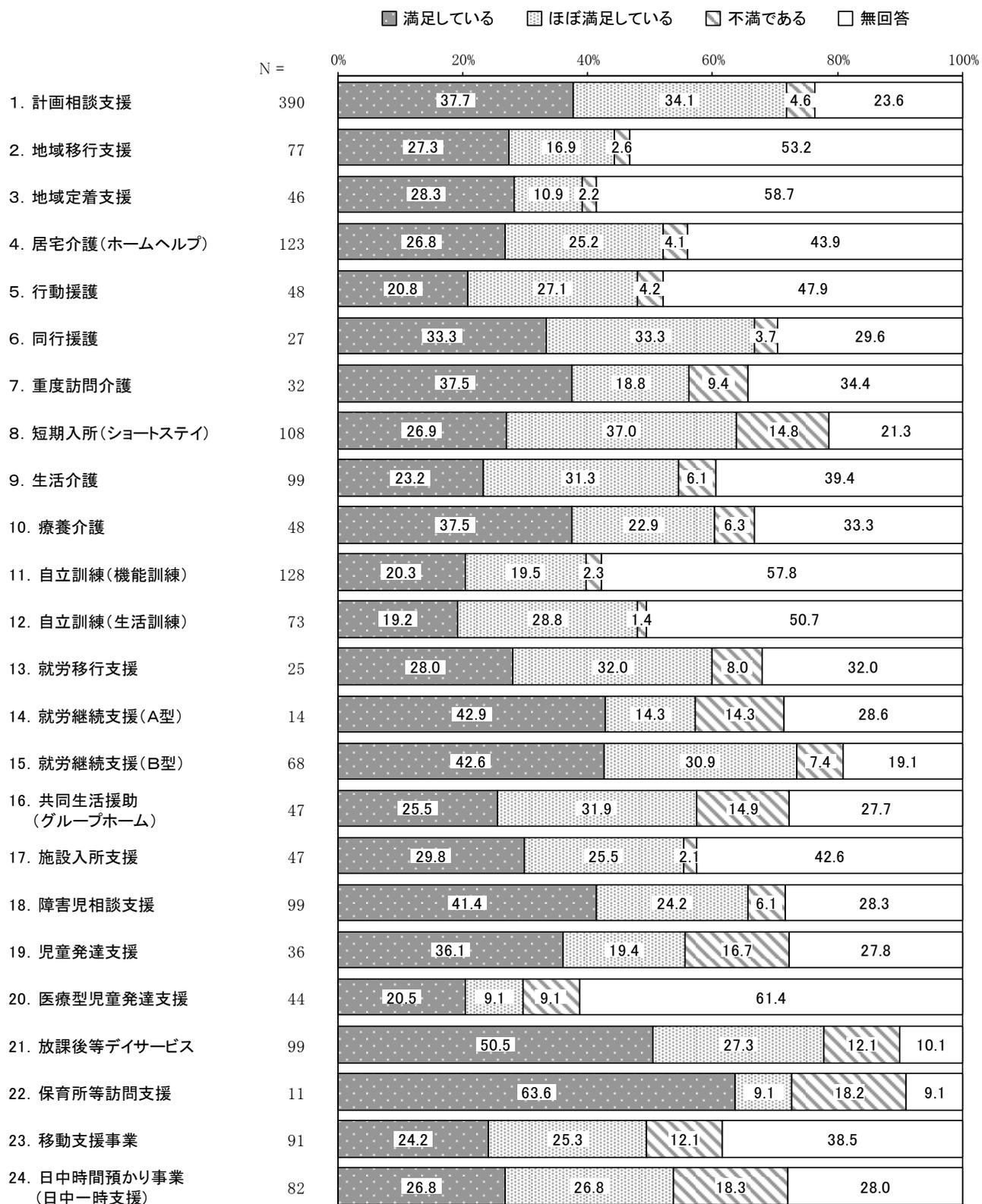
①市内市外（1つに○） 「主な」サービス提供事業者の所在地

18. 障害児相談支援で「市内」の割合が高く，約6割となっています。また，17. 施設入所支援で「市外」の割合が高く，約4割となっています。



②満足度（1つに〇）

21. 放課後等デイサービスで「満足している」と「ほぼ満足している」をあわせた“満足している”の割合が高く、約8割となっています。また、24. 日中時間預かり事業（日中一時支援）で「不満である」の割合が高く、約2割となっています。



③不満の理由（あてはまるものに○）（②満足度の質問に「不満である」と答えた方）

多くの事業で「希望する時間にサービスが受けられない」の割合が高くなっています。また、
1. 計画相談支援、18 障害児相談支援で「事業者のサービスの質」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	事業者のサービスの質	希望したサービス内容ではない	支給決定を受けたがサービスが受けられない	市内にサービス事業所が少ない、またはない	希望する時間にサービスが受けられない	無回答
1. 計画相談支援	18	38.9	22.2	-	11.1	16.7	16.7
2. 地域移行支援	2	-	50.0	-	-	100.0	-
3. 地域定着支援	1	-	-	-	-	100.0	-
4. 居宅介護(ホームヘルプ)	5	40.0	40.0	-	-	20.0	20.0
5. 行動援護	2	-	-	-	-	50.0	50.0
6. 同行援護	1	-	-	-	-	100.0	-
7. 重度訪問介護	3	33.3	-	-	-	33.3	33.3
8. 短期入所(ショートステイ)	16	12.5	12.5	12.5	12.5	56.3	12.5
9. 生活介護	6	16.7	16.7	16.7	-	33.3	33.3
10. 療養介護	3	-	33.3	-	-	66.7	-
11. 自立訓練(機能訓練)	3	-	-	-	33.3	33.3	33.3
12. 自立訓練(生活訓練)	1	-	-	-	-	100.0	-
13. 就労移行支援	2	-	-	-	50.0	50.0	-
14. 就労継続支援(A型)	2	-	-	-	50.0	50.0	-
15. 就労継続支援(B型)	5	20.0	20.0	-	-	40.0	20.0
16. 共同生活援助(グループホーム)	7	14.3	28.6	-	14.3	42.9	28.6
17. 施設入所支援	1	-	-	-	-	100.0	-
18. 障害児相談支援	6	50.0	-	-	16.7	33.3	-
19. 児童発達支援	6	-	16.7	-	33.3	33.3	16.7
20. 医療型児童発達支援	4	-	-	-	50.0	50.0	-
21. 放課後等デイサービス	12	-	8.3	8.3	33.3	41.7	16.7
22. 保育所等訪問支援	2	-	-	-	-	100.0	-
23. 移動支援事業	11	-	9.1	27.3	18.2	81.8	-
24. 日中時間預かり事業(日中一時支援)	15	6.7	6.7	13.3	26.7	53.3	6.7

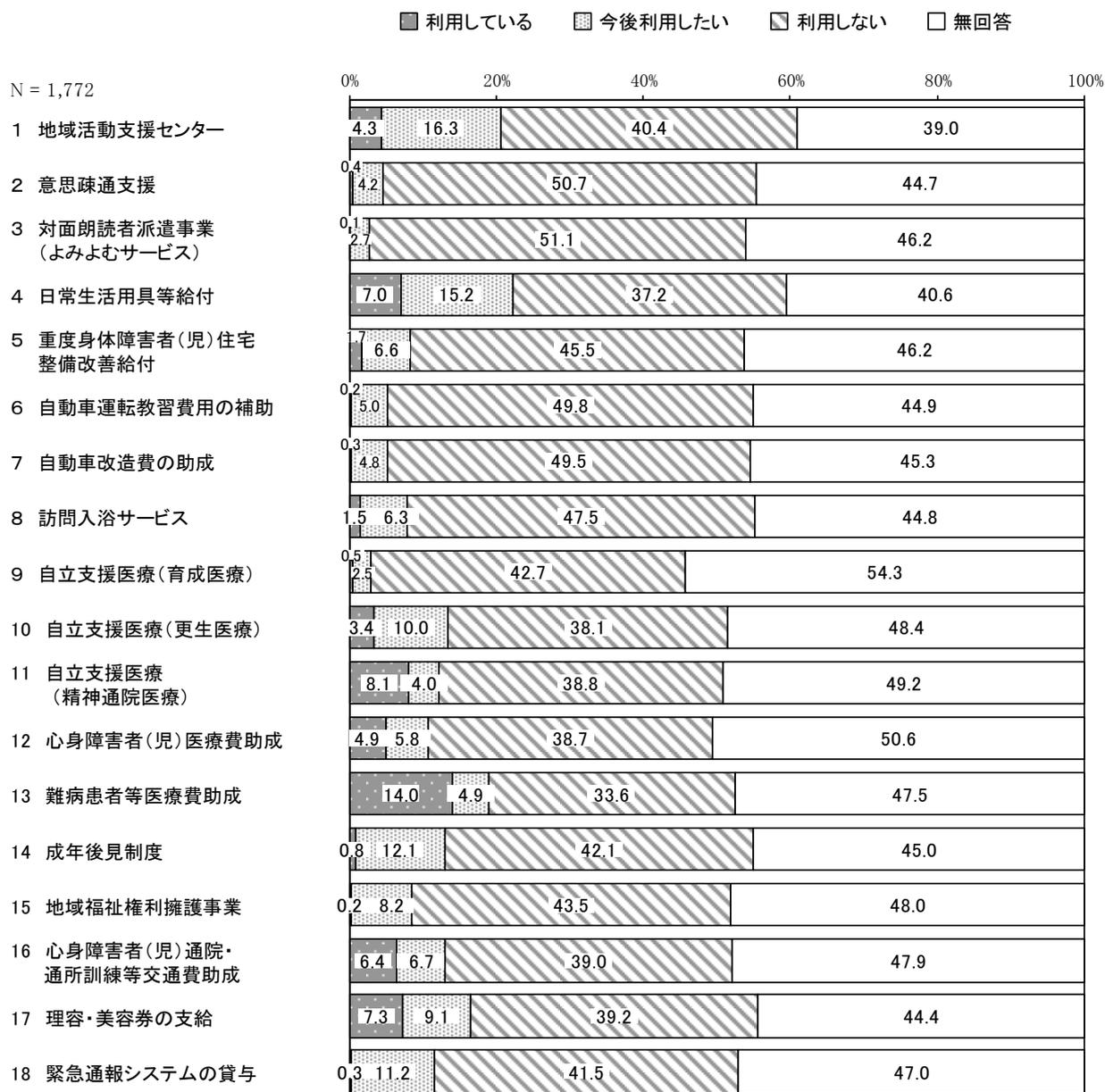
④その他

- ・移動支援を利用しやすくしてほしい。(制限の緩和) (4件) (身体, 知的, 発達)
- ・移動支援の予約がとれない。(2件) (身体, 知的, 発達)
- ・児童発達支援事業所が市内に少ない。(3件) (知的, 発達)
- ・重度障害児が利用できる放課後デイサービスの事業所が必要。(2件)
(身体, 知的, 難病)
- ・放課後デイサービスは送迎時間がもう少し希望に沿うものであればありがたい。
(身体, 知的, 発達)
- ・市内にも医療的ケアのある障害児でも利用できる事業所が必要。(放課後等デイサービス,
ショートステイ, 日中一時支援) (身体, 知的, 医療的ケア)
- ・サービス事業所が少ない。(精神)
- ・ショートステイ, 日中一時は空きがなく, 希望通りに利用できない。(5件)
(身体, 知的, 精神, 難病)
- ・卒業後の居場所を確保できるか不安。(身体, 知的)
- ・生活介護を希望しても, 毎日通うことはできるのか不安。(身体, 知的)
- ・市外の事業所だと送迎が負担。(発達)
- ・親同士が交流できる場をつくってほしい。(発達)
- ・土曜日が朝10時からのところが多く, 仕事に間に合わない。朝早くから開所してほしい。
(身体, 知的)
- ・ヘルパーが不足している。(居宅介護, 移動支援など) (3件) (身体, 知的, 精神, 難病)
- ・男性ヘルパーが不足している。(知的, 精神, 発達)
- ・ヘルパーの質に差がある。(身体, 知的)
- ・自立訓練指導員の経験が不足している。(身体)
- ・強度行動障害への対応の講義や訓練する機会があるとよい。(知的)
- ・障害者センターのサロンを利用したいが対象要件により利用できない。居場所として利用したい。
(身体, 知的, 精神)
- ・歩行困難で物につかまらないと歩けないが, 同居人がいるので掃除その他サービスを受けられない。
(身体)
- ・受けられるサービスの説明が不十分。(精神)
- ・介護保険のサービス利用時に目の障害については何も鑑みられていない。(身体)
- ・1つの所得であらゆる手当や税, サービスの支給額が決められてしまうので経済的負担が大きい。
(身体, 知的, 発達)
- ・緊急時のショートステイ受入れ体制が不明で不安。(知的)

4 その他のサービスについて

問 18 あなたは、次のようなサービスを利用したことがありますか。また、今後（3年以内）に利用したいと思いますか。サービスごとに、利用状況または利用意向についてあてはまるものに○をしてください。

13 難病患者等医療費助成で「利用している」の割合が、1 地域活動支援センター、4 日常生活用具等給付で「今後利用したい」の割合が高くなっています。



<その他>

- ・タクシー券，タクシー代相当の金額支給してほしい。(5件)(身体，知的)
- ・通院交通費助成の事務手続きが煩雑。(3件)(身体，知的，難病)
- ・6級でも交通費を支給してほしい。(身体)
- ・精神疾患の患者も都バス，都営だけでなくJRの料金も割引にしてほしい。(精神)
- ・都営交通無料乗車券を持っているが，都バスだけでは不便。(身体)
- ・電車で買い物，美術館等，付き添いサービスがほしい。(身体)
- ・移動支援を3才以上でも利用できるようにしてほしい。(身体，難病，医療的ケア)
- ・子どもの送り迎えや家事手伝いなどのサービスがあれば利用したい。(難病)
- ・難病医療費助成を拡充してほしい。(3件)(難病)
- ・関節リウマチでも難病と同じように，医療費の自己負担を軽減してほしい。(身体)
- ・障害者手帳は取得できないが，一生服薬する必要があるので医療費を助成してほしい。(身体)
- ・重度ではないが，就労も通院も1人でできないので，重度と同じような助成を受けたい。
(知的)
- ・医療費助成の所得制限を緩めるか，撤廃してほしい。(2件)(身体，知的，発達，難病)
- ・愛の手帳4度だと年金とB型の工賃だけでは，親の老後に医療費等まかなえなくなる。
(知的，発達)
- ・住宅整備について，多動症などの重度の障害児宅についても鍵やベランダのガードなど補助してほしい。(身体，知的，発達)
- ・補聴器の補助金について，2回目以降でも半額でも補助金を出してほしい。(身体)
- ・日常生活用具等給付の年齢制限を撤廃してほしい。(身体，医療的ケア)
- ・多動，音に対する恐怖心の強さのため，理髪店，歯科等のサービスを受けることが難しいのでサポートがほしい。(発達)
- ・サービスの情報を随時提供してほしい。(4件)(知的，精神，発達)
- ・軽度の人ができるサービスがほとんどない。(知的)
- ・現状利用できるサービスはほとんどなく，また現状把握のための相談支援もない。(難病)
- ・自立支援医療受給者証の毎年更新時に，市から更新案内を出して欲しい。(精神)
- ・精神障害3級の人でも使える生活支援のサービスをつくってほしい。(精神)
- ・てんかんの児童の保護者の支援が少ない。(医療機関との連携，学校での支援等)(知的，発達，医療的ケア)
- ・子どもの就労まで小学生から一貫して進路相談等をみてる教育制度がほしい。(発達)
- ・小学校が巡回型の特別支援教室になるとのことだが，中学も巡回型にしてほしい。通学か巡回かを選べるとよい。(発達)
- ・就労中の悩みや相談などを聞く機関(電話)がほしい。(精神)

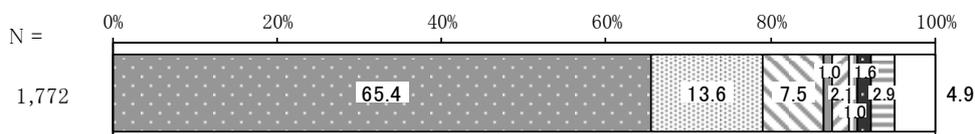
- ・難病患者について，職探しの段階から第三者として間に入って就労支援してほしい。（難病）
- ・就労の安定と職場での理解促進のため，難病を障害者雇用促進の枠に入れてほしい。（難病）
- ・緊急通報システムを利用しやすくしてほしい。（対象要件）（5件）（身体，知的）
- ・成年後見制度を利用しやすくしてほしい。（金銭面など）（知的，発達）
- ・郵便局や宅急便で訪問する方に，障害者がいる家庭だとわかって対応してもらいたい。（身体，難病）
- ・同一身体障害者同士で交流できる話し合える場がほしい。（身体）

5 住まいの場について

問 19 あなたは今どこで暮らしていますか。(1つに○)

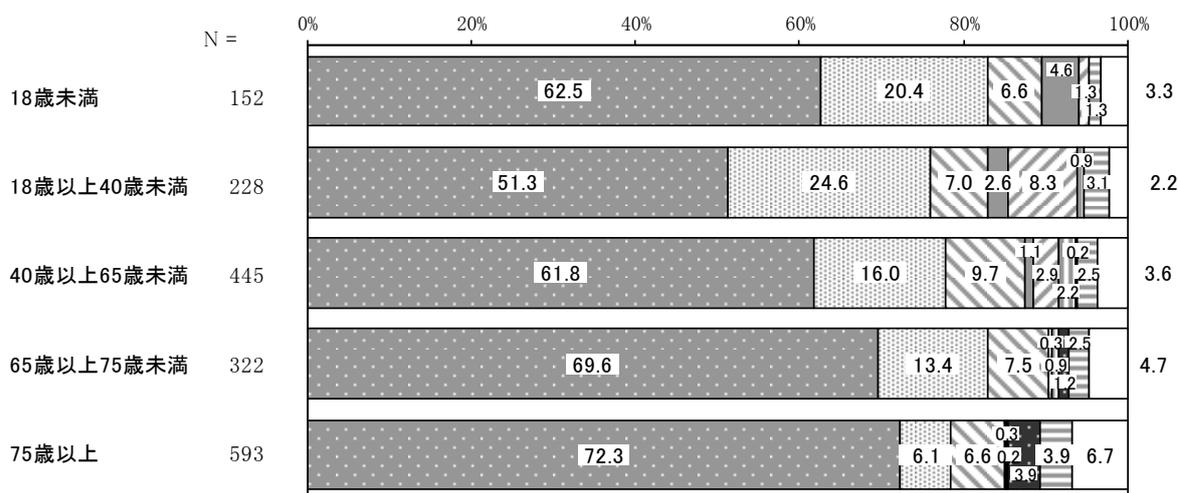
「持ち家（戸建て，分譲マンション等）」の割合が 65.4%と最も高く，次いで「民間賃貸住宅（戸建て，賃貸アパート・マンション等）」の割合が 13.6%となっています。

- 持ち家(戸建て, 分譲マンション等)
- 民間賃貸住宅(戸建て, 賃貸アパート・マンション等)
- 公営住宅(都営住宅, 市営住宅等)
- 社宅, 会社の寮
- グループホーム
- グループホーム(おおむね3年を居住限度とした通過型)
- 障害者・障害児の福祉施設に入所
- 介護保険施設(特別養護老人ホームなど)に入所
- その他
- 無回答



【年齢別】

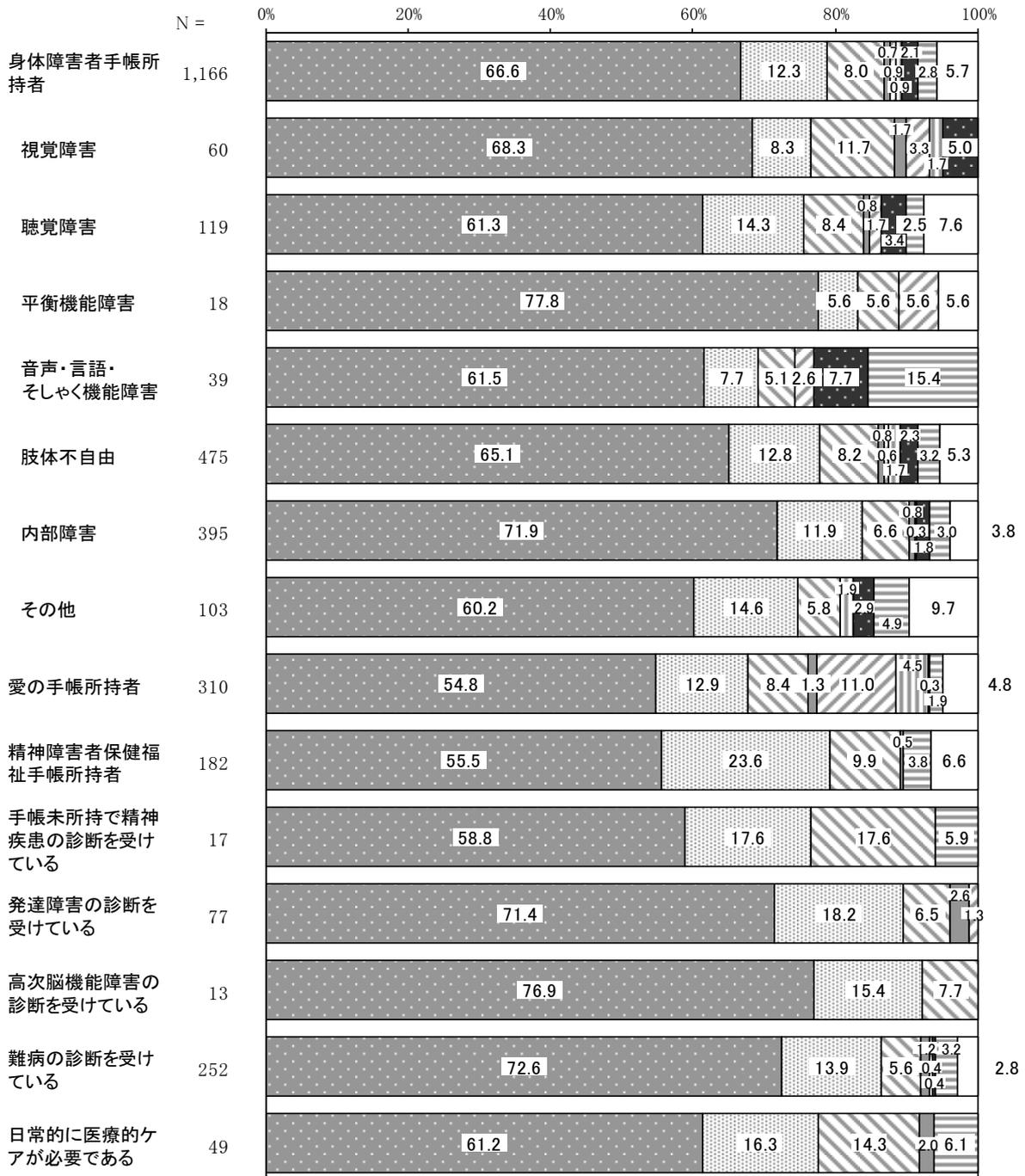
年齢別でみると，他に比べ，65歳以上75歳未満，75歳以上で「持ち家（戸建て，分譲マンション等）」の割合が高く，約7割となっています。また，18歳未満，18歳以上40歳未満で「民間賃貸住宅（戸建て，賃貸アパート・マンション等）」の割合が高く，約2割となっています。



【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、平衡機能障害で「持ち家（戸建て、分譲マンション等）」の割合が高く、約8割となっています。また、精神障害者保健福祉手帳所持者で「民間賃貸住宅（戸建て、賃貸アパート・マンション等）」の割合が高く、約2割となっています。

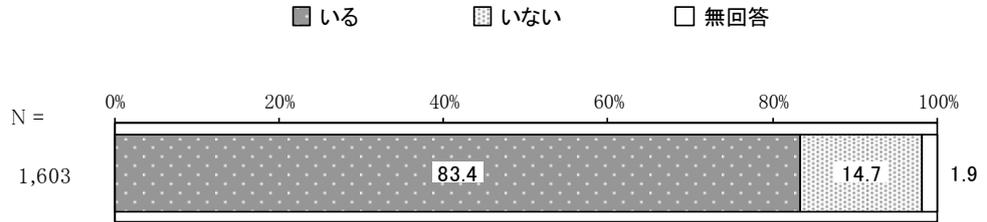
- 持ち家(戸建て, 分譲マンション等)
- ▨ 民間賃貸住宅(戸建て, 賃貸アパート・マンション等)
- ▩ 公営住宅(都営住宅, 市営住宅等)
- 社宅, 会社の寮
- ▨ グループホーム
- ▩ グループホーム(おおむね3年を居住限度とした通過型)
- ▨ 障害者・障害児の福祉施設に入所
- 介護保険施設(特別養護老人ホームなど)に入所
- ▨ その他
- 無回答



◆問 19 で「持ち家，民間賃貸住宅，公営住宅，社宅，会社の寮，その他」のいずれかを答えた方におたずねします。

問 20 いっしょに住んでいる方はいますか

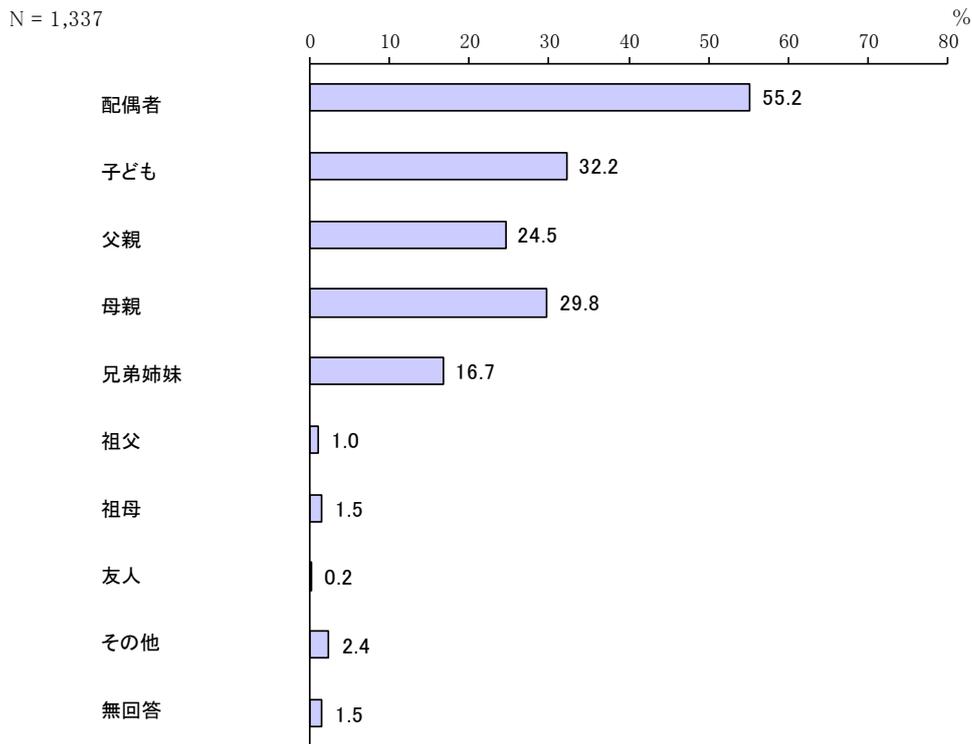
「いる」の割合が 83.4%，「いない」の割合が 14.7%となっています。



◆問 20 で「いる」と答えた方におたずねします。

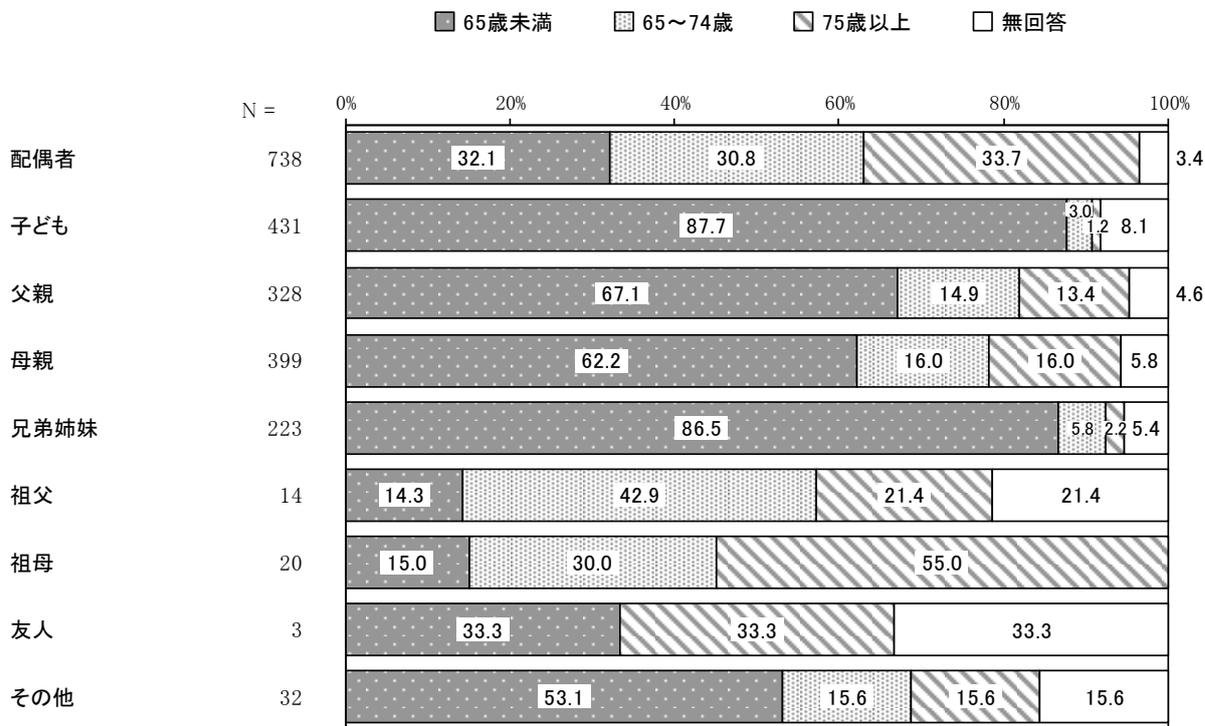
問 21 あなたが、いっしょに住んでいる方について、該当する年齢区分に○をしてください。(あてはまるものすべてに○)

「配偶者」の割合が 55.2%と最も高く、次いで「子ども」の割合が 32.2%，「母親」の割合が 29.8%となっています。



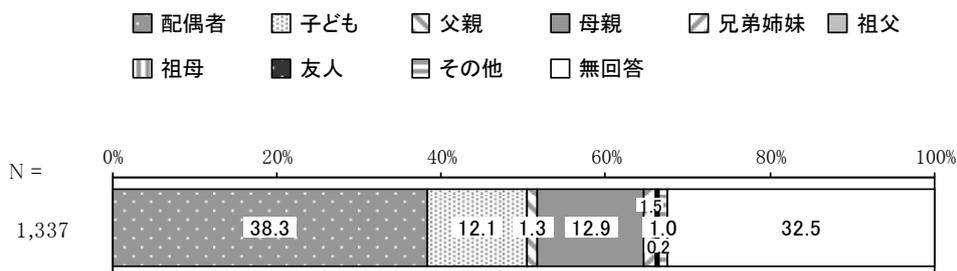
同居家族の年齢

子どもで「65歳未満」の割合が高く、約9割となっています。また、祖父で「65～74歳」の割合が、祖母で「75歳以上」の割合が高くなっています。



主な介助者

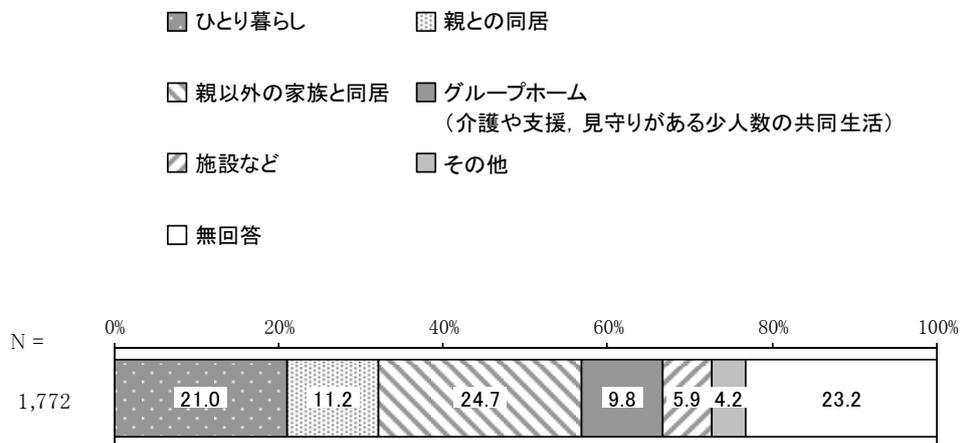
「配偶者」の割合が38.3%と最も高く、次いで「母親」の割合が12.9%、「子ども」の割合が12.1%となっています。



問 22 あなたは、今後（将来）どのような暮らしを希望していますか。第1希望でひとつ、第2希望でひとつ、それぞれ○をつけてください。

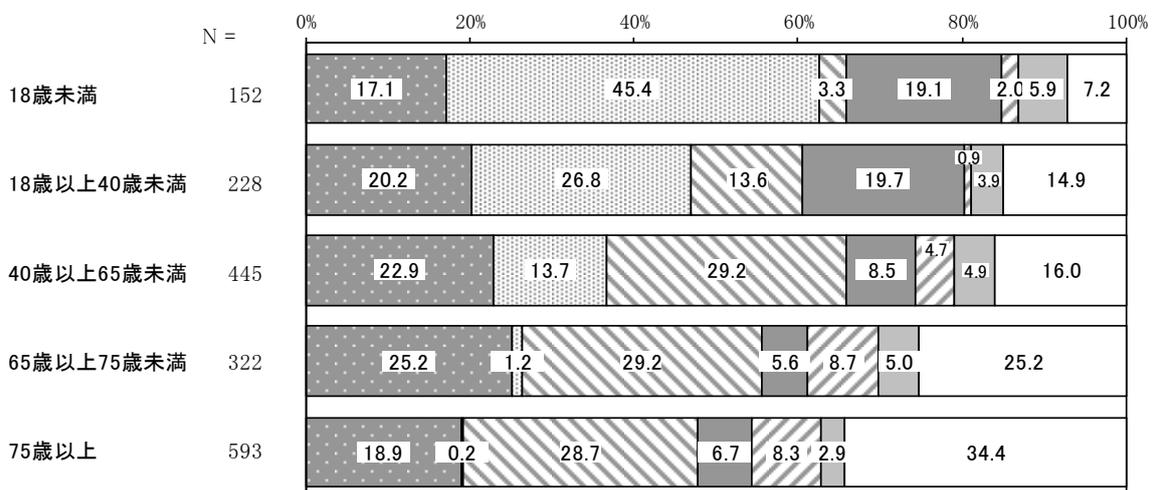
①第1希望

「親以外の家族と同居」の割合が24.7%と最も高く、次いで「ひとり暮らし」の割合が21.0%、「親との同居」の割合が11.2%となっています。



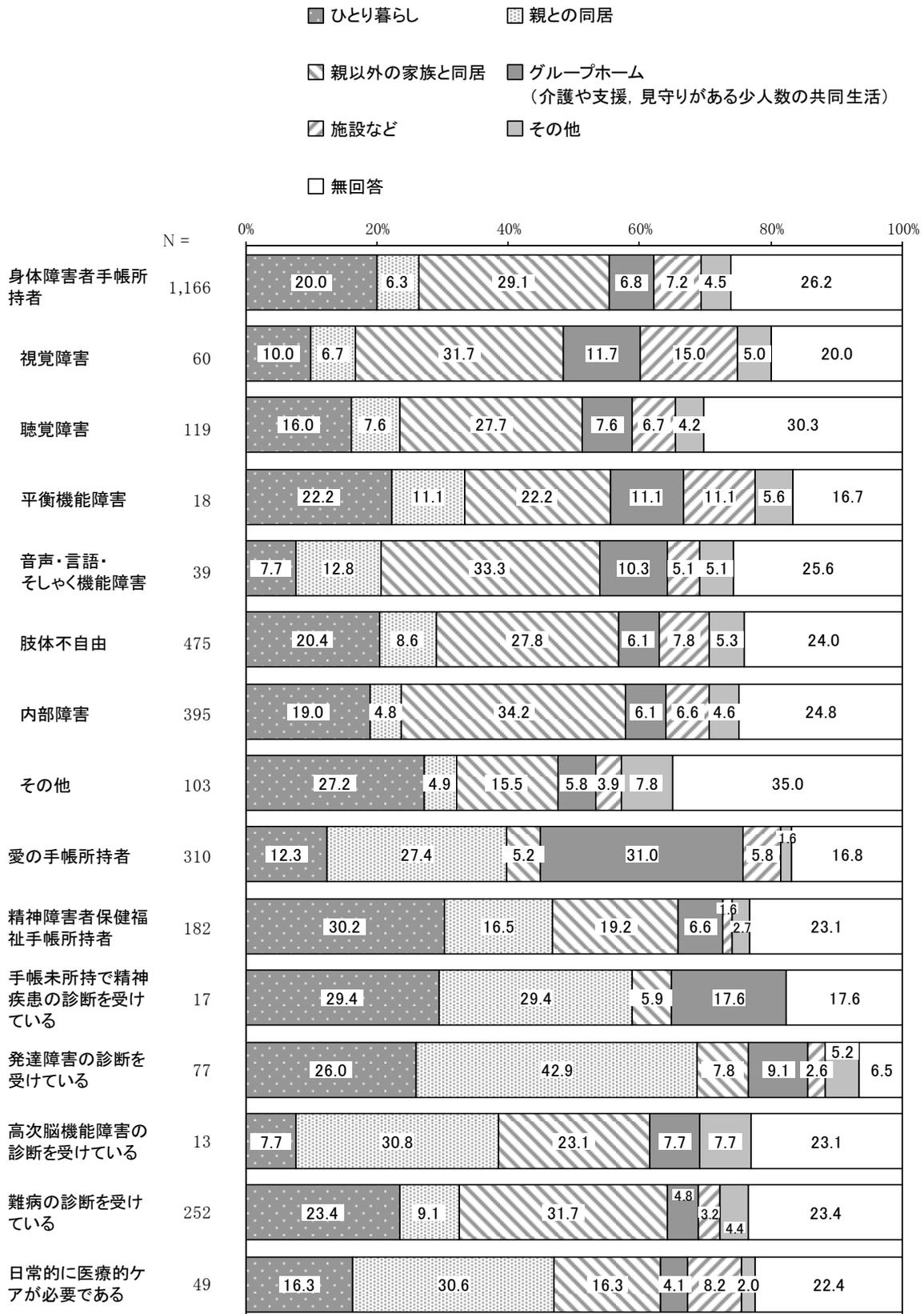
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「親との同居」の割合が高くなっており、18歳未満で4割台半ばとなっています。また、他に比べ、18歳未満、18歳以上40歳未満で「グループホーム (介護や支援, 見守りがある少人数の共同生活)」の割合が、40歳以上65歳未満、65歳以上75歳未満、75歳以上で「親以外の家族と同居」の割合が高くなっています。



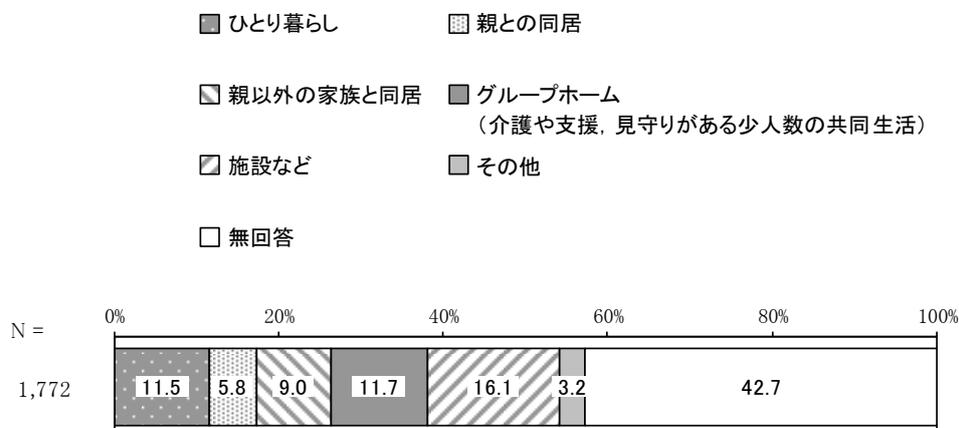
【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、発達障害の診断を受けている人で「親との同居」の割合が高く、約4割となっています。また、精神障害者保健福祉手帳所持者で「ひとり暮らし」の割合が、愛の手帳所持者で「グループホーム（介護や支援、見守りがある少人数の共同生活）」の割合が高く、約3割となっています。



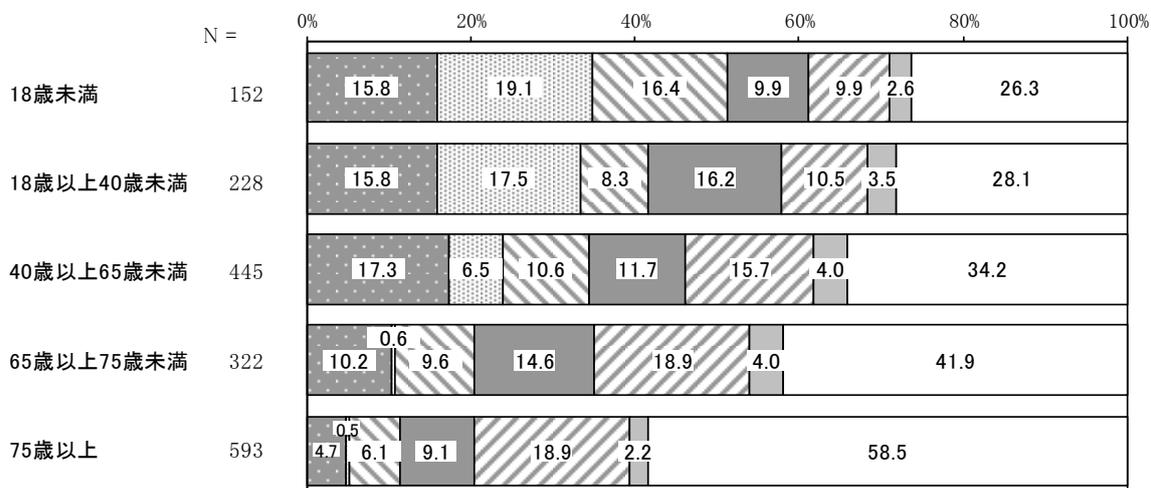
②第2希望

「施設など」の割合が16.1%と最も高く、次いで「グループホーム（介護や支援、見守りがある少人数の共同生活）」の割合が11.7%、「ひとり暮らし」の割合が11.5%となっています。



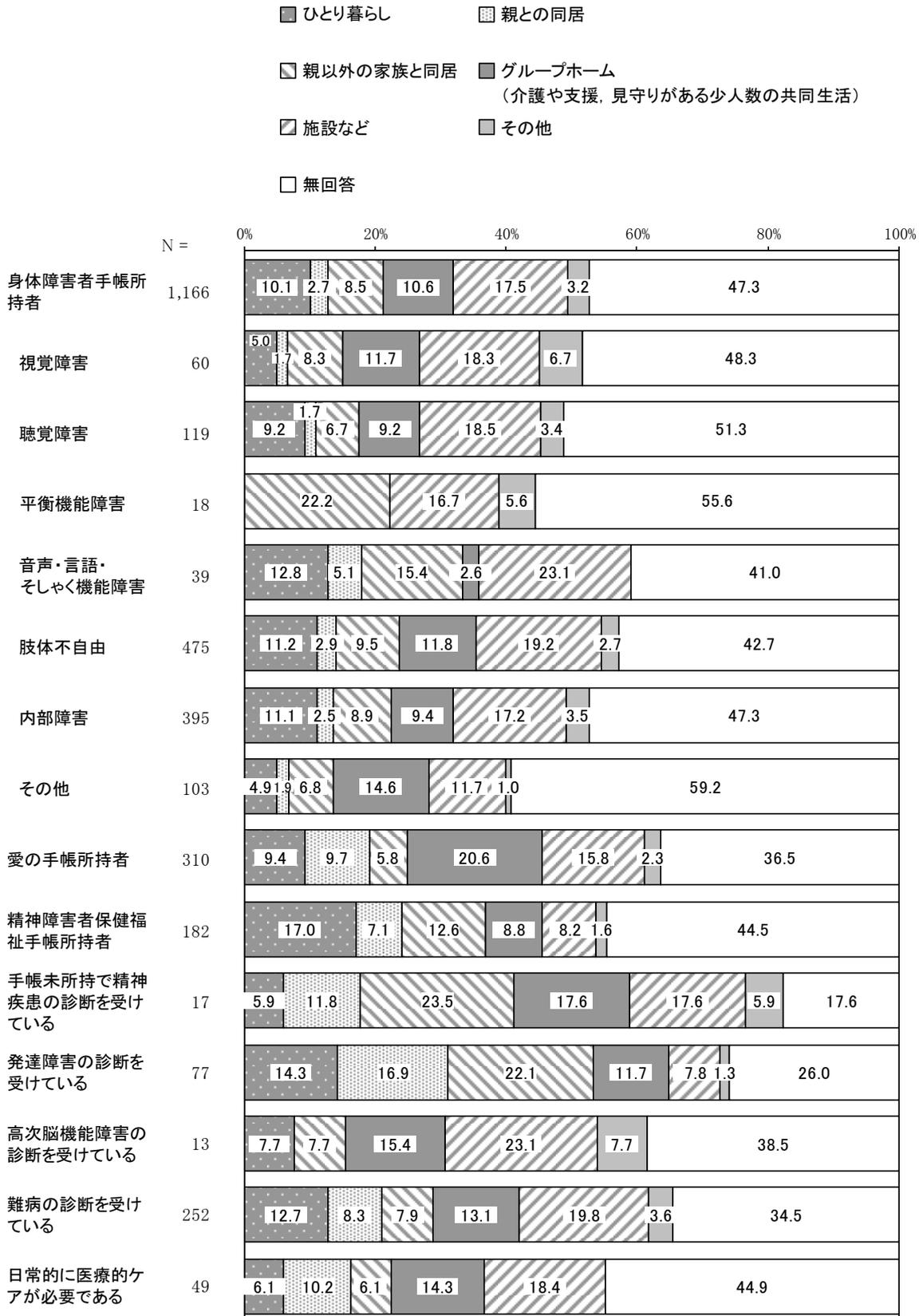
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が高くなるにつれ「施設など」の割合が高くなる傾向がみられ、65歳以上75歳未満、75歳以上で約2割となっています。また、他に比べ、18歳未満、18歳以上40歳未満で「親との同居」の割合が高く、約2割となっています。



【障害種別】

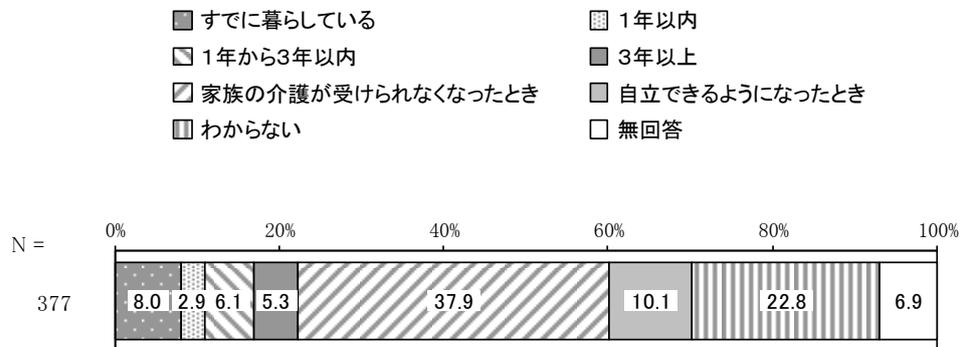
障害種別でみると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳所持者で「ひとり暮らし」の割合が、愛の手帳所持者で「グループホーム（介護や支援、見守りがある少人数の共同生活）」の割合が、視覚障害、聴覚障害、音声・言語・そしゃく機能障害、高次脳機能障害の診断を受けている人で「施設など」の割合が高く、約2割となっています。



◆問 22 で「グループホーム」と答えた方におたずねします。

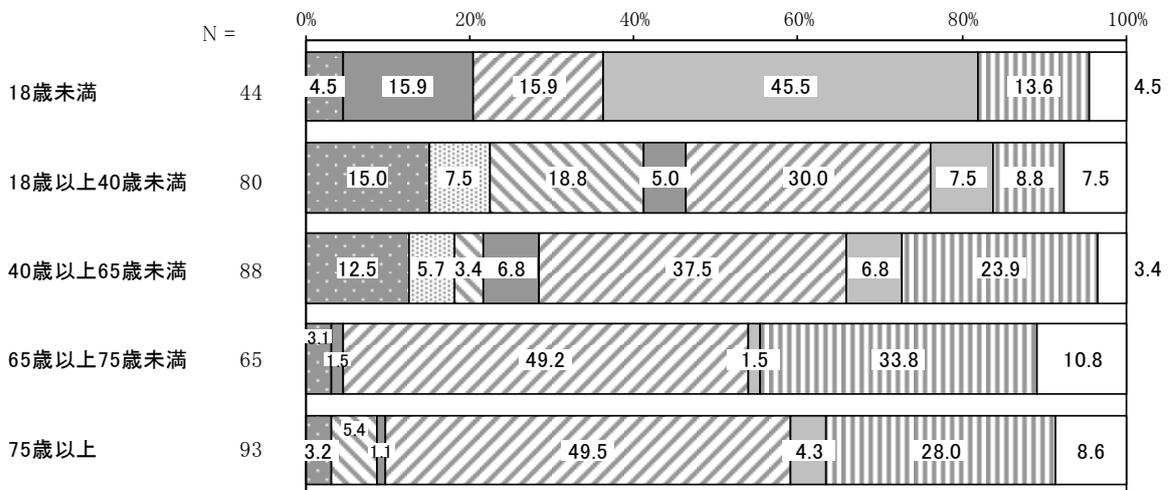
問 23 いつ頃グループホームで暮らしたいと思っていますか。

「家族の介護が受けられなくなったとき」の割合が 37.9%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 22.8%、「自立できるようになったとき」の割合が 10.1%となっています。



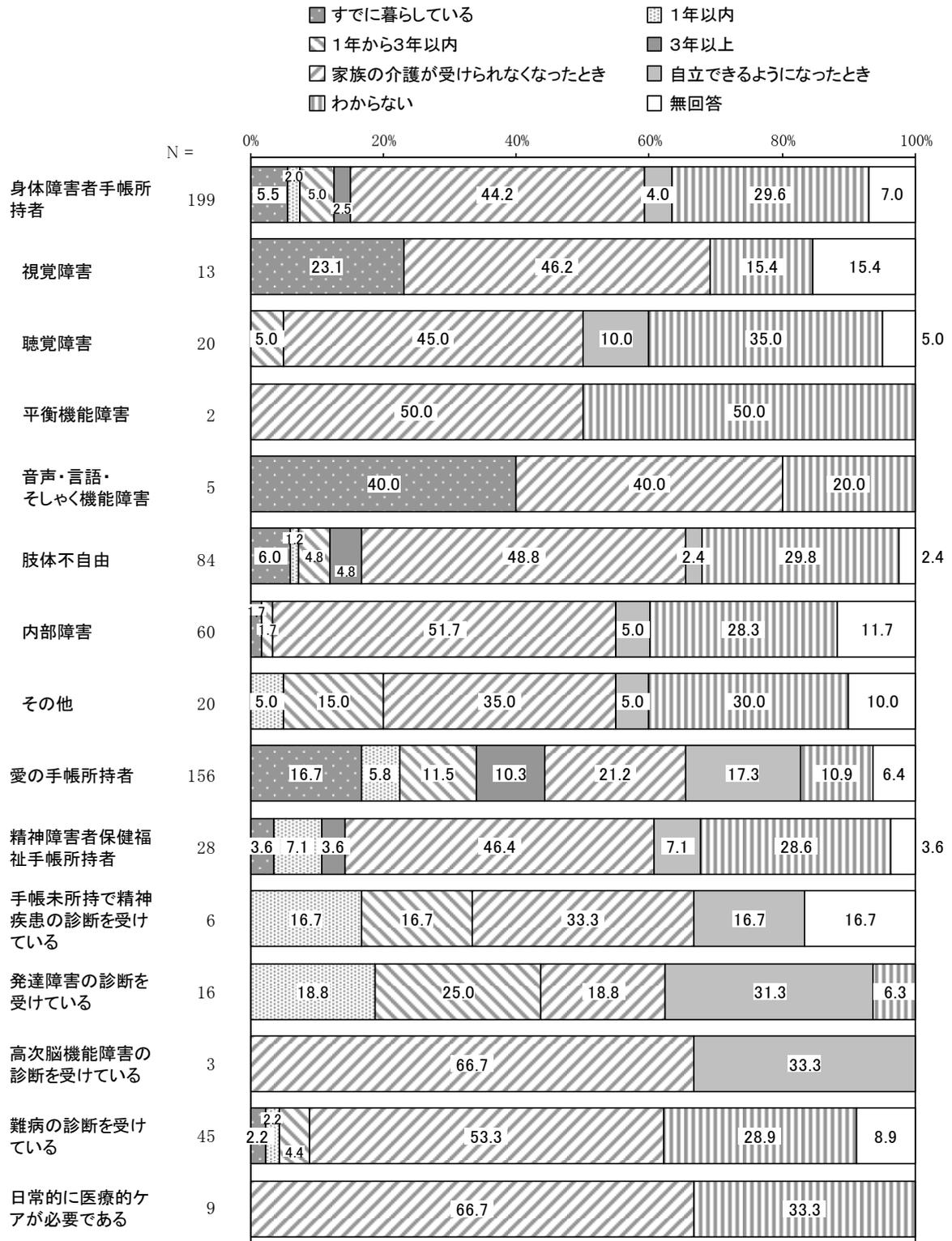
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳以上40歳未満で「1年以内」、「1年から3年以内」の割合が高くなっています。



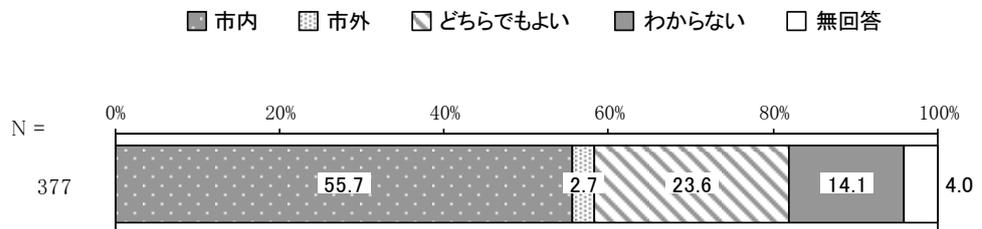
【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、発達障害の診断を受けている人、手帳未所持で精神疾患の診断を受けている人、精神障害者保健福祉手帳所持者、愛の手帳所持者で「1年以内」の割合が高くなっています。



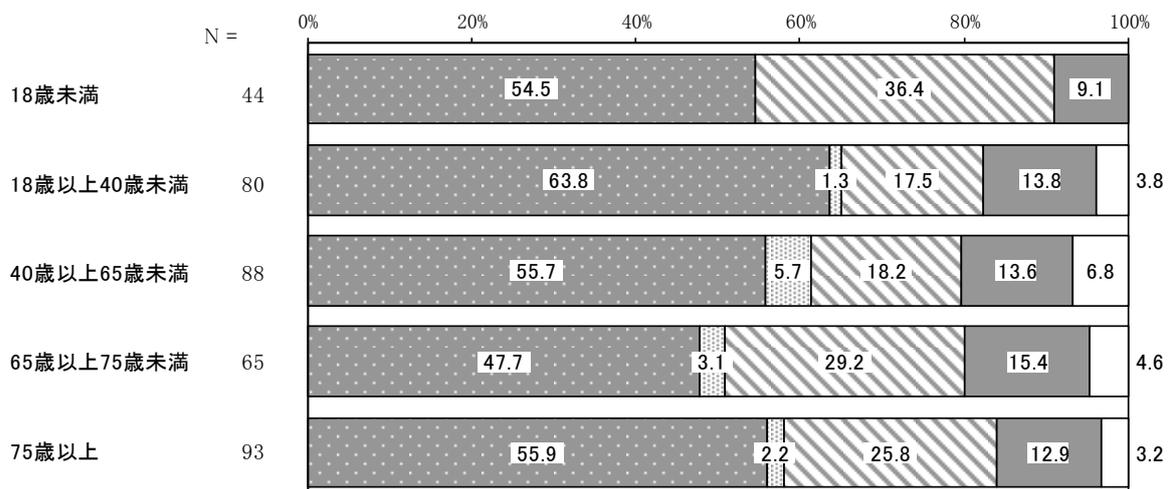
問 24 グループホームの入居先は、市内を希望されますか。それとも市外を希望されますか。

「市内」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「どちらでもよい」の割合が 23.6%、「わからない」の割合が 14.1%となっています。



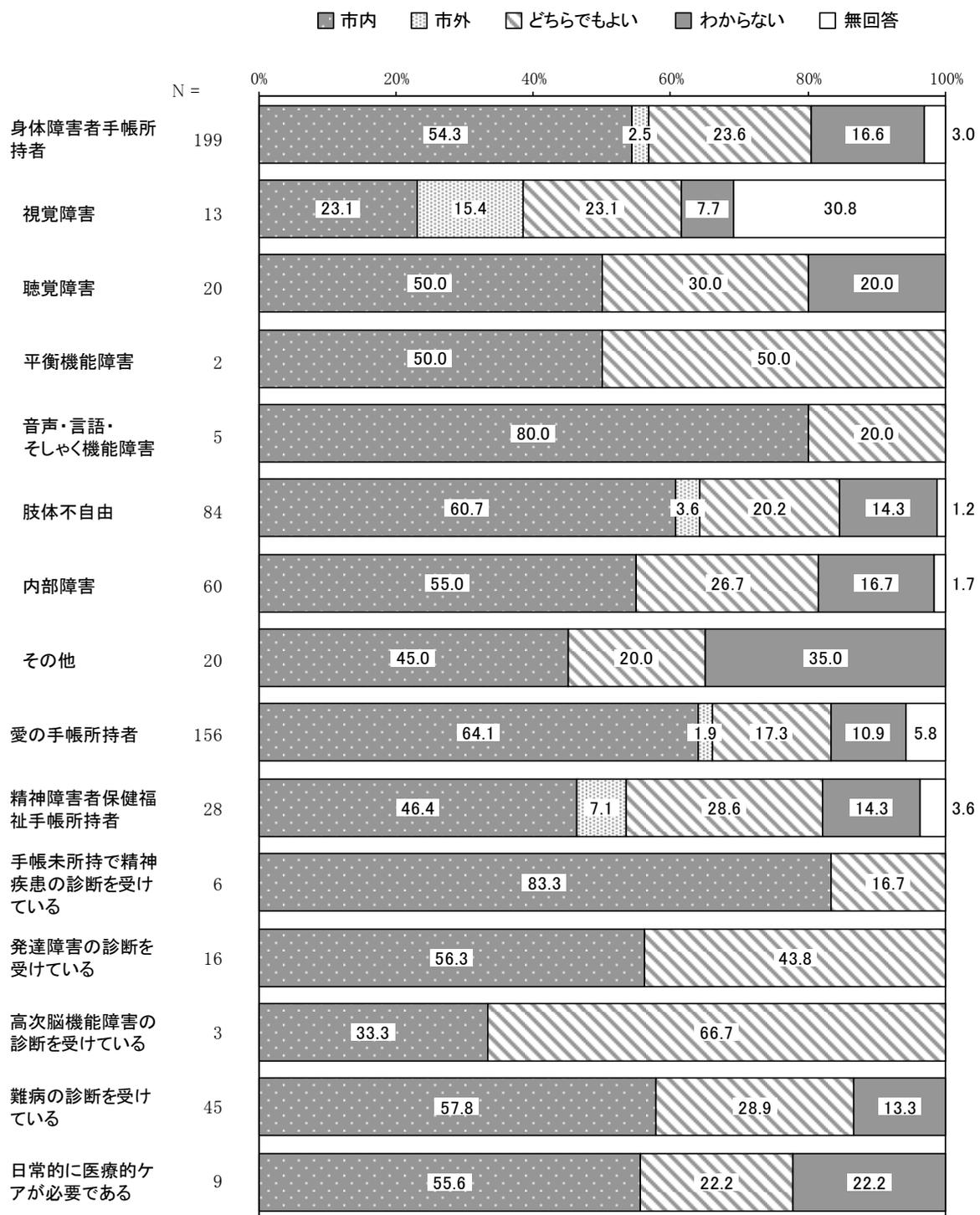
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳以上40歳未満で「市内」の割合が高く、約6割となっています。



【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、視覚障害で「市外」の割合が高くなっています。



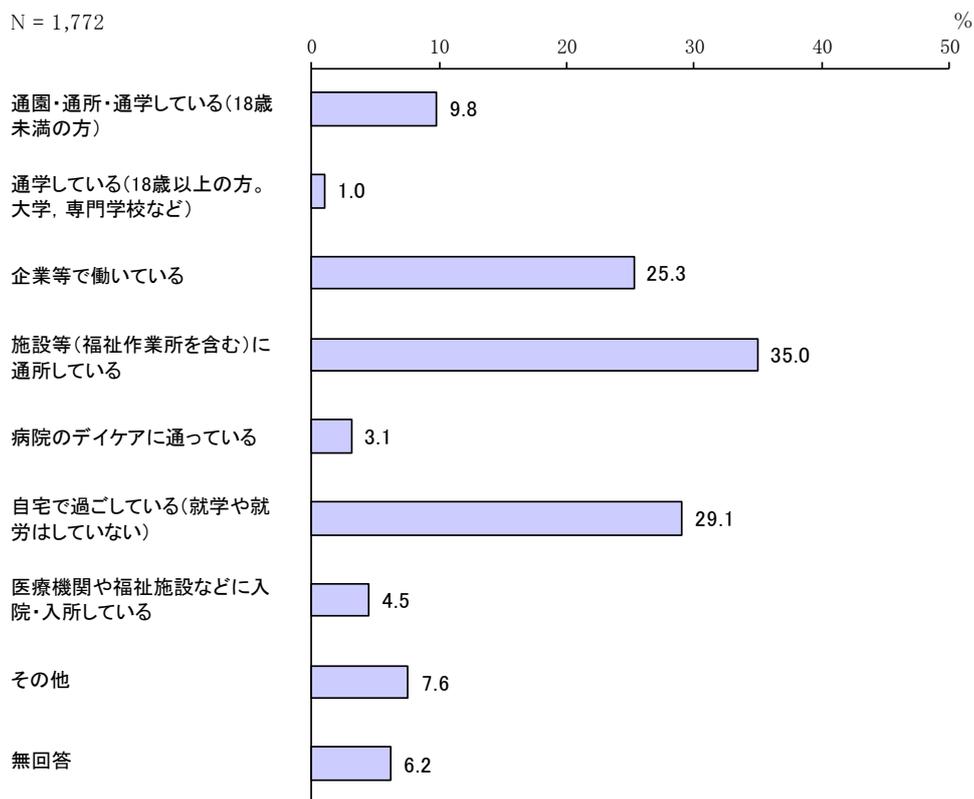
問 25 グループホームに望むことやグループホームに入居するにあたって不安なことがあれば、自由にご記入ください。

- ・費用負担が不安（13件）（身体，知的，発達）
- ・グループホームの不足が不安。（13件）（身体，知的，精神）
- ・特性に応じて選択できるほど数があること。（難病）
- ・重度の知的障害のグループホームを増やしてほしい。（知的）
- ・グループホームについてのわかりやすい情報提供。（制度，サービス内容，費用など）（9件）（身体，知的，精神，発達，難病，医療的ケア）
- ・規則や，時間帯等。（知的，精神）
- ・体験や見学ができるようにしてほしい。（身体，知的，精神）
- ・適切な支援が受けられるか不安。（支援員の質など）（10件）（身体，知的，精神）
- ・グループホームと施設の間があればよい。（常時見守り，小規模）（身体，知的，発達）
- ・医療的ケアへの対応。（3件）（身体，知的，難病，医療的ケア）
- ・病気，事故等の対応が心配。（3件）（身体，知的，精神，難病）
- ・高次脳機能障害への理解・配慮。（身体，精神，高次脳）
- ・発達障害への理解・配慮。（知的）
- ・24時間支援が受けられるグループホームだと安心。（知的）
- ・本人の意思を尊重した生活ができること。（8件）（身体，知的，精神，発達）
- ・女性専用のグループホームを希望する。（同性の支援者）（知的）
- ・プライバシーの確保。（5件）（身体，知的，発達，難病）
- ・障害種別や程度，年齢等が似た人と同居したい。（4件）（身体，知的，発達，医療的ケア）
- ・人間関係の相性，トラブルが心配。（9件）（身体，知的，精神，難病，医療的ケア）
- ・コミュニケーションが不安。（5件）（身体，知的，難病）
- ・家族の介護等を受けられなくなった時が心配。（親亡き後など）（7件）（身体，知的，難病）
- ・いきなり住むのは不安なので，数年は家とホームを交互に暮らしたい。（知的）
- ・暮らし慣れた実家近くにグループホームがあるとよい。（精神，発達）
- ・設備・環境が整っていること。（5件）（身体，知的）
- ・虐待の不安。（4件）（知的，精神，発達）
- ・行政の指導や第三者の目が行き届いていること。（4件）（身体，知的，精神）
- ・支援員への研修，人材育成。（2件）（知的）
- ・スタッフの待遇改善。（身体）
- ・環境の変化に弱く，不安も強いので慣れるまでに心身の調子を崩さないか不安。（知的，精神）
- ・ルールを守ることができるか心配。（精神）
- ・なにもわからない。全てに不安。（3件）（身体，知的，精神，発達，医療的ケア）

6 日中活動の場・就労について

問 26 あなたは、平日の昼間、どのように過ごしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

「施設等（福祉作業所を含む）に通所している」の割合が 35.0%と最も高く、次いで「自宅で過ごしている（就学や就労はしていない）」の割合が 29.1%、「企業等で働いている」の割合が 25.3%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳未満で「通園・通所・通学している（18歳未満の方）」の割合が高く、約9割となっています。また、18歳以上40歳未満、40歳以上65歳未満で「企業等で働いている」の割合が、18歳以上40歳未満で「施設等（福祉作業所を含む）に通所している」の割合が高く、約5割となっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	通園・通所・通学している（18歳未満の方）	通学している（18歳以上の方。大学、専門学校など）	企業等で働いている	施設等（福祉作業所を含む）に通所している	病院のデイケアに通っている	自宅で過ごしている（就学や就労はしていない）	医療機関や福祉施設などに入院・入所している	その他	無回答
18歳未満	152	93.4	2.0	2.0	10.5	—	1.3	1.3	0.7	0.7
18歳以上40歳未満	228	3.1	5.7	47.8	47.4	0.4	11.0	2.2	5.3	0.4
40歳以上65歳未満	445	3.4	—	48.1	28.8	2.5	25.6	3.6	8.1	2.9
65歳以上75歳未満	322	0.3	0.3	18.6	37.3	3.7	43.2	5.9	9.0	5.6
75歳以上	593	0.5	—	8.8	39.8	5.2	38.4	5.6	9.1	12.5

【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、発達障害の診断を受けている人で「通園・通所・通学している（18歳未満の方）」の割合が高く、6割台半ばとなっています。

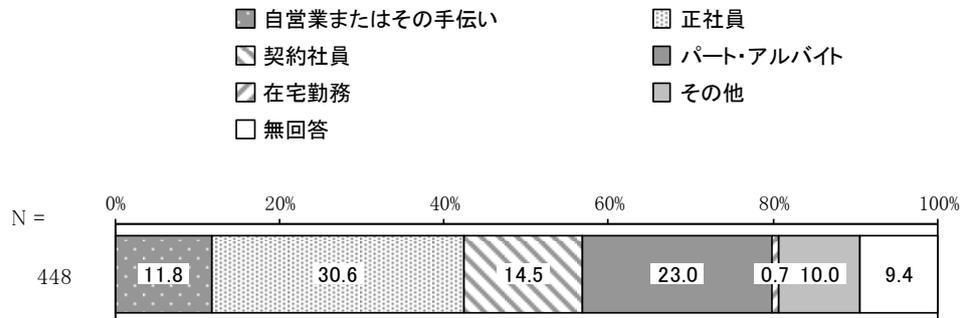
単位：％

区分	有効回答数 (件)	通園・通所・通学している (18歳未満の方)	通学している(18歳以上の 方。大学、専門学校など)	企業等で働いている	施設等(福祉作業所を含む) に通所している	病院のデイケアに通って いる	自宅で過ごしている(就学 や就労はしていない)	医療機関や福祉施設など に入院・入所している	その他	無回答
身体障害者手帳 所持者	1166	3.4	0.9	22.6	34.6	3.9	34.9	4.9	8.7	7.9
視覚障害	60	3.3	—	28.3	26.7	3.3	36.7	6.7	6.7	6.7
聴覚障害	119	6.7	1.7	23.5	26.9	5.0	34.5	5.9	7.6	8.4
平衡機能障害	18	—	—	22.2	50.0	11.1	27.8	—	16.7	5.6
音声・言語・ そしゃく機能障害	39	2.6	—	12.8	33.3	2.6	41.0	20.5	15.4	—
肢体不自由	475	5.3	1.1	18.3	36.8	4.2	32.6	6.3	8.4	7.4
内部障害	395	1.3	0.5	23.8	31.9	4.6	40.5	4.6	9.9	6.3
その他	103	3.9	—	25.2	44.7	2.9	25.2	2.9	12.6	11.7
愛の手帳所持者	310	29.4	0.6	25.8	47.7	1.3	6.1	5.2	2.9	3.5
精神障害者保健福祉 手帳所持者	182	8.2	0.5	24.2	41.8	7.1	27.5	2.7	8.8	7.1
手帳未所持で精神疾患 の診断を受けている	17	—	5.9	17.6	58.8	—	17.6	5.9	17.6	—
発達障害の診断を 受けている	77	66.2	2.6	11.7	22.1	—	3.9	1.3	1.3	1.3
高次脳機能障害の 診断を受けている	13	7.7	7.7	15.4	53.8	7.7	15.4	7.7	7.7	—
難病の診断を受けて いる	252	4.8	0.8	35.3	31.3	0.8	32.1	4.0	10.3	3.6
日常的に医療的ケア が必要である	49	18.4	—	20.4	34.7	6.1	26.5	20.4	16.3	4.1

◆問 27～問 29 は、問 26 で「企業等で働いている」と答えた方におたずねします。

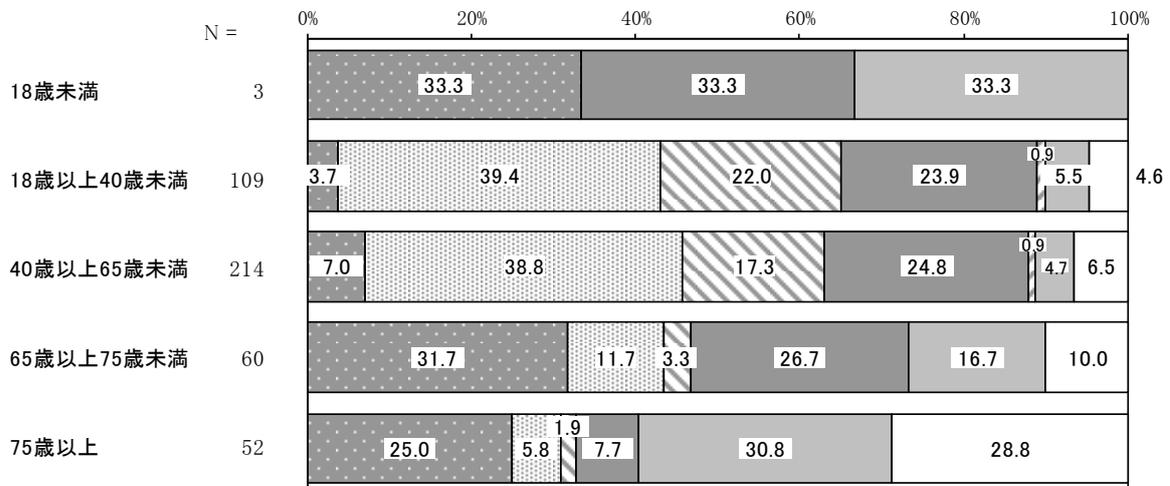
問 27 あなたは、どのような働き方をしていますか。(1つに○)

「正社員」の割合が 30.6%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」の割合が 23.0%、「契約社員」の割合が 14.5%となっています。



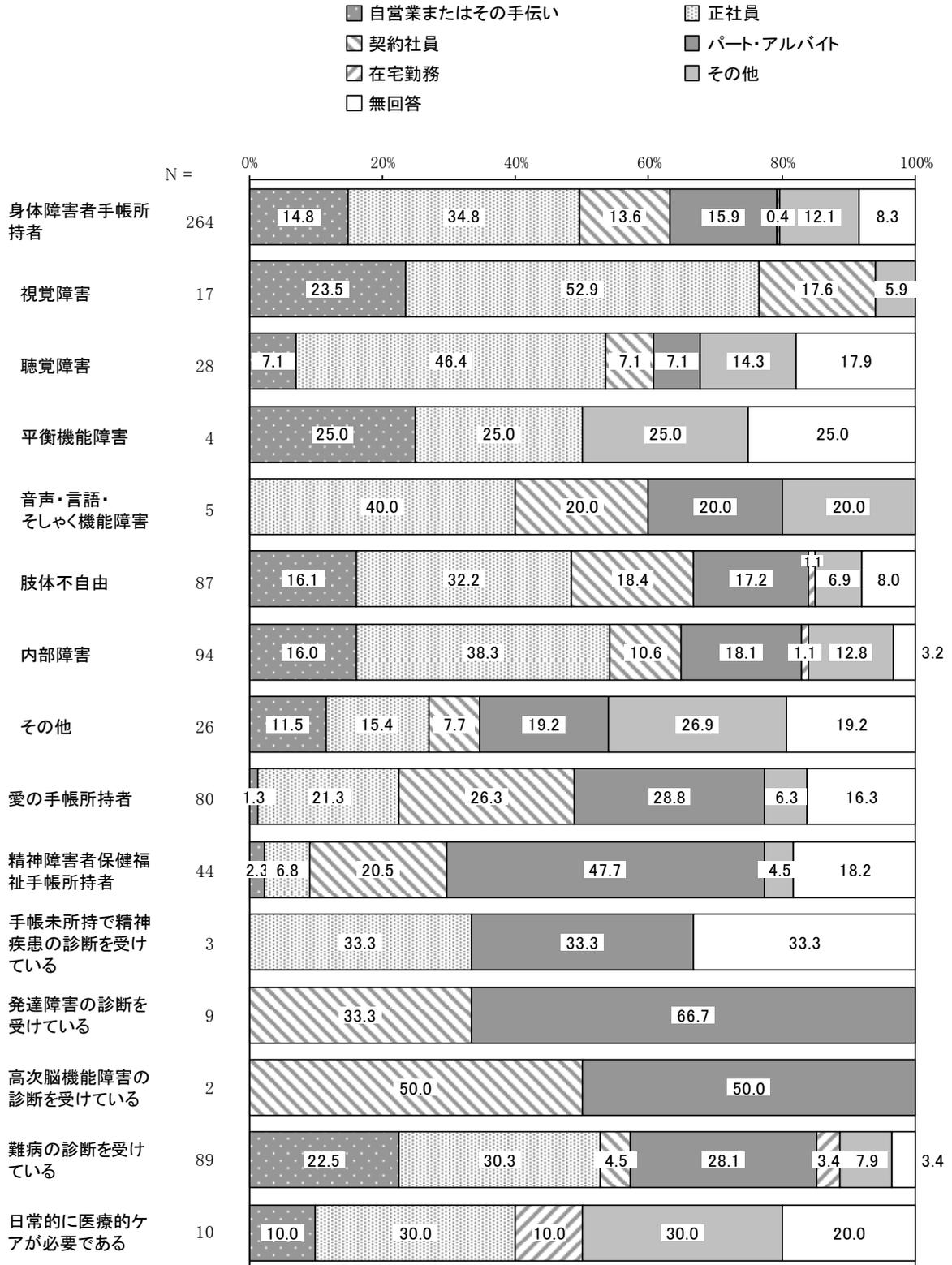
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳以上40歳未満、40歳以上65歳未満で「正社員」「契約社員」の割合が高くなっています。また、65歳以上75歳未満で「自営業またはその手伝い」の割合が高く、約3割となっています。



【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、視覚障害で「正社員」の割合が、精神障害者保健福祉手帳所有者で「パート・アルバイト」の割合が高く、約5割となっています。また、愛の手帳所有者で「契約社員」の割合が高く、2割台半ばとなっています。



問 28 どのような仕事をしていますか。(1つに○)

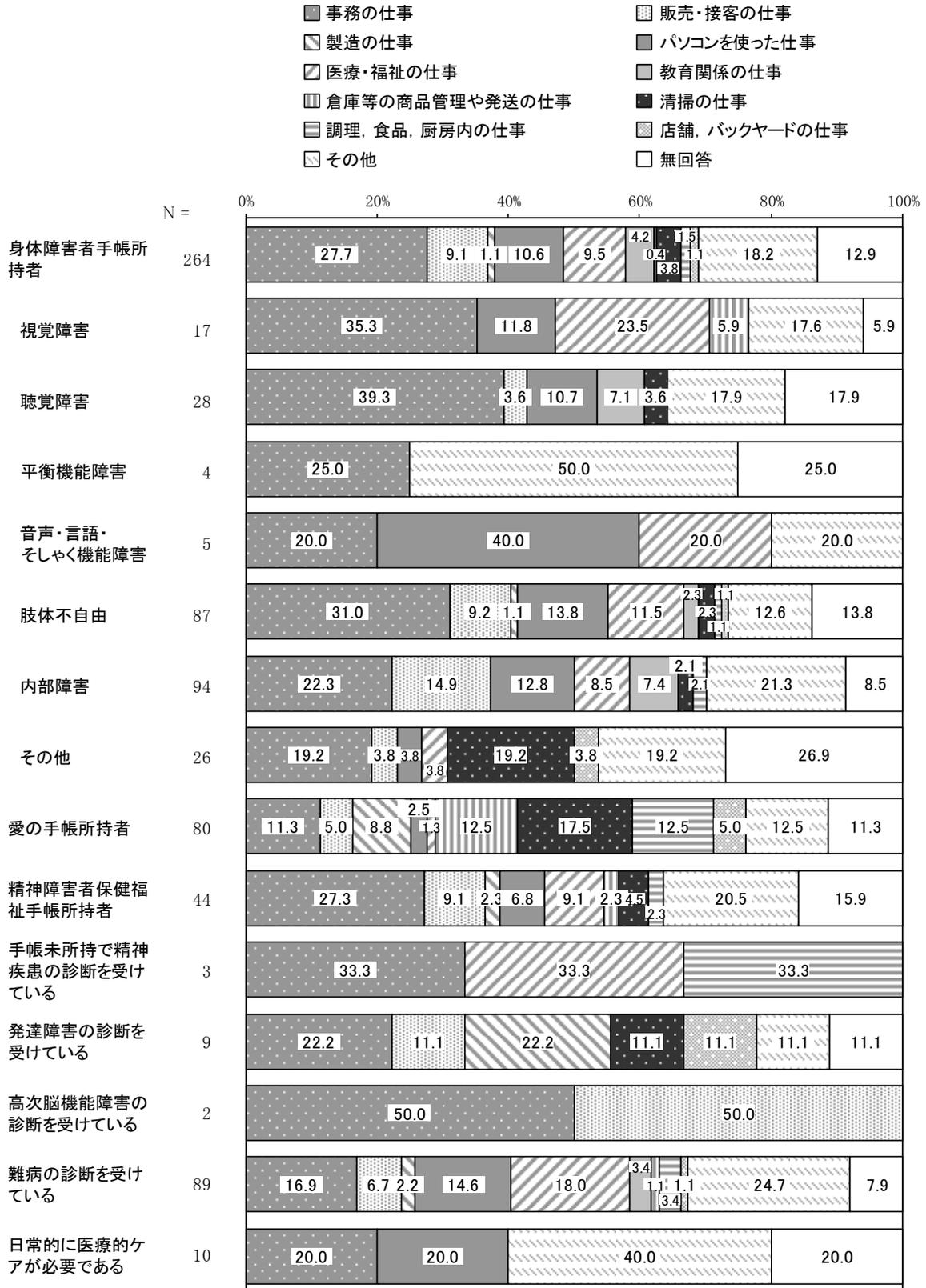
「その他」を除くと、「事務の仕事」の割合が 22.8%と最も高く、次いで「パソコンを使った仕事」の割合が 10.3%となっています。

- 事務の仕事
- 製造の仕事
- 医療・福祉の仕事
- 倉庫等の商品管理や発送の仕事
- 調理, 食品, 厨房内の仕事
- その他
- 販売・接客の仕事
- パソコンを使った仕事
- 教育関係の仕事
- 清掃の仕事
- 店舗, バックヤードの仕事
- 無回答



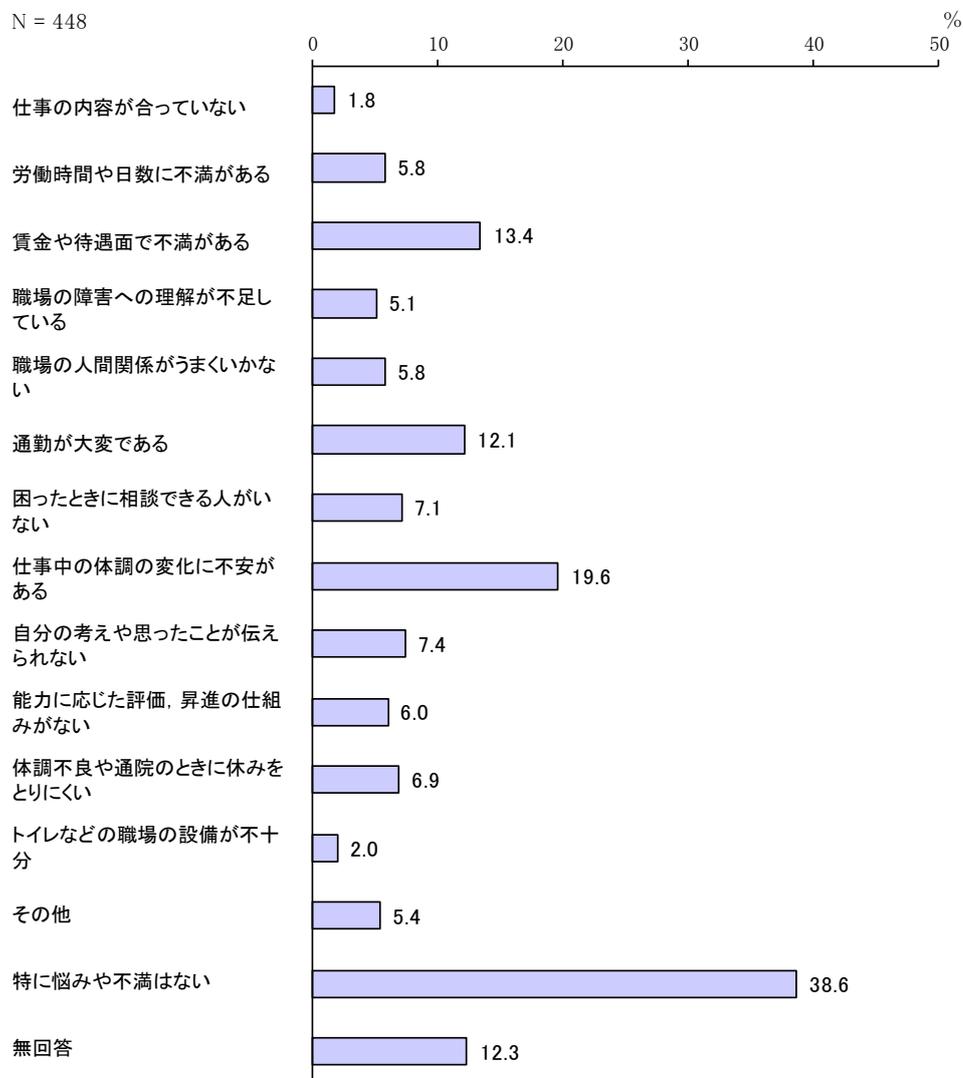
【障害種別】

障害種別でみると、身体障害者手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者では「事務の仕事」の割合が高く、愛の手帳所持者では「清掃の仕事」の割合が高くなっています。



問 29 現在の仕事について、どのような悩みや不満がありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

「特に悩みや不満はない」の割合が 38.6%と最も高く、次いで「仕事中の体調の変化に不安がある」の割合が 19.6%、「賃金や待遇面で不満がある」の割合が 13.4%となっています。



【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、日常的に医療的ケアが必要である人、音声・言語・そしゃく機能障害、難病の診断を受けている人で「工作中的体調の変化に不安がある」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	仕事の 内容が合 っていない	労働時 間や日数 に不満が ある	賃金や 待遇面で 不満があ る	職場の 障害への 理解が不 足してい る	職場の 人間関係 がうまく いかない	通勤が 大変であ る	困った ときに相 談できる 人がいな い
身体障害者手帳所持者	264	1.5	5.3	10.2	4.5	1.9	12.9	5.7
視覚障害	17	—	—	11.8	5.9	5.9	11.8	17.6
聴覚障害	28	10.7	7.1	10.7	7.1	10.7	14.3	7.1
平衡機能障害	4	—	25.0	25.0	—	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	5	—	40.0	20.0	—	—	20.0	—
肢体不自由	87	1.1	2.3	12.6	6.9	1.1	16.1	8.0
内部障害	94	—	4.3	8.5	2.1	—	12.8	2.1
その他	26	—	7.7	—	3.8	—	7.7	3.8
愛の手帳所持者	80	2.5	3.8	12.5	8.8	10.0	7.5	3.8
精神障害者保健福祉手帳所持者	44	4.5	11.4	18.2	6.8	15.9	13.6	9.1
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	3	—	—	33.3	33.3	—	—	—
発達障害の診断を受けている	9	—	—	44.4	—	—	11.1	11.1
高次脳機能障害の診断を受けている	2	—	—	50.0	50.0	—	—	—
難病の診断を受けている	89	2.2	10.1	18.0	2.2	7.9	9.0	7.9
日常的に医療的ケアが必要である	10	—	10.0	20.0	10.0	10.0	10.0	20.0

【障害種別（つづき）】

単位：％

区分	仕事中の体調の変化に不安がある	自分の考えや思ったことが伝えられない	能力に応じた評価、昇進の仕組みがない	体調不良や通院のときに休みをとりにくい	トイレなどの職場の設備が不十分	その他	特に悩みや不満はない	無回答
身体障害者手帳所持者	15.2	4.5	5.7	6.1	1.5	5.3	44.3	13.3
視覚障害	17.6	5.9	5.9	—	—	5.9	47.1	11.8
聴覚障害	10.7	10.7	3.6	7.1	—	3.6	46.4	7.1
平衡機能障害	25.0	—	—	—	—	25.0	50.0	—
音声・言語・そしゃく機能障害	40.0	—	—	20.0	—	—	20.0	20.0
肢体不自由	17.2	4.6	9.2	6.9	1.1	5.7	39.1	10.3
内部障害	17.0	2.1	2.1	6.4	1.1	3.2	46.8	17.0
その他	7.7	—	3.8	3.8	—	7.7	53.8	19.2
愛の手帳所持者	11.3	17.5	5.0	2.5	1.3	1.3	38.8	11.3
精神障害者保健福祉手帳所持者	31.8	15.9	6.8	4.5	2.3	11.4	27.3	9.1
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	33.3	—	—	—	—	—	—	33.3
発達障害の診断を受けている	—	11.1	11.1	—	11.1	—	44.4	—
高次脳機能障害の診断を受けている	—	50.0	—	—	—	—	—	—
難病の診断を受けている	37.1	4.5	5.6	11.2	4.5	4.5	28.1	13.5
日常的に医療的ケアが必要である	50.0	—	—	10.0	—	10.0	—	40.0

【就労形態別】

就労形態別でみると、他に比べ、正社員、契約社員で「通勤が大変である」の割合が、契約社員で「賃金や待遇面で不満がある」「能力に応じた評価、昇進の仕組みがない」の割合が高くなっています。

単位：％

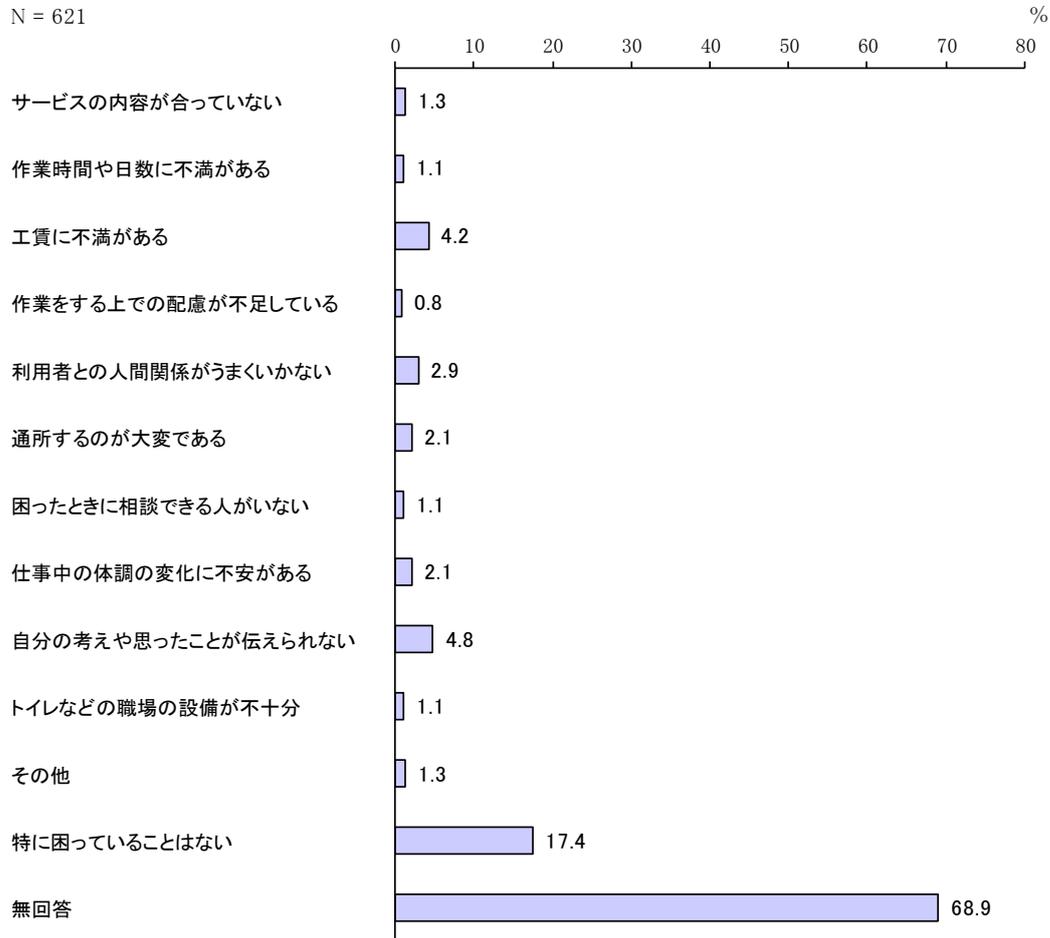
区分	有効回答数 (件)	仕事の 内容が合っ ていない	労働時間 や日数に不 満がある	賃金や待 遇面で不 満がある	職場の障 害への理 解が不足 している	職場の 人間関係 がうまく いかない	通勤が 大変であ る	困った ときに相 談できな い人がい ない
自営業またはその手伝い	53	—	1.9	7.5	1.9	—	1.9	—
正社員	137	2.2	8.8	8.8	5.8	7.3	19.7	8.0
契約社員	65	3.1	7.7	30.8	9.2	6.2	18.5	13.8
パート・アルバイト	103	1.9	5.8	18.4	5.8	7.8	10.7	5.8
在宅勤務	3	—	—	—	—	—	—	—
その他	45	—	2.2	6.7	—	2.2	4.4	4.4

区分	仕事 中の体調 の変化に 不安があ る	自分 の考えや 思ったこ とが伝え られない	能力に 応じた評 価、昇 進の仕組 みがない	体調不 良や通院 のときに 休みをと りにくい	トイレ などの職 場の設 備が不十 分	その他	特に 悩みや不 満はない	無回 答
自営業またはその手伝い	22.6	—	—	3.8	1.9	5.7	50.9	15.1
正社員	20.4	8.0	0.7	5.8	0.7	4.4	46.7	2.2
契約社員	16.9	10.8	18.5	7.7	3.1	3.1	33.8	4.6
パート・アルバイト	24.3	10.7	12.6	10.7	3.9	2.9	32.0	7.8
在宅勤務	33.3	—	—	—	—	—	33.3	33.3
その他	6.7	—	—	6.7	2.2	8.9	22.2	51.1

◆問 30～問 31 は、問 26 で「施設等（福祉作業所等を含む）に通所している」と答えた方におたずねします。

問 30 通所するうえで何か困っていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

「特に困っていることはない」の割合が 17.4%と最も高くなっています。



【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、発達障害の診断を受けている人で「工賃に不満がある」「自分の考えや思ったことが伝えられない」の割合が高く、約2割となっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	サービスの 内容が合 っていない	作業時間や 日数に不 満がある	工賃に不 満がある	作業をする 上での配 慮が不足し ている	利用者との 人間関係 がうまくい かない	通所する のが大変 である
身体障害者手帳所持者	404	1.0	0.7	1.5	0.2	1.2	2.0
視覚障害	16	—	6.3	—	—	—	—
聴覚障害	32	—	—	—	—	—	—
平衡機能障害	9	—	—	—	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	13	7.7	—	7.7	—	—	—
肢体不自由	175	1.7	1.7	0.6	0.6	1.7	1.1
内部障害	126	0.8	—	0.8	0.8	0.8	4.0
その他	46	—	—	6.5	—	4.3	4.3
愛の手帳所持者	148	4.1	3.4	12.2	1.4	8.8	4.1
精神障害者保健福祉手帳所持者	76	—	1.3	9.2	1.3	6.6	2.6
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	10	—	20.0	20.0	10.0	—	10.0
発達障害の診断を受けている	17	—	5.9	23.5	—	17.6	—
高次脳機能障害の診断を受けている	7	—	—	14.3	—	—	—
難病の診断を受けている	79	3.8	1.3	2.5	1.3	—	2.5
日常的に医療的ケアが必要である	17	11.8	—	5.9	5.9	—	—

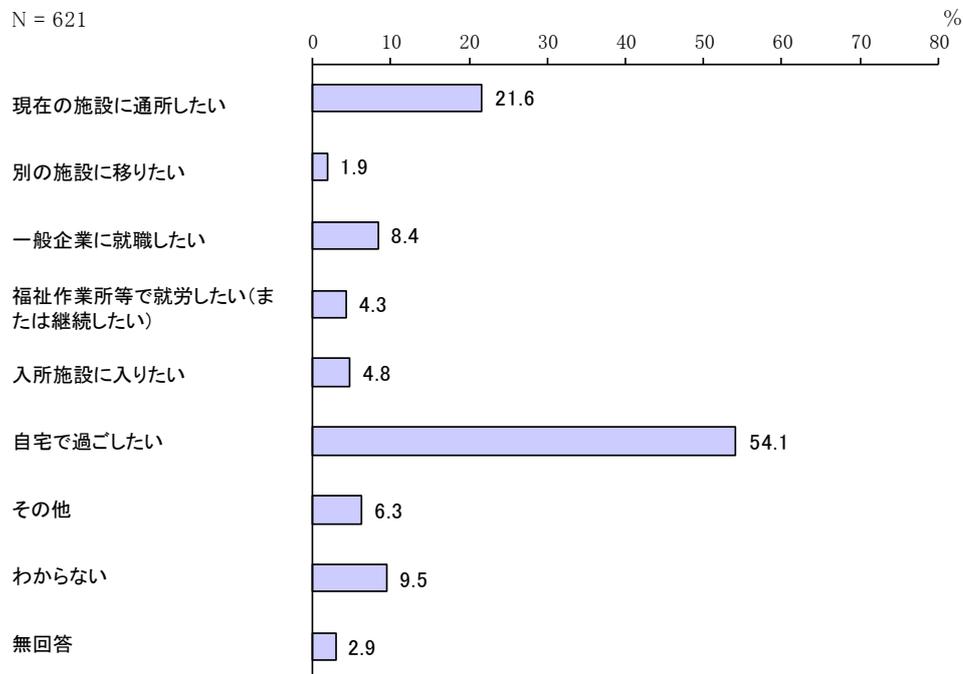
【障害種別（つづき）】

単位：％

区分	困ったときに相談できる人がいない	仕事中の体調の変化に不安がある	自分の考えや思ったことが伝えられない	トイレなどの職場の設備が不十分	その他	特に困っていることはない	無回答
身体障害者手帳所持者	0.7	1.2	2.2	1.2	1.2	14.6	76.5
視覚障害	—	6.3	6.3	—	—	25.0	68.8
聴覚障害	—	—	—	—	3.1	12.5	84.4
平衡機能障害	—	—	—	—	11.1	11.1	77.8
音声・言語・そしゃく機能障害	7.7	—	7.7	7.7	7.7	15.4	61.5
肢体不自由	1.1	1.7	2.9	2.3	1.1	16.6	73.1
内部障害	0.8	0.8	—	0.8	2.4	10.3	83.3
その他	2.2	2.2	6.5	2.2	—	15.2	63.0
愛の手帳所持者	2.7	7.4	16.2	1.4	2.0	25.7	37.2
精神障害者保健福祉手帳所持者	—	1.3	3.9	1.3	1.3	15.8	68.4
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	10.0	20.0	20.0	10.0	—	20.0	30.0
発達障害の診断を受けている	—	11.8	23.5	—	5.9	17.6	29.4
高次脳機能障害の診断を受けている	—	—	14.3	—	—	14.3	57.1
難病の診断を受けている	1.3	—	1.3	—	1.3	12.7	75.9
日常的に医療的ケアが必要である	—	—	5.9	—	5.9	11.8	70.6

問 31 あなたは、今後どのような過ごし方を希望していますか。
(あてはまるものすべてに○)

「自宅で過ごしたい」の割合が 54.1%と最も高く、次いで「現在の施設に通所したい」の割合が 21.6%となっています。



【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、内部障害で「自宅で過ごしたい」の割合が高く、7割台半ばとなっています。また、音声・言語・そしゃく機能障害、愛の手帳所持者で「現在の施設に通所したい」の割合が高く、4割台半ばとなっています。

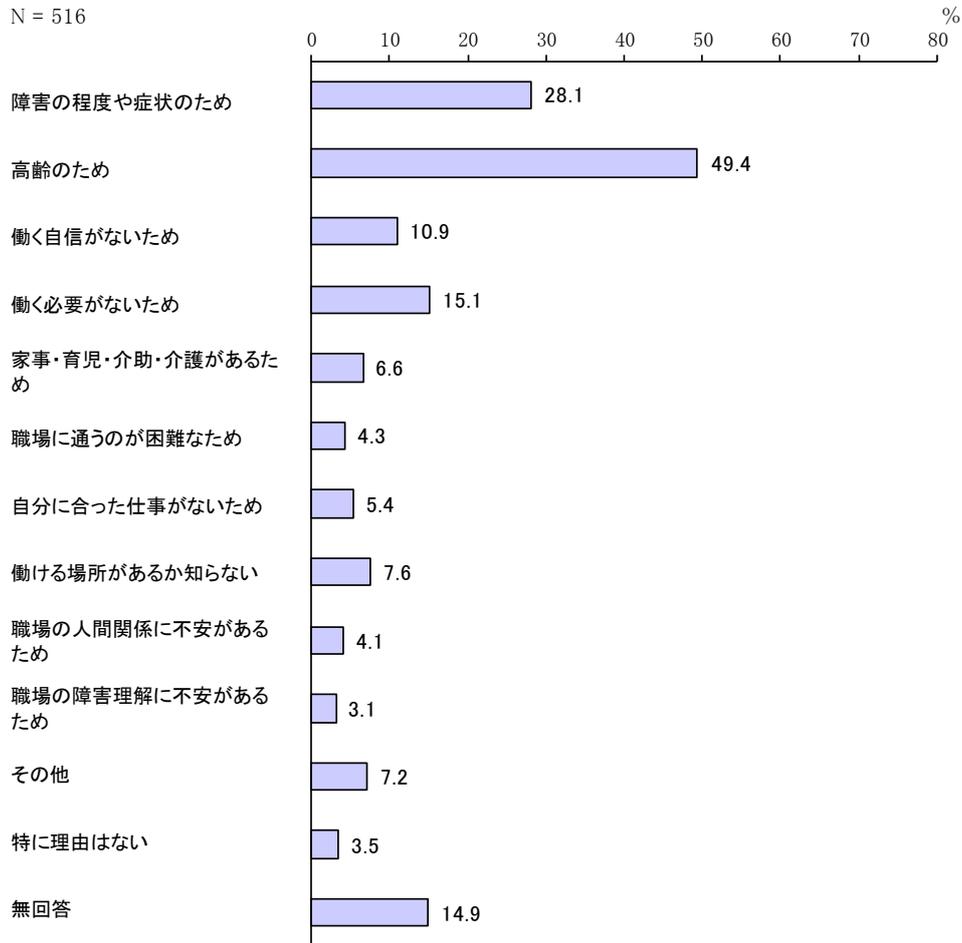
単位：％

区分	有効回答数(件)	現在の施設に通所したい	別の施設に移りたい	一般企業に就職したい	福祉作業所等で就労したい (または継続したい)	入所施設に入りたい	自宅で過ごしたい	その他	わからない	無回答
身体障害者手帳所持者	404	17.1	2.0	5.0	1.5	4.5	63.4	5.9	9.9	3.2
視覚障害	16	6.3	—	12.5	6.3	12.5	62.5	6.3	6.3	—
聴覚障害	32	9.4	—	6.3	—	3.1	65.6	3.1	15.6	—
平衡機能障害	9	22.2	—	—	—	—	55.6	22.2	11.1	—
音声・言語・そしゃく機能障害	13	46.2	—	—	—	—	38.5	15.4	15.4	7.7
肢体不自由	175	23.4	2.9	5.1	1.1	4.6	60.6	6.3	7.4	4.6
内部障害	126	10.3	2.4	1.6	0.8	4.0	74.6	4.8	7.1	4.0
その他	46	15.2	6.5	6.5	4.3	4.3	54.3	8.7	15.2	—
愛の手帳所持者	148	45.3	5.4	13.5	10.8	5.4	18.2	5.4	11.5	2.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	76	22.4	1.3	17.1	5.3	6.6	46.1	9.2	10.5	1.3
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	10	40.0	10.0	30.0	40.0	—	10.0	—	—	—
発達障害の診断を受けている	17	23.5	—	29.4	17.6	11.8	11.8	—	11.8	5.9
高次脳機能障害の診断を受けている	7	28.6	—	—	14.3	—	57.1	—	14.3	14.3
難病の診断を受けている	79	13.9	5.1	3.8	3.8	6.3	67.1	5.1	6.3	3.8
日常的に医療的ケアが必要である	17	23.5	11.8	—	5.9	5.9	58.8	5.9	5.9	5.9

◆問 32～問 33 は、問 26 で「自宅で過ごしている（就学や就労はしていない）」と答えた方におたずねします。

問 32 就学や就労をしていない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「高齢のため」の割合が 49.4%と最も高く、次いで「障害の程度や症状のため」の割合が 28.1%、「働く必要がないため」の割合が 15.1%となっています。



【障害種別】

障害種別でみると、身体障害者手帳所持者では「高齢のため」の割合が高く、約6割となっています。また、精神障害者保健福祉手帳所持者で「働く自信がないため」の割合が高く、4割となっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	障害の程度や症状のため	高齢のため	働く自信がないため	働く必要がないため	家事・育児・介助・介護があるため	職場に通うのが困難なため
身体障害者手帳所持者	407	24.8	56.0	6.4	16.0	4.2	3.4
視覚障害	22	27.3	59.1	4.5	18.2	4.5	—
聴覚障害	41	9.8	63.4	—	17.1	4.9	—
平衡機能障害	5	40.0	60.0	—	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	16	43.8	43.8	6.3	—	—	12.5
肢体不自由	155	33.5	54.2	8.4	12.9	5.2	5.8
内部障害	160	23.1	55.6	6.3	16.3	3.1	1.9
その他	26	30.8	61.5	7.7	23.1	3.8	11.5
愛の手帳所持者	19	47.4	31.6	10.5	—	—	15.8
精神障害者保健福祉手帳所持者	50	62.0	20.0	40.0	8.0	6.0	12.0
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	3	100.0	—	—	—	—	—
発達障害の診断を受けている	3	66.7	—	66.7	—	—	33.3
高次脳機能障害の診断を受けている	2	—	—	—	—	—	—
難病の診断を受けている	81	33.3	33.3	16.0	14.8	17.3	3.7
日常的に医療的ケアが必要である	13	46.2	30.8	—	—	—	7.7

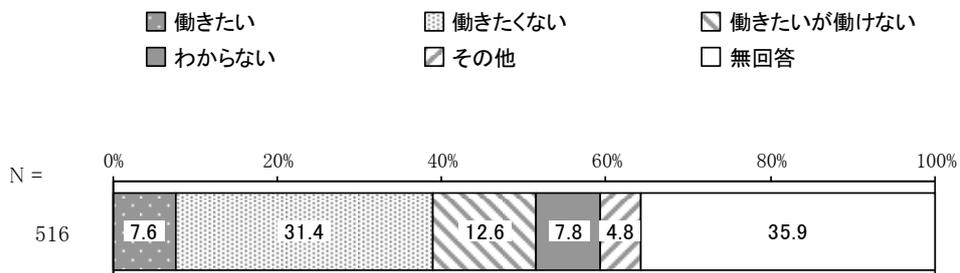
【障害種別（つづき）】

単位：％

区分	自分に合った仕事がないため	働ける場所があるか知らない	職場の人間関係に不安があるため	職場の障害理解に不安があるため	その他	特に理由はない	無回答
身体障害者手帳所持者	3.9	8.1	0.5	1.5	6.1	3.2	16.0
視覚障害	—	4.5	—	—	4.5	—	13.6
聴覚障害	4.9	4.9	2.4	4.9	2.4	—	22.0
平衡機能障害	—	—	—	20.0	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	—	18.8	—	—	—	—	25.0
肢体不自由	5.8	11.0	0.6	1.3	9.0	2.6	12.9
内部障害	2.5	8.1	—	0.6	3.8	5.6	17.5
その他	3.8	—	—	3.8	15.4	—	11.5
愛の手帳所持者	15.8	5.3	15.8	15.8	10.5	5.3	15.8
精神障害者保健福祉手帳所持者	8.0	8.0	30.0	14.0	18.0	—	14.0
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	66.7	—	66.7	33.3	—	—	—
発達障害の診断を受けている	66.7	—	33.3	33.3	33.3	—	—
高次脳機能障害の診断を受けている	—	—	—	50.0	50.0	—	—
難病の診断を受けている	9.9	6.2	2.5	3.7	8.6	3.7	14.8
日常的に医療的ケアが必要である	7.7	7.7	—	15.4	7.7	—	23.1

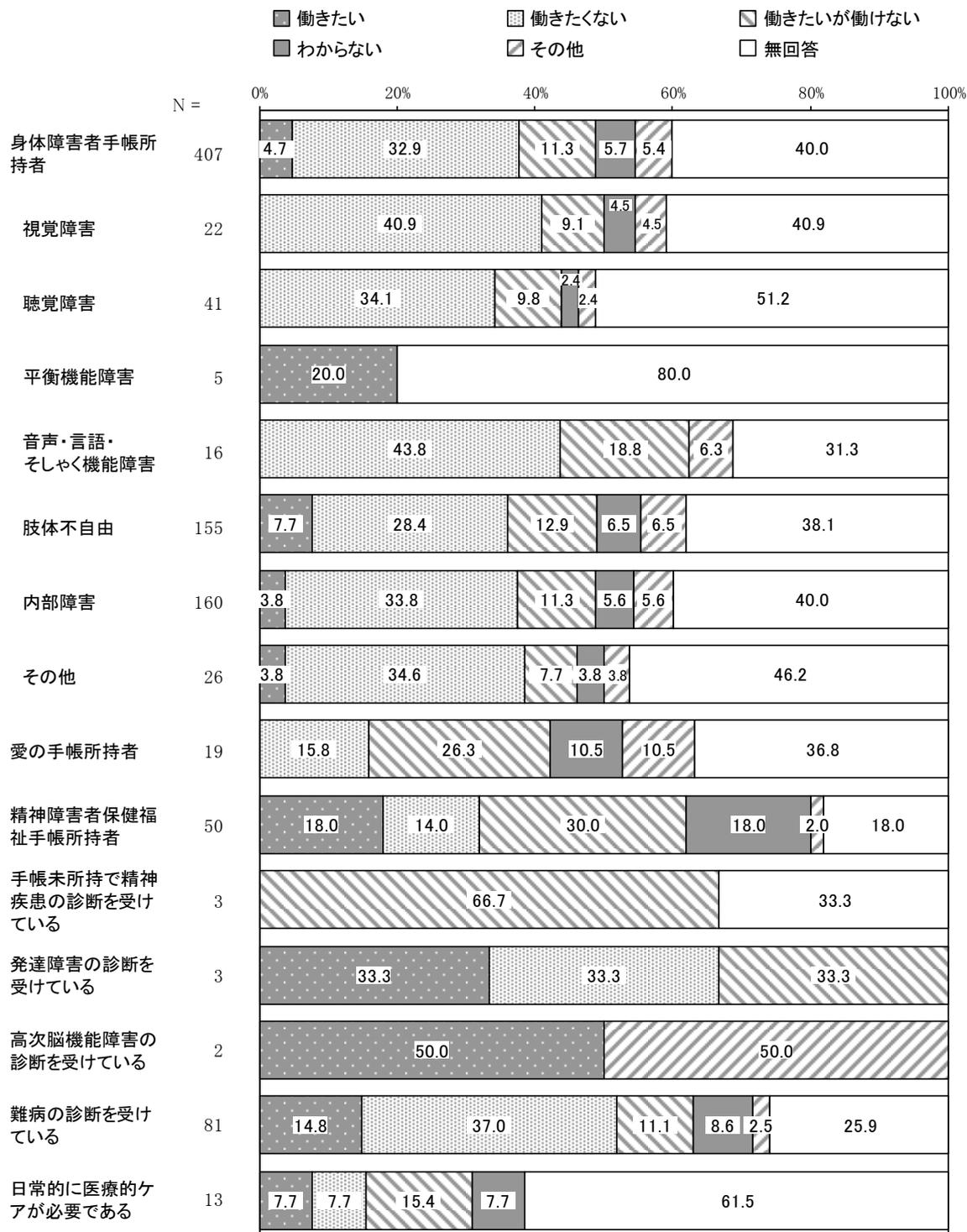
問 33 あなたは将来、一般企業で働きたいですか。

「働きたくない」の割合が31.4%と最も高く、次いで「働きたいが働けない」の割合が12.6%となっています。



【障害種別】

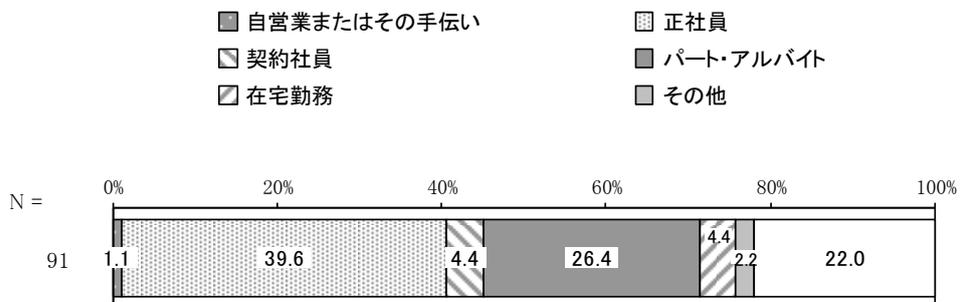
障害種別でみると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳所持者で「働きたい」の割合が高く、約2割となっています。また、視覚障害、音声・言語・そしゃく機能障害、難病の診断を受けている人で「働きたくない」の割合が高く、約4割となっています。



◆問 34～問 35 は、問 31 で「一般企業に就職したい」または問 33 で「働きたい」と答えた方におたずねします。

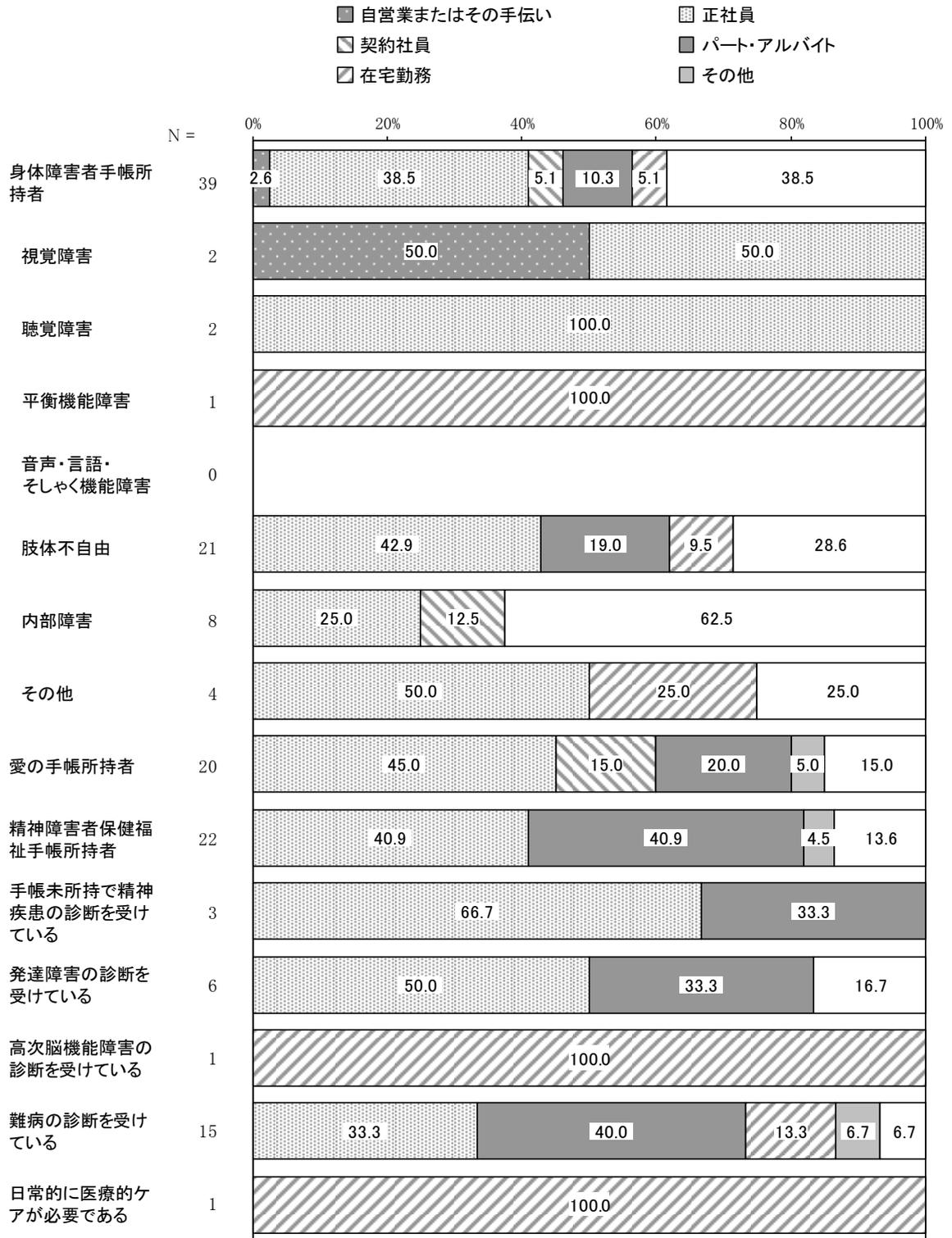
問 34 あなたは将来、どのような働き方をしたいですか。(1つに○)

「正社員」の割合が 39.6%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」の割合が 26.4%となっています。



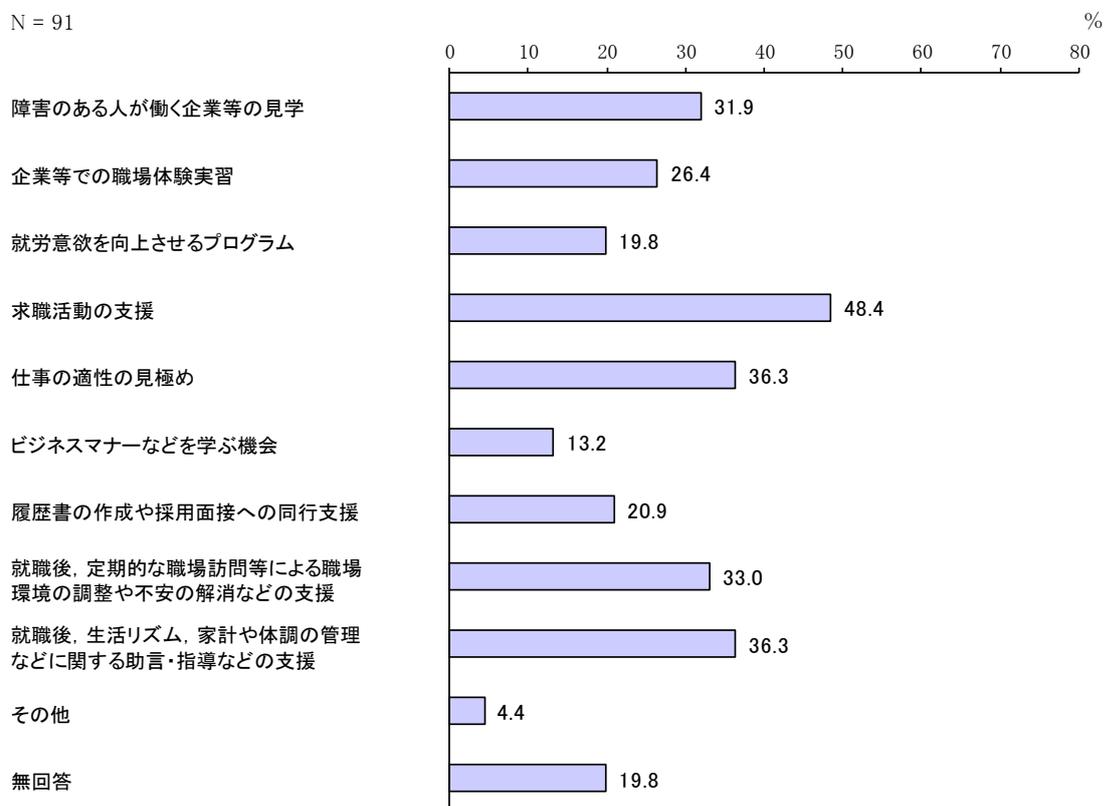
【障害種別】

障害種別でみると、精神障害者保健福祉手帳所持者、難病の診断を受けている人で「パート・アルバイト」の割合が高く、約4割となっています。



問 35 あなたが、一般企業に就職し、働き続けるためにどのような支援を希望しますか。
(あてはまるものすべてに○)

「求職活動の支援」の割合が48.4%と最も高く、次いで「仕事の適性の見極め」、「就職後、生活リズム、家計や体調の管理などに関する助言・指導などの支援」の割合が36.3%となっています。



【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳所持者で「求職活動の支援」の割合が高く、約6割となっています。また、愛の手帳所持者で「企業等での職場体験実習」「就職後、定期的な職場訪問等による職場環境の調整や不安の解消などの支援」「就職後、生活リズム、家計や体調の管理などに関する助言・指導などの支援」の割合が高く、5割台半ばとなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	障害のある人が働く 企業等の見学	企業等での職場体験実習	就労意欲を向上させる プログラム	求職活動の支援	仕事の適性 の見極め
身体障害者手帳所持者	39	20.5	17.9	12.8	41.0	25.6
視覚障害	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
聴覚障害	2	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0
平衡機能障害	1	—	—	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	—	—	—	—	—	—
肢体不自由	21	19.0	23.8	14.3	47.6	28.6
内部障害	8	12.5	—	—	37.5	—
その他	4	25.0	—	—	25.0	50.0
愛の手帳所持者	20	50.0	55.0	25.0	50.0	50.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	22	50.0	18.2	40.9	59.1	31.8
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	3	66.7	66.7	66.7	66.7	66.7
発達障害の診断を受けている	6	16.7	50.0	16.7	83.3	50.0
高次脳機能障害の診断を受けている	1	—	—	—	—	—
難病の診断を受けている	15	13.3	20.0	—	40.0	46.7
日常的に医療的ケアが必要である	1	—	—	—	—	—

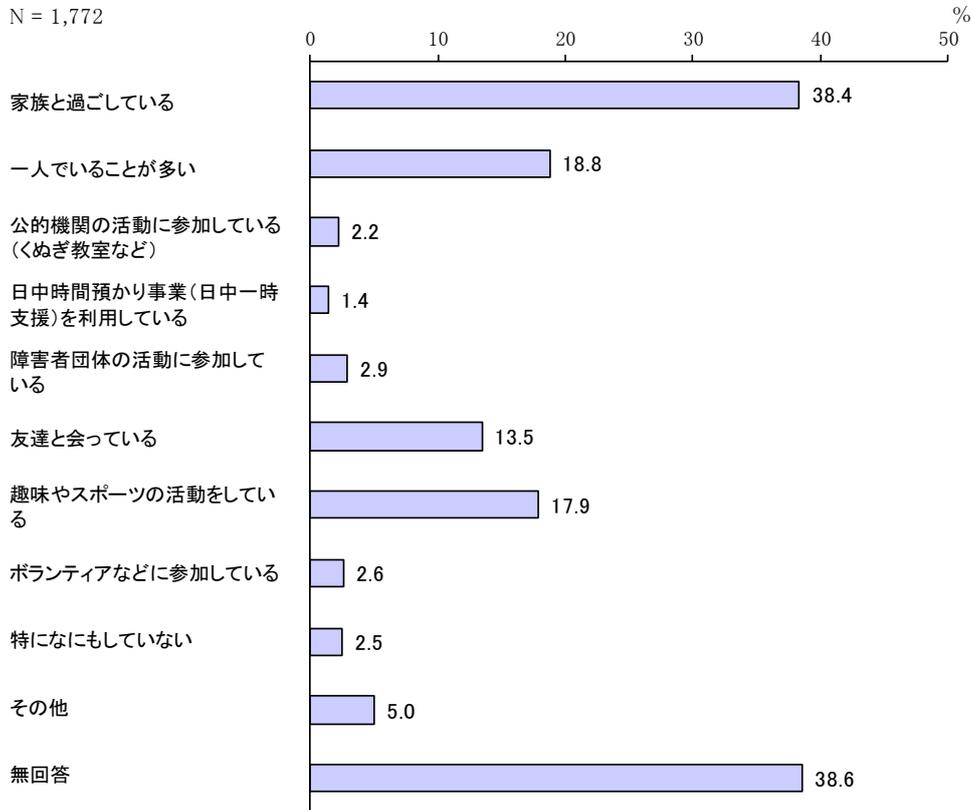
【障害種別（つづき）】

単位：％

区分	ビジネス スマナーなどを 学ぶ機会	履歴書の作成や採用 面接への同行支援	就職後、定期的な職場訪問 等による職場環境の調整 や不安の解消などの支援	就職後、生活リズム、家計 や体調の管理などに関する 助言・指導などの支援	その他	無回答
身体障害者手帳所持者	7.7	17.9	20.5	25.6	5.1	33.3
視覚障害	50.0	100.0	100.0	100.0	—	—
聴覚障害	—	—	—	—	—	—
平衡機能障害	—	—	—	—	—	100.0
音声・言語・そしゃく機能障害	—	—	—	—	—	—
肢体不自由	9.5	19.0	19.0	23.8	9.5	28.6
内部障害	—	—	—	—	—	62.5
その他	—	25.0	50.0	50.0	—	—
愛の手帳所持者	30.0	35.0	55.0	55.0	—	5.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	13.6	31.8	45.5	45.5	4.5	13.6
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	66.7	100.0	66.7	66.7	—	—
発達障害の診断を受けている	33.3	66.7	50.0	50.0	—	—
高次脳機能障害の診断を受けている	—	—	—	—	—	100.0
難病の診断を受けている	6.7	—	20.0	33.3	6.7	20.0
日常的に医療的ケアが必要である	—	—	—	—	—	100.0

問 36 あなたは、就労・通所・学校以外の時間でどのようなことをして過ごしていることが多いですか。（あてはまるものすべてに○）

「家族と過ごしている」の割合が 38.4%と最も高く、次いで「一人でいることが多い」の割合が 18.8%、「趣味やスポーツの活動をしている」の割合が 17.9%となっています。



【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、高次脳機能障害の診断を受けている人で「家族と過ごしている」の割合が高く、約6割となっています。また、精神障害者保健福祉手帳所持者で「一人であることが多い」の割合が高く、約4割となっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	家族と過ごしている	一人であることが多い	公的機関の活動に参加している (くぬぎ教室など)	日中時間預かり事業(日中一時支援)を利用している	障害者団体の活動に参加している
身体障害者手帳所持者	1166	34.9	17.7	1.1	0.8	2.1
視覚障害	60	31.7	15.0	1.7	1.7	3.3
聴覚障害	119	28.6	15.1	0.8	1.7	7.6
平衡機能障害	18	38.9	11.1	—	5.6	5.6
音声・言語・そしゃく機能障害	39	35.9	10.3	—	—	7.7
肢体不自由	475	34.7	19.4	1.3	0.8	1.7
内部障害	395	37.2	17.2	1.3	—	0.5
その他	103	28.2	20.4	1.9	1.9	1.0
愛の手帳所持者	310	47.7	14.8	9.7	5.2	9.7
精神障害者保健福祉手帳所持者	182	40.1	37.4	0.5	0.5	0.5
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	17	35.3	29.4	11.8	5.9	—
発達障害の診断を受けている	77	49.4	14.3	5.2	7.8	3.9
高次脳機能障害の診断を受けている	13	61.5	15.4	—	7.7	7.7
難病の診断を受けている	252	44.8	19.4	1.2	0.4	0.8
日常的に医療的ケアが必要である	49	40.8	12.2	—	2.0	—

【障害種別（つづき）】

単位：％

区分	友達と会っている	趣味やスポーツの活動をしている	ボランティアなどに参加している	特になにもしていない	その他	無回答
身体障害者手帳所持者	13.8	18.3	2.7	2.9	4.1	40.9
視覚障害	5.0	11.7	—	1.7	3.3	46.7
聴覚障害	16.0	21.0	2.5	3.4	4.2	45.4
平衡機能障害	11.1	11.1	—	—	11.1	44.4
音声・言語・そしゃく機能障害	5.1	5.1	2.6	5.1	—	51.3
肢体不自由	10.9	16.0	1.9	3.2	3.6	39.8
内部障害	16.2	22.5	3.8	2.3	4.8	39.7
その他	14.6	14.6	1.9	5.8	3.9	41.7
愛の手帳所持者	10.3	14.8	1.9	1.3	8.4	32.3
精神障害者保健福祉手帳所持者	13.7	19.2	3.8	1.6	8.8	28.6
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	11.8	29.4	—	—	5.9	35.3
発達障害の診断を受けている	15.6	16.9	1.3	—	3.9	42.9
高次脳機能障害の診断を受けている	7.7	30.8	23.1	—	—	23.1
難病の診断を受けている	13.5	14.7	2.4	4.0	5.2	37.3
日常的に医療的ケアが必要である	8.2	6.1	—	8.2	12.2	38.8

問 37 就労・通所・学校以外の時間で必要なことや不安なことなどがあれば、自由にご記入ください。

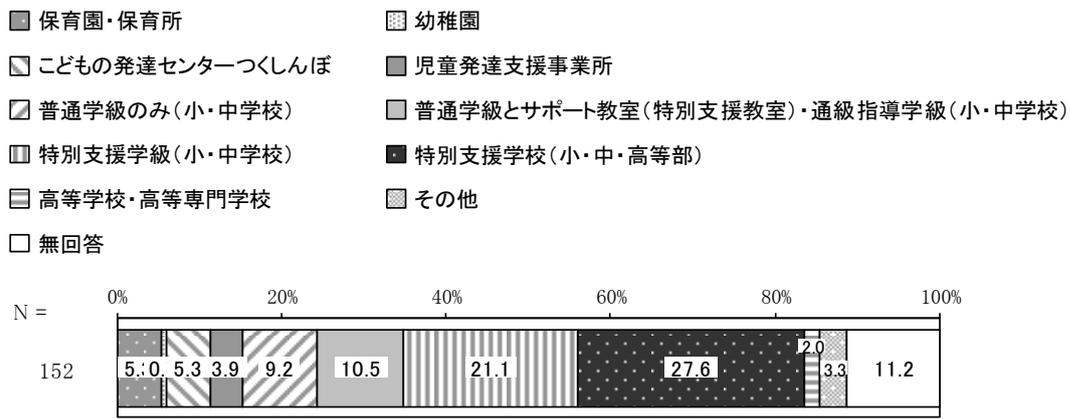
- ・高校卒業後、成人の余暇活動の場が必要。(7件)(身体, 知的)
- ・不慮の事故, 病気が不安。(6件)(身体, 精神, 難病)
- ・将来が心配。(親亡き後など)(6件)(身体, 知的, 精神, 発達, 難病)
- ・家事が不安。(食事, 掃除等)(4件)(身体, 精神)
- ・周囲の理解がないことが不安。(2件)(難病)
- ・一人での外出が不安。(2件)(身体, 知的, 精神, 高次脳)
- ・移動支援の時間数を増やしてほしい。(4件)(身体, 知的)
- ・移動支援のヘルパーを確保してほしい。(2件)(知的)
- ・日中一時支援を充実させてほしい。(知的)
- ・人との交流の機会がほしい。(4件)(身体, 知的, 精神, 発達, 難病)
- ・人間関係に不安がある。(知的)
- ・企業で働く障害者の交流の場が必要。(身体)
- ・通所, 就労時間の前後に過ごす場所がない。(2件)(身体, 知的, 精神)
- ・障害の重い人が参加できるグループ等の活動の場が必要。(知的)
- ・家で過ごす時間が多く, 外での活動が少ないことが心配。(知的)
- ・うつ病でセルフネグレクト予備軍であり, 孤独死を心配している。(精神)
- ・医療的ケア児を預かってもらえるところがない。(身体, 医療的ケア)
- ・医療的ケア児も保育園に入れるように体制を整えてほしい。(身体, 難病, 医療的ケア)
- ・自分の休養のために子どもの預け先が必要。(精神)
- ・障害児を受け入れられる幼稚園を増やしてほしい。また, それらの幼稚園の情報提供をしてほしい。(知的)
- ・放課後等デイサービスをもっと充実させてほしい。(知的)
- ・災害時の対応が不安。(避難場所, 支援体制など)(3件)(身体, 精神, 高次脳)
- ・お金の管理が不安。(精神)
- ・災害時に避難する場所, サポートする人が不明。(身体)
- ・家族の不在時の災害の発生が不安。(身体, 高次脳)
- ・将来アパートを借りる際, 適切な行動が取れるか心配。(精神)
- ・介護者が病気になったときが不安(身体, 知的)
- ・近くで専門の病院が見つからない。(難病)
- ・ぶんバスのような交通機関を今以上に充実させてほしい。(身体)
- ・公的機関(特に交通)で障害者に優しくしてほしい。(精神, 医療的ケア)
- ・ヘルプカード・ヘルプマークを普及させてほしい。(精神, 医療的ケア)

- ・言語能力が低く困ったときに助けをうまく表現できない。(知的)
- ・スーパーや本屋などで座れる場所，薬を飲む場所や水の設置をしてほしい。
(精神，医療的ケア)
- ・就労してからの休日に気軽に利用できる活動の場があるのかどうか不安。(知的)
- ・成人の休日のデイサービスを希望する。(知的)
- ・成人の余暇活動を利用するにあたり自己負担する金額が高い。(身体，知的)
- ・スポーツをする場所やイベントがない。(2件)(身体)
- ・創造力を生かし，絵やイラストを描く機会がほしい。(身体)
- ・不安しかない。(難病)

◆問 38～問 40 は、18 歳未満の方におたずねします。

問 38 あなたは、どこに通園・通所・通学していますか。

「特別支援学校（小・中・高等部）」の割合が 27.6%と最も高く、次いで「特別支援学級（小・中学校）」の割合が 21.1%、「普通学級とサポート教室（特別支援教室）・通級指導学級（小・中学校）」の割合が 10.5%となっています。



【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、肢体不自由、愛の手帳所持者で「特別支援学校（小・中・高等部）」の割合が高く、約5割となっています。また、精神障害者保健福祉手帳所持者で「特別支援学級（小・中学校）」の割合が高く、3割台半ばとなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	保育園・ 保育所	幼稚園	こどもの発達センター つくしんぼ	児童発達 支援事業所	普通学級の み (小・中 学校)
身体障害者手帳所持者	31	6.5	—	—	9.7	16.1
視覚障害	1	—	—	—	—	—
聴覚障害	8	12.5	—	—	—	—
平衡機能障害	—	—	—	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	—	—	—	—	—	—
肢体不自由	17	5.9	—	—	11.8	11.8
内部障害	6	—	—	—	16.7	33.3
その他	2	—	—	—	—	50.0
愛の手帳所持者	80	1.3	—	3.8	5.0	3.8
精神障害者保健福祉手帳所持者	11	—	9.1	—	—	—
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	—	—	—	—	—	—
発達障害の診断を受けている	49	6.1	—	6.1	4.1	16.3
高次脳機能障害の診断を受けている	1	—	—	—	—	—
難病の診断を受けている	11	—	—	—	—	9.1
日常的に医療的ケアが必要である	10	—	—	10.0	20.0	—

【障害種別（つづき）】

単位：％

区分	普通学級とサポート教室 (特別支援教室)・通級 指導学級(小・中学校)	特別支援学級(小・中学校)	特別支援学校 (小・中・高等部)	高等学校・高等専門学校	その他	無回答
身体障害者手帳所持者	—	—	45.2	—	9.7	12.9
視覚障害	—	—	100.0	—	—	—
聴覚障害	—	—	50.0	—	12.5	25.0
平衡機能障害	—	—	—	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	—	—	—	—	—	—
肢体不自由	—	—	52.9	—	11.8	5.9
内部障害	—	—	16.7	—	16.7	16.7
その他	—	—	50.0	—	—	—
愛の手帳所持者	1.3	26.3	47.5	1.3	2.5	7.5
精神障害者保健福祉手帳所持者	18.2	36.4	9.1	9.1	—	18.2
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	—	—	—	—	—	—
発達障害の診断を受けている	26.5	20.4	6.1	2.0	—	12.2
高次脳機能障害の診断を受けている	—	—	—	100.0	—	—
難病の診断を受けている	—	9.1	27.3	9.1	9.1	36.4
日常的に医療的ケアが必要である	—	10.0	30.0	—	20.0	10.0

【等級別】

等級別でみると、他に比べ、愛の手帳4度で「特別支援学級（小・中学校）」の割合が、高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	保育園・ 保育所	幼稚園	こどもの発達センター つくしんぼ	児童発達支援事業所	普通学級のみ (小・中学校)
身体障害 1級	12	—	—	—	25.0	8.3
2級	8	12.5	—	—	—	12.5
3級	3	—	—	—	—	—
4級	3	—	—	—	—	66.7
5級	—	—	—	—	—	—
6級	5	20.0	—	—	—	20.0
愛の手帳 1度	2	—	—	—	—	—
2度	19	—	—	—	10.5	—
3度	20	—	—	10.0	—	—
4度	39	2.6	—	2.6	5.1	7.7
精神障害 1級	1	—	100.0	—	—	—
2級	3	—	—	—	—	—
3級	7	—	—	—	—	—

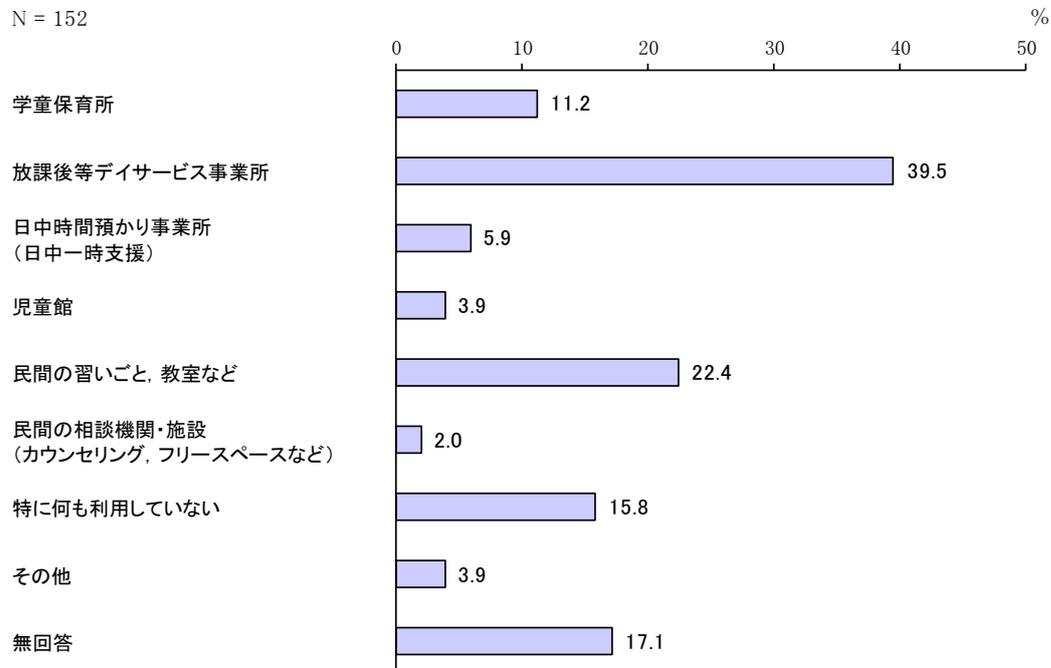
【等級別（つづき）】

単位：％

区分	普通学級とサポート教室 (特別支援教室)・通級 指導学級(小・中学校)	特別支援学級(小・中学校)	特別支援学校 (小・中・高等部)	高等学校・高等専門学校	その他	無回答
身体障害 1級	—	—	33.3	—	16.7	16.7
2級	—	—	62.5	—	12.5	—
3級	—	—	100.0	—	—	—
4級	—	—	—	—	—	33.3
5級	—	—	—	—	—	—
6級	—	—	40.0	—	—	20.0
愛の手帳 1度	—	—	100.0	—	—	—
2度	—	5.3	78.9	—	—	5.3
3度	—	10.0	60.0	—	5.0	15.0
4度	2.6	46.2	23.1	2.6	2.6	5.1
精神障害 1級	—	—	—	—	—	—
2級	—	33.3	—	33.3	—	33.3
3級	28.6	42.9	14.3	—	—	14.3

問 39 あなたは、学校以外の時間でどのようなサービス、施設などを利用して過ごしていますか。

「放課後等デイサービス事業所」の割合が39.5%と最も高く、次いで「民間の習いごと、教室など」の割合が22.4%、「特に何も利用していない」の割合が15.8%となっています。



【障害種別】

障害種別でみると、愛の手帳所持者では「放課後等デイサービス事業所」の割合が高く、約5割となっています。また、発達障害の診断を受けている人では「民間のならいごと、教室など」の割合が約3割となっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	学童保育所	放課後等デイサービス事業所	日中時間預かり事業所(日中一時支援)	児童館	民間の習いごと、教室など	民間の相談機関・施設(カウンセリング、フリースペースなど)	特に何も利用していない	その他	無回答
身体障害者手帳所持者	31	9.7	25.8	19.4	3.2	16.1	—	19.4	9.7	25.8
視覚障害	1	—	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—
聴覚障害	8	12.5	37.5	25.0	—	—	—	12.5	—	37.5
平衡機能障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
肢体不自由	17	5.9	23.5	29.4	—	11.8	—	17.6	11.8	23.5
内部障害	6	—	16.7	—	—	33.3	—	33.3	—	16.7
その他	2	50.0	50.0	—	50.0	50.0	—	—	50.0	—
愛の手帳所持者	80	16.3	48.8	7.5	2.5	15.0	2.5	16.3	5.0	8.8
精神障害者保健福祉手帳所持者	11	—	45.5	—	—	18.2	—	18.2	—	36.4
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
発達障害の診断を受けている	49	4.1	44.9	6.1	6.1	32.7	—	12.2	4.1	18.4
高次脳機能障害の診断を受けている	1	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0
難病の診断を受けている	11	—	18.2	9.1	—	9.1	—	27.3	18.2	27.3
日常的に医療的ケアが必要である	10	—	20.0	40.0	—	10.0	—	30.0	10.0	10.0

【等級別】

等級別でみると、他に比べ、愛の手帳2度で「放課後等デイサービス事業所」の割合が高く、約7割となっています。また、愛の手帳4度で「民間の習いごと、教室など」の割合が高くなっています。

単位：%

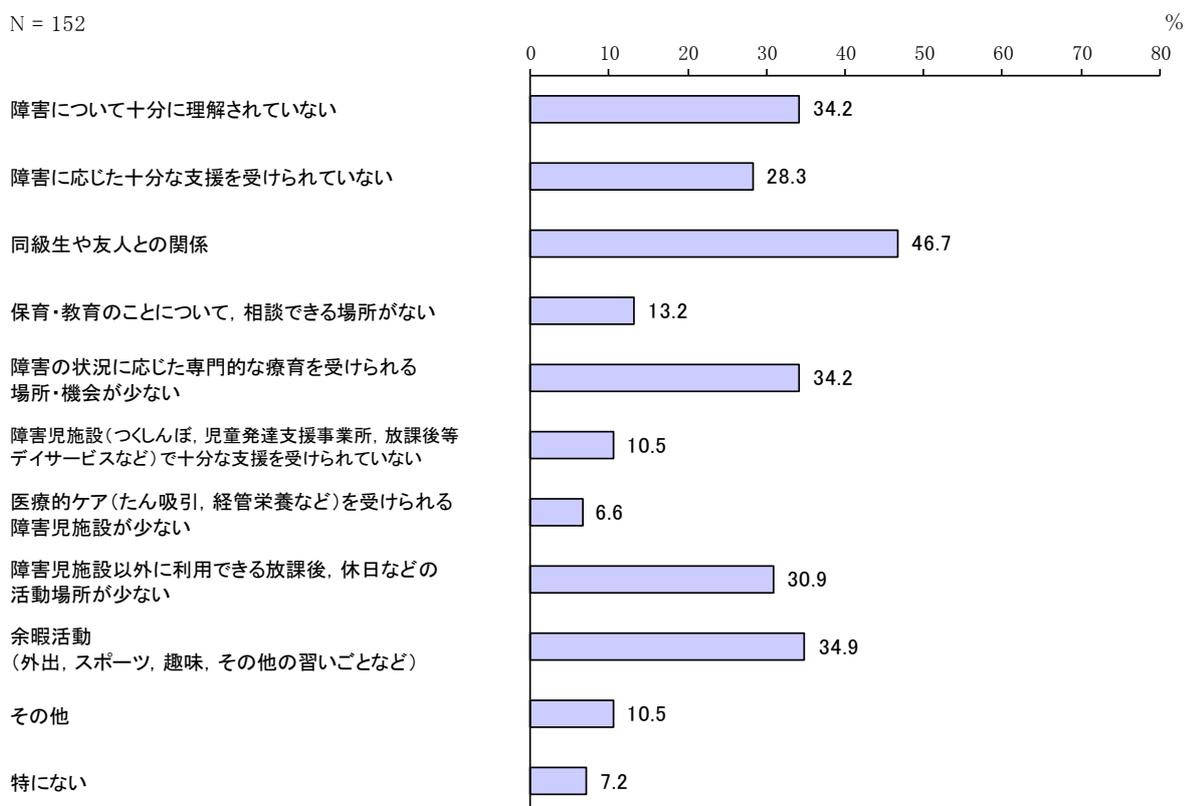
区分	有効回答数 (件)	学童保育所	放課後等 デイサービス 事業所	日中時間預かり事業所 (日中一時支援)	児童館	民間の習いごと、教室 など	民間の相談機関・施設 (カウンセリング、フ リースペースなど)	特に何も利用していな い	その他	無回答
身体障害 1級	12	—	25.0	25.0	—	8.3	—	33.3	—	25.0
2級	8	12.5	12.5	37.5	12.5	12.5	—	12.5	37.5	25.0
3級	3	33.3	100.0	—	—	—	—	—	—	—
4級	3	—	—	—	—	66.7	—	—	—	33.3
5級	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6級	5	20.0	20.0	—	—	20.0	—	20.0	—	40.0
愛の手帳 1度	2	—	50.0	100.0	—	—	—	—	—	—
2度	19	15.8	68.4	10.5	—	—	—	15.8	5.3	10.5
3度	20	20.0	55.0	10.0	—	10.0	—	10.0	10.0	20.0
4度	39	15.4	35.9	—	5.1	25.6	5.1	20.5	2.6	2.6
精神障害 1級	1	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—
2級	3	—	33.3	—	—	—	—	—	—	66.7
3級	7	—	57.1	—	—	28.6	—	14.3	—	28.6

問 40 日常生活に関して、不安や課題と感じていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

「同級生や友人との関係」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「余暇活動（外出，スポーツ，趣味，その他の習いごとなど）」の割合が 34.9%，「障害について十分に理解されていない」の割合が 34.2%となっています。

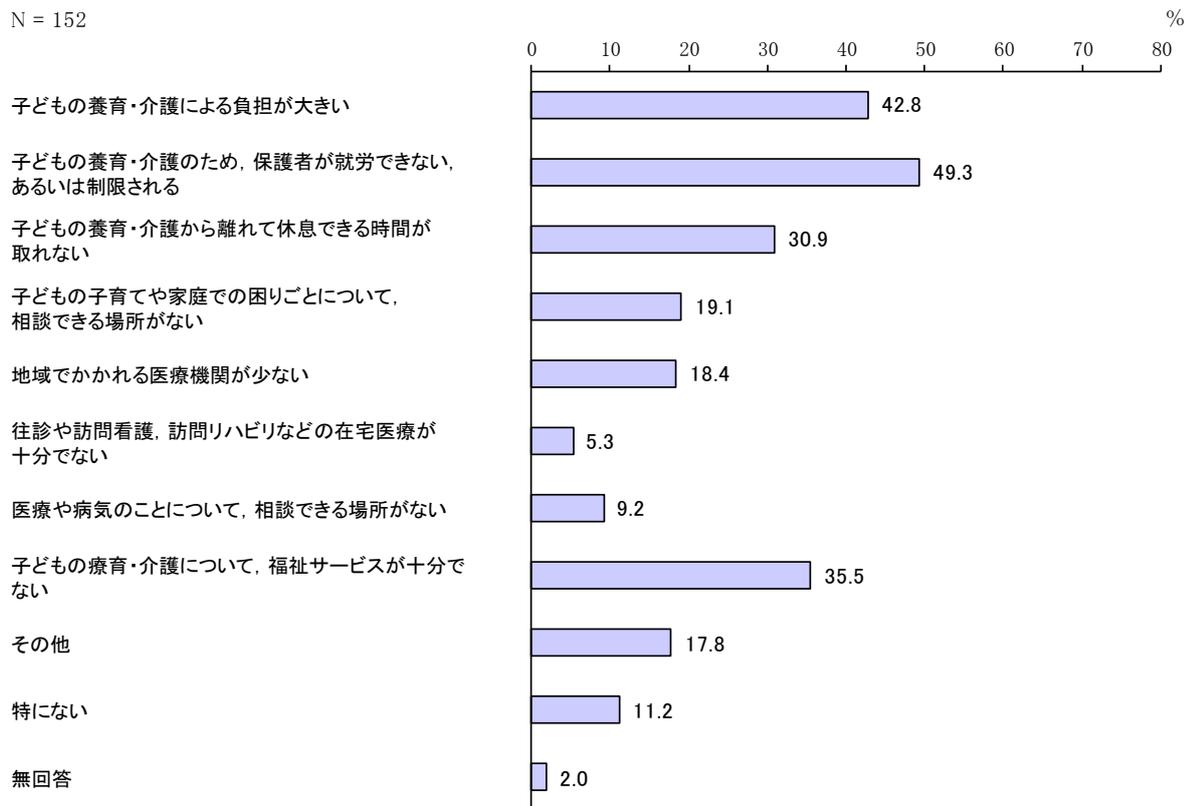
18歳未満の方の保護者の立場からでは、「子どもの養育・介護のため，保護者が就労できない，あるいは制限される」の割合が 49.3%と最も高く、次いで「子どもの養育・介護による負担が大きい」の割合が 42.8%，「子どもの療育・介護について，福祉サービスが十分でない」の割合が 35.5%となっています。

N = 152



<18歳未満の方の保護者の立場から>

N = 152



【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、精神障害者保健福祉手帳所持者、発達障害の診断を受けている人で「同級生や友人との関係」の割合が高く、約6割になっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	障害について十分に理解されていない	障害に応じた十分な支援を受けていない	同級生や友人との関係	保育・教育のことについて、相談できる場所がない	障害の状況に応じた専門的な療育を受けられる場所・機会が少ない	障害児施設（つくしんぼ、児童発達支援事業所、放課後等デイサービスなど）で十分な支援を受けていない	医療的ケア（たん吸引、経管栄養など）を受けられる障害児施設が少ない
身体障害者手帳所持者	31	45.2	38.7	41.9	6.5	25.8	19.4	25.8
視覚障害	1	—	—	—	—	—	—	100.0
聴覚障害	8	50.0	37.5	50.0	—	12.5	12.5	12.5
平衡機能障害	—	—	—	—	—	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	—	—	—	—	—	—	—	—
肢体不自由	17	29.4	35.3	29.4	5.9	17.6	17.6	35.3
内部障害	6	50.0	50.0	50.0	16.7	50.0	16.7	33.3
その他	2	100.0	50.0	50.0	—	50.0	50.0	—
愛の手帳所持者	80	41.3	33.8	43.8	11.3	37.5	11.3	6.3
精神障害者保健福祉手帳所持者	11	18.2	27.3	63.6	18.2	27.3	9.1	—
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	—	—	—	—	—	—	—	—
発達障害の診断を受けている	49	28.6	24.5	63.3	14.3	26.5	10.2	6.1
高次脳機能障害の診断を受けている	1	—	—	100.0	—	—	—	—
難病の診断を受けている	11	45.5	54.5	18.2	9.1	27.3	27.3	18.2
日常的に医療的ケアが必要である	10	40.0	40.0	30.0	20.0	40.0	10.0	80.0

【障害種別（つづき）】

単位：％

区分	障害児施設以外に利用できる放課後、休日などの活動場所が少ない	余暇活動（外出、スポーツ、趣味、その他の習いごとなど）	その他	特になし	子どもの養育・介護による負担が大きい	子どもの養育・介護のため、保護者が就労できない、あるいは制限される	子どもの養育・介護から離れて休息できる時間が取れない	子どもの子育てや家庭での困りことについて、相談できる場所がない
身体障害者手帳所持者	29.0	29.0	16.1	3.2	58.1	74.2	48.4	12.9
視覚障害	100.0	100.0	—	—	100.0	100.0	100.0	—
聴覚障害	25.0	37.5	12.5	—	62.5	87.5	37.5	12.5
平衡機能障害	—	—	—	—	—	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	—	—	—	—	—	—	—	—
肢体不自由	35.3	29.4	17.6	5.9	52.9	70.6	52.9	11.8
内部障害	—	16.7	16.7	16.7	50.0	50.0	33.3	16.7
その他	50.0	—	—	—	100.0	100.0	100.0	—
愛の手帳所持者	43.8	52.5	7.5	5.0	53.8	53.8	37.5	22.5
精神障害者保健福祉手帳所持者	27.3	36.4	9.1	—	36.4	36.4	36.4	9.1
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	—	—	—	—	—	—	—	—
発達障害の診断を受けている	22.4	28.6	14.3	10.2	42.9	49.0	28.6	22.4
高次脳機能障害の診断を受けている	—	—	—	—	—	—	—	—
難病の診断を受けている	27.3	18.2	9.1	—	36.4	36.4	45.5	—
日常的に医療的ケアが必要である	30.0	30.0	30.0	—	90.0	90.0	60.0	30.0

【障害種別（つづき）】

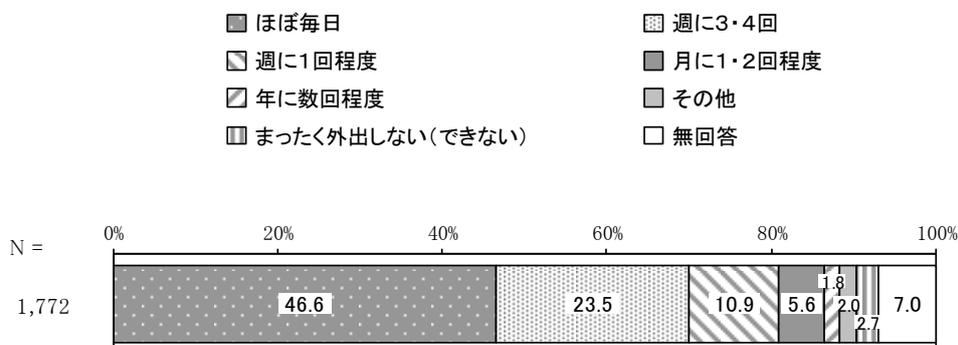
単位：％

区分	地域でかけられる医療機関が少ない	往診や訪問看護、訪問リハビリなどの在宅医療が十分でない	医療や病気のことについて、相談できる場所がない	子どもの療育・介護について、福祉サービスが十分でない	その他	特にない	無回答
身体障害者手帳所持者	25.8	16.1	12.9	38.7	19.4	6.5	6.5
視覚障害	—	—	—	100.0	—	—	—
聴覚障害	25.0	12.5	12.5	37.5	37.5	12.5	—
平衡機能障害	—	—	—	—	—	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	—	—	—	—	—	—	—
肢体不自由	17.6	17.6	11.8	29.4	11.8	—	11.8
内部障害	50.0	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	—
その他	—	—	—	100.0	50.0	—	—
愛の手帳所持者	18.8	8.8	12.5	43.8	17.5	6.3	2.5
精神障害者保健福祉手帳所持者	—	—	—	36.4	9.1	18.2	—
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	—	—	—	—	—	—	—
発達障害の診断を受けている	18.4	2.0	8.2	26.5	26.5	12.2	—
高次脳機能障害の診断を受けている	—	—	—	—	—	—	—
難病の診断を受けている	9.1	9.1	9.1	27.3	9.1	—	18.2
日常的に医療的ケアが必要である	40.0	20.0	30.0	70.0	10.0	—	—

7 外出・移動手段などについて

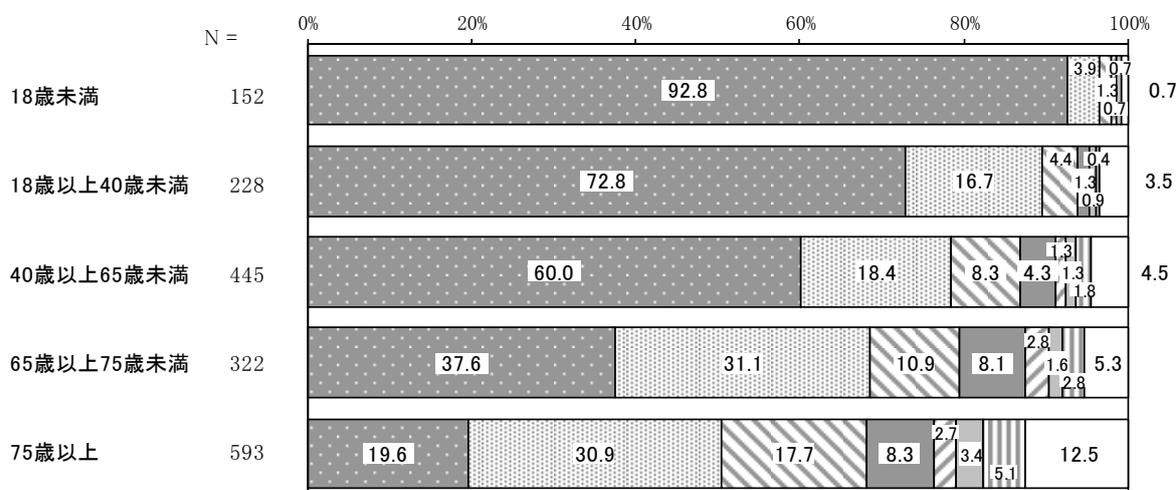
問41 あなたはどれぐらい外出しますか。通勤、通学、通院等の外出も含めてお答えください。(1つに〇)

「ほぼ毎日」の割合が46.6%と最も高く、次いで「週に3・4回」の割合が23.5%、「週に1回程度」の割合が10.9%となっています。



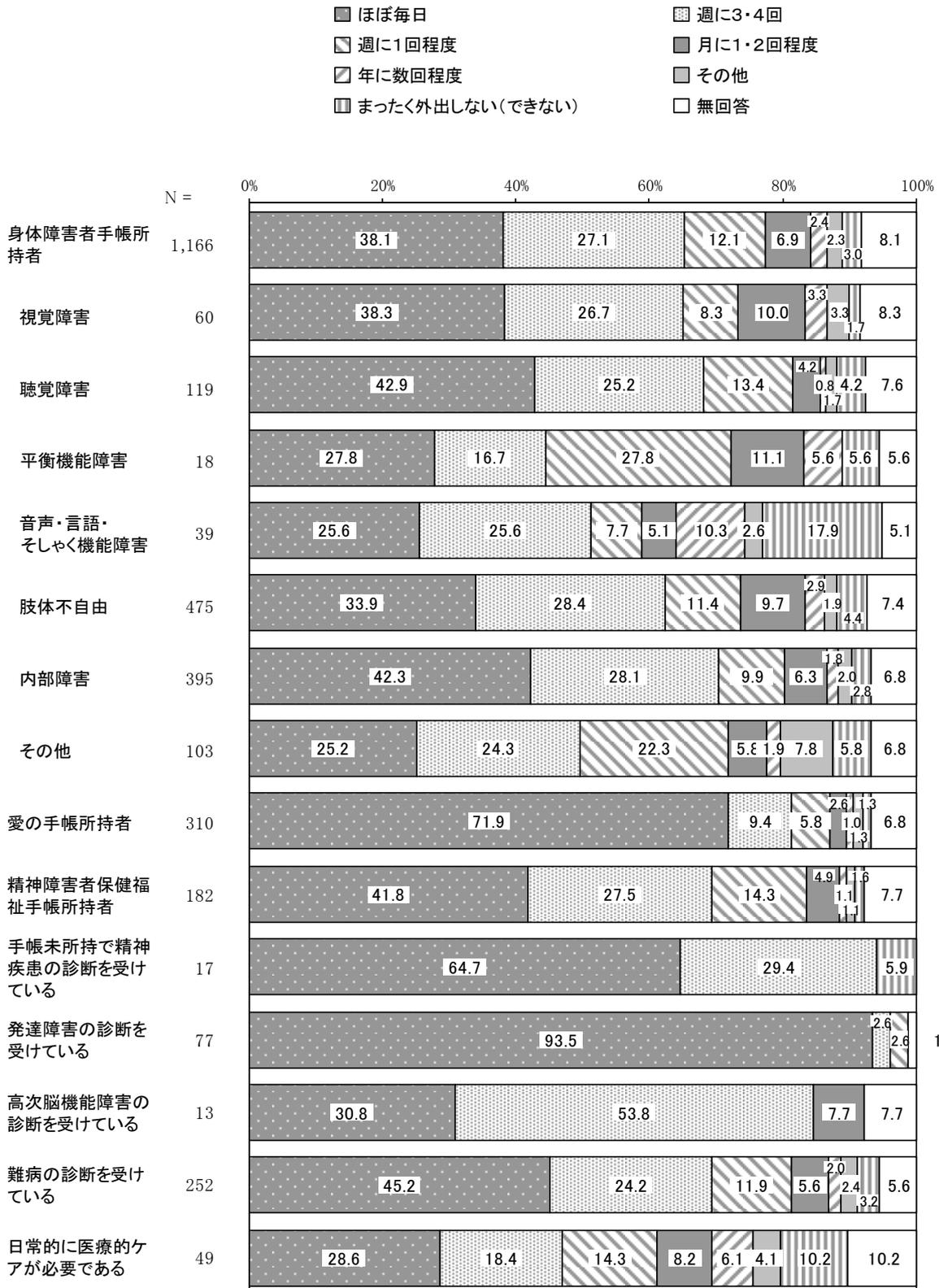
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「ほぼ毎日」の割合が高くなっており、18歳未満で約9割となっています。また、年齢が高くなるにつれ「週に3・4回」「週に1回程度」「月に1・2回程度」の割合が高くなる傾向がみられます。



【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、発達障害の診断を受けている人で「ほぼ毎日」の割合が高く、約9割となっています。また、音声・言語・そしゃく機能障害で「まったく外出しない(できない)」の割合が高く、約2割となっています。

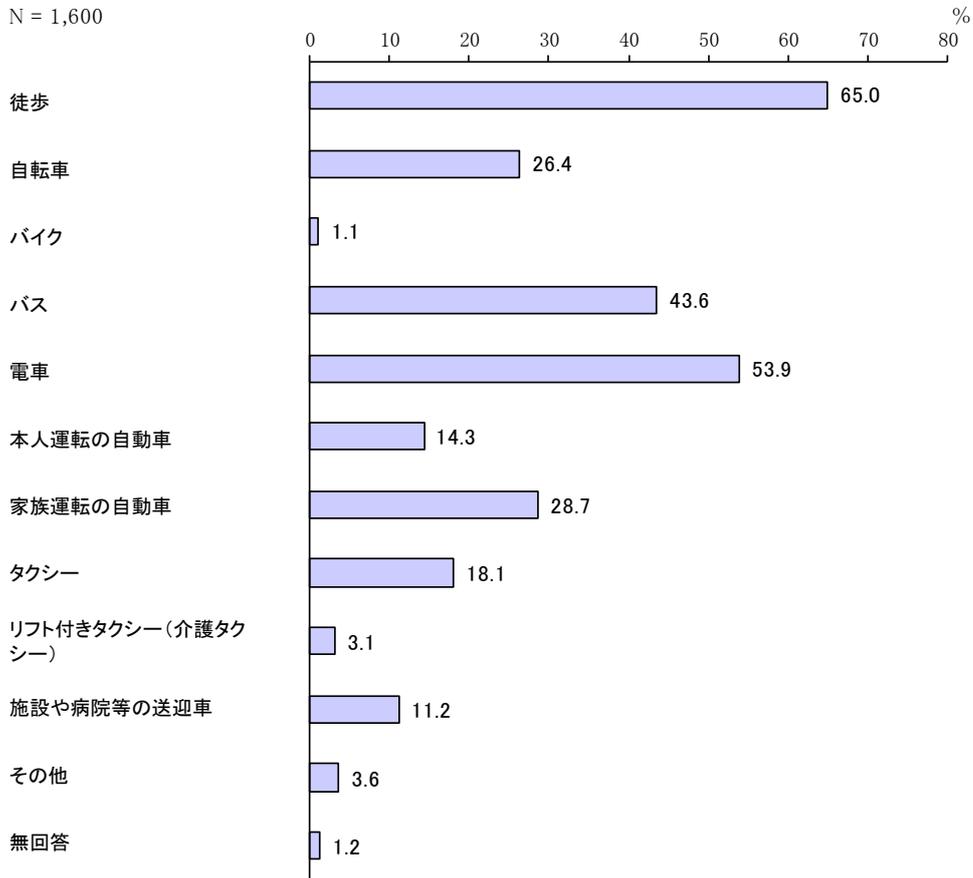


1.3

◆問 41 で「ほぼ毎日，週に3・4回，週に1回程度，月に1・2回程度，年に数回程度，その他」と答えた方におたずねします。

問 42 外出するときの主な交通手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「徒歩」の割合が65.0%と最も高く，次いで「電車」の割合が53.9%，「バス」の割合が43.6%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると，年齢が低くなるにつれ「徒歩」の割合が高く，年齢が高くなるにつれ「タクシー」の割合が高くなる傾向がみられます。また，他に比べ，18歳以上40歳未満で「電車」の割合が，18歳未満で「家族運転の自動車」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	徒歩	自転車	バイク	バス	電車	本人運転の自動車	家族運転の自動車	タクシー	リフト付きタクシー(介護タクシー)	施設や病院等の送迎車	その他	無回答
18歳未満	151	73.5	35.1	—	42.4	51.7	0.7	58.9	6.6	1.3	12.6	7.9	0.7
18歳以上40歳未満	219	76.7	26.5	0.5	46.6	77.6	6.8	34.7	8.2	1.4	12.8	2.3	0.9
40歳以上65歳未満	417	65.7	31.4	2.4	38.4	62.1	22.5	22.3	10.8	1.7	6.7	4.1	0.7
65歳以上75歳未満	296	63.9	29.4	1.4	43.6	51.4	22.3	25.0	21.6	4.7	8.8	2.7	0.3
75歳以上	489	57.5	18.2	0.6	46.6	38.7	10.0	24.9	30.9	4.9	15.5	2.9	2.2

【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、手帳未所持で精神疾患の診断を受けている人、精神障害者保健福祉手帳所持者、発達障害の診断を受けている人で「電車」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	徒歩	自転車	バイク	バス	電車	本人運転の自動車
身体障害者手帳所持者	1036	61.4	22.0	1.2	43.1	49.5	17.2
視覚障害	54	59.3	5.6	—	38.9	44.4	—
聴覚障害	105	74.3	28.6	1.0	46.7	56.2	15.2
平衡機能障害	16	25.0	12.5	—	43.8	25.0	25.0
音声・言語・そしゃく機能障害	30	36.7	16.7	—	30.0	36.7	6.7
肢体不自由	419	49.4	17.7	1.0	35.1	43.0	16.0
内部障害	357	68.9	25.2	1.7	49.9	55.7	22.7
その他	90	53.3	22.2	1.1	38.9	40.0	7.8
愛の手帳所持者	285	68.8	20.0	0.4	46.0	59.3	1.8
精神障害者保健福祉手帳所持者	165	67.3	34.5	1.2	47.3	60.0	7.9
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	16	75.0	18.8	—	50.0	81.3	6.3
発達障害の診断を受けている	76	82.9	51.3	—	44.7	63.2	1.3
高次脳機能障害の診断を受けている	12	66.7	25.0	—	25.0	41.7	—
難病の診断を受けている	230	63.5	34.3	1.3	41.3	55.2	20.9
日常的に医療的ケアが必要である	39	48.7	10.3	—	33.3	38.5	7.7

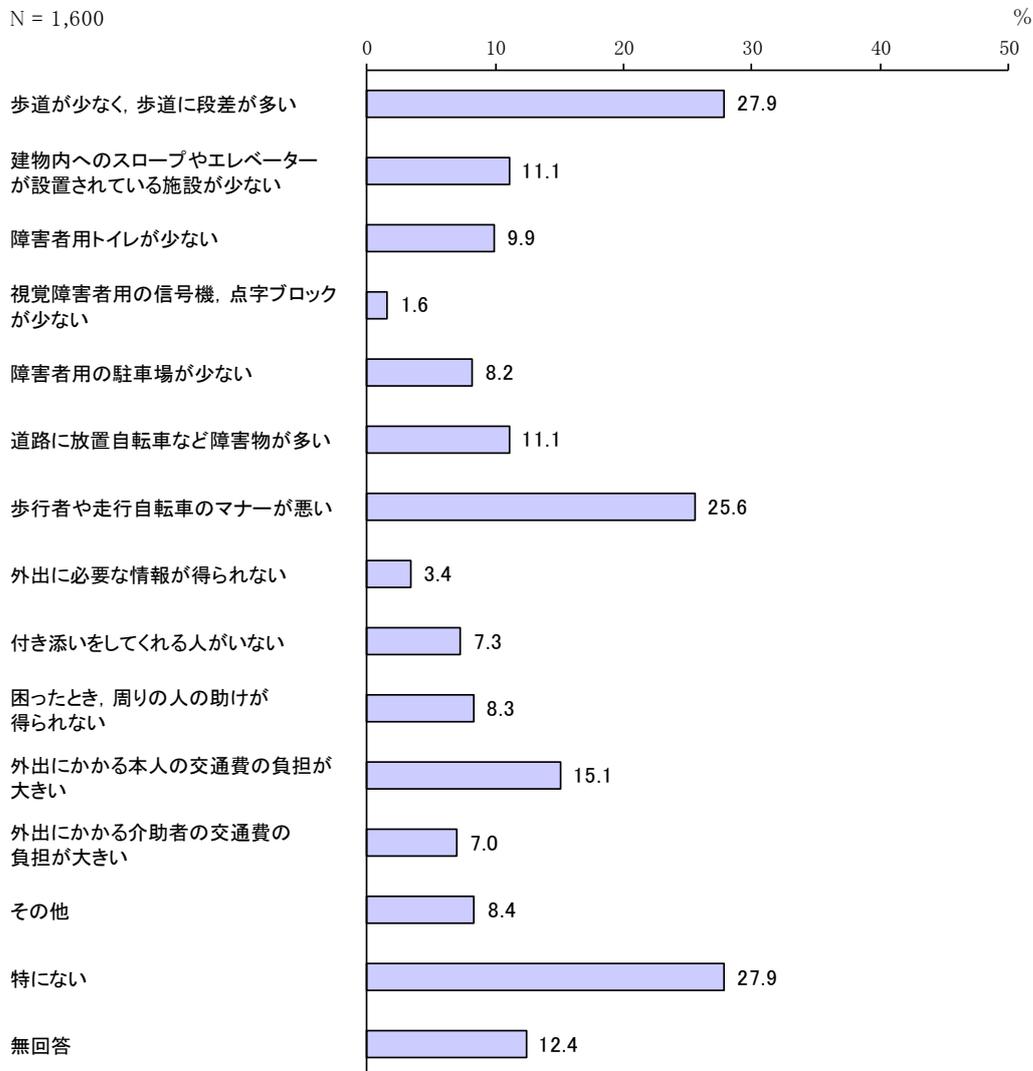
【障害種別（つづき）】

単位：%

区分	家族運転の自動車	タクシー	リフト付きタクシー (介護タクシー)	施設や病院等の送迎車	その他	無回答
身体障害者手帳所持者	26.0	23.5	4.2	12.0	4.0	1.1
視覚障害	29.6	24.1	7.4	18.5	—	—
聴覚障害	25.7	22.9	1.9	14.3	1.0	1.9
平衡機能障害	43.8	12.5	6.3	12.5	6.3	—
音声・言語・そしゃく機能障害	10.0	10.0	16.7	16.7	10.0	—
肢体不自由	29.8	24.3	7.9	16.5	8.1	0.5
内部障害	25.2	25.8	2.5	8.1	1.4	0.8
その他	16.7	24.4	3.3	10.0	5.6	3.3
愛の手帳所持者	39.3	8.8	2.5	19.6	4.6	1.1
精神障害者保健福祉手帳所持者	18.8	18.2	1.2	6.7	3.0	2.4
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	18.8	18.8	6.3	25.0	—	6.3
発達障害の診断を受けている	53.9	3.9	—	7.9	1.3	—
高次脳機能障害の診断を受けている	50.0	25.0	8.3	33.3	—	—
難病の診断を受けている	30.0	15.7	5.7	7.8	3.5	1.3
日常的に医療的ケアが必要である	38.5	23.1	10.3	23.1	10.3	—

問 43 あなたは、外出するとき、どのようなことに不便や困難を感じていますか。
 (あてはまるものすべてに○)

「歩道が少なく、歩道に段差が多い」、「特にない」の割合が 27.9%と最も高く、次いで、「歩行者や走行自転車のマナーが悪い」の割合が 25.6%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳未満で「困ったとき、周りの人の助けが得られない」「外出にかかる介助者の交通費の負担が大きい」の割合が高く、約2割となっています。また、18歳以上40歳未満で「特にない」の割合が高く、約4割となっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	歩道が少なく、歩道に段差が多い	建物内へのスロープやエレベーターが設置されている施設が少ない	障害者用トイレが少ない	視覚障害者用の信号機・点字ブロックが少ない	障害者用の駐車場が少ない	道路に放置自転車など障害物が多い	歩行者や走行自転車のマナーが悪い
18歳未満	151	27.2	9.3	11.9	0.7	7.9	11.3	21.9
18歳以上40歳未満	219	20.1	4.1	7.3	0.9	5.5	9.1	21.0
40歳以上65歳未満	417	25.9	12.5	10.6	2.2	8.6	12.2	25.2
65歳以上75歳未満	296	31.1	12.5	10.8	2.4	9.8	12.2	29.1
75歳以上	489	32.5	12.7	9.6	1.2	8.6	10.6	27.2

区分	外出に必要な情報が得られない	付き添いをしてくれる人がいない	困ったとき、周りの人の助けが得られない	外出にかかる本人の交通費の負担が大きい	外出にかかる介助者の交通費の負担が大きい	その他	特にない	無回答
18歳未満	7.3	14.6	21.2	15.2	18.5	12.6	25.8	10.6
18歳以上40歳未満	5.5	10.5	16.0	14.2	6.8	6.8	37.4	9.6
40歳以上65歳未満	4.6	5.0	6.2	16.8	7.0	9.8	28.5	11.3
65歳以上75歳未満	1.4	5.1	4.7	15.5	6.4	6.8	29.1	8.8
75歳以上	1.8	7.4	4.7	14.3	4.3	7.6	22.9	17.4

【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、視覚障害で「道路に放置自転車など障害物が多い」「歩行者や走行自転車のマナーが悪い」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	歩道が少なく、歩道に 段差が多い	建物内へのスロープや エレベーターが設置さ れている施設が少ない	障害者用トイレが少な い	視覚障害者用の信号 機・点字ブロックが少 ない	障害者用の駐車場が少 ない	道路に放置自転車など 障害物が多い	歩行者や走行自転車 のマナーが悪い
身体障害者手帳所持者	1036	33.5	14.6	12.1	2.1	11.2	12.6	27.6
視覚障害	54	42.6	14.8	16.7	31.5	11.1	31.5	42.6
聴覚障害	105	34.3	10.5	6.7	—	6.7	8.6	24.8
平衡機能障害	16	43.8	12.5	6.3	—	—	—	12.5
音声・言語・そしゃく機能障害	30	43.3	23.3	20.0	3.3	13.3	13.3	23.3
肢体不自由	419	41.5	22.0	19.3	0.5	18.9	14.8	25.8
内部障害	357	23.8	8.4	6.7	0.6	9.0	10.6	31.7
その他	90	35.6	13.3	12.2	1.1	4.4	15.6	23.3
愛の手帳所持者	285	21.8	7.4	14.0	0.7	8.1	10.5	23.2
精神障害者保健福祉手帳所持者	165	20.6	6.1	5.5	—	4.2	7.9	17.6
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	16	50.0	37.5	18.8	6.3	6.3	18.8	37.5
発達障害の診断を受けている	76	23.7	5.3	6.6	—	1.3	9.2	22.4
高次脳機能障害の診断を受けている	12	33.3	16.7	16.7	—	8.3	16.7	8.3
難病の診断を受けている	230	29.6	11.7	8.7	1.7	7.4	10.9	25.2
日常的に医療的ケアが必要である	39	41.0	28.2	35.9	—	25.6	10.3	25.6

【障害種別（つづき）】

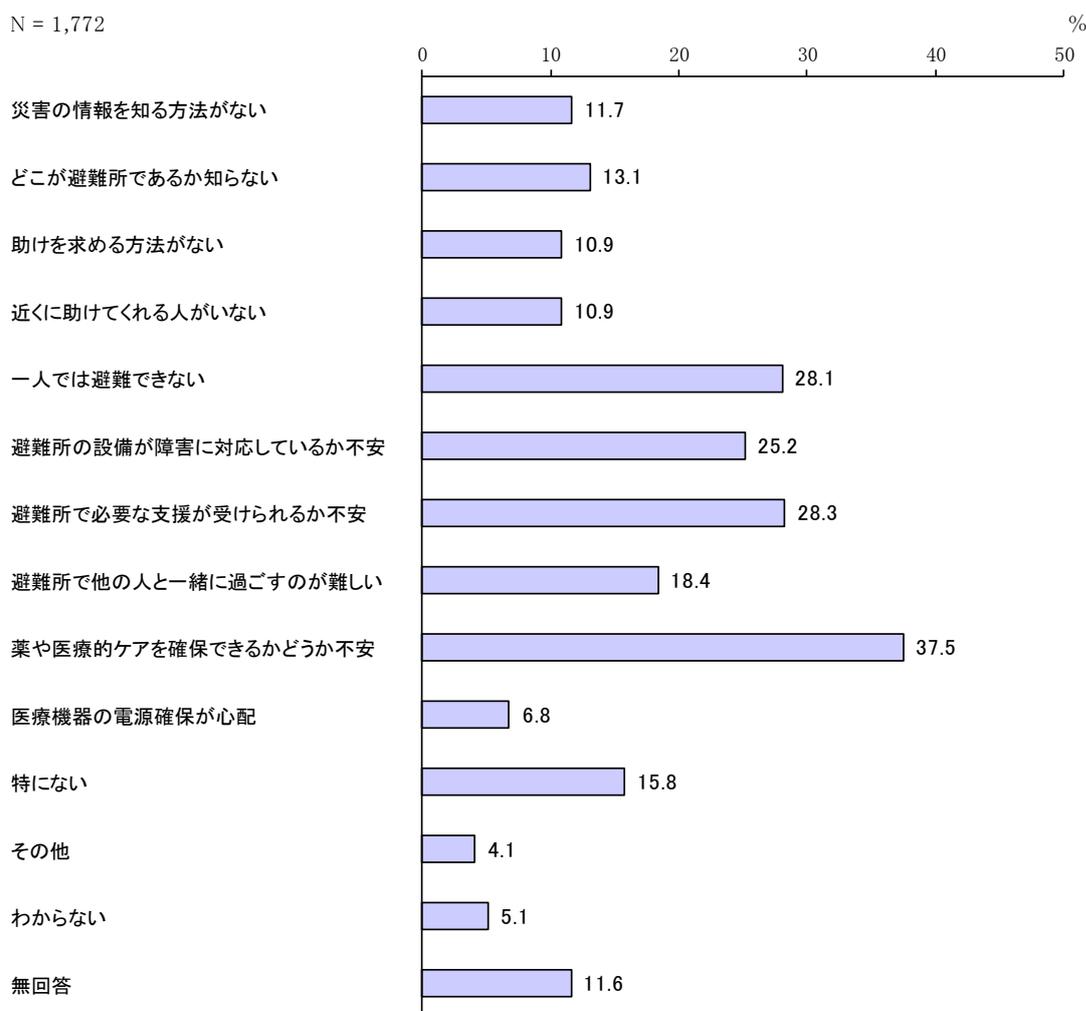
単位：％

区分	外出に必要な情報が得られない	付き添いをしてくれる人がいない	困ったとき、周りの人の助けが得られない	外出にかかる本人の交通費の負担が大きい	外出にかかる介助者の交通費の負担が大きい	その他	特になし	無回答
身体障害者手帳所持者	3.3	6.3	6.3	15.0	5.9	8.6	23.9	12.7
視覚障害	5.6	14.8	14.8	14.8	14.8	5.6	13.0	16.7
聴覚障害	6.7	4.8	12.4	11.4	7.6	7.6	24.8	15.2
平衡機能障害	—	12.5	—	6.3	12.5	6.3	12.5	31.3
音声・言語・そしゃく機能障害	3.3	13.3	3.3	10.0	3.3	16.7	26.7	13.3
肢体不自由	3.3	9.5	6.2	21.0	8.4	10.7	17.9	10.0
内部障害	1.4	4.5	3.9	12.6	3.9	8.1	31.4	12.3
その他	6.7	7.8	10.0	16.7	6.7	8.9	20.0	15.6
愛の手帳所持者	7.0	16.1	21.1	16.8	14.4	6.3	24.6	14.4
精神障害者保健福祉手帳所持者	7.3	7.3	6.7	26.7	7.9	9.7	25.5	15.2
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	6.3	12.5	25.0	18.8	12.5	12.5	12.5	12.5
発達障害の診断を受けている	7.9	7.9	10.5	7.9	10.5	11.8	30.3	17.1
高次脳機能障害の診断を受けている	—	8.3	—	8.3	—	33.3	—	16.7
難病の診断を受けている	2.2	9.6	7.0	13.0	4.3	9.6	36.1	9.6
日常的に医療的ケアが必要である	5.1	25.6	12.8	30.8	12.8	15.4	2.6	10.3

8 災害への備えについて

問 44 あなたが、地震などの災害が発生したときに、困ることや不安なことは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」の割合が37.5%と最も高く、次いで「避難所で必要な支援が受けられるか不安」の割合が28.3%、「一人では避難できない」の割合が28.1%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「避難所の設備が障害に対応しているか不安」「避難所で必要な支援が受けられるか不安」「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」の割合が高くなっています。また、他に比べ、18歳未満で「一人では避難できない」の割合が高く、約5割となっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	災害の情報を知る方法がない	どこが避難所であるか知らない	助けを求める方法がない	近くに助けてくれる人がいない	一人では避難できない	避難所の設備が障害に対応しているか不安	避難所で必要な支援が受けられるか不安
18歳未満	152	17.1	13.2	16.4	16.4	48.0	41.4	47.4
18歳以上40歳未満	228	18.0	21.1	14.0	11.8	34.2	32.0	34.6
40歳以上65歳未満	445	10.1	12.8	10.8	10.1	20.2	27.2	27.4
65歳以上75歳未満	322	8.1	12.4	11.2	11.8	23.6	23.3	26.4
75歳以上	593	11.1	10.8	8.6	9.6	29.5	18.5	23.3

区分	避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい	薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安	医療機器の電源確保が心配	特になし	その他	わからない	無回答
18歳未満	41.4	28.3	6.6	10.5	4.6	7.9	3.9
18歳以上40歳未満	32.0	41.7	4.4	15.4	5.3	5.7	1.3
40歳以上65歳未満	16.6	42.0	8.8	15.3	5.6	5.4	8.1
65歳以上75歳未満	14.0	41.0	6.5	21.1	3.1	5.0	12.7
75歳以上	11.0	33.1	6.7	15.3	3.0	3.5	19.4

【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、日常的に医療的ケアが必要である人で「避難所で必要な支援が受けられるか不安」「医療機器の電源確保が心配」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	災害の 情報を 知る方 法が ない	どこが 避難所 である か 知ら ない	助けを 求める 方法が ない	近く に助け てくれ る 人が いない	一人 では 避難 でき ない	避難 所の 設備 が障 害に 対応 して いる か不 安	避難 所で 必要 な支 援が 受け られ るか 不安
身体障害者手帳所持者	1166	10.0	11.4	9.5	10.8	28.2	25.9	27.9
視覚障害	60	8.3	11.7	10.0	13.3	58.3	33.3	35.0
聴覚障害	119	20.2	15.1	13.4	12.6	28.6	24.4	34.5
平衡機能障害	18	5.6	11.1	11.1	5.6	44.4	16.7	27.8
音声・言語・そしゃく機能障害	39	10.3	15.4	15.4	10.3	46.2	23.1	33.3
肢体不自由	475	8.6	10.9	11.4	13.3	37.9	35.8	32.2
内部障害	395	7.6	9.1	6.8	9.4	15.4	19.7	23.3
その他	103	17.5	19.4	15.5	12.6	30.1	20.4	29.1
愛の手帳所持者	310	24.2	22.3	21.0	13.5	51.0	36.8	39.7
精神障害者保健福祉手帳所持者	182	14.8	15.9	15.9	20.3	20.3	23.1	31.9
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	17	23.5	17.6	17.6	11.8	41.2	64.7	47.1
発達障害の診断を受けている	77	16.9	15.6	13.0	11.7	39.0	32.5	39.0
高次脳機能障害の診断を受けている	13	7.7	23.1	7.7	7.7	38.5	53.8	46.2
難病の診断を受けている	252	8.3	11.1	8.7	9.5	23.0	24.6	30.2
日常的に医療的ケアが必要である	49	20.4	14.3	16.3	22.4	51.0	44.9	53.1

【障害種別（つづき）】

単位：％

区分	避難所で他の人と一緒に 過ごすのが難しい	薬や医療的ケアを確保 できるかどうか不安	心配 医療機器の電源確保が	特 に な い	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
身体障害者手帳所持者	13.5	36.3	8.6	16.7	3.6	4.4	13.3
視覚障害	18.3	26.7	10.0	13.3	1.7	3.3	11.7
聴覚障害	14.3	26.9	6.7	15.1	2.5	2.5	16.8
平衡機能障害	11.1	27.8	5.6	11.1	5.6	—	16.7
音声・言語・そしゃく機能障害	15.4	38.5	15.4	15.4	7.7	2.6	10.3
肢体不自由	16.8	36.2	8.2	15.2	4.4	4.2	12.2
内部障害	9.4	44.6	13.2	19.0	2.5	5.1	10.9
その他	14.6	37.9	8.7	13.6	3.9	5.8	13.6
愛の手帳所持者	39.7	27.7	4.8	8.4	3.2	7.4	7.4
精神障害者保健福祉手帳所持者	26.9	48.4	5.5	11.5	4.4	4.9	11.0
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	52.9	70.6	17.6	5.9	5.9	—	5.9
発達障害の診断を受けている	42.9	24.7	5.2	16.9	5.2	5.2	3.9
高次脳機能障害の診断を受けている	15.4	61.5	7.7	7.7	15.4	—	7.7
難病の診断を受けている	16.7	56.7	8.3	13.5	5.2	2.4	10.3
日常的に医療的ケアが必要である	28.6	61.2	42.9	4.1	4.1	4.1	12.2

【等級別】

等級別でみると、他に比べ、愛の手帳2度で「一人では避難できない」「避難所の設備が障害に対応しているか不安」「避難所で必要な支援が受けられるか不安」「避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい」の割合が高くなっています。また、精神障害2級で「薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安」の割合が高くなっています。

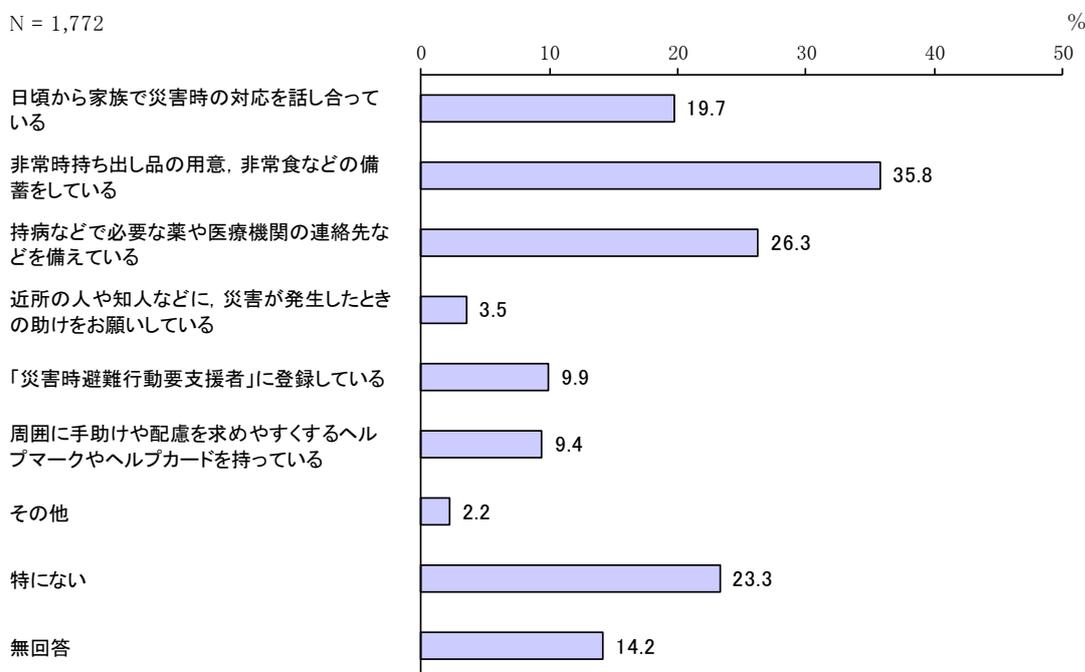
単位：％

区分	有効回答数(件)	災害の情報を知る方法がない	どこが避難所であるか知らない	助けを求める方法がない	近くに助けをくれる人がいない	一人では避難できない	避難所の設備が障害に対応しているか不安	避難所で必要な支援が受けられるか不安
身体障害 1級	377	9.5	10.6	9.8	11.4	26.3	23.3	26.5
2級	152	15.8	14.5	13.2	14.5	42.1	40.8	42.1
3級	185	8.1	10.3	10.3	10.3	29.2	27.6	24.9
4級	310	9.0	11.9	7.4	8.4	21.6	21.9	25.2
5級	49	8.2	8.2	6.1	8.2	34.7	26.5	30.6
6級	56	10.7	12.5	3.6	10.7	19.6	19.6	21.4
愛の手帳 1度	20	15.0	15.0	20.0	15.0	45.0	20.0	25.0
2度	81	24.7	16.0	25.9	13.6	69.1	49.4	51.9
3度	73	32.9	26.0	30.1	13.7	63.0	42.5	45.2
4度	132	21.2	25.8	13.6	12.9	34.8	29.5	32.6
精神障害 1級	27	11.1	3.7	14.8	25.9	18.5	14.8	25.9
2級	89	20.2	23.6	20.2	21.3	25.8	28.1	32.6
3級	65	9.2	10.8	10.8	16.9	13.8	20.0	32.3

区分	避難所で他の人と一緒に過ごすのが難しい	薬や医療的ケアを確保できるかどうか不安	医療機器の電源確保が心配	特になし	その他	わからない	無回答
身体障害 1級	13.8	45.1	14.1	15.4	3.4	4.2	10.3
2級	25.0	37.5	6.6	11.2	1.3	3.3	10.5
3級	14.1	29.7	7.0	14.1	5.4	7.6	18.4
4級	8.4	33.5	4.5	20.3	2.9	4.2	14.2
5級	6.1	28.6	4.1	18.4	2.0	4.1	14.3
6級	10.7	23.2	3.6	30.4	10.7	—	12.5
愛の手帳 1度	15.0	20.0	10.0	10.0	—	15.0	5.0
2度	58.0	37.0	6.2	1.2	4.9	1.2	9.9
3度	46.6	26.0	6.8	5.5	1.4	13.7	6.8
4度	29.5	25.0	2.3	13.6	3.8	6.8	6.1
精神障害 1級	22.2	44.4	3.7	18.5	—	3.7	18.5
2級	32.6	51.7	5.6	11.2	3.4	5.6	10.1
3級	21.5	46.2	6.2	9.2	7.7	4.6	9.2

問 45 あなたは、災害に対してどのような備えをしていますか。
(あてはまるものすべてに○)

「非常時持ち出し品の用意、非常食などの備蓄をしている」の割合が 35.8%と最も高く、次いで「持病などで必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている」の割合が 26.3%、「特にない」の割合が 23.3%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、18歳未満で「非常時持ち出し品の用意、非常食などの備蓄をしている」「周囲に手助けや配慮を求めやすくするヘルプマークやヘルプカードを持っている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	日頃から家族で災害時の対応を話し合っている	非常時持ち出し品の用意、非常食などの備蓄をしている	持病などで必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている	近所の人や知人などに、災害が発生したときの助けをお願いしている	「災害時避難行動要支援者」に登録している	周囲に手助けや配慮を求めやすくするヘルプマークやヘルプカードを持っている	その他	特にない	無回答
18歳未満	152	22.4	44.7	17.8	5.3	8.6	22.4	0.7	26.3	5.3
18歳以上 40歳未満	228	22.8	30.7	24.6	2.2	15.8	15.4	0.4	28.5	5.7
40歳以上 65歳未満	445	20.0	38.7	26.3	2.7	9.2	9.7	2.2	24.9	10.6
65歳以上 75歳未満	322	20.5	36.6	33.2	3.7	8.7	7.1	3.1	25.8	11.5
75歳以上	593	17.9	33.2	25.6	4.2	9.1	4.9	2.9	17.7	23.8

【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、視覚障害、高次脳機能障害の診断を受けている人で「日頃から家族で災害時の対応を話し合っている」の割合が、高次脳機能障害の診断を受けている人、日常的に医療的ケアが必要である人で「持病などで必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数 (件)	日頃から家族で災害時の対応を話し合っている	非常時持ち出し品の用意、非常食などの備蓄をしている	持病などで必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている	近所の人や知人などに「災害が発生したときの助けをお願いしている	「災害時避難行動要支援者」に登録している	周囲に手助けや配慮を求めやすくするヘルプマークやヘルプカードを持っている	その他	特にない	無回答
身体障害者手帳所持者	1166	20.1	34.9	28.0	3.5	12.0	8.6	2.7	21.1	15.7
視覚障害	60	33.3	28.3	26.7	3.3	20.0	6.7	1.7	13.3	16.7
聴覚障害	119	17.6	38.7	14.3	5.9	12.6	8.4	3.4	21.0	18.5
平衡機能障害	18	16.7	11.1	—	5.6	16.7	—	5.6	27.8	33.3
音声・言語・そしゃく機能障害	39	12.8	23.1	23.1	—	12.8	12.8	5.1	25.6	15.4
肢体不自由	475	19.2	35.8	26.7	4.4	17.9	9.9	3.2	21.3	13.1
内部障害	395	21.5	38.2	38.2	2.0	7.8	7.3	1.8	19.5	14.9
その他	103	19.4	32.0	27.2	3.9	7.8	12.6	1.9	25.2	14.6
愛の手帳所持者	310	19.0	26.8	15.8	6.1	15.5	18.7	2.6	24.2	15.2
精神障害者保健福祉手帳所持者	182	18.1	33.5	23.6	3.8	4.4	12.6	3.3	30.2	11.5
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	17	11.8	52.9	35.3	5.9	17.6	23.5	—	35.3	—
発達障害の診断を受けている	77	26.0	37.7	11.7	5.2	7.8	16.9	—	29.9	5.2
高次脳機能障害の診断を受けている	13	38.5	38.5	46.2	—	23.1	30.8	—	7.7	7.7
難病の診断を受けている	252	18.7	45.2	40.9	2.8	7.9	7.9	1.2	20.2	11.9
日常的に医療的ケアが必要である	49	18.4	42.9	44.9	10.2	24.5	18.4	4.1	14.3	18.4

【等級別】

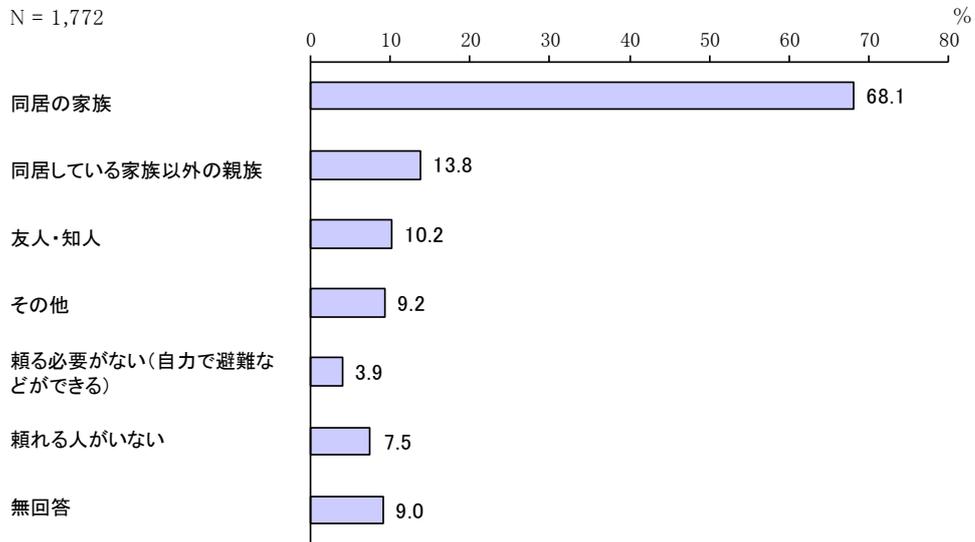
等級別でみると、他に比べ、身体障害1級、4級で「非常時持ち出し品の用意、非常食などの備蓄をしている」の割合が、身体障害1級で「持病などで必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている」の割合が、愛の手帳2度で『災害時避難行動要支援者』に登録している」の割合が高く、約4割となっています。また、愛の手帳で等級が低くなるにつれ「日頃から家族で災害時の対応を話し合っている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	日頃から家族で災害時の対応を話し合っている	非常時持ち出し品の用意、非常食などの備蓄をしている	持病などで必要な薬や医療機関の連絡先などを備えている	近所の人や知人などに「災害が発生したときの助けをお願いしている	「災害時避難行動要支援者」に登録している	周囲に手助けや配慮を求めやすくなるヘルプマークやヘルプカードを持っている	その他	特になし	無回答
身体障害 1級	377	22.0	37.4	39.3	2.4	18.3	9.8	2.9	18.3	13.0
2級	152	21.1	28.3	27.0	4.6	24.3	13.2	2.0	21.1	13.8
3級	185	14.6	28.6	22.2	1.1	6.5	9.2	2.2	23.2	22.2
4級	310	21.3	41.3	21.9	5.2	2.9	5.8	3.2	22.6	14.5
5級	49	28.6	28.6	24.5	—	10.2	8.2	—	20.4	12.2
6級	56	14.3	35.7	12.5	1.8	5.4	7.1	3.6	26.8	17.9
愛の手帳 1度	20	5.0	25.0	30.0	5.0	25.0	15.0	10.0	25.0	15.0
2度	81	9.9	32.1	22.2	6.2	37.0	24.7	2.5	11.1	18.5
3度	73	16.4	20.5	12.3	5.5	15.1	28.8	4.1	26.0	16.4
4度	132	28.0	28.0	12.1	6.8	1.5	10.6	0.8	31.1	11.4
精神障害 1級	27	18.5	29.6	33.3	—	7.4	14.8	3.7	22.2	18.5
2級	89	16.9	36.0	24.7	4.5	5.6	11.2	2.2	37.1	7.9
3級	65	20.0	30.8	18.5	4.6	1.5	13.8	4.6	24.6	13.8

問 46 あなたが、地震や水害などが発生したときに、安全の確保などで頼れる人はどなたですか。（あてはまるものすべてに○）

「同居の家族」の割合が68.1%と最も高く、次いで「同居している家族以外の親族」の割合が13.8%、「友人・知人」の割合が10.2%となっています。

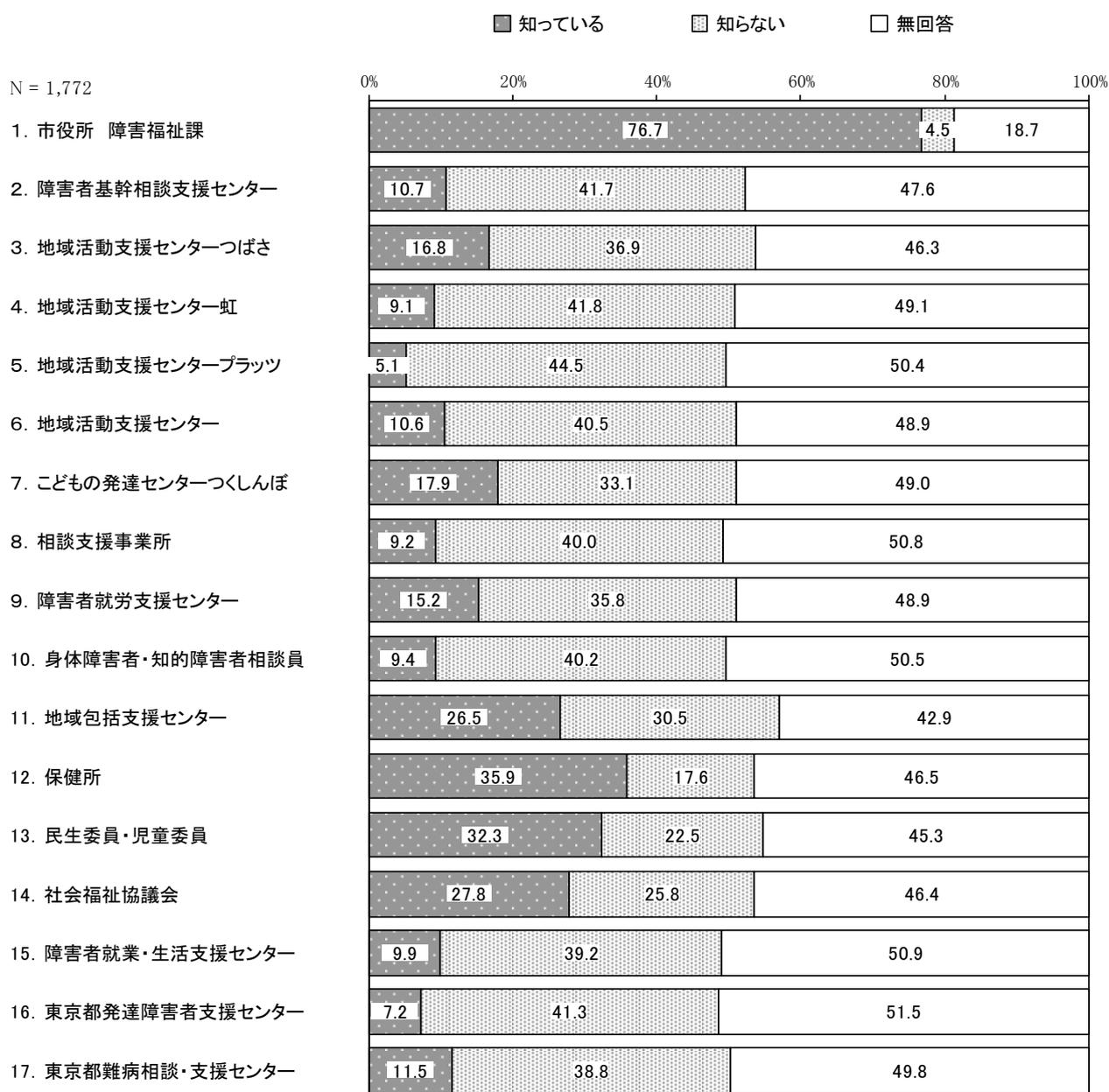


9 相談窓口・相談機関について

問 47 あなたが知っている、または利用したことがある相談窓口・機関はどこですか。
 (あてはまるものすべてに○) 利用したことがある場合は、満足度についても○をつけてください。

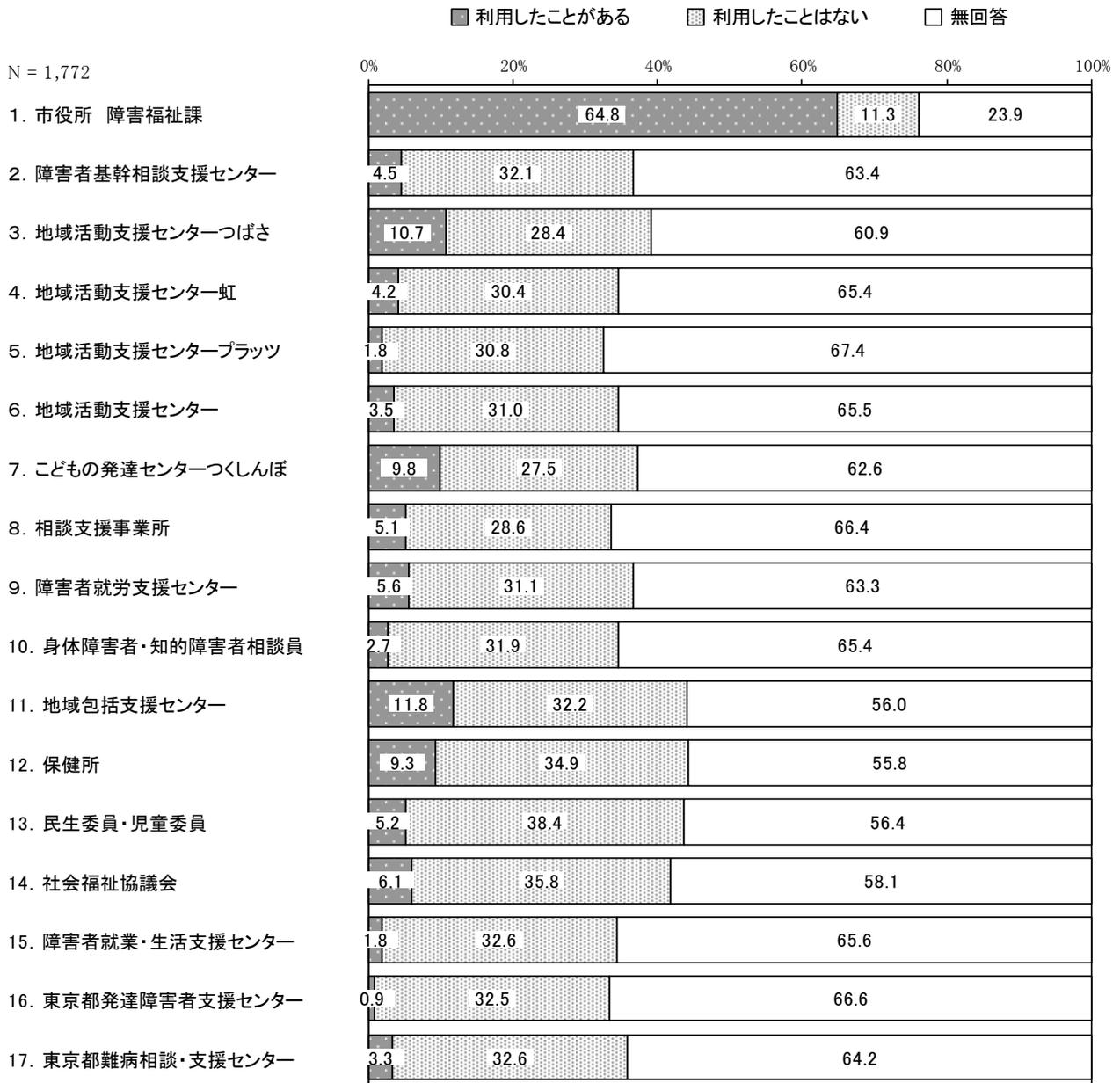
<認知度>

市役所 障害福祉課で「知っている」の割合が高く、7割台半ばとなっています。また、地域活動支援センター虹、地域活動支援センタープラッツ、相談支援事業所、身体障害者・知的障害者相談員、障害者就業・生活支援センター、東京都発達障害者支援センターで「知っている」の割合が低く、1割未満となっています。



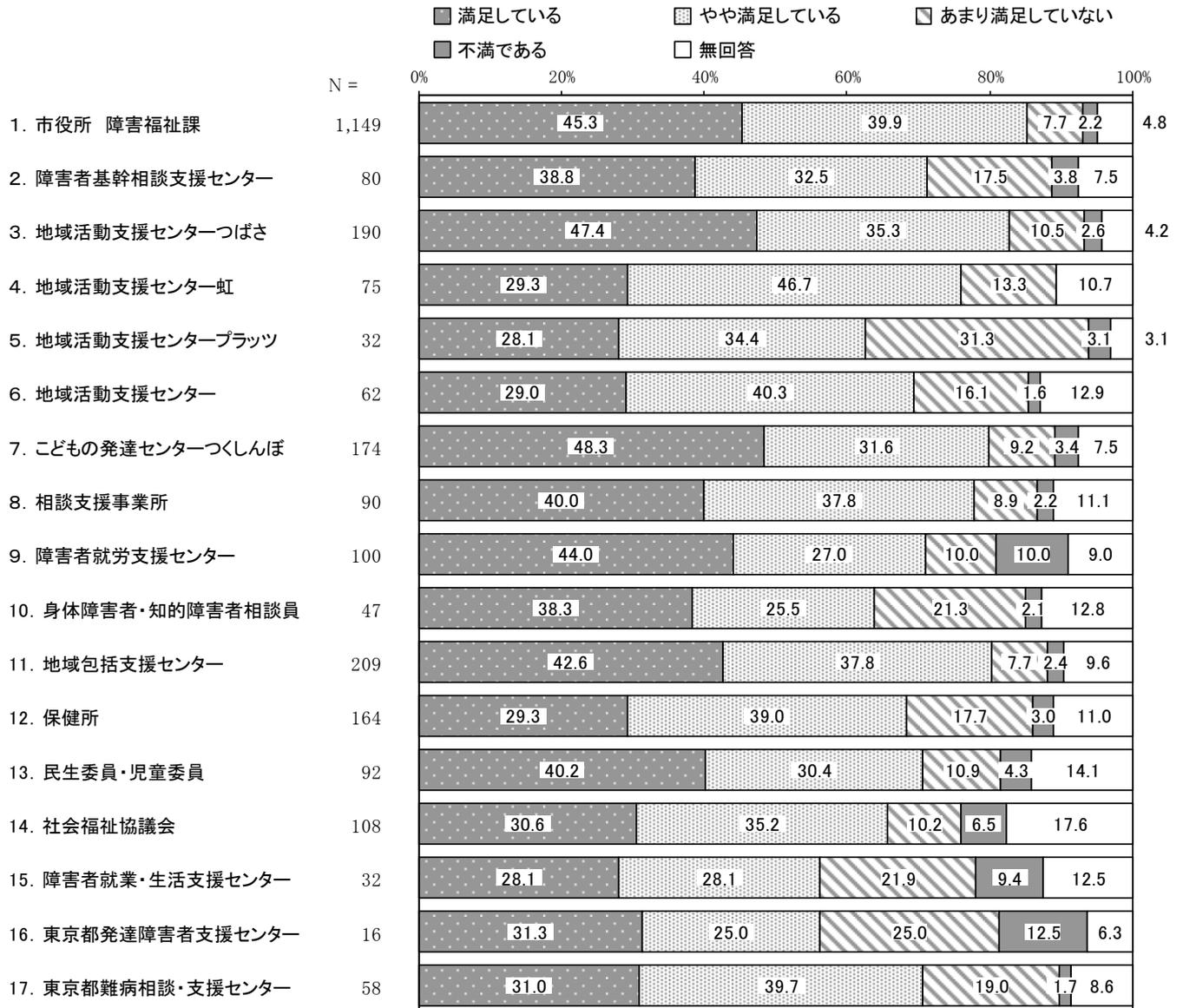
<利用状況>

1. 市役所 障害福祉課で「利用したことがある」の割合が高く、6割台半ばとなっています。
 また、13. 民生委員・児童委員で「利用したことはない」の割合が高く、約4割となっています。



<満足度>

1. 市役所 障害福祉課で「満足している」と「やや満足している」をあわせた“満足している”の割合が高く、8割台半ばとなっています。また、16. 東京都発達障害者支援センターで「あまり満足していない」と「不満である」をあわせた“満足していない”の割合が高く、約4割となっています。



問 48 相談窓口や相談機能を充実させるために必要なことについて、ご意見がありましたら、自由にご記入ください。

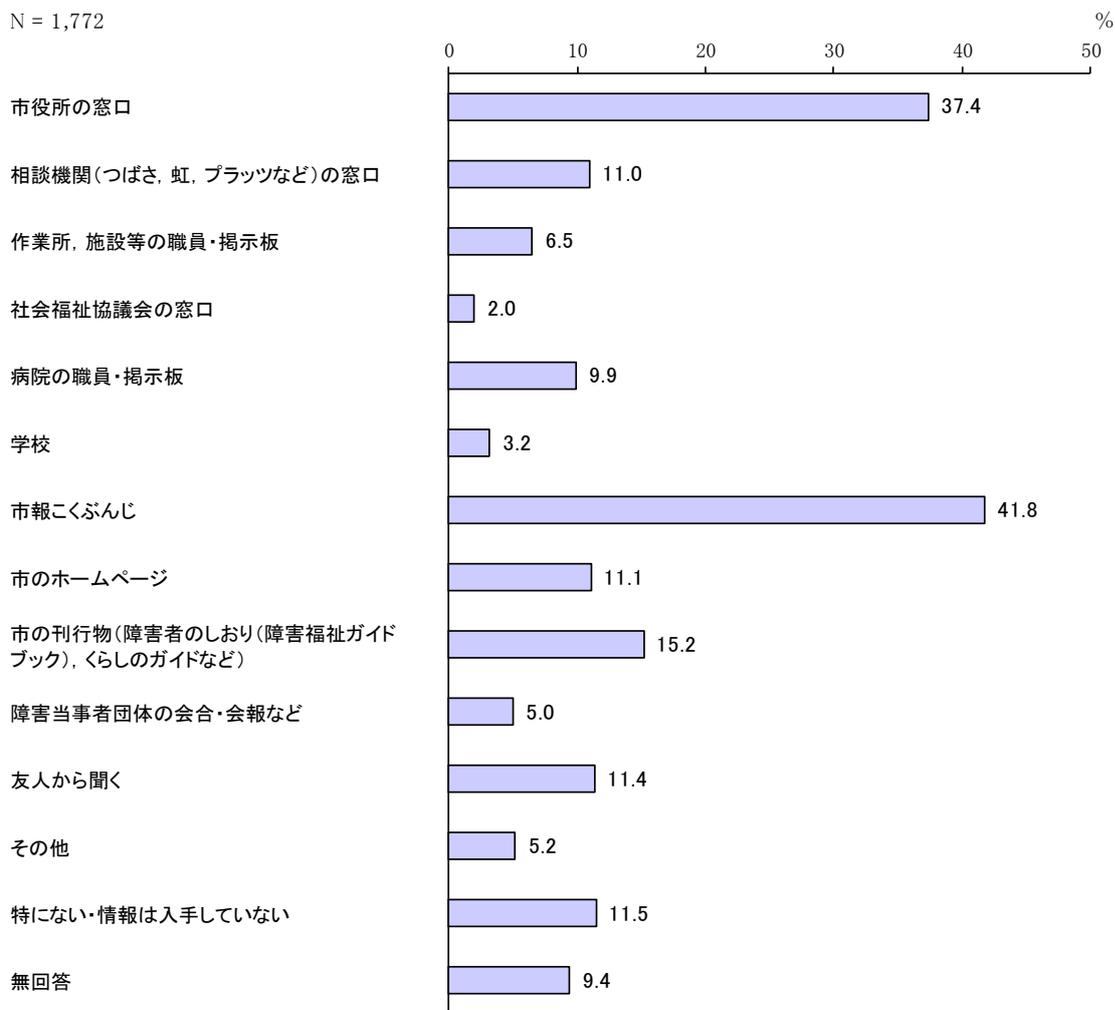
- ・必要なことがありすぎてわからない。(精神)
- ・制度やサービスについての知識が不足しているので、勉強してほしい。(10件)
(身体, 知的, 精神, 難病, 医療的ケア)
- ・専門的知識をもった人(専門職)の配置を望む。(身体)
- ・窓口でわかりやすい説明をしてほしい。(8件)(身体, 精神, 難病, 発達)
- ・サービスについても窓口についても、言葉が似たようなものが多くわかりにくい。
(身体, 知的)
- ・説明内容が多いことと、話し方が早すぎてわかりづらかった。(2件)(身体)
- ・どの窓口でどのような相談ができるのかわからない。(5件)(身体, 知的, 発達, 難病)
- ・相談機関, 福祉サービス等の情報提供をしてほしい。(7件)(身体, 知的, 精神, 発達)
- ・発達障害について, サービスや事業所の情報提供をしてほしい。(2件)(発達)
- ・相談したことを次につなげてほしい。(2件)(知的)
- ・相談窓口のパンフレットがほしい。(知的, 精神)
- ・相談窓口を充実してほしい。(身体, 難病, 医療的ケア)
- ・障害の状況を理解し, 受けられるサービスを説明, 提案する姿勢を持ってほしい。(身体)
- ・作業所の保護者会等で話してもらえると, どんな相談ができるかわかりやすい。(知的)
- ・相談者の話をよく聞いてほしい。(身体, 難病)
- ・障害者の立場で物事を考えてほしい。(2件)(身体)
- ・相談窓口スキルあるコーディネーターを配置してほしい。(知的)
- ・相談支援のレベルアップをしてほしい。(3件)(身体, 知的, 精神, 難病)
- ・相談支援従事者への教育, 研修が必要。(2件)(身体, 知的, 精神, 難病)
- ・市内各事業所間, 相談支援専門員間での情報共有が必要。(身体, 知的, 精神, 難病)
- ・職員が不足している。(2件)(身体)
- ・職員さんの待遇改善。(精神)
- ・担当者が何度も変わり, 支援の継続感がない。職員の定着率を上げてほしい。(精神)
- ・「一般就労経験があるが, 体を壊して障害者枠で働きたい, 働いている人」向けの就労支援に力を入れてほしい。(精神)
- ・各相談窓口で情報の共有, 連携を図ってほしい。(2件)(身体, 知的)
- ・市で総合相談窓口を設置して横の連携を図ってほしい。(情報交換やケース会議など)(知的)
- ・障害福祉ガイドブックの周知を徹底してほしい。(知的)
- ・手話を利用できるようにしてほしい。(身体)
- ・車いすの子を抱えては外出しにくいので, まず行きやすい環境にしてほしい。(身体, 知的)

- ・市役所が遠いので、歩いて行ける所に出張所があればよい。(精神)
- ・国立駅中に地域包括支援センターができるとよい。(身体)
- ・東京都発達障害支援センターの支部を多摩地区につくってほしい。(知的, 発達)
- ・難病相談支援センターが遠いので, 多摩エリアにも開設してほしい。(難病)
- ・自分が困っていることを発信していく力も弱いので, 様子を積極的に見てくれると安心。
(精神, 発達)
- ・民生委員の見守りがあると安心。(身体)
- ・障害児を抱えるお母さん達のサークルがあるのであれば, その会の案内を置いてほしい。
(発達)
- ・児童発達について相談などが混雑しているので緩和してほしい。(障害不明)
- ・教育・医療・福祉の連携を改善してほしい。(精神, 発達)

10 情報の入手について

問 49 あなたは、福祉サービス等に関する情報をどこから入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

「市報こくぶんじ」の割合が 41.8%と最も高く、次いで「市役所の窓口」の割合が 37.4%、「市の刊行物（障害者のしおり（障害福祉ガイドブック）、くらしのガイドなど）」の割合が 15.2%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「相談機関（つばさ、虹、プラッツなど）の窓口」の割合が高くなっており、5歳以下で約4割となっています。また、他に比べ、65歳以上75歳未満で「市報こくぶんじ」の割合が、6歳以上18歳未満で「友人から聞く」の割合が高く、5割台半ばとなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	市役所の窓口	相談機関（つばさ、虹、プラッツなど）の窓口	作業所、施設等の職員・掲示板	社会福祉協議会の窓口	病院の職員・掲示板	学校	市報こくぶんじ
5歳以下	41	41.5	39.0	24.4	—	14.6	—	31.7
6歳以上18歳未満	111	40.5	35.1	2.7	1.8	4.5	41.4	31.5
18歳以上40歳未満	228	37.7	21.1	18.4	0.9	8.3	1.3	28.5
40歳以上65歳未満	445	42.7	14.2	8.8	1.8	13.3	1.1	37.8
65歳以上75歳未満	322	43.5	4.3	4.0	3.1	11.2	—	54.3
75歳以上	593	29.3	2.4	0.8	2.4	8.3	0.2	46.2

区分	市のホームページ	市の刊行物（障害者のしおり（障害福祉ガイドブック）、くらしのガイドなど）	障害当事者団体の会合・会報など	友人から聞く	その他	特になし・情報は入手していない	無回答
5歳以下	19.5	14.6	7.3	34.1	7.3	—	4.9
6歳以上18歳未満	9.9	19.8	9.9	55.9	9.0	2.7	1.8
18歳以上40歳未満	14.5	16.7	11.8	11.4	6.6	13.2	5.7
40歳以上65歳未満	19.3	17.1	5.4	7.6	6.5	12.8	5.4
65歳以上75歳未満	8.1	16.5	2.5	6.5	3.4	12.1	5.6
75歳以上	4.7	11.8	2.4	7.3	3.9	11.5	17.7

【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、日常的に医療的ケアが必要である人で「市役所の窓口」の割合が高く、約6割となっています。また、聴覚障害、肢体不自由、内部障害、高次脳機能障害の診断を受けている人で「市報こくぶんじ」の割合が高く、約5割となっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	市役所の窓口	相談機関(つばさ、虹、プラッツなど)の窓口	作業所、施設等の職員・掲示板	社会福祉協議会の窓口	病院の職員・掲示板	学校	市報こくぶんじ
身体障害者手帳所持者	1166	39.2	6.9	3.5	2.5	9.3	1.3	46.5
視覚障害	60	41.7	8.3	5.0	1.7	10.0	1.7	45.0
聴覚障害	119	37.8	4.2	2.5	2.5	4.2	3.4	49.6
平衡機能障害	18	27.8	—	5.6	5.6	—	—	27.8
音声・言語・そしゃく機能障害	39	38.5	10.3	5.1	2.6	12.8	2.6	33.3
肢体不自由	475	39.4	10.9	5.7	3.2	6.5	1.7	47.2
内部障害	395	45.8	3.8	1.3	1.5	12.7	0.3	47.8
その他	103	35.9	12.6	6.8	3.9	14.6	1.9	47.6
愛の手帳所持者	310	36.8	26.8	22.9	1.0	5.5	12.3	27.4
精神障害者保健福祉手帳所持者	182	38.5	20.3	9.9	4.4	17.6	1.1	33.5
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	17	58.8	41.2	52.9	—	17.6	—	23.5
発達障害の診断を受けている	77	26.0	42.9	15.6	—	3.9	15.6	32.5
高次脳機能障害の診断を受けている	13	53.8	30.8	—	—	15.4	—	53.8
難病の診断を受けている	252	39.3	7.9	2.4	0.4	17.9	2.0	38.5
日常的に医療的ケアが必要である	49	59.2	18.4	8.2	4.1	20.4	6.1	28.6

【障害種別（つづき）】

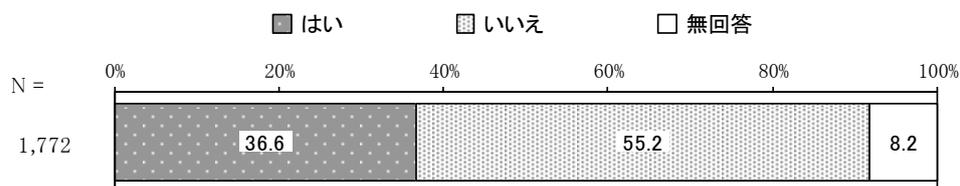
単位：％

区分	市のホームページ	市の刊行物（障害者のしおり（障害福祉ガイドブック）・らしのガイドなど）	障害当事者団体の会合・会報など	友人から聞く	その他	特になし・情報は入手していない	無回答
身体障害者手帳所持者	11.2	16.8	4.2	8.4	4.3	11.1	10.6
視覚障害	13.3	20.0	11.7	15.0	3.3	13.3	6.7
聴覚障害	10.1	16.0	2.5	14.3	5.0	10.1	14.3
平衡機能障害	—	—	11.1	11.1	5.6	27.8	11.1
音声・言語・そしゃく機能障害	7.7	12.8	17.9	5.1	5.1	7.7	12.8
肢体不自由	13.7	18.1	6.5	10.3	6.3	9.5	9.1
内部障害	11.9	19.0	1.8	5.8	2.0	13.2	7.8
その他	7.8	7.8	5.8	8.7	2.9	9.7	13.6
愛の手帳所持者	6.1	17.1	12.9	26.5	3.9	10.0	9.0
精神障害者保健福祉手帳所持者	11.0	11.5	2.2	11.0	10.4	13.2	8.8
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	11.8	29.4	17.6	11.8	11.8	—	—
発達障害の診断を受けている	13.0	14.3	9.1	37.7	13.0	5.2	2.6
高次脳機能障害の診断を受けている	7.7	38.5	23.1	15.4	—	—	7.7
難病の診断を受けている	16.3	15.5	6.0	7.1	7.1	11.1	7.9
日常的に医療的ケアが必要である	12.2	28.6	12.2	12.2	6.1	4.1	14.3

11 ヘルプマークとヘルプカードについて

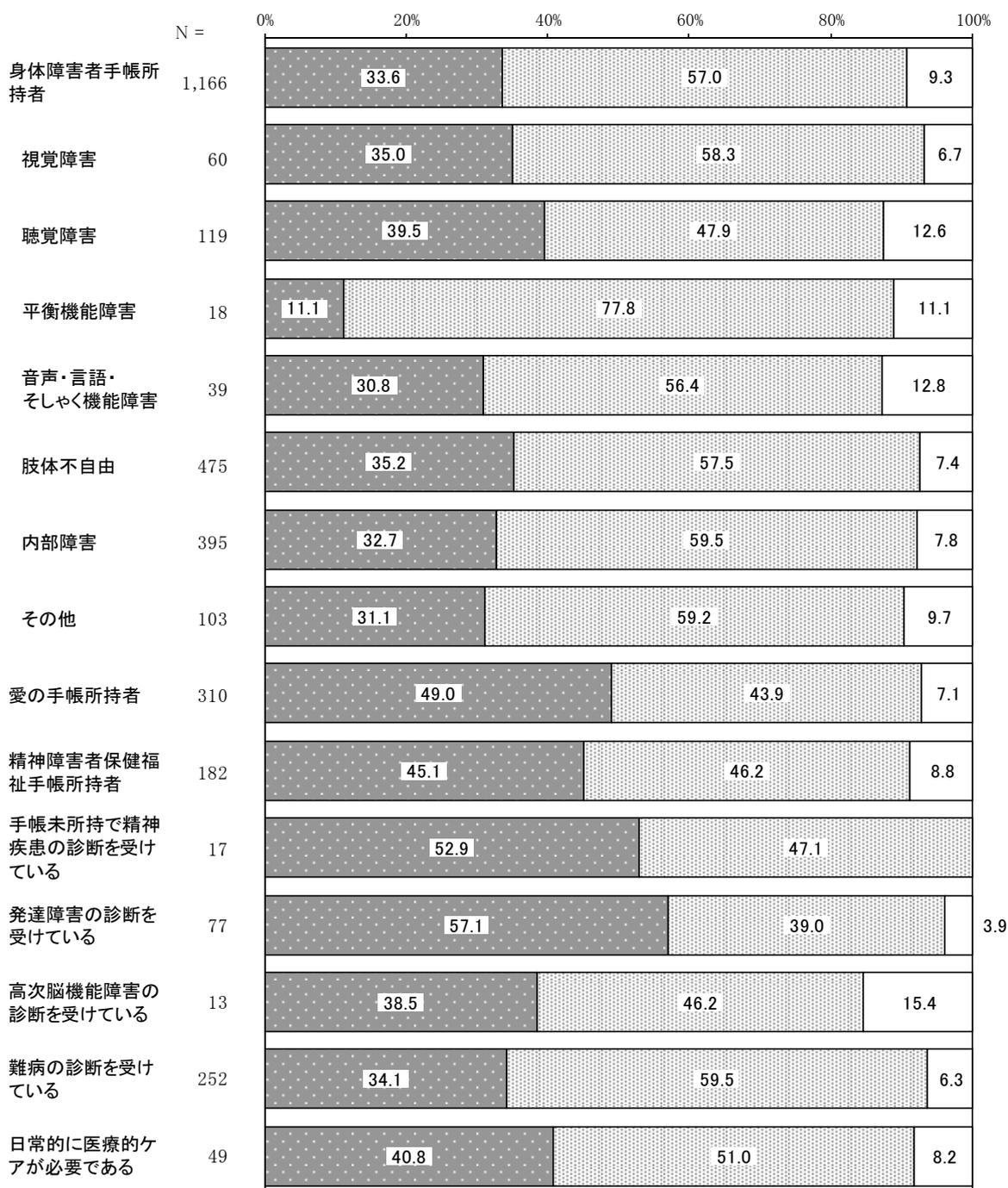
問 50 あなたはヘルプマークを知っていますか。

「はい」の割合が36.6%、「いいえ」の割合が55.2%となっています。



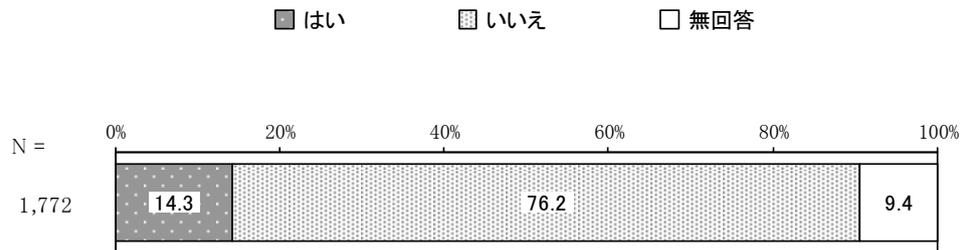
【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、発達障害の診断を受けている人で「はい」の割合が高く、約6割となっています。



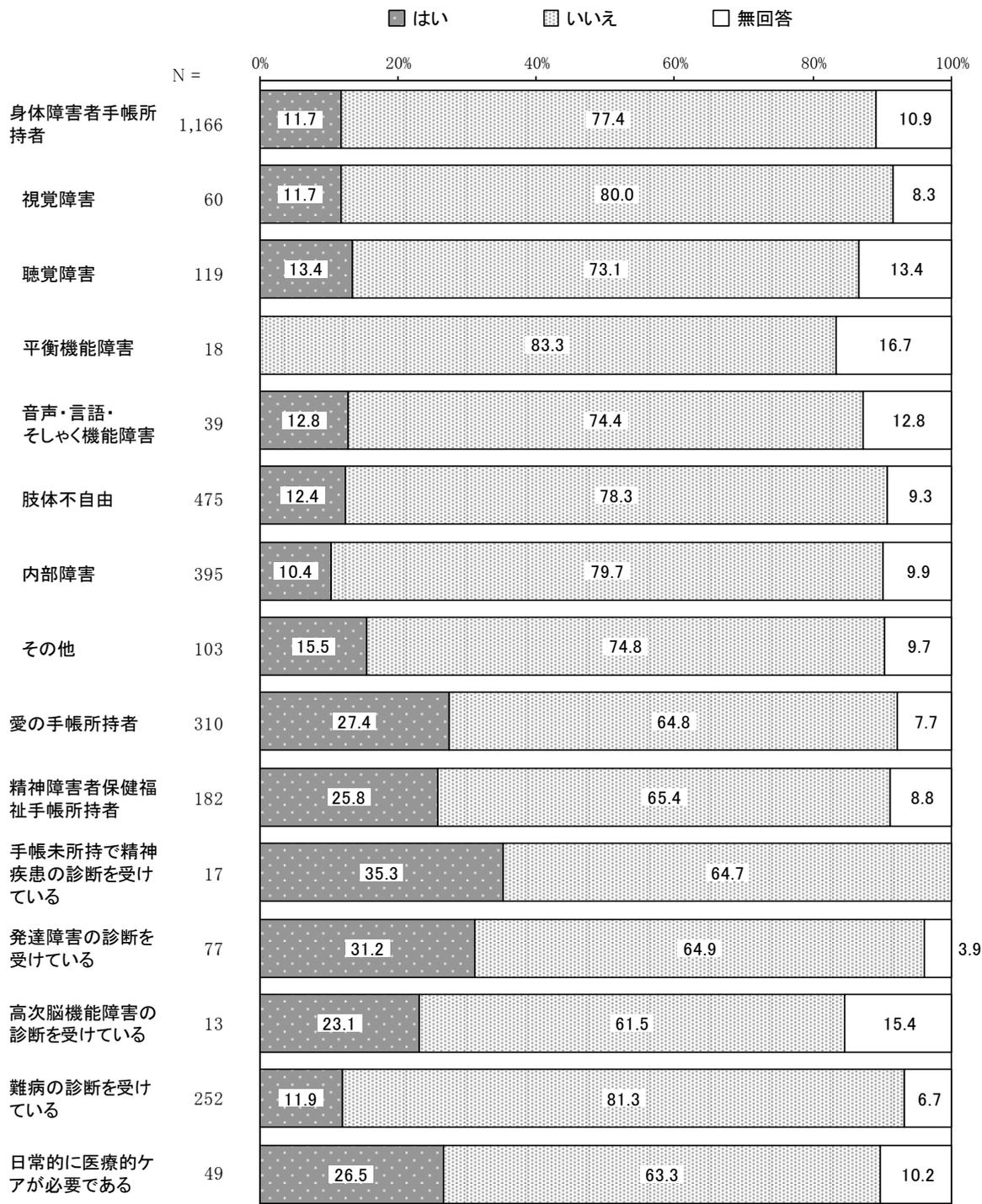
問 51 あなたはヘルプマークのタグ（ストラップ）を持っていますか。

「はい」の割合が 14.3%、「いいえ」の割合が 76.2%となっています。



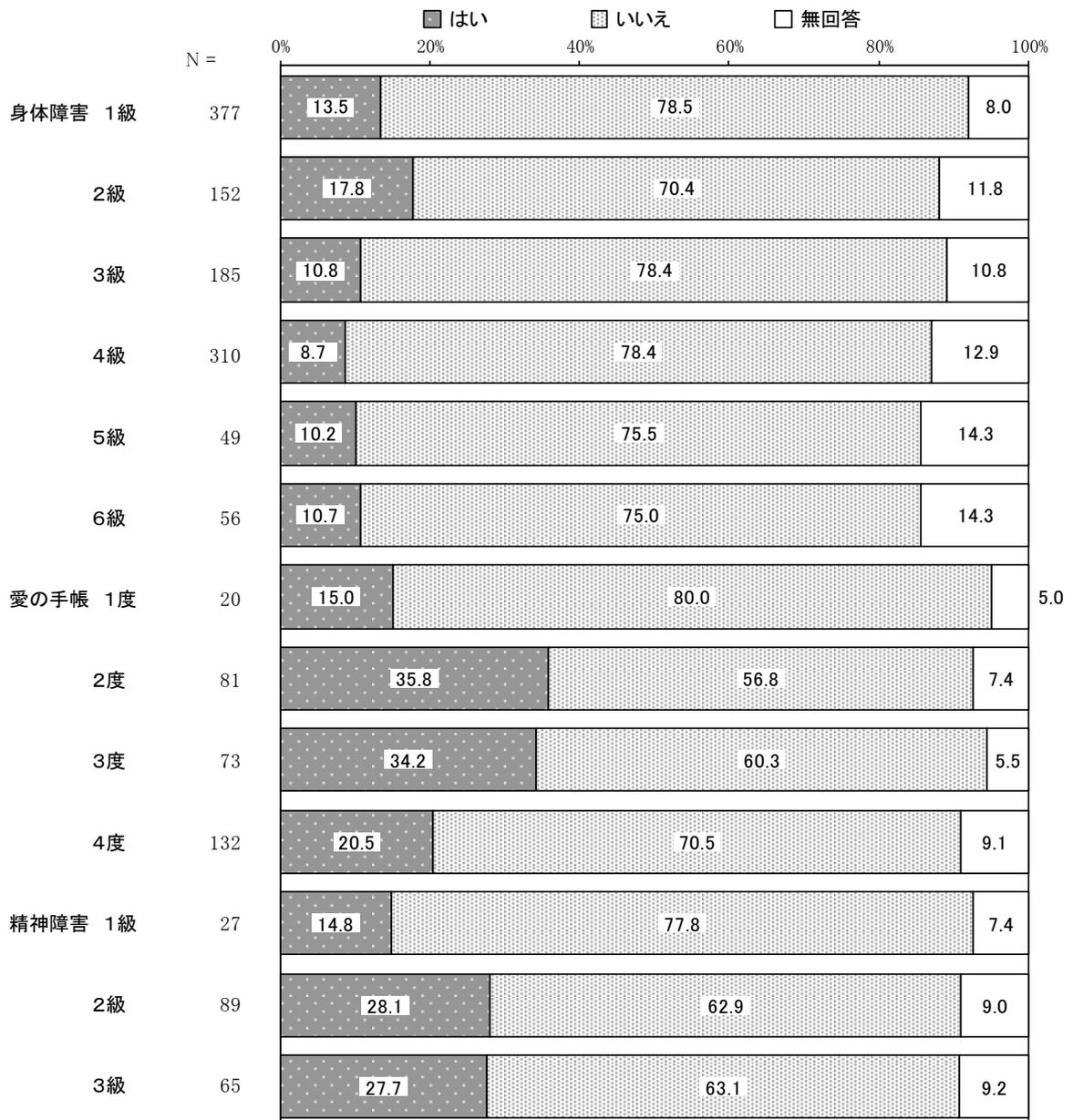
【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、視覚障害、平衡機能障害、肢体不自由、内部障害、難病の診断を受けている人で「いいえ」の割合が高く、約8割となっています。



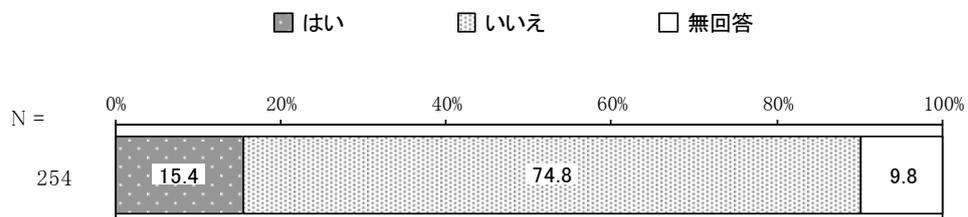
【等級別】

等級別でみると、他に比べ、愛の手帳2度、3度で「はい」の割合が高く、3割台半ばとなっています。



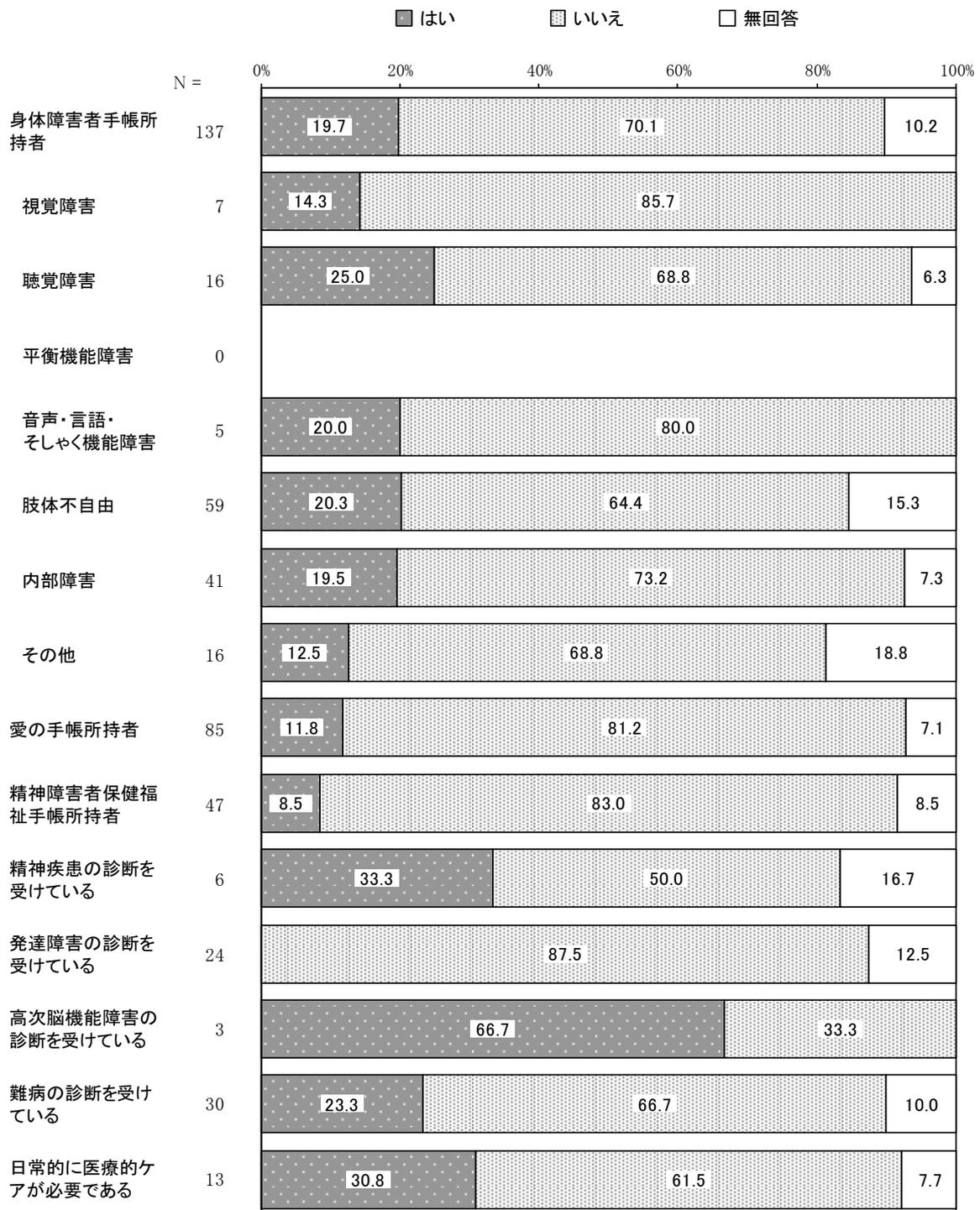
問 52 あなたはヘルプマークのタグを使用することで、周囲の手助けを受けられるなど、役にたったことはありますか。(電車, バスで優先席を譲られるなど)

「はい」の割合が 15.4%, 「いいえ」の割合が 74.8%となっています。



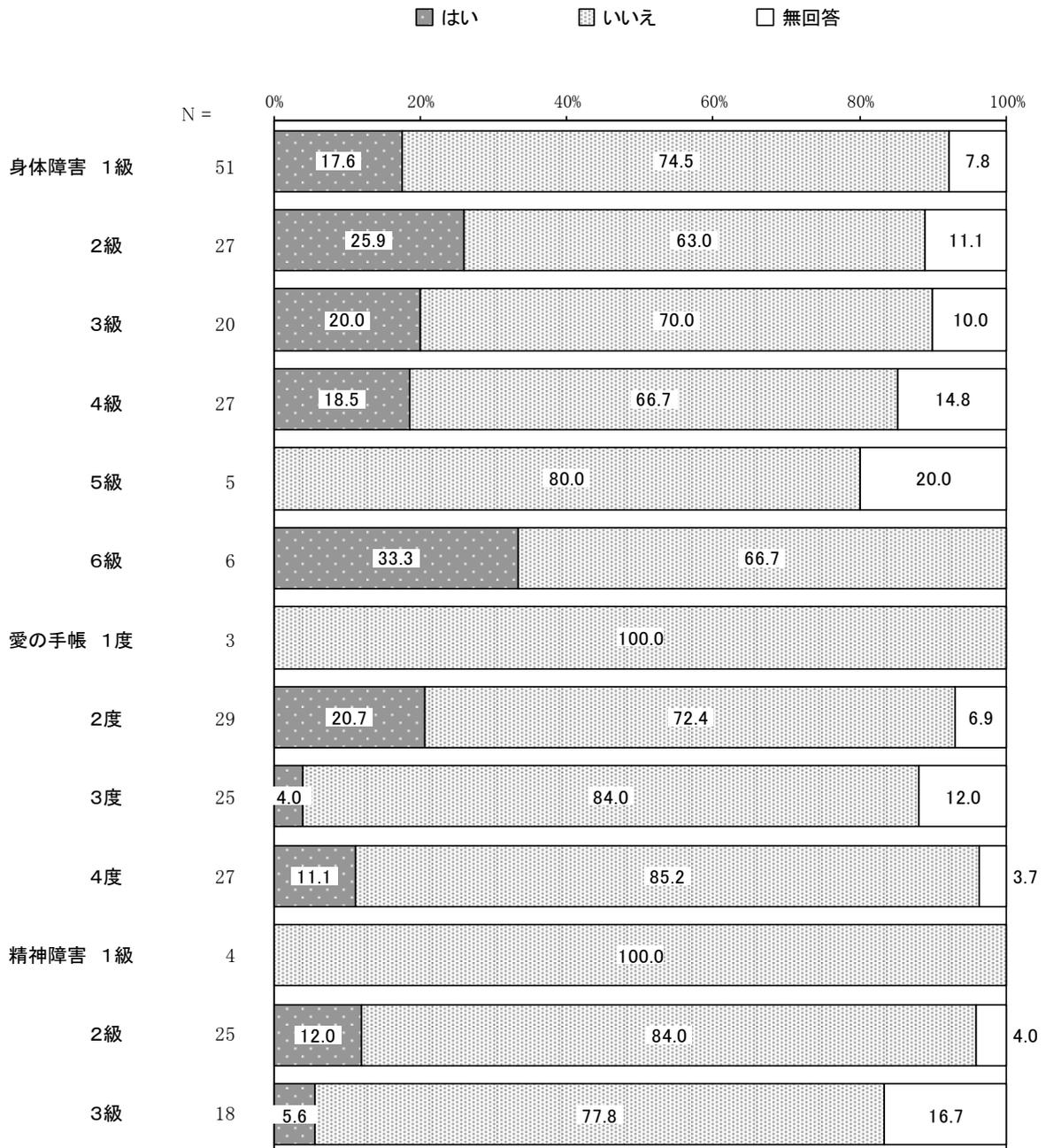
【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、日常的に医療的ケアが必要である人で「はい」の割合が高く、約3割となっています。



【等級別】

等級別でみると、他に比べ、身体障害2級で「はい」の割合が高く、2割台半ばとなっています。

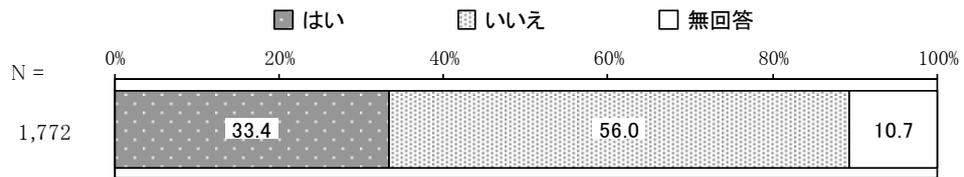


問 53 具体的にどんな時に役に立ちましたか。自由にご記入ください。

- ・手助けしてくれた。(3件)(身体, 知的, 難病)
- ・電車, バス等で席を譲られた。(3件)(身体, 精神, 難病, 医療的ケア)
- ・電車の乗り降りの際サポートしてくれる。(2件)(身体, 知的, 高次脳)
- ・階段の昇降や, 手に荷物を持っている時, 声をかけてくれた。(身体)
- ・飛行機の機内で荷物を上にあげるのを手伝ってもらえた。(難病)
- ・EVに乗る際, 気を使ってくれる。(身体, 難病)
- ・トイレを使用する際に気にかけてくれた。(知的)
- ・病院に行く時。(身体, 知的, 精神, 医療的ケア)
- ・身体が, 特に立つのがつらい時, 役に立った。(難病, 医療的ケア)
- ・若くても坐ろうとすることにひげ目を感じないで理解の目でみられる。(身体, 精神, 高次脳)

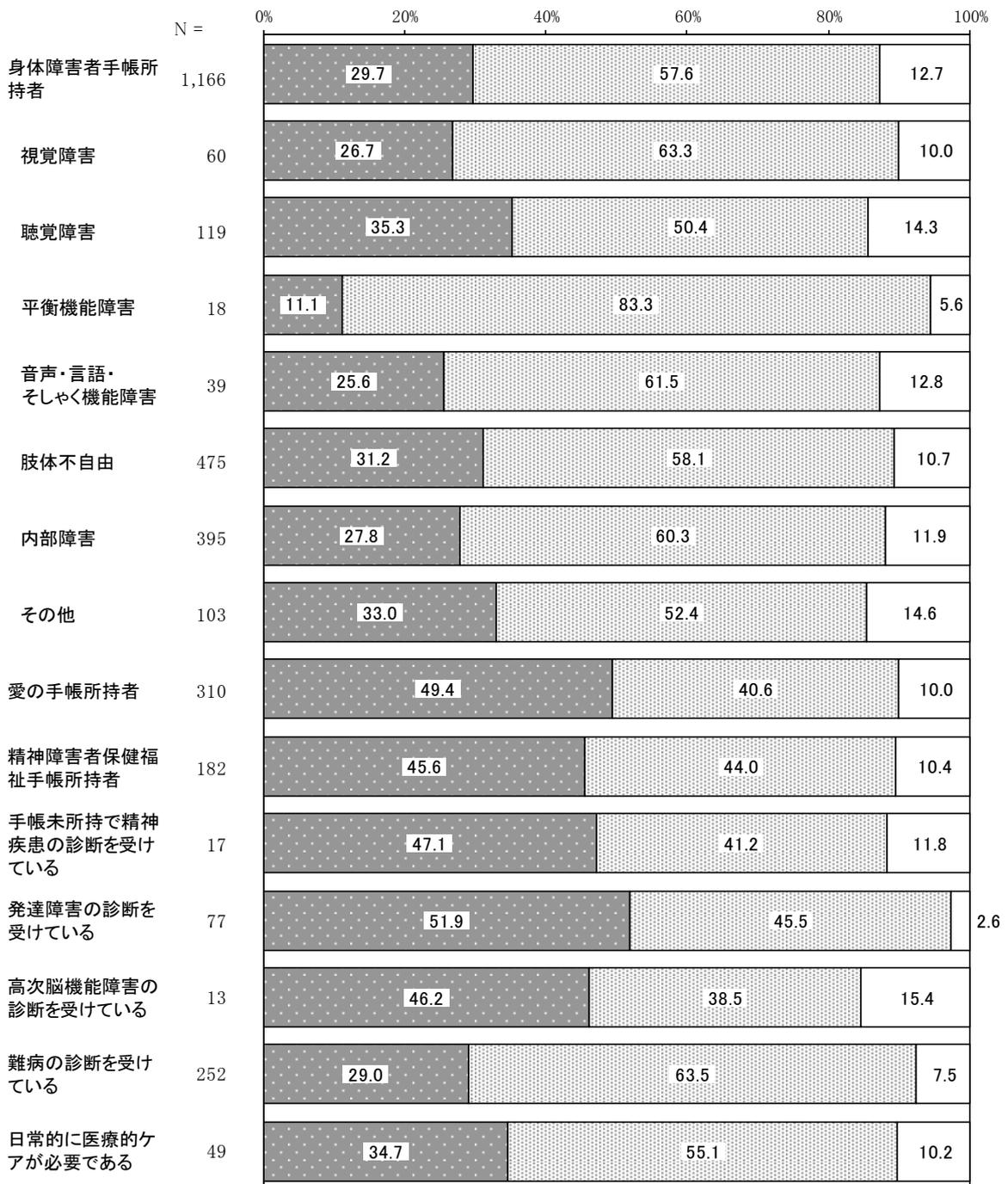
問 54 あなたは、ヘルプカードを知っていますか。

「はい」の割合が33.4%、「いいえ」の割合が56.0%となっています。



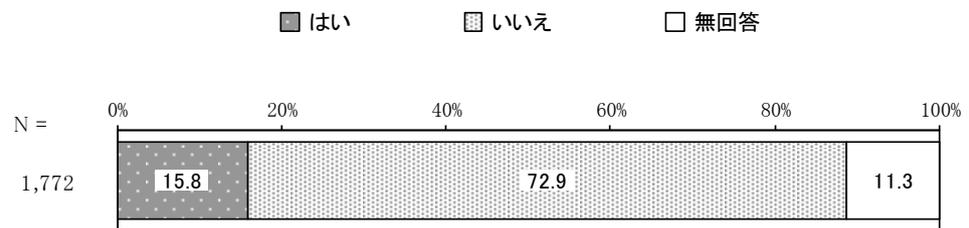
【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、愛の手帳所持者、発達障害の診断を受けている人で「はい」の割合が高く、約5割となっています。



問 55 あなたは、ヘルプカードを持っていますか。

「はい」の割合が 15.8%、「いいえ」の割合が 72.9%となっています。



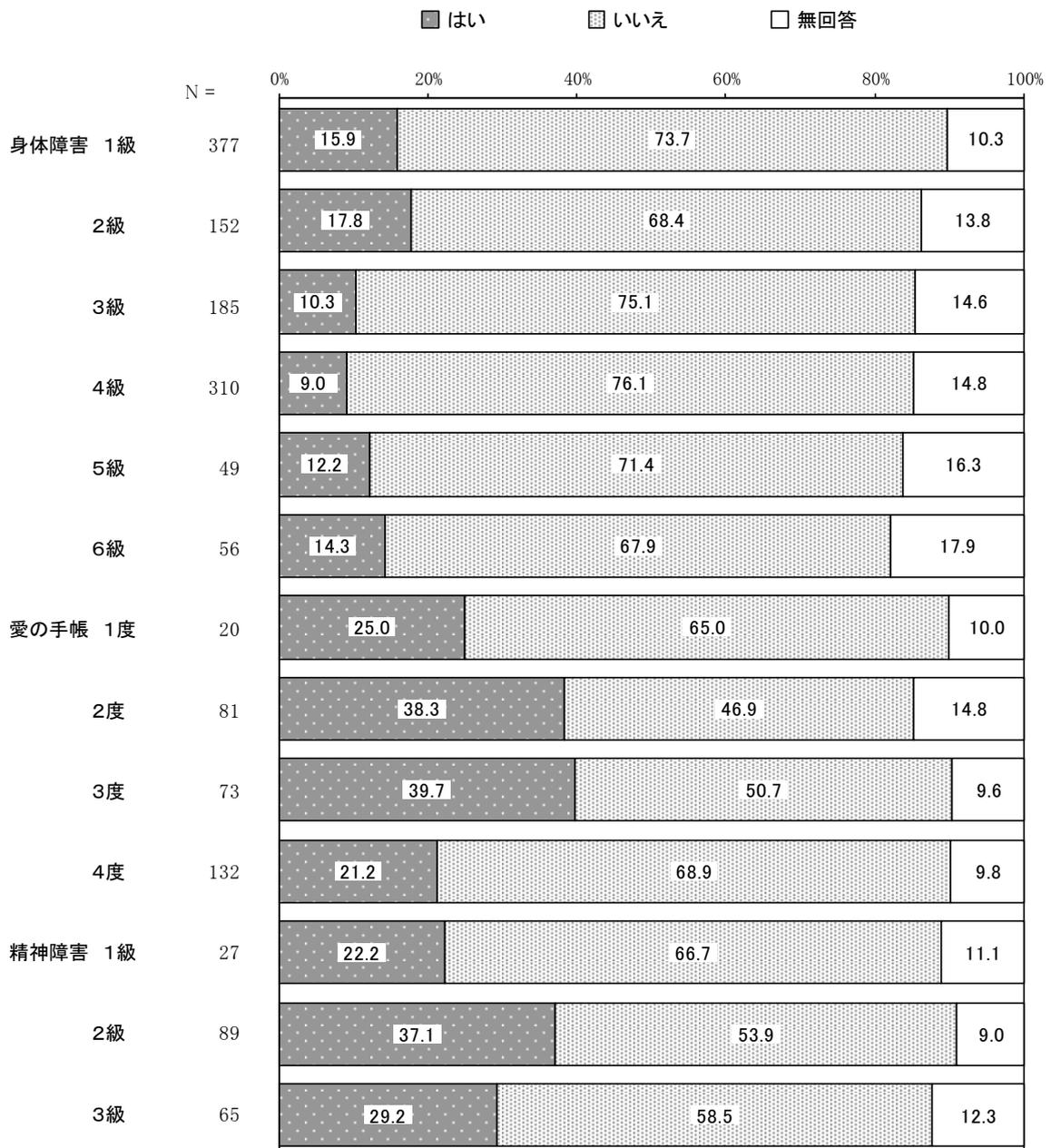
【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、愛の手帳所持者、精神障害者保健福祉手帳所持者、発達障害の診断を受けている人などで「はい」の割合が高く、約3割となっています。



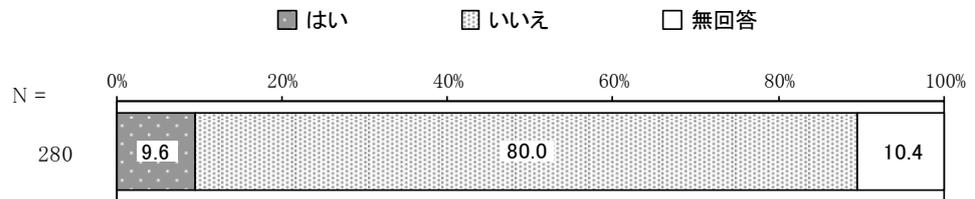
【等級別】

等級別でみると、愛の手帳2度、3度、精神障害2級で「はい」の割合が高く、約4割となっています。身体障害3級、4級で「いいえ」の割合が高く、7割台半ばとなっています。



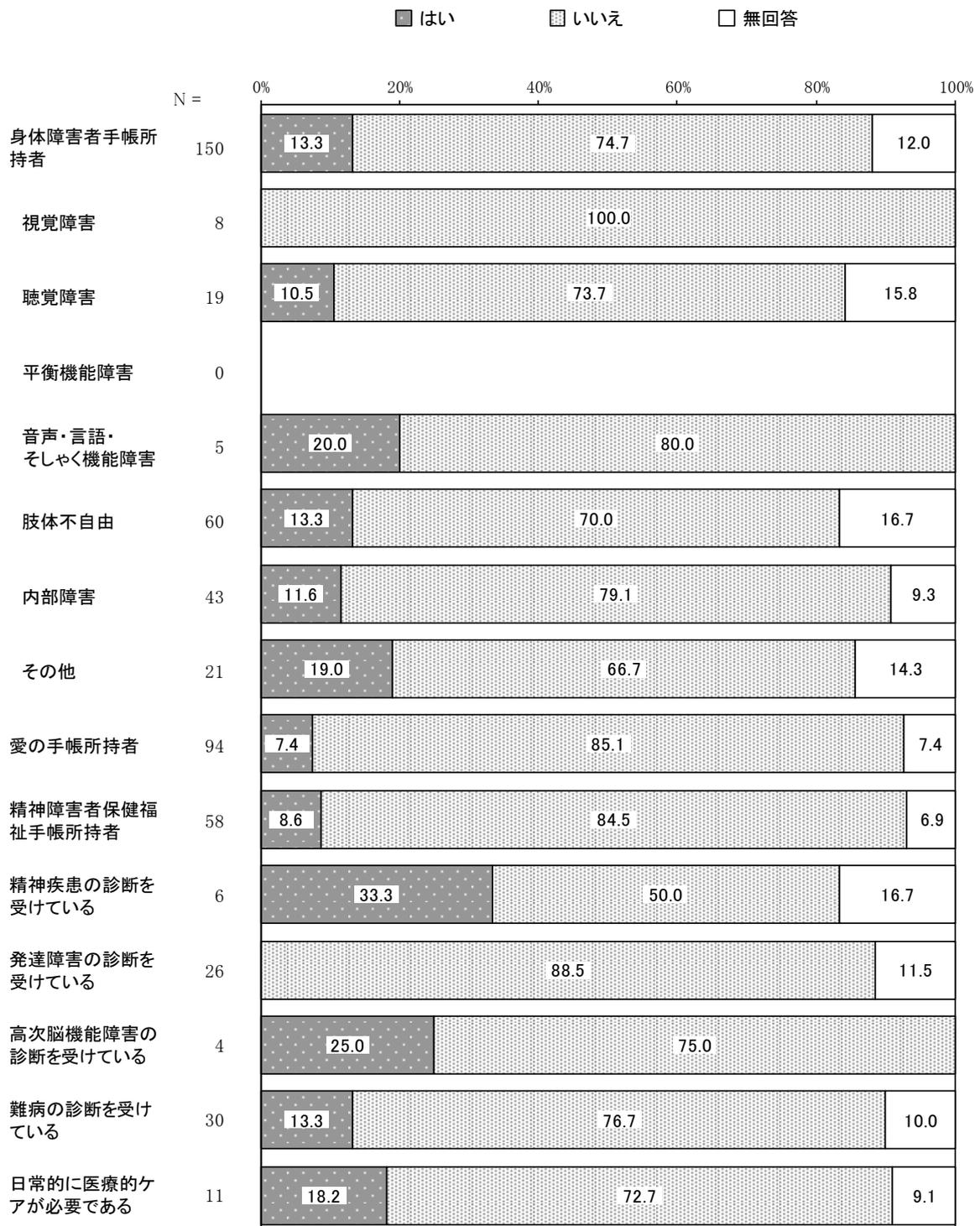
問 56 あなたは、ヘルプカードを使用することで、周囲の手助けを受けられるなど、役にたったことはありますか。

「はい」の割合が9.6%、「いいえ」の割合が80.0%となっています。



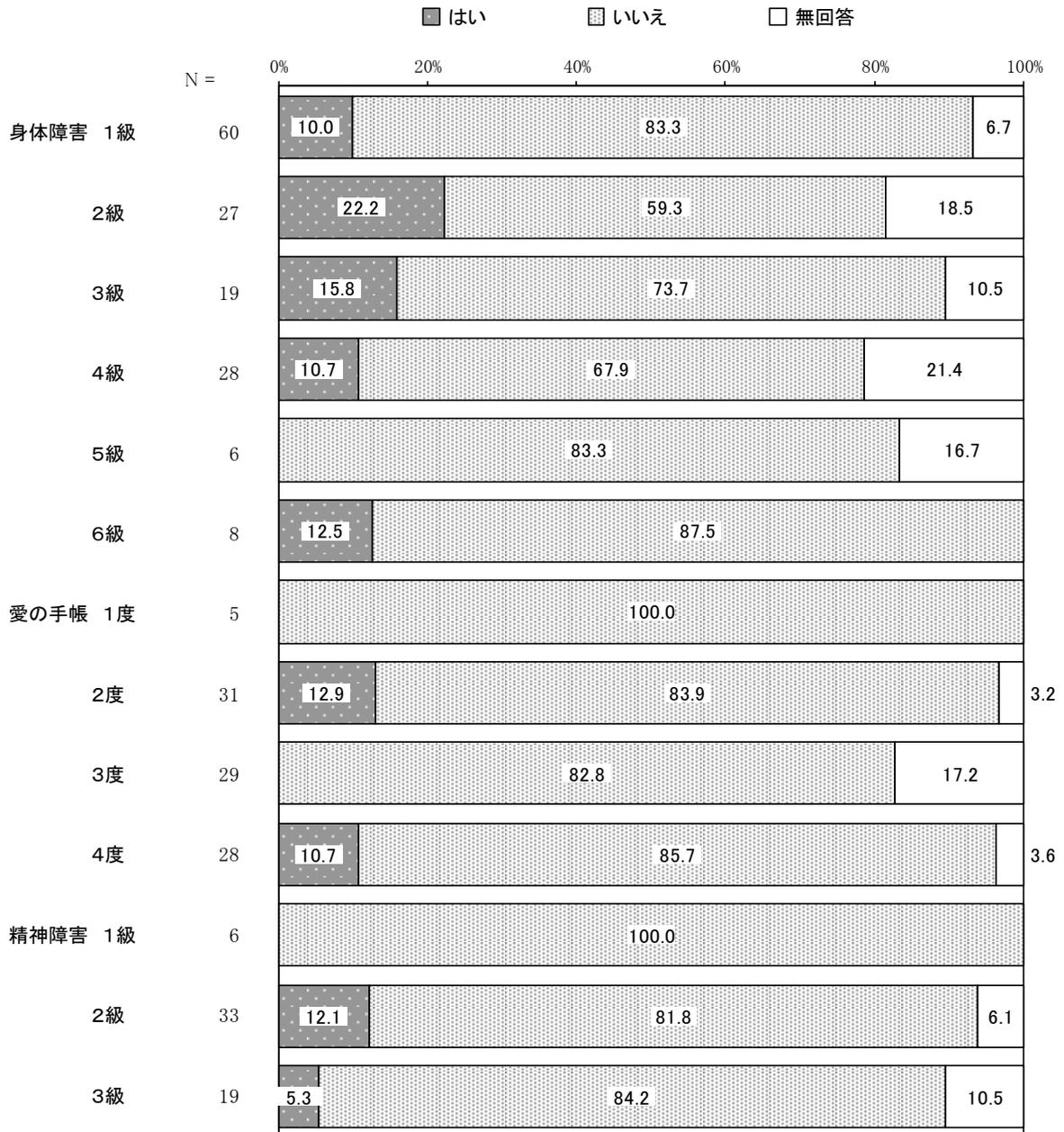
【障害種別】

障害種別でみると、視覚障害、発達障害のある人で「はい」が一人もない回答状況となっています。



【等級別】

等級別でみると、他に比べ、身体障害の2級で「はい」の割合が高く、約2割となっています。



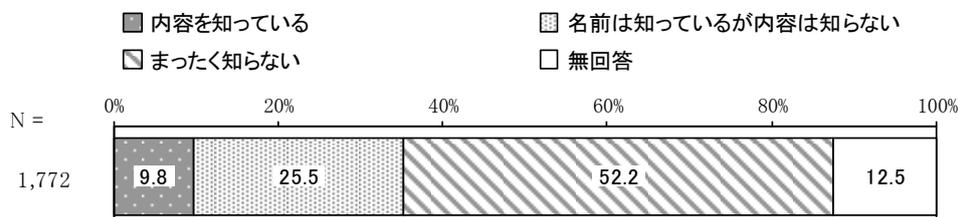
問 57 具体的にどんな時に役に立ちましたか。自由にご記入ください。

- ・電車，バス等で席を譲られた。(身体)
- ・定期券を落として駅員と話をする時，ヘルプカードを見せたため話をよく聞いてくれた。
(知的)
- ・意識が遠のいた時や，ふらつきで座り込む時に声をかけてくれ，道の端で安全確保できた。
(難病)
- ・持たせていることで安心できる。(知的)
- ・ヘルパーと外出するときに，かばんに入っているので，万が一の時にすぐ見てもらえるという
安心感がある。(身体，知的)
- ・何かと気を使ってくれる人もいるが，気づきもしない人もたくさんいる。(身体，難病)
- ・駅のホーム・バス停でカードを見たとき気をつけてその人を見守っている。(身体)

12 障害者差別解消法について

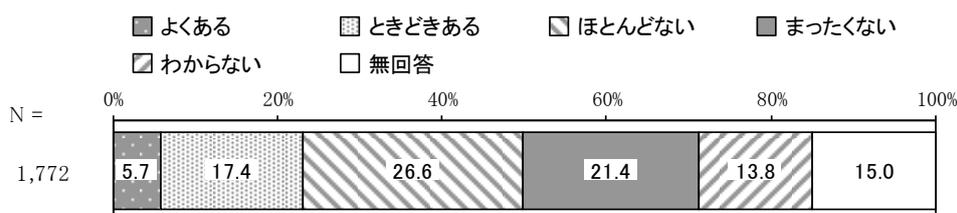
問 58 あなたは、障害者差別解消法について知っていますか。(1つに○)

「まったく知らない」の割合が52.2%と最も高く、次いで「名前は知っているが内容は知らない」の割合が25.5%となっています。



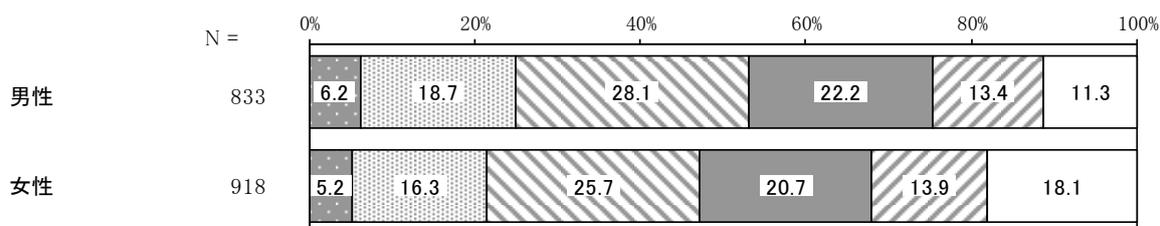
問 59 あなたは障害があるために差別を受けたり、いやな思いをしたことがありますか。(1つに○)

「よくある」と「ときどきある」を合わせた“ある”の割合が23.1%、「ほとんどない」と「まったくない」を合わせた“ない”の割合が48.0%となっています。



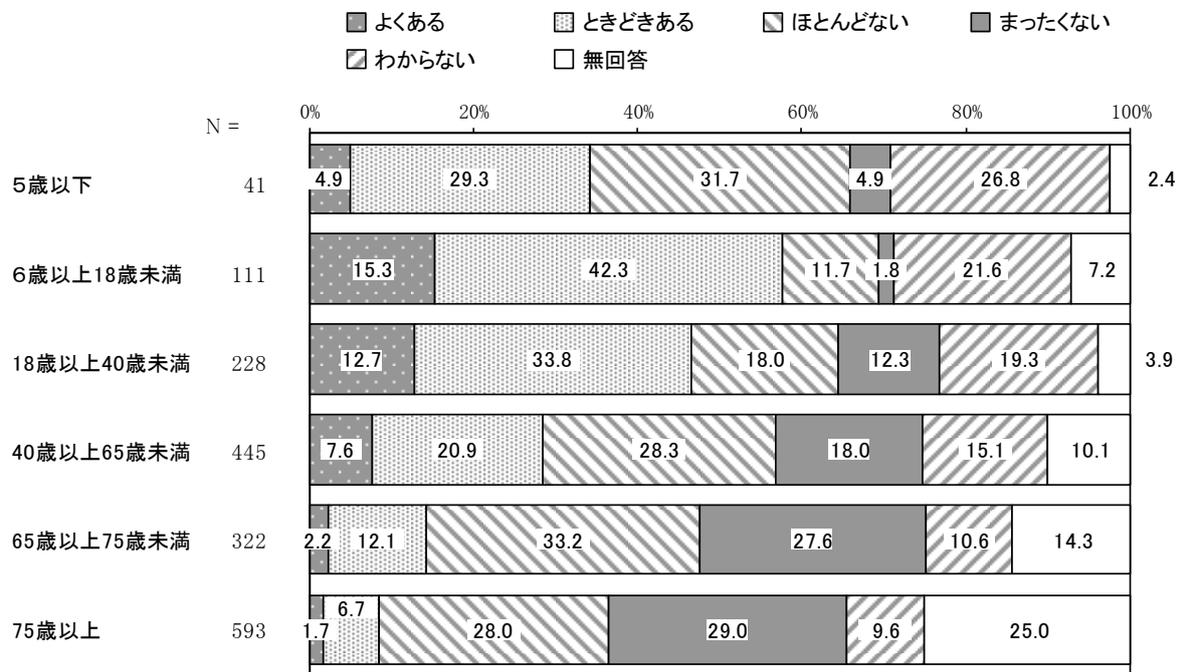
【性別】

性別でみると、大きな差異はみられません。



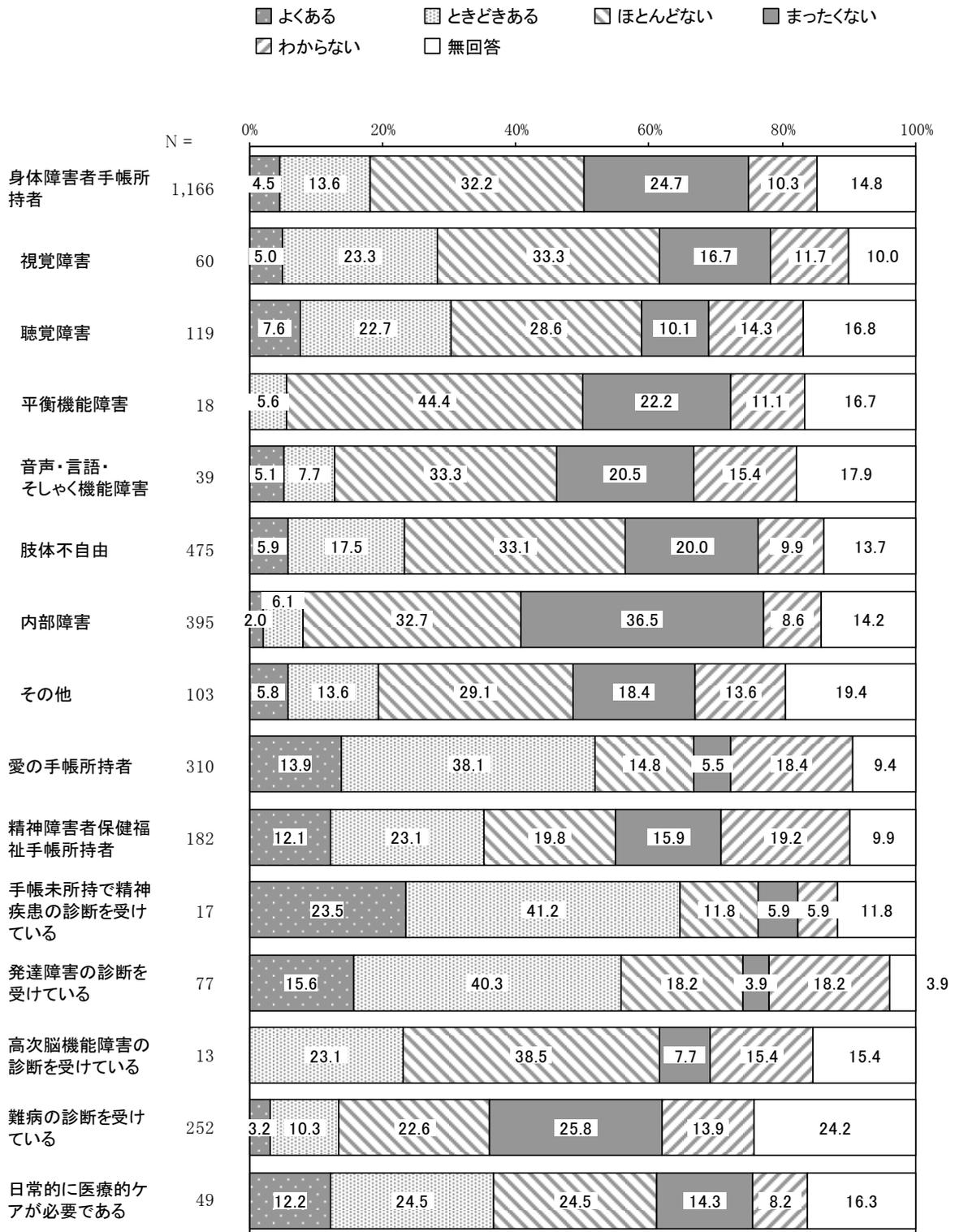
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、6歳以上18歳未満で“ある”の割合が高く、約6割となっています。また、65歳以上75歳未満、75歳以上で“ない”の割合が高く、約6割となっています。



【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、愛の手帳所持者、手帳未所持で精神疾患の診断を受けている人、発達障害の診断を受けている人で“ある”の割合が高くなっています。



問 60 具体的にどのようなときに感じましたか。自由にご記入ください。

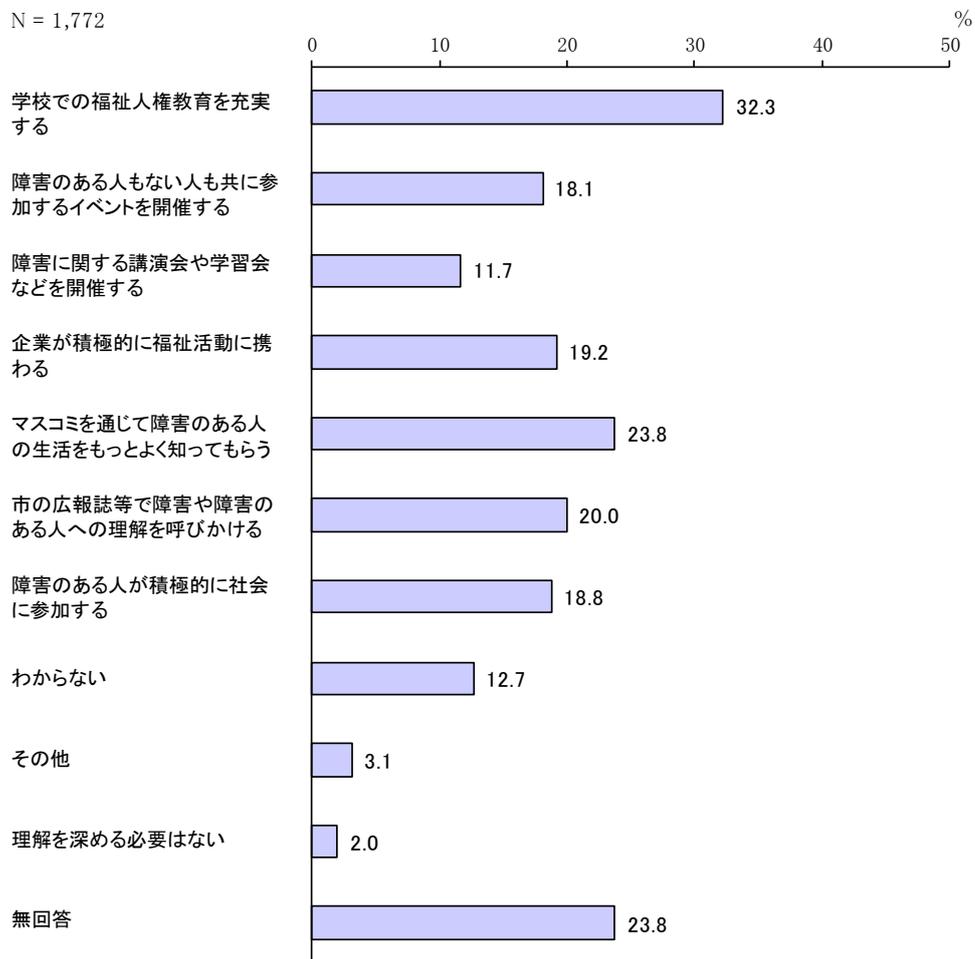
- ・書ききれない（思い出して書くのも嫌）（知的）
- ・理不尽な言葉や態度をとられる。（27件）（身体，知的，精神，発達，高次脳，難病）
- ・外出時に感じる周囲からの視線。（9件）（身体，知的，精神，発達，難病，医療的ケア）
- ・公共の場所に入れない。拒否される。（5件）（身体，知的，難病，医療的ケア）
- ・同級生からのからかい・いじめ。（5件）（身体，知的，発達）
- ・邪魔者扱いされる。（4件）（身体，知的，発達，難病，医療的ケア）
- ・対人関係が辛い。（4件）（身体，知的，精神）
- ・暴力を受けた。（3件）（身体，知的，精神，発達）
- ・警察を呼ばれた。職務質問を受けた。（2件）（知的）
- ・友人からの理解を得られない。（2件）（身体，知的，発達）
- ・就労を断わられることがある。（2件）（身体，精神）
- ・就職活動時・職場で，嫌な思いや差別的な行動をされた。（6件）
（身体，知的，精神，発達，難病）
- ・外見ではわからないため，障害について周りに理解してもらうのが難しい。
（身体，知的，難病）
- ・障害のために就労や結婚をしていないことによる周囲の人たちからの冷遇。（精神）
- ・バス，電車で不快な思いをした。（2件）（身体，知的，精神）
- ・エレベーターに乗る際，譲ってくれないことが多い。（身体）
- ・歩行等の移動時に時間がかかり，追い越される際に嫌な思いをする。（2件）
（身体，精神，難病，医療的ケア）
- ・障害者手帳がなかったため，代筆を頼んだが断られた。（身体）
- ・トイレ使用の際に外見でわからないため，利用しにくい。（身体）

問 61 あなたが、公的機関、会社、お店などで困っているときにしてほしい支援や配慮、またはこれまでに心に残っている支援や配慮はありますか。自由にご記入ください。

- ・最近はお店の人の対応など親切になってきた。(身体)
- ・レストランではほとんどの所が、扉等、広く開けてくれて、椅子が入るように配慮してくれて、とても対応が良く、思い出しては心が温まる。(身体)
- ・店員さんに親切にしてもらっている。外国人の店員さんも声掛けしてくれる。(知的)
- ・体調不良の際、電車で席を譲ってもらった。(身体)
- ・バスの女性の運転手さんに「お気にしないで下さい。又どうぞ」といわれ、とても困っていた時なのでとてもうれしく涙がとまらなかった。(知的、発達)
- ・美術館に行き、並ばないと入場できない状況だったが、手帳を見せたらすぐに入場できた。(精神)
- ・会社には支援してくれる人事の人がいて問題が起きた時は対応してくれる。(知的、発達)
- ・現在の会社で病気を理解してもらい条件面で最大限の配慮をしてもらっている。(精神)
- ・駅等のエスカレーター、エレベーターの完備を希望。(身体)
- ・朝の通勤時間帯のトイレ。使用率が高いため、待ち時間が大変。(難病)
- ・排泄回数が多いので公共のトイレを増やしてほしい。(難病)
- ・アナウンスはわかるようにしてほしい。セキュリティーの音(アラーム音)もきこえない。(障害不明)
- ・マタニティマークのような本人がつけられるストラップやバッジなど一目でわかるマークを付けたい。(知的)
- ・はしが使えないがフォークがない。そば屋等で不便を感じる。(知的)

問 62 障害に対する地域の理解を深めるためには、何が必要だと考えますか。
 (主なものを3つに○)

「学校での福祉人権教育を充実する」の割合が 32.3%と最も高く、次いで「マスコミを通じて障害のある人の生活をもっとよく知ってもらう」の割合が 23.8%、「市の広報誌等で障害や障害のある人への理解を呼びかける」の割合が 20.0%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、6歳以上18歳未満で「学校での福祉人権教育を充実する」の割合が高く、約6割となっています。また、5歳以下で「マスコミを通じて障害のある人の生活をもっとよく知ってもらう」の割合が高く、約4割となっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	学校での福祉人権教育を充実する	障害のある人もない人も共に参加するイベントを開催する	障害に関する講演会や学習会などを開催する	企業が積極的に福祉活動に携わる	マスコミを通じて障害のある人の生活をもっとよく知ってもらう
5歳以下	41	48.8	24.4	9.8	9.8	41.5
6歳以上18歳未満	111	57.7	24.3	25.2	32.4	29.7
18歳以上40歳未満	228	41.2	27.6	12.7	31.1	28.5
40歳以上65歳未満	445	36.4	19.3	12.8	26.5	26.5
65歳以上75歳未満	322	28.9	16.8	9.0	17.7	22.4
75歳以上	593	22.6	12.3	9.8	8.4	19.1

区分	市の広報誌等で障害や障害のある人への理解を呼びかける	障害のある人が積極的に社会に参加する	わからない	その他	理解を深める必要はない	無回答
5歳以下	12.2	31.7	2.4	4.9	2.4	19.5
6歳以上18歳未満	15.3	19.8	6.3	8.1	0.9	11.7
18歳以上40歳未満	13.2	28.1	10.1	4.4	2.6	11.4
40歳以上65歳未満	17.3	22.0	12.6	4.0	2.0	17.1
65歳以上75歳未満	25.5	20.2	17.1	3.4	1.6	19.9
75歳以上	22.9	11.5	13.0	0.8	1.9	37.9

【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、発達障害の診断を受けている人で「学校での福祉人権教育を充実する」の割合が高く、5割台半ばとなっています。また、音声・言語・そしゃく機能障害で「マスコミを通じて障害のある人の生活をもっとよく知ってもらう」の割合が高く、3割台半ばとなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	学校での福祉人権教育を充実する	障害のある人もない人も共に参加するイベントを開催する	障害に関する講演会や学習会などを開催する	企業が積極的に福祉活動に携わる	マスコミを通じて障害のある人の生活をもっとよく知ってもらう
身体障害者手帳所持者	1166	29.1	15.7	10.4	16.6	22.0
視覚障害	60	40.0	15.0	18.3	20.0	23.3
聴覚障害	119	21.8	17.6	12.6	11.8	25.2
平衡機能障害	18	22.2	16.7	16.7	5.6	27.8
音声・言語・そしゃく機能障害	39	23.1	20.5	12.8	12.8	35.9
肢体不自由	475	31.8	16.8	8.4	17.1	20.8
内部障害	395	30.1	13.9	10.9	18.7	21.5
その他	103	27.2	18.4	12.6	15.5	19.4
愛の手帳所持者	310	36.8	25.2	13.9	23.9	25.8
精神障害者保健福祉手帳所持者	182	26.4	17.6	11.0	15.4	19.2
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	17	47.1	23.5	29.4	23.5	23.5
発達障害の診断を受けている	77	55.8	20.8	26.0	22.1	28.6
高次脳機能障害の診断を受けている	13	23.1	30.8	—	30.8	15.4
難病の診断を受けている	252	34.9	19.8	11.9	27.4	27.8
日常的に医療的ケアが必要である	49	28.6	14.3	12.2	8.2	28.6

【障害種別（つづき）】

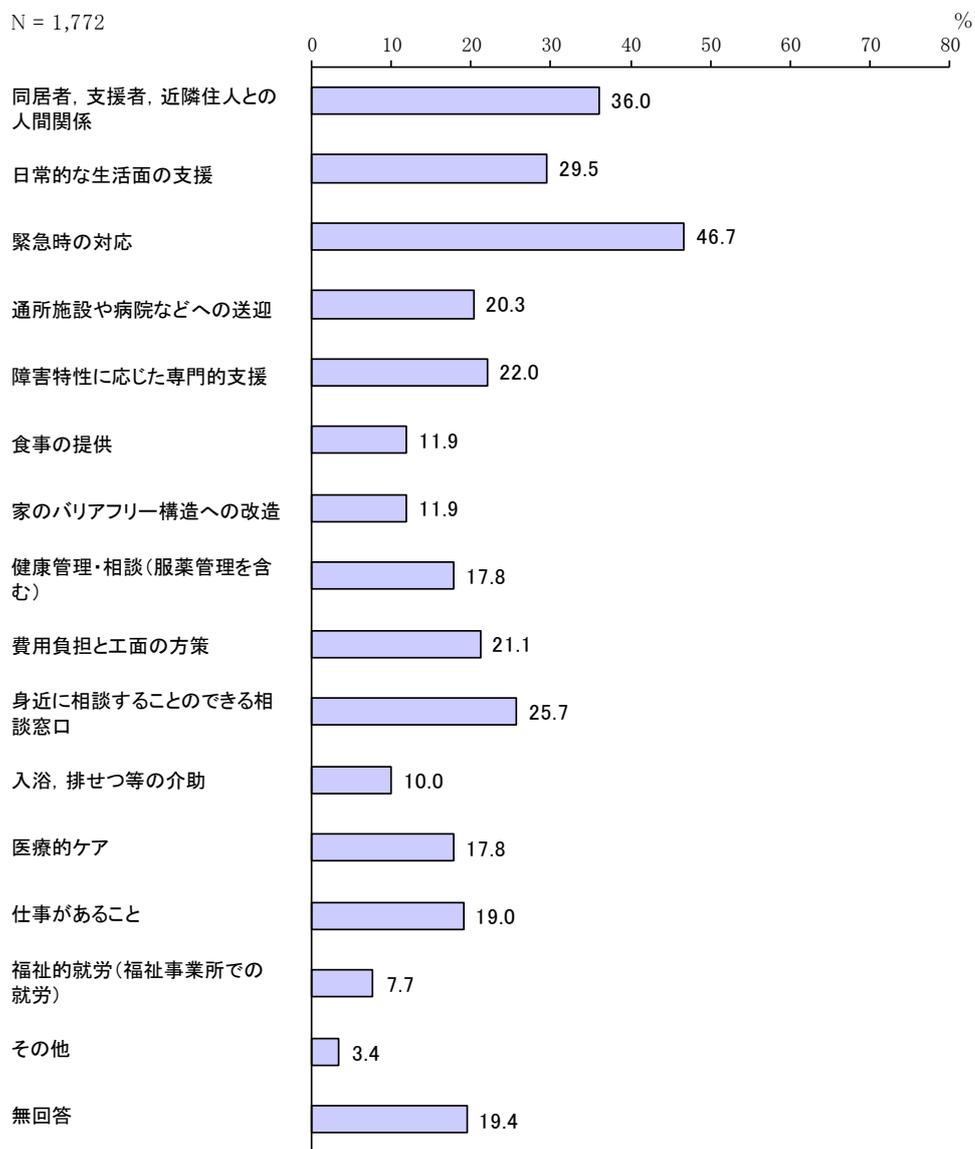
単位：％

区分	市の広報誌等で障害や障害のある人への理解を呼びかける	障害のある人が積極的に社会に参加する	わからない	その他	理解を深める必要はない	無回答
身体障害者手帳所持者	21.8	18.3	13.0	2.7	1.9	26.2
視覚障害	23.3	8.3	18.3	3.3	1.7	16.7
聴覚障害	19.3	17.6	17.6	4.2	—	26.9
平衡機能障害	22.2	—	11.1	—	11.1	22.2
音声・言語・そしゃく機能障害	33.3	17.9	12.8	—	—	25.6
肢体不自由	22.5	19.4	12.0	3.2	2.1	25.1
内部障害	21.3	19.7	15.7	1.3	1.0	25.6
その他	18.4	20.4	8.7	2.9	3.9	27.2
愛の手帳所持者	15.5	21.9	11.9	3.2	2.9	18.7
精神障害者保健福祉手帳所持者	13.7	16.5	18.7	4.9	2.7	24.7
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	23.5	5.9	11.8	5.9	—	17.6
発達障害の診断を受けている	13.0	22.1	10.4	5.2	2.6	13.0
高次脳機能障害の診断を受けている	23.1	23.1	7.7	—	—	30.8
難病の診断を受けている	16.3	16.7	9.5	3.2	1.6	23.0
日常的に医療的ケアが必要である	14.3	12.2	18.4	6.1	2.0	24.5

13 全体的な施策について

問 63 今後の暮らしについて、必要だと思うことや不安だと思うことは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「緊急時の対応」の割合が46.7%と最も高く、次いで「同居者、支援者、近隣住人との人間関係」の割合が36.0%、「日常生活面の支援」の割合が29.5%となっています。



【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、発達障害の診断を受けている人で「仕事があること」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	同居者、 隣住人との 支援者、 近き人間関係	日常的な生活面の 支援	緊急時の対応	通所施設や病院など への送迎	障害特性に応じた専 門的支援	食事の提供	家のバリアフリー構 造への改造	健康管理・相談（服 薬管理を含む）
身体障害者手帳所持者	1166	32.5	26.5	46.7	21.0	18.4	11.1	14.4	16.0
視覚障害	60	38.3	41.7	45.0	31.7	30.0	18.3	15.0	21.7
聴覚障害	119	38.7	21.8	56.3	17.6	21.8	10.1	14.3	16.8
平衡機能障害	18	50.0	33.3	44.4	22.2	16.7	16.7	22.2	16.7
音声・言語・そしゃく 機能障害	39	23.1	25.6	46.2	17.9	25.6	7.7	15.4	17.9
肢体不自由	475	32.0	32.2	50.5	24.4	20.0	12.2	17.9	16.8
内部障害	395	31.6	22.3	44.1	20.0	17.2	10.1	11.9	15.2
その他	103	34.0	28.2	42.7	26.2	20.4	13.6	19.4	18.4
愛の手帳所持者	310	44.2	42.9	51.3	24.5	35.5	15.2	6.5	22.6
精神障害者保健福祉 手帳所持者	182	41.2	31.3	44.5	16.5	30.2	12.6	5.5	21.4
手帳未所持で精神疾患 の診断を受けている	17	76.5	58.8	88.2	35.3	58.8	23.5	23.5	41.2
発達障害の診断を 受けている	77	61.0	45.5	51.9	14.3	55.8	7.8	1.3	22.1
高次脳機能障害の 診断を受けている	13	30.8	—	53.8	15.4	23.1	15.4	7.7	30.8
難病の診断を受けて いる	252	37.7	31.7	50.8	24.2	21.0	15.1	16.7	21.8
日常的に医療的ケアが 必要である	49	40.8	42.9	57.1	32.7	38.8	20.4	18.4	24.5

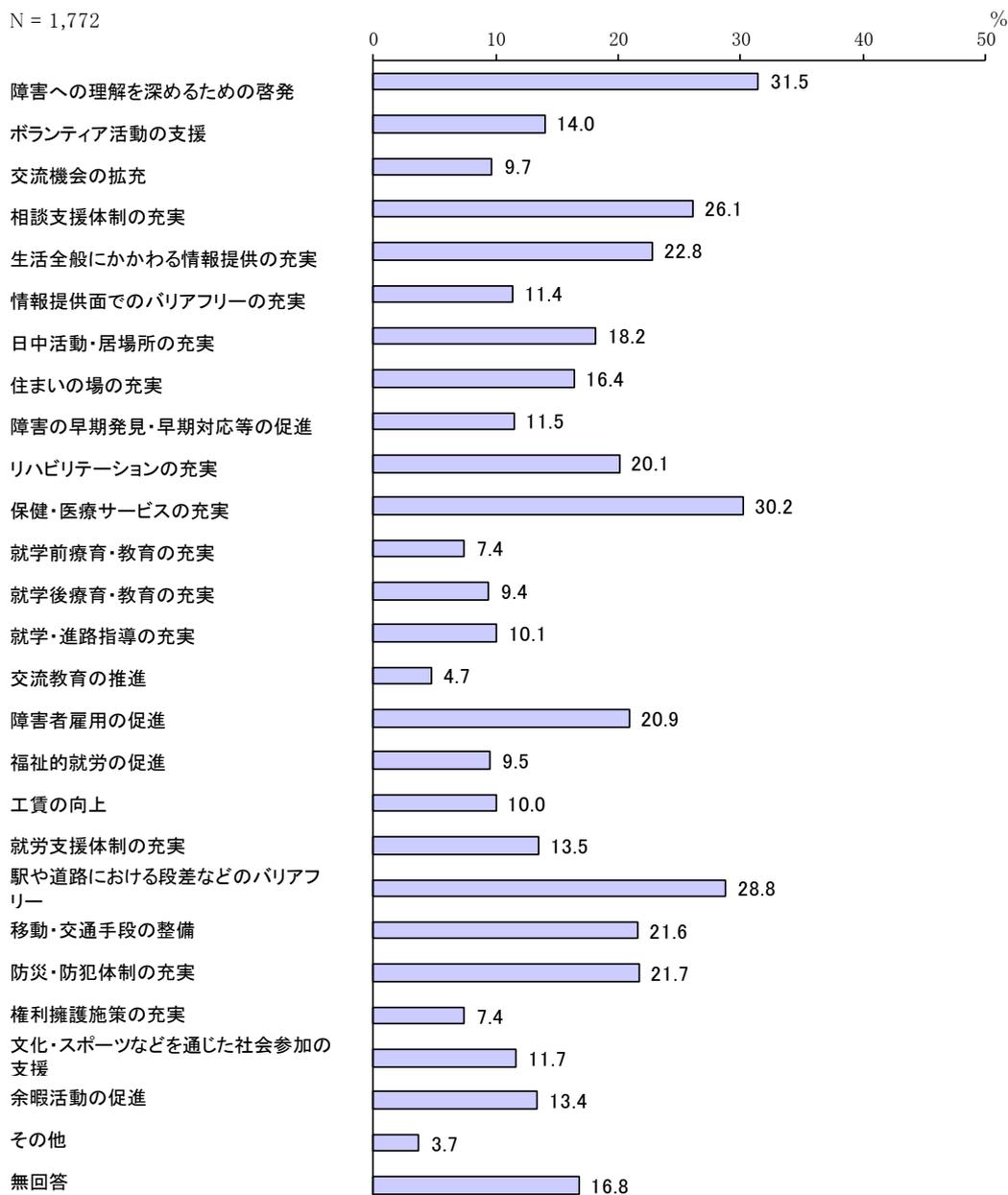
【障害種別（つづき）】

単位：%

区分	費用負担と工面の方策	身近に相談することができる相談窓口	入浴、排せつ等の介助	医療的ケア	仕事があること	福祉的就労（福祉事業所での就労）	その他	無回答
身体障害者手帳所持者	18.0	22.6	11.7	18.3	12.3	3.9	3.3	21.7
視覚障害	21.7	33.3	18.3	25.0	18.3	5.0	3.3	11.7
聴覚障害	21.0	21.0	9.2	17.6	13.4	4.2	0.8	21.8
平衡機能障害	11.1	16.7	27.8	33.3	—	—	5.6	11.1
音声・言語・そしゃく機能障害	25.6	17.9	23.1	30.8	12.8	7.7	—	28.2
肢体不自由	22.1	24.4	17.7	20.8	13.7	4.2	4.4	18.3
内部障害	17.7	21.3	7.8	20.0	11.4	2.8	2.8	23.0
その他	17.5	24.3	13.6	17.5	7.8	6.8	1.9	23.3
愛の手帳所持者	21.6	30.3	9.7	14.2	30.6	24.8	4.8	13.5
精神障害者保健福祉手帳所持者	24.7	30.2	7.1	16.5	28.6	8.2	5.5	19.8
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	35.3	52.9	11.8	23.5	35.3	47.1	5.9	5.9
発達障害の診断を受けている	31.2	41.6	6.5	13.0	46.8	15.6	6.5	3.9
高次脳機能障害の診断を受けている	23.1	30.8	23.1	15.4	30.8	30.8	—	15.4
難病の診断を受けている	31.0	26.2	14.7	26.6	18.7	6.3	2.4	14.3
日常的に医療的ケアが必要である	24.5	32.7	28.6	44.9	18.4	8.2	10.2	18.4

問 64 あなたが暮らしやすくなるために、充実してほしいことは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「障害への理解を深めるための啓発」の割合が31.5%と最も高く、次いで「保健・医療サービスの充実」の割合が30.2%、「駅や道路における段差などのバリアフリー」の割合が28.8%となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が低くなるにつれ「交流機会の拡充」「障害の早期発見・早期対応等の促進」「就学前療育・教育の充実」「就学後療育・教育の充実」「就学・進路指導の充実」「交流教育の推進」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、6歳以上18歳未満で「障害への理解を深めるための啓発」「日中活動・居場所の充実」の割合が、5歳以下で「相談支援体制の充実」の割合が高く、5割を超えています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	啓発 障害への理解を深めるための	ボランティア活動の支援	交流機会の拡充	相談支援体制の充実	生活全般にかかわる情報提供の充実	情報提供面でのバリアフリーの充実	日中活動・居場所の充実	住まいの場の充実	障害の早期発見・早期対応等の促進	リハビリテーションの充実	保健・医療サービスの充実	就学前療育・教育の充実	就学後療育・教育の充実
5歳以下	41	48.8	9.8	24.4	51.2	31.7	17.1	36.6	4.9	39.0	31.7	24.4	80.5	73.2
6歳以上18歳未満	111	55.0	18.9	18.0	31.5	32.4	14.4	53.2	24.3	26.1	15.3	29.7	38.7	63.1
18歳以上40歳未満	228	51.8	24.1	11.4	32.9	24.6	10.1	25.9	28.9	17.1	8.3	30.7	7.5	11.0
40歳以上65歳未満	445	33.9	13.3	10.1	26.3	25.6	13.9	20.2	22.2	10.8	18.0	29.4	4.5	5.2
65歳以上75歳未満	322	27.3	11.5	7.1	26.7	23.6	11.8	10.2	14.0	7.5	24.2	31.4	2.2	2.2
75歳以上	593	19.4	11.8	7.4	20.7	17.4	8.6	10.3	7.8	7.8	24.6	30.7	1.7	1.5

区分	就学・進路指導の充実	交流教育の推進	障害者雇用の促進	福祉的就労の促進	工賃の向上	就労支援体制の充実	駅や道路における段差などのバリアフリー	移動・交通手段の整備	防災・防犯体制の充実	権利擁護施策の充実	文化・スポーツなどを通じた社会参加の支援	余暇活動の促進	その他	無回答
5歳以下	65.9	24.4	48.8	17.1	12.2	26.8	19.5	14.6	24.4	12.2	9.8	29.3	2.4	4.9
6歳以上18歳未満	64.0	21.6	55.0	27.0	32.4	42.3	16.2	27.0	22.5	16.2	17.1	35.1	5.4	4.5
18歳以上40歳未満	14.0	6.1	36.0	18.9	24.1	25.9	16.7	17.5	21.1	12.3	14.0	26.8	3.5	7.0
40歳以上65歳未満	6.3	4.3	27.9	11.5	12.6	17.3	31.5	21.6	22.7	9.7	12.8	11.2	4.9	11.9
65歳以上75歳未満	1.9	1.6	11.8	5.3	3.7	6.8	34.2	26.4	25.2	4.0	9.0	8.7	2.5	17.4
75歳以上	2.0	1.7	6.4	2.9	1.7	3.4	32.4	20.6	19.7	3.7	10.6	7.3	3.0	26.1

【障害種別】

障害種別でみると、他に比べ、発達障害の診断を受けている人で「障害への理解を深めるための啓発」「就学・進路指導の充実」「障害者雇用の促進」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	啓発 障害への理解を深めるための	ボランティア活動の支援	交流機会の拡充	相談支援体制の充実	生活全般にかかわる情報提供の充実	情報提供面でのバリアフリーの充実	日中活動・居場所の充実	住まいの場の充実	障害の早期発見・早期対応等の促進
身体障害者手帳所持者	1166	26.9	12.6	8.4	22.8	21.7	12.3	13.0	13.8	8.1
視覚障害	60	30.0	26.7	11.7	30.0	25.0	18.3	18.3	15.0	15.0
聴覚障害	119	39.5	15.1	10.1	21.8	19.3	18.5	16.8	7.6	4.2
平衡機能障害	18	11.1	16.7	11.1	11.1	22.2	11.1	11.1	16.7	—
音声・言語・そしゃく機能障害	39	43.6	20.5	12.8	35.9	28.2	17.9	15.4	20.5	10.3
肢体不自由	475	29.9	13.5	8.8	23.4	23.6	15.4	16.0	17.3	7.8
内部障害	395	21.3	9.1	6.1	23.8	21.8	7.3	10.1	11.6	8.6
その他	103	29.1	11.7	8.7	23.3	25.2	13.6	12.6	22.3	11.7
愛の手帳所持者	310	50.0	23.5	13.2	33.2	23.5	9.0	40.6	29.0	15.2
精神障害者保健福祉手帳所持者	182	38.5	12.1	12.1	29.1	28.6	12.6	26.9	23.6	20.9
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	17	52.9	17.6	11.8	47.1	52.9	11.8	70.6	47.1	17.6
発達障害の診断を受けている	77	67.5	18.2	22.1	46.8	32.5	14.3	44.2	14.3	32.5
高次脳機能障害の診断を受けている	13	15.4	23.1	15.4	30.8	30.8	15.4	30.8	23.1	—
難病の診断を受けている	252	25.8	11.1	7.1	25.8	24.6	13.9	11.5	14.7	15.5
日常的に医療的ケアが必要である	49	42.9	16.3	14.3	32.7	36.7	18.4	26.5	22.4	20.4

【障害種別（つづき）】

単位：%

区分	リハビリテーションの充実	保健・医療サービスの充実	就学前療育・教育の充実	就学後療育・教育の充実	就学・進路指導の充実	交流教育の推進	障害者雇用の促進	福祉的就労の促進	工賃の向上	就労支援体制の充実
身体障害者手帳所持者	24.2	30.2	3.1	3.6	5.1	2.8	15.3	5.5	5.6	8.1
視覚障害	16.7	35.0	1.7	5.0	6.7	1.7	21.7	10.0	13.3	10.0
聴覚障害	16.0	30.3	5.9	7.6	9.2	5.0	21.8	9.2	9.2	10.1
平衡機能障害	38.9	22.2	—	—	—	—	11.1	11.1	—	—
音声・言語・そしゃく機能障害	38.5	35.9	2.6	2.6	—	7.7	15.4	7.7	5.1	12.8
肢体不自由	37.3	32.4	3.8	4.0	5.3	3.8	15.4	6.5	6.1	8.2
内部障害	14.7	31.4	2.3	2.5	4.3	2.5	13.9	5.1	3.5	8.1
その他	27.2	28.2	1.9	3.9	3.9	2.9	17.5	6.8	5.8	6.8
愛の手帳所持者	12.6	22.9	15.8	22.3	22.6	9.0	34.8	21.6	29.4	29.7
精神障害者保健福祉手帳所持者	14.3	26.9	7.1	7.7	11.5	6.0	31.9	13.2	15.9	20.3
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	29.4	64.7	5.9	11.8	11.8	11.8	41.2	41.2	29.4	41.2
発達障害の診断を受けている	7.8	24.7	44.2	59.7	50.6	24.7	49.4	31.2	32.5	40.3
高次脳機能障害の診断を受けている	61.5	23.1	7.7	—	—	—	46.2	23.1	23.1	23.1
難病の診断を受けている	22.6	44.8	7.1	9.1	6.0	2.8	15.5	9.5	8.3	11.1
日常的に医療的ケアが必要である	34.7	44.9	10.2	14.3	14.3	8.2	18.4	14.3	14.3	12.2

【障害種別（つづき）】

単位：％

区分	駅や道路における段差などの バリアフリー	移動・交通手段の整備	防災・防犯体制の充実	権利擁護施策の充実	文化・スポーツなどを通じた社 会参加の支援	余暇活動の促進	その他	無回答
身体障害者手帳所持者	34.8	24.3	22.6	5.1	10.9	9.9	3.3	18.7
視覚障害	40.0	36.7	28.3	8.3	13.3	13.3	8.3	10.0
聴覚障害	26.1	20.2	28.6	5.0	10.9	15.1	—	21.0
平衡機能障害	50.0	44.4	16.7	—	16.7	16.7	5.6	16.7
音声・言語・そしゃく機能障害	33.3	23.1	28.2	5.1	7.7	10.3	5.1	15.4
肢体不自由	44.4	30.7	25.3	6.5	9.9	9.3	2.9	14.1
内部障害	29.4	21.8	20.0	5.3	11.1	10.6	3.3	21.8
その他	35.9	16.5	25.2	5.8	12.6	7.8	4.9	18.4
愛の手帳所持者	12.6	18.4	21.6	15.8	15.5	32.3	2.6	13.5
精神障害者保健福祉手帳所持者	15.9	15.4	21.4	12.1	13.2	13.7	5.5	18.1
手帳未所持で精神疾患の診断を受けている	41.2	41.2	23.5	35.3	35.3	23.5	—	—
発達障害の診断を受けている	6.5	13.0	20.8	13.0	16.9	28.6	7.8	5.2
高次脳機能障害の診断を受けている	38.5	30.8	23.1	7.7	7.7	15.4	—	—
難病の診断を受けている	35.7	25.4	22.2	7.5	9.1	9.1	3.2	14.7
日常的に医療的ケアが必要である	34.7	36.7	38.8	16.3	8.2	20.4	6.1	20.4